

履修要項

(社会学部編)

2022年度 更新版

2021年度以前 入学生用

武蔵大学

教務上の伝達事項について

教務上の伝達事項（授業、試験、休講、行事予定等）は、3 Sにてお知らせします。3 Sに掲示した事項については、すべて承知したものと扱いますので、毎日機会あるごとに3 Sにアクセスして確認してください。

また、用件に応じて大学メールアドレス（s+学籍番号@st.musashi.ac.jp 例：s1234567@st.musashi.ac.jp）や3 Sに登録されている個人メールアドレスに連絡することもあります。こちらも適宜確認してください。内容に疑問がある場合は、教務課に問い合わせてください。

3 Sへのアクセスは、大学ホームページにアクセスし、画面右上にある

「3 S」のボタンのバナーをクリックしてください。

3 Sのログイン画面が表示されます。

<https://www.musashi.ac.jp/>（武蔵大学ホームページ）

ログイン画面には、3 Sのマニュアルも掲載されています。

User ID とパスワードは、入学時に学生証と一緒に配布しています。

質問は教務課までお願いします。

【Musashi-ID・パスワードの貸し借りは禁止です！】

自分の Musashi-ID とパスワードを他人に教えること、あるいは、他人の Musashi-ID とパスワードを教えてもらうことは、厳禁です。

※ルールを違反した場合は、Musashi-ID の停止、利用資格の制限など、処分や懲戒の対象になります。また、法律に抵触する可能性があります。

履修要項の取り扱いについて

履修要項は武蔵大学 公式 Web サイトから閲覧可能です。

また、コンピューター教室の PC から閲覧することができます。

（掲載場所）

武蔵大学 公式 Web サイト：TOP>学部>履修要項

<https://www.musashi.ac.jp/faculty/requirements.html>

コンピューター教室の PC：ログイン直後に表示されるブラウザ画面にあるリンク

※ 各学部の履修要項は、2021 年度以降は原則として入学時のみ配布します。翌年度以降は、公式 Web サイトを参照してください。

履修要項（社会学部編） 目次

はじめに	1
1. 社会学部の教育研究上の目的	2
2. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	2
3. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）	2
4. コース制度	4
第1章 授業科目の履修	7
【社会学科】	
1. 履修に関する諸注意	10
2. 卒業要件	13
3. 科目表と履修モデル	14
4. 社会学科 総合科目	19
5. 社会学科 外国語科目	21
6. 社会学科 専門科目	25
7. 社会学科 全科目一覧	31
<諸案内>	
8. 留学・国際交流関連科目	44
9. 協定留学生および認定留学生向けの各種案内	47
10. 人権問題への理解を深める授業の履修について	49
【メディア社会学科】	
1. 履修に関する諸注意	52
2. 卒業要件	55
3. 科目表と履修モデル	56
4. メディア社会学科 総合科目	61
5. メディア社会学科 外国語科目	63
6. メディア社会学科 専門科目	67
7. メディア社会学科 全科目一覧	74
<諸案内>	
8. 留学・国際交流関連科目	87
9. 協定留学生および認定留学生向けの各種案内	90
10. 人権問題への理解を深める授業の履修について	92
【グローバル・データサイエンス（GDS）コース】	
1. 履修に関する諸注意	94
2. 卒業要件	99
3. 科目表と履修モデル	100
4. GDS コース 総合科目	108
5. GDS コース 外国語科目	110
6. GDS コース 専門科目	114
7. GDS コース 全科目一覧	126
<諸案内>	
8. 留学・国際交流関連科目	140
9. 協定留学生および認定留学生向けの各種案内	143
10. 人権問題への理解を深める授業の履修について	145
第2章 社会調査士資格	147
第3章 教職課程、学芸員課程	151

はじめに

1. 社会学部の教育研究上の目的

社会学部は、武蔵大学の「教育の基本目標」に基づき、多様な社会問題の発見と理論的及び経験的分析に基づいて、批判的精神と共感的対話力を涵養する教育研究を行い、望ましい社会のあり方を実現しうる総合的な構想力をもった有為な人材を養成することを目的とします。

2. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

社会学部は、武蔵大学の「教育の基本目標」を実現するとともに、複雑化、流動化する社会の変化の中で生じるさまざまな社会問題や課題への的確な対応が可能な人材の育成を学部教育の方針としています。これらを実現するため、本学部が設定した履修すべき科目と卒業必要単位 124 単位を修得し、以下のような知識・技能、態度等を身につけた学生に学士（社会学）の学位を授与します。なお、学修成果については、各科目の成績に加え、GPA、修得単位数、卒業論文・卒業制作・卒業活動の評価を主たる指標として把握します。

1. 自然科学、人文科学、社会科学の広範な教養を身につけていること
2. 社会学、メディア学の専門的知識を修得し、理論的な思考力を身につけていること
3. 社会学部の学びの核となる社会調査・データ分析、解釈、制作及びそのリテラシーにかかわる専門的な方法論ならびに技能を身につけ、実習による経験を深めていること
4. 専門ゼミ、卒業論文・卒業制作を通じ、社会的意義のある研究テーマについて自ら調べ、事実に基づき批判的な分析を行うことができること
5. グローバル市民として文化の違いや国境を越えて他者を理解し、他者の文化を尊重するとともに、よりよい社会生活を実現するために、多様な価値観や意見を調整し、協働する姿勢を身につけていること
6. 多様な人々の中で、自らの考えを的確に表現・発信するスキルを修得していること
7. グローバル社会の中で有用な情報収集、その整理・検討等ができるように外国語運用能力を確かなものとしていること
8. 社会学の専門的知識と実践的スキルを活かし、社会や地域づくりに貢献する意欲をもち、主体的に行動できること

3. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

社会学部の教育課程は、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・技能、態度等を修得させるために全学のカリキュラム・ポリシーに基づき総合科目、外国語科目、専門科目の3区分で編成されています。総合科目では幅広い教養を、外国語科目では自らの考えを英語や様々な言語で表現することができる外国語運用能力を、専門科目では「ゼミ科目」「方法科目」「理論科目」「展開科目」の4つの科目群に体系化し、1年次から4年次まで系統的知識や技能・手法を修得するとともに、課題解決力や思考力・判断力・表現力を修得します。

【学部共通】

1. 総合科目は、ディプロマ・ポリシーの項目1に掲げた資質能力に対応した、幅広い教養および総合的な人間力を身につけるための科目であり、1年次～4年次に配置する。「情報とコミュニケーション」「歴史と文化」「現代社会」「自然と環境」「心と体」「ライフマネジメントとキャリアデザイン」の6分野から、各分野最低2単位、合計で20単位を修得しなければならない
2. 外国語科目は、ディプロマ・ポリシーの項目5および7に掲げた資質能力に対応した、諸外国の社会と文化を学び、グローバル時代に相応しい円滑なコミュニケーション、情報収集、整理、検討をする能力を身につけさせるための科目である。1年次～2年次に英語を必修科目として設け、1年次においては学生の英語力に合わせた到達度別の少人数クラスを編成する
3. 「ゼミ科目」群は、ディプロマ・ポリシーの項目2に掲げた資質能力に対応した、少人数の指導教授制を基本とする学部教育の柱であり、1年次の初年次基礎ゼミ・応用ゼミと、さまざまな方法論を身につける2年次の方法論ゼミ、卒業論文・卒業制作を仕上げるための3、4年次の専門ゼミ、4年次の卒業研究ゼミ

と卒業論文・卒業制作を必修科目として配置する

4. 「方法科目」群は、ディプロマ・ポリシーの項目3に掲げた資質能力に対応した、調査法の基礎的な科目群を1年次に配し、2年次以降は各自の関心に応じて履修できるように多様な授業科目を配置し、知識と技能の獲得を確実なものとするとともに、より豊かな社会分析能力を修得する機会を設ける
5. 「理論科目」群は、ディプロマ・ポリシーの項目2に掲げた資質能力に対応した、理論・学説の基礎的な授業科目を1年次に配し、2年次からは理論的知識の向上を図るためのより専門的な授業科目を配置する
6. ディプロマ・ポリシーの項目3に掲げた資質能力を十分に修得させるために、2年次より、各学科とも専攻のコースを設ける
7. ディプロマ・ポリシーの項目4および6に掲げた資質能力を十分に修得させるために、卒業論文・卒業制作、およびそれに準ずる卒業活動を必修とし、学部教育で得てきた専門的な知識の向上とともに、社会調査やメディア制作の経験を活かし、プレゼンテーション能力、発信力の向上を図り、4年間の学部教育の集大成として位置づける
8. 各学科の開講科目については「学部共通科目」とし、ディプロマ・ポリシーの項目2に掲げた資質能力を十分に修得させるために、柔軟な履修を可能とする
9. ディプロマ・ポリシーの項目1に掲げた資質能力を十分に修得させ、幅広い視野を養い、専門分野に関する理解をより深めるために、学部・学科の枠にとらわれない「全学対象専門科目」を設ける
10. 3年次の専門ゼミ、4年次の卒業研究ゼミと卒業論文・卒業制作の履修にあたっては、順次性を重視し、基礎的科目の既習を条件として課す
11. ディプロマ・ポリシーの項目3に掲げた資質能力に対応した、「社会調査協会」認定科目を開講し、多くの学生が「社会調査士」資格を取得できるように科目を配置する
12. ディプロマ・ポリシーの項目6および8に掲げた資質能力を十分に修得させるために、国内外を問わずフィールドワークをはじめとして様々な社会問題や社会事象、地域課題などを現場で学ぶ機会を設ける
13. ナンバリングにより積み上げ式の学修を促し、科目を体系的に配置する
14. 各科目の学修成果については、科目種別により、①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性・協調性等を総合的に判断し評価する。具体的な評価方法としてはシラバス等に、学期終了時の試験やレポート、小テスト、各種の課題等とともに、発表や調査実習やフィールドワークにおける授業への取り組み等を評価の対象とすることを示し、かつ、それぞれについての割合を明示する。なお、卒業論文・卒業制作に関しては、指導教員（主査）のみならず副査を置き、必要な事項についての審査を行うとともに、口述試験に合格することが必須である
15. 各学生の体系的な学修の成果については、主としてGPA、修得単位数、卒業論文・卒業制作・卒業活動の評価を指標として把握する。とくに、不十分な学修成果については、学期GPAおよび年間修得単位数を指標として判定し、履修指導を行う。また、優秀な学修成果については、卒業時に、GPA、修得単位数、卒業論文・卒業制作・卒業活動の評価を指標として判定し、表彰する

【社会学科】

1. 大学での学び、さらに大学で学ぶ基礎となる読解力や文章力、プレゼンテーション力やディスカッション力等の基礎能力を修得するため、1年次に「社会学初年次基礎ゼミ」「社会学初年次応用ゼミ」をおく
2. 2年次の「社会学方法論ゼミ」では、社会現象や人間行動、意識を明らかにするため、質問紙調査やインタビュー調査、参与観察やメディア分析法、データ分析など多様な調査方法論を修得する
3. 専門知識・技能を体系的に修得するため2年次よりコースを設け、コースごとの履修系統図を示す。社会学科の専攻コースは、「社会問題とエンパワーメント」「国際社会とネットワーク」「文化とアイデンティティ」の3コースである
4. 卒業論文を必修とし、4年間の学びで培った社会学的思考法および社会調査技法に基づき、十分なエビデンスに支えられた実証的かつ論理的な文章を用いて、現代社会の諸問題を、自ら分析・考察できる力を養成する
5. 学修成果の把握は、「学部共通」項目の14および15に準じて実施する

【メディア社会学科】

1. 大学での学び、さらに大学で学ぶ基礎となる読解力や文章力、プレゼンテーション力やディスカッション力等の基礎能力を修得するため、1年次に「メディア社会学初年次基礎ゼミ」「メディア社会学初年次応用ゼミ」をおく
2. 2年次の「メディア社会学方法論ゼミ」では、メディアの内容分析や定量調査、データ分析、フィールドワーク、あるいはコンテンツ制作の手法を習得し、方法論の理解を通じてメディアについての理解を深める
3. 専門知識・技能を体系的に修得するため2年次よりコースを設け、コースごとの履修系統図を示す。メディア社会学科の専攻コースは、「メディアコミュニケーション」「パブリックコミュニケーション」「メディアプロデュース」の3コースである
4. 卒業論文あるいは卒業制作を必修とし、4年間の学びで培ったメディアリテラシーおよびメディア分析あるいはメディア制作の技法を土台に、多様なメディア環境にある現代社会に向けて自ら情報発信できる力を養成する
5. 学修成果の把握は、「学部共通」項目の14 および 15 に準じて実施する

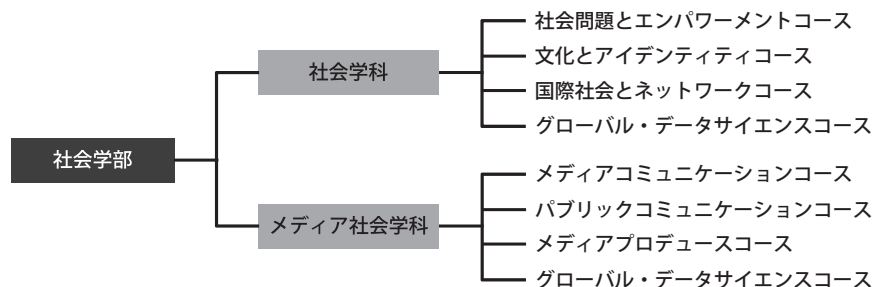
【グローバル・データサイエンス（GDS）コース】

1. GDS コースは、社会学科・メディア社会学科の両学科に設置される専攻コースであり、1年次からコースに所属する
2. 1年次には、第2クォーター（Spring 2）で、「海外英語研修」による集中的な英語学習の機会を設ける
3. 「データサイエンス基礎」などを含む、社会学研究およびメディア研究に必要な基礎的な方法論科目を設け、社会調査とデータ利用の基礎能力を養成する
4. 2年次以降は、多様かつ専門的な方法科目を履修し、ビッグデータ等を用い国内外の社会的・文化的現象や社会問題などを自ら分析できる力を養成する
5. 2～3年次以降には、留学や英語力を生かした海外でのボランティア、インターンシップ等のグローバル体験や現場体験を重視した学びの機会を「GDS 実践」科目として設ける
6. 卒業論文、卒業制作以外に、卒業活動を卒業要件に加えることで、より社会的な実践力の高い学部教育の集大成の機会を設ける
7. 学修成果の把握は、「学部共通」項目の14 および 15 に準じて実施する

4. コース制度

専攻コースは養成する人材の方向性を明示するために設定しています。それぞれのコースに所属する意味合いは、学修の方向性、研究内容の傾向を理解し履修に活かすねらいがあります。

社会学部の構成



1. 開講コース

（1）社会学科

現代社会が抱えるさまざまな問題について向き合い、その仕組みや背景を分析し、そうした問題に対処する方法について具体的に考えることができる人を育成します。社会的な考え方を、文化やネットワークといった観点から学び、社会問題へ向き合うための力を修得します。

◇ 社会問題とエンパワーメントコース

現代的な社会問題を理論的・具体的に学びます。社会問題にどのように対処し、そのためにどのような実践やエンパワーメントが可能であるのかということを考え、社会問題を幅広く考察します。

◇ 文化とアイデンティティコース

文化やアイデンティティをめぐる諸問題について学びます。ポピュラーカルチャーからハイカルチャーまでのさまざまな文化と、日常的に作り出されるアイデンティティの仕組みについて探っていきます。

◇ 国際社会とネットワークコース

グローバル社会におおいますます複雑さを増し、重要になってきているネットワークに着目し、こうした視点から、身近な人びとのつながりから国際社会まで、多様な制度や社会関係の現状や課題、変動などについて多面的に学びます。

(2) メディア社会学科

現代社会が抱えるさまざまな問題について学び、世の中に向かって、自らの考えや作品を積極的に発信できる人を育成します。社会学の理論を学ぶとともに、自ら集めた情報を文章や映像で表現し、インターネットやマスメディアなどさまざまなメディアで発信できる力を修得します。

◇ メディアコミュニケーションコース

情報社会におけるマスメディアの位置づけを再確認し、現代のメディアをとりまく状況を理論的かつ実践的に学びます。放送・活字メディアや音楽や映画などコンテンツ文化について、社会的・心理的側面から考察します。

◇ パブリックコミュニケーションコース

公共的なコミュニケーション能力を高め、メディアリテラシーを身につけて、日常的な人間関係の構築、広告や広報のあり方、電子コミュニケーション、NPO・NGOの活動など、さまざまな社会的課題に取り組みます。

◇ メディアプロデュースコース

メディアの特性と社会の構造を理解し、独創的かつ有意義な情報を発信する表現方法を学びます。映像、出版、Web、市民・地域の放送やイベントなど、さまざまなメディアを活用し企画制作する能力を追究します。

(3) グローバル・データサイエンス (GDS) コース

GDS コースは、社会学科・メディア社会学科両方に配置されるコースです。1年次に一部学期分割型科目を取り入れ、海外での英語学習の機会を設けるとともに、短期集中で大学での学びに必要な能力を獲得します。2年次以降は、多様な方法科目のもと、社会調査、分析の技法を多数学ぶとともに、留学やインターンシップといった体験を重視した学びを「GDS 実践」として修得します。卒業論文、卒業制作に加え、卒業活動を卒業要件に加えることで、より社会的な実践力の高い学部での学修の集大成の機会を設けています。

2. コース選択手続き (GDS コースを除く)

- ◆ 希望届提出時期 1年次秋学期 (詳細は3Sにて案内予定)
- ◆ 所属コース決定 2年次4月

注意

- ① 原則は希望届にしたがってコース配属を行うので選考はありません。
- ② GDS コースについては、95頁の「2. グローバル・データサイエンス (GDS) コースとは」を参照してください。

3. コース変更

- ◆ 変更届提出時期 毎年度12月 (詳細は3Sにて案内予定)
- ◆ 所属コース変更 届出が受理された翌年度4月

注意

- ① 変更届が提出できるのは、3年次までです。4年次での提出は認められません。
- ② 変更後のコースの卒業要件で科目を修得しなければなりません。そのため、今まで修得した科目の単位が変更後のコースの条件によって活かされない場合は卒業が延びることもあるので注意してください。
- ③ GDS コースについては、95 頁の「2. グローバル・データサイエンス (GDS) コースとは」を参照してください。

第1章 授業科目の履修

社会学科

1. 履修に関する諸注意

1. 授業科目の履修に関する注意

(1) カリキュラム

学生はそれぞれ自分の入学した年度のカリキュラムにしたがって履修し卒業します。入学後にカリキュラムの変更があっても、原則として新カリキュラムは適用されません。

(2) 単位の分割不可

1科目の単位を分割して、複数の卒業要件に算入することはできません。

(3) 各自の学習プランをたてる

本学部では必修科目を除いて、学生が多数の科目の中から自主的に選択して履修しなければならない場合が多くあります。各自自分の学習方針と科目の内容を考えて、適切な選択をすることが必要です。3月下旬より3S上でシラバスの閲覧が可能です。学習方針、学習計画を立てる手がかりとなりますので、有効に活用してください。

(4) 科目履修の条件

必修科目の一部には、履修する際に必要な条件があります（たとえば、あらかじめ修得しておかなければならない科目があるなど）。この条件を満たさない場合は、卒業が遅れることがあるので注意してください。また、2年次に課す「社会学専門ゼミ」・「メディア社会学専門ゼミ」の選択課題が未提出、あるいは基準に達していない場合は、卒業が遅れることがあるので十分に注意してください。

(5) セメスター制度

1つの授業を学期（セメスター）ごとに完結させる制度です。本学では1学年を春学期・秋学期の2学期とし4年間8学期で運営しています。この制度は、1学期の中で授業を集中的に履修し学習効果を高める意義があります。また、学年開始時期が異なる大学間において円滑に留学を実施できるというメリットもあります。

(6) 学期分割型科目

本学では、一部の科目について、春学期・秋学期をそれぞれ2つの期間に分けて、1年をSpring 1～Autumn 2に分けて開講しています。学期分割型科目は原則として週2回授業が行われます。また、各期間の終わりに定期試験が実施されることがあります。

(7) 科目表の見方

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
A 情報とコミュニケーション	GEO02010	他者理解とコミュニケーション	2	1～4	講義	
	GEO02020	情報技術と人間社会	2	1～4	講義	
	GEO02030	知識社会の情報学	2	1～4	講義	
	GEO02040	データ分析の基礎	2	1～4	講義	
	GEO02050	データ分析の応用	2	1～4	講義	
	GEO02060	Information Technology and Global Communication	2	1～4	講義	* ※ (1)

- ① 分野 区分（総合科目、外国語科目、専門科目）ごとに分野やジャンルに分類されています。
- ② ナンバリング 科目ナンバリングは、武蔵大学で開講している科目に番号付けを行い、科目の分野、履修可能年次、履修順序などをあらわしたものです。詳しくは、履修要項（共通編）を確認してください。
- ③ 科目名 授業科目名
（※授業内容については、シラバスを参照してください。）
- ④ 単位 科目ごとに単位数が決められています。卒業要件をよく読み、必要な単位を修得してください。
- ⑤ 配当年次 科目ごとに履修可能年次が指定されています。一部、システム上履修登録できる年次が異なる科目もあります。
- ⑥ 授業形態 履修要項（共通編）8頁参照
- ⑦ 備考 その科目に対する条件・案内等が記載されています。
- 「*印について」
- ・備考欄に*印のない科目は、原則として毎年開講する予定の科目です。
 - ・備考欄に*印のある科目は、原則として2年に一度開講する予定の科目です。このため開講された翌年度は欠講となる可能性があります。ただし、履修の便宜のため、年度により、2年連続で開講される場合もあります。
 - ・2022年度のカリキュラム改訂により、2021年度以前と*印の有無が変更となった科目があります。
- 「◆印について」

2022年度以降の入学者を対象に新カリキュラムが導入されました。2021年度以前の入学者に適用されるカリキュラムは変わりませんが、2022年度以降、新カリキュラムの一部の科目についても履

修が可能となり、卒業に必要な単位数に含めることができます。対象科目については、2022年度以降の履修要項でご確認ください。

一方で、現在履修要項に掲載されている一部の科目の廃止が予定されていますので、以下の点に留意の上、履修計画を立てるようにしてください。

- ・備考欄に◆印のない科目（*印のある科目を含む）は、原則として、2022年度以降も開講する予定の科目です。
- ・備考欄に◆印のある科目は、2024年度末にて廃止されます。原則として、これらの科目は、2021年度～2024年度の間、2年に一度開講する予定です。ただし、履修状況等を踏まえ、2024年度よりも前に廃止される可能性があります。

「その他」

- ・上記以外に注意すべき条件・案内等が記載されています。備考欄に直接記載されているものと、※印がついて欄外に説明が記載されているものがあります。

【開欠講について】

2023年度より当年度の開欠講情報の記載を削除しました。

当年度に開講している科目は、3Sの授業>シラバス検索>カリキュラムツリー照会から確認できます。入学年度、学科組織（●●学部●●学科●●コースなど）を選択して「表示」を押すと、選択したカリキュラムに沿った形で当年度開講している科目のシラバスが表示されます。開講期は「すべて対象」「春学期」「秋学期」を選択できます。なお、自身のIDとパスワードでログインすると、あらかじめ入学年度と学科組織が入力された状態で表示されます。

科目名が表示されない場合は、当年度欠講となります。3Sトップ画面上のリンク一覧にある当年度「欠講科目一覧」もあわせて確認してください。

3年次生、4年次生は特に履修登録・修正・取消にあたり、履修要項で卒業研究ゼミ・卒業論文・卒業制作の履修条件、卒業要件を十分理解しておいてください。

履修登録によって生じた不利益はあくまでも学生自身の自己責任となるので、十分理解した上で履修確認を怠らないようにしてください。

2. 各年次における履修上の留意点

各学年の履修登録において、下記の科目は必ず登録しなければなりません。留学、休学などで、下記科目の履修登録ができない場合は、必ず事前に教務課に相談してください。

なお、留学先で修得した単位が本学で「認定単位」として認められれば、卒業要件に充当させることができます。

学年	区分	社会学科必修科目	メディア社会学科必修科目	単位数（科目数）
----	----	----------	--------------	----------

1年次	外国語科目	必修外国語 英語 I	必修外国語 英語 I	1	4 単位 (4 科目)
		必修外国語 英語 I	必修外国語 英語 I	1	
		必修外国語 英語 I	必修外国語 英語 I	1	
		必修外国語 英語 I	必修外国語 英語 I	1	
	専門科目	社会学原論 A	メディア社会学	2	14 単位 (7 科目)
		社会学原論 B	社会学原論 A	2	
		社会調査方法論基礎 1	社会調査方法論基礎 1	2	
		社会調査方法論基礎 2	社会調査方法論基礎 2	2	
		コンピューティング基礎	コンピューティング基礎	2	
		社会学初年次基礎ゼミ	メディア社会学初年次基礎ゼミ	2	
社会学初年次応用ゼミ	メディア社会学初年次応用ゼミ	2	18 単位 (11 科目)		

2年次	外国語科目	必修外国語 英語Ⅱ	必修外国語 英語Ⅱ	1	2単位 (2科目)	6単位 (4科目)
		必修外国語 英語Ⅱ	必修外国語 英語Ⅱ	1		
	専門科目	社会学方法論ゼミ	メディア社会学方法論ゼミ	2	4単位 (2科目)	
		社会学方法論ゼミ	メディア社会学方法論ゼミ	2		

3年次	専門科目	社会学専門ゼミ1	メディア社会学専門ゼミ1	2	4単位 (2科目)
		社会学専門ゼミ2	メディア社会学専門ゼミ2	2	

4年次	専門科目	社会学卒業研究ゼミ	メディア社会学卒業研究ゼミ	4	8単位 (2科目)
		卒業論文	卒業論文・卒業制作	4	

※協定留学生・認定留学生については「9. 協定留学生および認定留学生向けの各種案内」を参照してください。

(1) 2年次の留意点

2年次終了時点で「社会学専門ゼミ1」「社会学専門ゼミ2」の履修条件を満たさない場合、4年間では卒業できません。また、2年次終了時点で卒業に必要な修得単位が28単位未満で、履修登録単位制限の緩和措置の対象とならない等の場合、4年間では卒業できません。

$$124 \text{ 単位 (卒業に必要な単位)} - 48 \text{ 単位 (1年間の履修登録単位数上限)} \times 2 \text{ 年} = 28 \text{ 単位}$$

(2) 3年次の留意点

3年次終了時点で「社会学卒業研究ゼミ」の履修条件を満たさない場合、4年間では卒業できません。また、3年次終了時点で卒業に必要な修得単位が76単位未満で、履修登録単位制限の緩和措置の対象とならない等の場合、4年間では卒業できません。

$$124 \text{ 単位 (卒業に必要な単位)} - 48 \text{ 単位 (1年間の履修登録単位数上限)} = 76 \text{ 単位}$$

2. 卒業要件 [社会学科・メディア社会学科共通 (GDS コース除く)]

本学に4年以上在学し、各学科の履修方法に従って所定の単位を修得しなければなりません。概略を表にすると次のとおりとなります。

区分	修得すべき 最低単位数	内 訳
総合科目	20 単位	6 分野 (A ~ F) からセクションを問わず最低 2 単位を修得し (計 12 単位)、かつ分野を問わずさらに 8 単位以上修得すること。
外国語科目	8 単位	必修外国語 (英語) 6 単位 選択外国語 2 単位 ※ (英語, ドイツ語, フランス語, イタリア語, ロシア語, スペイン語, 中国語, 韓国・朝鮮語) ※選択外国語は 2 単位を超えて修得した場合、総合科目として 8 単位まで算入される。
専門科目	96 単位	[必修科目] ゼミ科目 20 単位 理論科目 4 単位 方法科目 6 単位 [選択科目] 展開科目 ※ 28 単位 方法科目 6 単位 その他 ※※ 32 単位 ※所属学科の展開科目に限る。加えて、所属コースの展開科目から 2 科目 4 単位以上を修得しなければならない。この単位は展開科目の 28 単位に含める。 ※※必修以外の理論科目、方法科目、展開科目、学部共通科目、全学対象専門科目、教職の教科に関する概説科目。ただし、全学対象専門科目は 8 単位を、教職の教科に関する概説科目は 4 単位を上限とする。
合 計	124 単位	

【注意】

- ・ 1 科目の単位を分割して、複数の卒業要件に算入することはできません。
- ・ 上記の単位数はすべて「最低数」であり、実際には、各自の関心や研究の状況にあわせて、最低数以上の単位を履修することが望ましいです。

3. 科目表と履修モデル

1. 科目表

◆総合科目 科目表【20単位】 *特記があるもの以外は1科目2単位

分野	セクション	1年次				2年次				3年次				4年次			
		春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期	
		Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2
A分野 情報と コミュニケーション 選択：2単位以上	講義セクション	他者理解とコミュニケーション 情報技術と人間社会 知識社会の情報学 データ分析の基礎 データ分析の応用 Information Technology and Global Communication															
	実践セクション	表現技法とインタラクション 問題解決とコンピューティング デジタル協働学 データマイニング入門 インターネット・イングリッシュ クリエイティブ・ライティング アカデミック・ディベート クリティカル・シンキング 論文の書き方●															
B分野 歴史と文化 選択：2単位以上	講義セクション	グローバル時代の歴史認識 20世紀の世界 20世紀の日本 社会思想の歴史 人文学入門 世界の言語と文化 日本と世界の宗教 日本の伝統と文化 現代世界の人と生活 多文化共生の現在 Japan in the Modern World Introduction to Race, Ethnicity and Nation Introduction to Global History															
	実践セクション	世界の名著 日本の名著 文化財リサーチプロジェクト 学園史100年プロジェクト															
C分野 現代社会 選択：2単位以上	講義セクション	日本国憲法 現代社会と政治 現代社会と法 現代社会と経済 現代社会と人権 現代社会と環境 現代社会とジェンダー 現代社会とアート 国際社会における紛争と協調 グローバリズムと21世紀 現代日本の課題 Introduction to Global Studies Understanding the Contemporary Global Economy Introduction to Human Rights Introduction to Gender and Sexuality Studies															
	実践セクション	経済ニュース・リーディング 人権ワークショップ 現代アート・ワークショップ Sociology (4単位)●															
D分野 自然と環境 選択：2単位以上	講義セクション	地球の自然史 地球環境 人間と環境 数学の世界 自然と生活のなかの物理 化学と現代社会 生命の進化 人の進化 人間と科学技術の歩み 先進の科学技術 Global Environmental Issues Introduction to Human Geography															
	実践セクション	武蔵・環境フィールドワーク サイエンスラボ集中講座 A/B サイエンスラボ講座 (物理学) A/B サイエンスラボ講座 (化学) A/B サイエンスラボ講座 (生物学) A/B 自然科学集中プロジェクト A/B (1単位) 物理学ラボワーク A/B (1単位) 化学ラボワーク A/B (1単位) 生物学ラボワーク A/B (1単位)															
E分野 心と体 選択：2単位以上	講義セクション	こころの科学と健康 臨床心理学と人間理解 スポーツと健康の科学 スポーツの哲学 スポーツの歴史と文化 スポーツの社会環境 スポーツの心理学 Introduction to Personal Health and Wellness															
	実践セクション	心理学ワークショップ アダプテッドスポーツ・ワークショップ スポーツ実践1～14 (バレーボール/バスケットボール/ファンランニング/フットサル/バドミントン/卓球/ アドバンストゴルフ/ベーシックゴルフ/水泳/エアロビクス&フィットネス/ リラクゼーション&ウォーキング/護身術と柔道/スキー/スノーボード) (1単位)															
F分野 ライフマネジメント とキャリアデザイン 選択：2単位以上	講義セクション	自己理解の哲学 キャリアデザイン論 A/B キャリア対策科目 ライフサイクルと生涯学習 心理学と社会 Career Design in a Global Age															
	実践セクション	キャリアデザイン演習 インターンシップ特講 (1単位) インターンシップ (1単位) 海外調査方法論 海外フィールド実習 (1単位)															

■総合科目は20単位以上を修得してください。

・選択科目:20単位以上 = A分野 (2単位以上) + B分野 (2単位以上) + C分野 (2単位以上) + D分野 (2単位以上)
+ E分野 (2単位以上) + F分野 (2単位以上)

* 総合科目はすべて選択科目です。各分野から、セクションに関わりなく、2単位以上を修得し、合計で20単位以上としてください。

* 「クリティカル・シンキング」「論文の書き方」「Sociology」の履修は、原則としてGDSコース所属者に限ります。

* 「Sociology」の履修にはIELTS5.5以上のスコアを持つことが望ましいです。詳細は、シラバスを参照してください。

● 「Sociology」「論文の書き方」に代わる科目として「Introductory Sociology」「Academic Writing (論文の書き方)」が専門科目に新設されました。「Sociology」「論文の書き方」の履修を希望していた者は、専門科目として「Introductory Sociology」「Academic Writing (論文の書き方)」を履修してください。

* 卒業に必要な総合科目20単位は、最低限の単位数であり、上記条件を満たした上で、20単位以上の履修が可能です。

* 選択外国語から8単位を上限として、総合科目の単位に含めることができます。

◆外国語科目 科目表【8単位】 *特記があるもの以外は1科目1単位 *斜体:必修科目

科目種別	1年次				2年次				3年次				4年次			
	春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期	
	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2
必修外国語(英語) 必修:6単位	英語I総合 英語I会話		英語I総合 英語I会話		英語II		英語II									
選択 外国語 選択: 2単位	社会学部 専用クラス				選択ドイツ語基礎 1/2 選択フランス語基礎 1/2 選択中国語基礎 1/2 選択韓国・朝鮮語基礎 1/2 選択イタリア語基礎 1/2 選択スペイン語基礎 1/2											
	全学共通 クラス				イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング 1/2 イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ 1/2 ディスカッション・ディベート英語 1/2 クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ 1/2 ビジネス・コミュニケーション英語 1/2 イングリッシュ・ライティング・ワークショップ 1/2 プラクティカル・イングリッシュ 1/2 TOEIC 対策英語 1/2 中国語入門 1/2 韓国・朝鮮語入門 1/2 ドイツ語入門 1/2 フランス語入門 1/2 イタリア語入門 1/2 スペイン語入門 1/2 ロシア語入門 1/2 外国語現地実習(中国語) 1/2 (2単位) 外国語現地実習(韓国・朝鮮語) 1/2 (2単位) 外国語現地実習(英語) 1/2 (2単位) 外国語現地実習(ドイツ語) 1/2 (2単位) 外国語現地実習(フランス語) 1/2 (2単位) 日本語(コンプリートビギナー) 1/2 日本語(入門) 1/2 日本語(初級) 1/2 日本語(初中級) 1/2 日本語(中級) 1/2 日本語(上級) 1/2 *「日本語」科目は外国人留学生を主な対象とする科目です。履修にあたっては制限があるので、教務課に問い合わせてください。											
				中国語中級 1/2 中国語コミュニケーション 1/2 韓国・朝鮮語中級 1/2 韓国・朝鮮語コミュニケーション 1/2 ドイツ語中級 1/2 ドイツ語コミュニケーション 1/2 フランス語中級 1/2 フランス語コミュニケーション 1/2 イタリア語中級 1/2 イタリア語コミュニケーション 1/2 スペイン語中級 1/2 スペイン語コミュニケーション 1/2 ロシア語中級 1/2 ロシア語コミュニケーション 1/2												

■外国語科目は8単位以上を修得してください。

- ・必修科目:6単位
- ・選択科目:2単位

*選択外国語2単位を越えて修得した科目については、8単位を上限として、総合科目の修得単位に算入することができます。

*選択外国語は、社会学部専用クラスの「選択○○語基礎 1/2」と、全学共通クラスの「○○語入門 1/2」とで同じ言語を履修した場合、いずれか一つだけを卒業に必要な単位に算入することができます。

例) 選択ドイツ語基礎 1 とドイツ語入門 1

例) 選択スペイン語基礎 2 とスペイン語入門 2

*選択外国語は、社会学部専用クラスと全学共通クラスのどちらから履修してもかまいません。

◆社会学科 専門科目 科目表【96単位】 *特記があるもの以外は1科目2単位 *斜体:必修科目

科目種別	1年次				2年次				3年次				4年次			
	春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期	
	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2
ゼミ科目 必修:20単位	社会学 初年次 基礎ゼミ		社会学 初年次 応用ゼミ		社会学 方法論ゼミ		社会学 方法論ゼミ		社会学 専門ゼミ1		社会学 専門ゼミ2		社会学卒業 研究ゼミ (4単位/ 週2回)		卒業論文 (4単位/ 週2回)	
理論科目 必修:4単位 選択:0単位以上	社会学原論A		社会学原論B		社会学史 社会学理論 社会学文献講読A/B 社会学外書講読 学年縦断自由ゼミ											
方法科目 必修:6単位 選択:6単位以上	コンピューティング 基礎 (2単位/週2回) *Spr1かSpr2で 履修				データサイエンス応用											
	社会学調査方法 論基礎1		社会学調査方法 論基礎2		コンピューティング応用A/B/C/D/E/F/G/H 量的社会学調査方法論 質的 sociology 調査方法論 参与観察調査方法論 資料調査方法論 エスノメソドロジー メディア分析法A/B/C ルポライティング方法論 データサイエンス基礎 定性データ分析法 定量データ分析法A/B/C 社会学統計学1/2 Academic Writing (論文の書き方)											
展開科目 選択28単位以上	社会問題と エンパワ メント		*4科目(8単位)まで 展開科目を履修可能		社会問題の社会学 ジェンダーの社会学 仕事の社会学 教育社会学 家族社会学 ケアの sociology 福祉社会学 人口問題の sociology 不平等の sociology 開発人類学 多文化共生の人類学 *各自の選択した専攻コースの科目を4単位以上修得すること											
	文化とアイデ ンティティ				家族と結婚の人類学 宗教人類学 文化人類学 アイデンティティの sociology 文化の sociology 若者文化の sociology 消費社会学 コミュニケーションの sociology カルチュラルスタディーズ セクシュアリティの sociology 身体の sociology 恋愛の sociology *各自の選択した専攻コースの科目を4単位以上修得すること											
	国際社会と ネットワーク				ネットワークの sociology 地域とコミュニティの sociology 政治社会学 都市社会学 社会運動論 環境 sociology 歴史 sociology グローバリゼーションの sociology エスニシティの sociology ナショナリズムの sociology 観光人類学 国際比較 sociology *各自の選択した専攻コースの科目を4単位以上修得すること											
学部共通科目 選択:0単位以上	メディア社会学 メディア学説史 コミュニケーション理論 メディア社会学文献講読A/B メディア社会学外書講読				社会学理論のフロンティア 現代社会の諸相 グローバル社会の諸相 ホットトピック特別講義 メディア研究のフロンティア 文化研究のフロンティア メディア社会の諸相 データサイエンス特別講義 学部横断型課題解決プロジェクト メディア社会学開講の展開科目 *詳細な科目名は38頁の一覧を参照のこと											
全学対象専門科目選択: 0単位以上、上限8単位	経済学部・人文学部開講の専門科目の一部 *詳細な科目名と履修年次は39頁以降の一覧を参照のこと															
教職の教科に関する 概説科目選択: 0単位以上、上限4単位	日本史概説 外国史概説 法律学概説 政治学概説 経済学概説 地誌概説 人文地理学概説 自然地理学概説 倫理学概説 宗教学概説 哲学概説 心理学概説															

■専門科目は96単位以上を修得してください。

- ・必修科目:30単位 =ゼミ科目(20単位)+理論科目(4単位)+方法科目(6単位)
- ・選択科目:66単位以上 =理論科目(0単位以上^(注))+方法科目(6単位以上)+展開科目(28単位以上)
+学部共通科目(0単位以上^(注))+全学対象専門科目(0単位以上、上限8単位)
+教職の教科に関する概説科目(0単位以上、上限4単位)

*卒業に必要な専門科目96単位は、あくまで最低限の単位数です。上記条件を満たした上で、96単位以上の履修を目指してください。

*選択科目は自分の興味関心や将来希望する進路を考えた上で選びましょう。とくに展開科目は、2年次に選択したコースのものを中心に、体系的に選ぶようにしてください。選び方の例は履修モデルを参考にしてください。

(注)最低限修得しなくてはならない単位数も修得できる上限の単位数もありません。興味関心や進路にあわせて必要に応じて修得してください。

2. 履修モデル

4年間、ただ漫然と、時間割の都合で選んだ授業に出ているだけでは、大学での学修の効果は半減してしまいます。授業の効果を最大限にするためには、それぞれの授業をなぜ履修するのか、その授業を履修してどんな成果を上げたいのか、を自覚しながら授業での学修に取り組むことが必要です。そして、そうした自覚を持つためには、4年間の大学での学修を、何のために行うのかを、自分で設定できているとよいでしょう。

それは、卒業論文や卒業制作についての計画でもかまいません。卒業後の進路や就業に関わる目的でもかまいません。あるいは、もっと漠然とした4年間で学修したいテーマでもかまいません。こうした目的やテーマに基づいて、4年間の履修計画を立てることができれば、自ずと各々の授業にも積極的に取り組むことができ、学修の成果も上がることでしょう。

以下には、社会学科の各コースの中で、様々な目的やテーマに基づいて履修を組み立てる場合の事例を、履修モデルとして載せてあります。もちろん目的やテーマは人それぞれです。ここに挙げた履修モデルを、目的やテーマに基づいて履修計画を立てるときに参考としてください。そして、自分自身の興味関心や将来の進路の希望に合わせて、自分なりの目的やテーマを設定して、自分にふさわしい履修計画をつくってください。

ちなみに、各モデルの中では、いっけん設定されたテーマや目的には直接関係しないように見える授業の履修も選択されているかもしれません。これは、視野を広くもち、様々な可能性に開かれているために、むしろ必要なことでもありますので、この点も参考にしてください。

なお、実際に開講される科目や開講される曜日時限は年度ごとに変化します。このため、履修計画通りの履修を実現することができない場合もありますので注意してください。

◆社会学科履修モデル1：「社会問題とエンパワーメント」コースで多様な社会問題にどのように対処するかを探究する！

区分	卒業要件	本モデルでの 修得単位数	1年次				2年次				3年次				4年次			
			春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期	
			Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2
総合科目	選択 20単位	選択 18単位	キャリア デザイン論A		キャリア デザイン論B		キャリア 対策科目		他者理解とコミュニケーション インターネット・イングリッシュ 多文化共生の現在 国際社会における紛争と協調 化学と現代社会 アダプテッドスポーツ・ワークショップ									
外国語科目 ※選択外国語から8単 位を上限として総合科 目の単位に含めること ができる	必修8単位: 必修外国語 (英語)6、 選択外国語 2	必修 6単位 選択 6単位	英語Ⅰ*1単位 英語Ⅰ*1単位	英語Ⅰ*1単位 英語Ⅰ*1単位	英語Ⅱ*1単位	英語Ⅱ*1単位	選択フランス語 基礎1*1単位 選択フランス語 基礎2*1単位				ブラクティカル・ イングリッシュ1* 1単位	ブラクティカル・ イングリッシュ2* 1単位	外国語現地実習 (英語)1					
専門科目	ゼミ科目	必修 20単位	必修 20単位	社会学初年次 基礎ゼミ	社会学初年次 応用ゼミ	社会学方法論ゼミ	社会学方法論ゼミ	社会学 専門ゼミ1	社会学 専門ゼミ2	社会学卒業 研究ゼミ* 4単位	卒業論文* 4単位							
	理論科目	必修4単位、 選択0単位 以上	必修4単位、 選択4単位	社会学原論A	社会学原論B	社会学理論 社会学文献講読B												
	方法科目	必修 6単位	必修 6単位	コンピューティング 基礎(2/週2)* Spr1またはSpr2 で履修	社会調査方法論 基礎1	社会調査方法論 基礎2												
		選択 6単位以上	選択 8単位	量的社会調査方法論 質的社会調査方法論 社会統計学1 社会統計学2														
	展開科目	選択 28単位以上	選択 38単位	社会問題の社会学 ジェンダーの社会学 仕事の社会学 教育社会学 家族社会学 ケアの社会学 福祉社会学 人口問題の社会学 不平等の社会学 開発人類学 多文化共生の人類学 *4単位以上、所属コースの科目を修得すること				宗教学人類学 消費社会論 コミュニケーションの社会学										
学部共通科目	選択0単位 以上	選択 12単位	政治社会学 社会運動論 環境社会学 歴史社会学 ナショナリズムの社会学				メディア社会学 コミュニケーション理論 NPO・NGOとメディア 市民メディア論 現代社会の諸相 ホットトピック特別講義											
全学対象 専門科目	選択上限 8単位	選択 4単位	経済学部・人文学部開講の専門科目の一部															
合計	124単位 以上	126単位	23単位	25単位	28単位	20単位	12単位	10単位	4単位	4単位								

■卒業要件に含まれる単位を、124単位以上を修得すること。 ■専門科目は96単位以上を修得すること。

*特記があるもの以外は1科目2単位 *斜体:必修科目

◆社会学科履修モデル2:「文化とアイデンティティ」コースで様々な文化の観点から社会問題の諸相を探究する！

区分	卒業要件	本モデルでの 修得単位数	1年次				2年次				3年次				4年次			
			春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期	
			Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2
総合科目	選択 20単位	選択 20単位	キャリア デザイン論A				キャリア デザイン論B				キャリア デザイン演習							
			他者理解とコミュニケーション 表現技法とインタラクション 学園史100年プロジェクト 現代社会とアート 武蔵・環境フィールドワーク スポーツの哲学 自己理解の哲学															
外国語科目 ※選択外国語から8単 位を上限として総合科 目の単位に含めること ができる	必修8単位: 必修外国語 (英語)6、 選択外国語 2	必修 6単位 選択 2単位	英語I*1単位 英語I*1単位	英語I*1単位 英語I*1単位	英語I*1単位 英語I*1単位	英語II*1単位	英語II*1単位											
			選択ドイツ語 基礎1* 1単位	選択ドイツ語 基礎2* 1単位														
専門科目	ゼミ科目	必修 20単位	必修20単位	社会学初年次 基礎ゼミ	社会学初年次 応用ゼミ	社会学方法論ゼミ	社会学方法論ゼミ	社会学 専門ゼミ1	社会学 専門ゼミ2	社会学卒業 研究ゼミ* 4単位	卒業論文* 4単位							
	理論科目	必修4単位、 選択0単位 以上	必修4単位、 選択6単位	社会学原論A	社会学原論B	社会学史 社会学理論 社会学文献講読B												
	方法科目	必修 6単位	必修6単位	コンピューティング 基礎(2/週2)* Spr1またはSpr2 で履修														
		選択6単位 以上	選択10単位	社会調査方法論基礎1:社会調査方法論基礎2		質的社会調査方法論 参与観察調査方法論 資料調査方法論 エスノメソロジー 社会統計学1												
	展開科目	社会問題とエン パワーメント	選択 28単位以上	選択 40単位	ジェンダーの社会学 教育社会学 家族社会学 多文化共生の人類学													
		文化とアイデ ンティティ			家族と結婚の人類学 宗教人類学 文化人類学 アイデンティティの社会学 文化の社会学 若者文化の社会学 消費社会学 コミュニケーションの社会学 カルチュラルスタディーズ セクシュアリティの社会学 身体の社会学 *4単位以上、所属コースの科目を修得すること													
		国際社会と ネットワーク			地域とコミュニティの社会学 都市社会学 歴史社会学 グローバリゼーションの社会学 観光人類学													
学部共通科目	選択0単位 以上	選択 8単位	社会学理論のフロンティア メディア社会学 コミュニケーション理論 音楽文化の社会学															
全学対象 専門科目	選択上限 8単位	選択 4単位	経済学部・人文学部開講の専門科目の一部															
合計	124単位以上	126単位	23単位	25単位	22単位	26単位	12単位	10単位	4単位	4単位								

■卒業要件に含まれる単位を、124単位以上を修得すること。 ■専門科目は96単位以上を修得すること。

*特記があるもの以外は1科目2単位 *斜体:必修科目

◆社会学科履修モデル3:「国際社会とネットワーク」コースでグローバルな視野から社会問題を探究する！

区分	卒業要件	本モデルでの 修得単位数	1年次				2年次				3年次				4年次			
			春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期	
			Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2
総合科目	選択 20単位	選択 20単位	キャリア デザイン論A				キャリア デザイン論B				インターンシップ 特講* 1単位 インターンシップ* 1単位							
			データマイニング入門 スポーツ実践(1)ラクゼーション&ウォーキング*1単位 スポーツ実践(卓球)*1単位 グローバル時代の歴史認識 国際社会における紛争と協調 経済ニュース・リーディング 数学の世界															
外国語科目 ※選択外国語から8単 位を上限として総合科 目の単位に含めること ができる	必修8単位: 必修外国語 (英語)6、 選択外国語 2	必修 6単位 選択 4単位	英語I*1単位 英語I*1単位	英語I*1単位 英語I*1単位	英語I*1単位 英語I*1単位	英語II*1単位	英語II*1単位					外国語現地実習 (中国語)1						
			中国語入門1* 1単位	中国語入門2* 1単位														
専門科目	ゼミ科目	必修 20単位	必修20単位	社会学初年次 基礎ゼミ	社会学初年次 応用ゼミ	社会学方法論ゼミ	社会学方法論ゼミ	社会学 専門ゼミ1	社会学 専門ゼミ2	社会学卒業 研究ゼミ* 4単位	卒業論文* 4単位							
	理論科目	必修4単位、 選択0単位 以上	必修4単位、 選択4単位	社会学原論A	社会学原論B	社会学文献講読A 社会学外書講読												
	方法科目	必修 6単位	必修6単位	コンピューティング 基礎(2/週2)* Spr1またはSpr2 で履修														
		選択6単位 以上	選択 12単位	社会調査方法論基礎1:社会調査方法論基礎2		量的社会調査方法論 質的社会調査方法論 参与観察調査方法論 社会統計学1 社会統計学2 コンピューティング応用A												
	展開科目	社会問題とエン パワーメント	選択 28単位以上	選択 36単位	社会問題の社会学 人口問題の社会学 不平等の社会学													
		文化とアイデ ンティティ			文化人類学 アイデンティティの社会学 文化の社会学 カルチュラルスタディーズ													
		国際社会と ネットワーク			ネットワークの社会学 地域とコミュニティの社会学 政治社会学 都市社会学 社会運動論 環境社会学 歴史社会学 グローバリゼーションの社会学 エスニシティの社会学 ナショナルイズムの社会学 観光人類学 *4単位以上、所属コースの科目を修得すること													
学部共通科目	選択0単位 以上	選択 12単位	グローバル社会の諸相 ホットトピック特別講義 マスコミュニケーション論 コーポレート・コミュニケーション論 学部横断型課題解決プロジェクト*4単位															
全学対象 専門科目	選択上限 8単位	選択 2単位	経済学部・人文学部開講の専門科目の一部															
合計	124単位以上	126単位	25単位	23単位	20単位	26単位	18単位	6単位	4単位	4単位								

■卒業要件に含まれる単位を、124単位以上を修得すること。 ■専門科目は96単位以上を修得すること。

*特記があるもの以外は1科目2単位 *斜体:必修科目

4. 社会学科 総合科目

1. 目的と特徴

総合科目は幅広い教養と知識、豊かな人間性と良識、柔軟な思考力、判断力、そして創造的な実践力を養うことを目的としています。総合科目の特徴は、全学部および関係するセンターが協力して企画、運営している共通科目（スタンダード科目）であること、全学部の学生が同じ教室で受講することです。総合科目は、価値の多様化、異文化およびダイバーシティ理解、男女共同参画をはじめとする21世紀を生きる私たちが直面している状況や取り組むべき課題を具体的に意識して精選されたものです。

なお、それぞれの授業群における独自の目標を、以下のように定めています。

- (A) 情報とコミュニケーション : 情報化社会で学び、生活し、仕事をするための知識と力を養う
- (B) 歴史と文化 : 日本と世界各地の伝統文化や思想、宗教などへの理解を深める
- (C) 現代社会 : 政治、法、経済、社会構造など、多様な視点から現代をとらえる
- (D) 自然と環境 : 地球環境や生物環境の基礎知識を身につけ、自然と人間の共生を考える
- (E) 心と体 : 人間の心と体をトータルにとらえ、健康づくりのスキルと姿勢を身につける
- (F) ライフマネジメントとキャリアデザイン : 大学卒業後の進路に夢を描き、具体化するための力を養う

2. 学年配当

ほとんどの科目は1年次から4年次までいつでも履修できますが、学年が限定されている科目も一部にありますので、一覧表をよく確認してください。

3. 授業科目の編成、分類、単位数など

総合科目は6分野（A～F）からなり、それぞれの授業科目は講義セクションと実践セクションに分かれています。講義セクションには総合的内容の講義（講義科目）が置かれ、実践セクションには演習・実習・実技・実験その他の体験授業（実践科目）が置かれています。講義セクションで得た知識を実践的レベルでも追究したい場合に実践セクションの科目を履修すると効果的です。

それぞれの分野は、知と実践（知ることと行うこと）の循環・統合を実感できるように構成されています。ただし、総合科目の授業内容は、一部のセット科目を除いてそれぞれ独立していますので、各人の興味と必要に応じて、セクションを気にせずに個々に履修することもできます。総合科目の授業はすべて1セメスターで完結します。なお、週に複数回の授業が行われる科目もあります。また、単位数については授業の密度や学修時間に応じて1単位・2単位の区別があります。一覧表をよく確認してください。

4. 修得すべき単位数

6分野（A～F）からセクションを問わず最低2単位を修得し（計12単位）、かつ分野を問わずさらに8単位以上修得しなければなりません（総合科目全体として合計20単位以上が卒業に必要な条件です）。なお、選択外国語を8単位まで「分野を問わない8単位」に含めることができます。

なお、総合科目を最低条件以上に履修した場合は自由科目の扱いになります。また、同一科目（同一名称の科目）を履修した場合、二度目以降は自由科目の扱いになります。ただし、同一名称でありながら記号や番号で区別がなされている科目は別科目（重複履修とはならない科目）であるケースがあるので、その扱いについては教務課に問い合わせてください。

区分	修得すべき単位数	詳細		注意
総合科目	20単位	(A) 情報とコミュニケーション	2単位以上	・各分野最低2単位（合計12単位）と分野を問わず8単位、合わせて20単位を修得すること。
		(B) 歴史と文化	2単位以上	
		(C) 現代社会	2単位以上	
		(D) 自然と環境	2単位以上	
		(E) 心と体	2単位以上	・「分野を問わない8単位」の中に、選択外国語を8単位まで算入できる。
		(F) ライフマネジメントとキャリアデザイン	2単位以上	

5. 「(E) 心と体」分野のスポーツ実践

総合科目のうち、**スポーツ実践**を履修する際には以下の事項に注意してください。

- ① 成績評価にあたっては、授業への出席数および履修態度（平常点）を主要なものとし、欠席数が多い場合や履修態度が著しく悪い場合は不合格となり、単位の認定が行われません。ただし、特別な事情がある場合は別に考慮することがあるので、その旨を申し出てください。
- ② 健康診断を受けていない場合は、速やかに大学保健室および身体運動科学研究室に申し出て、指示を受けてください。健康診断では、健康状態をはじめ、疾病・異常の有無を確認しています。スポーツ活動、身体活動を通して、健康の維持増進を図るためにも、自身の健康状態を把握しておくことは非常に重要です。
- ③ スポーツ実践は実技です。必ず運動に適した服装で授業を受けてください。
- ④ 実技科目であるため、履修者数を制限します。なお、第1回目の集合場所および履修登録に関する事項が3S掲示されますので、見落としのないように注意してください。

6. 実践セクションの特殊な履修手続きについて

実践セクションの授業のうちF群の「海外フィールド実習」は、通常の履修登録の手続きとは異なり、ガイダンスを実施するなどしたのちに、授業担当者に直接履修登録の申請を行います。通常の履修登録期間・履修取消期間外に行われるため、履修取消の対象外ですので、注意してください。

5. 社会学科 外国語科目

外国語科目は、グローバル時代における多言語多文化社会の要請にかなった外国語運用能力を養うことを目的としています。必修外国語（英語）と選択外国語に分かれ、英語をはじめとする各種の外国語の力を磨くことができます。外国語科目は学部が定めたカリキュラムにしたがって、履修していきます。また、外国語科目は特に出席が重視され、授業回数の3分の1以上を欠席した場合、単位が与えられません。

1. 必修外国語（英語）

必修外国語（英語）は6科目6単位を修得しなければなりません。

1年次に4科目4単位、2年次に2科目2単位が配当されており、必ず、自分の配属されているクラスで履修しなければなりません。

（1）1年次配当の必修外国語（英語）

1年次の必修外国語（英語）は、総合と会話に大別され、到達度別クラスに分かれます。4授業について、それぞれ指定された、社会学部・経済学部・人文学部合同のクラスで履修しなければなりません。総合は30名以下、会話は20名以下で編成されます。

クラス配属は開講前に3Sで指示します。

科目名	クラス名	備考
英語Ⅰ [1]	総合…春学期	[1] [3] は春学期、[2] [4] は秋学期を示す。
英語Ⅰ [2]	総合…秋学期	
英語Ⅰ [3]	会話…春学期	
英語Ⅰ [4]	会話…秋学期	

（2）2年次配当の必修外国語（英語）

英語Ⅱでは複数の授業内容（復習・講読・英会話・TOEIC®・映画等）のクラスが開講されますので、これらの中からひとつを選択します。ただし、希望者がクラス定員を上回った場合は、学内試験の成績を考慮して、クラスの所属を決定する場合があります。また希望者が極端に少ない場合は、メディア社会学科のクラスに編入する場合があります。1年次の6月に3Sで履修希望届を提出する必要がありますので、注意してください（詳細は3Sで別途指示します）。

（3）必修外国語（英語）の再履修

必修外国語（英語）の単位を修得できなかった場合は、翌年度に再度同一の科目を履修しなければなりません。クラスの配属は学年はじめに3Sで指示します。

英語学内試験（CASEC、EF SET）について

1年次生全員および2年次生の希望者を対象に実施します。自宅等から受験できるオンライン方式のテストです。1年次生は2年次英語クラスのクラス分けに使用することがありますので、必ず受験してください。また、2年次生も自らの英語力の把握に役立てるため、大学での英語学習の重要な軸として、このテストをぜひ受験してください（ただし、GDSの2年次生は受験必須とします）。詳細は3Sで別途指示します。

2. 選択外国語

選択外国語は、下記の表のなかから最低2単位を修得しなければなりません。2単位を超えて修得した選択外国語の単位は、8単位まで総合科目の修得単位に算入できます。

科目種別		1年次		2年次		3年次		4年次	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
選択外国語…2単位	社会学部 専用クラス	選択ドイツ語基礎 1/2 選択フランス語基礎 1/2 選択中国語基礎 1/2 選択韓国・朝鮮語基礎 1/2 選択イタリア語基礎 1/2 選択スペイン語基礎 1/2							
	全学共通クラス	イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング 1/2 イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ 1/2 ディスカッション・ディベート英語 1/2 クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ 1/2 ビジネス・コミュニケーション英語 1/2 イングリッシュ・ライティング・ワークショップ 1/2 プラクティカル・イングリッシュ 1/2 TOEIC 対策英語 1/2 中国語入門 1/2 韓国・朝鮮語入門 1/2 ドイツ語入門 1/2 フランス語入門 1/2 イタリア語入門 1/2 スペイン語入門 1/2 ロシア語入門 1/2 外国語現地実習（英語）1/2（2単位） 外国語現地実習（ドイツ語）1/2（2単位） 外国語現地実習（フランス語）1/2（2単位） 外国語現地実習（韓国・朝鮮語）1/2（2単位） 外国語現地実習（中国語）1/2（2単位） 日本語（コンプリートビギナー）1/2 日本語（入門）1/2 日本語（初級）1/2 日本語（初中級）1/2 日本語（中級）1/2 日本語（上級）1/2							
								中国語中級 1/2 中国語コミュニケーション 1/2 韓国・朝鮮語中級 1/2 韓国・朝鮮語コミュニケーション 1/2 ドイツ語中級 1/2 ドイツ語コミュニケーション 1/2 フランス語中級 1/2 フランス語コミュニケーション 1/2 イタリア語中級 1/2 イタリア語コミュニケーション 1/2 スペイン語中級 1/2 スペイン語コミュニケーション 1/2 ロシア語中級 1/2 ロシア語コミュニケーション 1/2	

選択外国語の履修は社会学部専用クラスと全学共通クラスに大別され、社会学部専用クラスの場合は事前に指定されたクラスで学び、全学共通クラスの場合は各自の時間割にあったクラスで学ぶことになります。

選択外国語は「中国語」「韓国・朝鮮語」「ドイツ語」「フランス語」「イタリア語」「スペイン語」「ロシア語」「プラクティカル・イングリッシュ」「イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング」「イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ」「ディスカッション・ディベート英語」「クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ」「ビジネス・コミュニケーション英語」「イングリッシュ・ライティング・ワークショップ」「TOEIC 対策英語」、そして各外国語の「現地実習」等から構成されています。

各外国語の「中級」や「コミュニケーション」の履修に際しては、原則として当該外国語の「基礎」（社会学部専用クラス）か、「入門」（全学共通クラス）の単位を修得していなければなりません。ただし、高等学校等で入学前に受けた授業が初級文法を含むと判断できた場合、入学1年目の学生でも申請によって履修登録を行うことができます。

(1) 履修上の重要な注意点

各言語における社会学部専用クラスの「基礎」と、全学共通クラスの「入門」は内容が重複するため、同じ外国語の「基礎」（社会学部専用クラス）と「入門」（全学共通クラス）を履修すると重複履修となり、片方が自由科目となりその単位が卒業単位として認められません。

(2) ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語、イタリア語、スペイン語の6外国語

社会学部専用クラスの「選択ドイツ語基礎 1/2」、「選択フランス語基礎 1/2」、「選択中国語基礎 1/2」、「選択韓国・朝鮮語基礎 1/2」、「選択イタリア語基礎 1/2」、「選択スペイン語基礎 1/2」の授業内容は主に文法読本です（詳細はシラバスを参照してください）。各言語末尾の1、2という数字は、1が春学期、2が秋学期を示しており、それぞれ1と2をセットで履修しなければなりません。

これらの外国語を履修した上で、さらに当該言語を習得したい場合、全学共通クラスに配置されている「中級」や「コミュニケーション」、「現地実習」等の履修を推奨します。また、「基礎」で単位修得した外国語以外の外国語を全学共通クラスの「入門」から学ぶことは可能です。

(3) 選択外国語の再履修

選択外国語の単位を修得できなかった場合は、同一科目を再度履修してもかまいませんし、他の外国語科目に切り替えて履修してもかまいません。

3. 外国語現地実習

「現地実習」は海外で行う語学の集中授業です。イギリス、オーストラリア、フィリピン、ドイツ、フランス、中国、台湾、韓国において、集中授業として実施します。実施時期が春季と夏季の2種類あり、春季集中授業は次年度の春学期科目、夏季集中授業は実施年度の秋学期科目となります。授業内容についてはシラバスを参照してください。

外国語現地実習の授業科目には、「外国語現地実習（英語）」、「外国語現地実習（ドイツ語）」、「外国語現地実習（フランス語）」、「外国語現地実習（中国語）」、「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）」があります。国際情勢によっては一部変更や中止となる可能性があります。

(1) 外国語現地実習の履修条件

外国語現地実習を履修するには、グローバル教育センターの定めた規則に従い、参加の手続をグローバル教育センターでとるとともに、履修の詳細、スケジュールに注意して履修登録をしなければなりません。規則を守れない場合、履修登録は完了せず、すでに登録していたとしても無効となりますので、十分注意してください。

(2) 外国語現地実習の履修の詳細

(5) 外国語現地実習のスケジュール（予定）を参照してください。各科目は履修取消制度および履修登録科目制限の対象外とします。なお、履修期に休学、退学をすると、単位認定は行われません。

(3) 外国語現地実習の成績評価

成績評価は「P」を合格とし、単位は2単位です。帰国後に提出するレポートと現地での学習成果に基づいて評価します。

(4) 外国語現地実習のガイダンス

履修を希望する場合はグローバル教育センターのガイダンスに出席してください。

(5) 外国語現地実習のスケジュール (予定)

① 春季集中授業スケジュール

単位認定を希望する4年次生の春季現地実習への参加は認められませんので、注意してください。

- 10月 グローバル教育センターによる募集ガイダンス
- 11～1月 参加・履修手続き書類をグローバル教育センターのルールに則り提出、各種ガイダンス、事前学習
- 2～3月 現地実習
- 4月 履修登録確認
(履修登録はグローバル教育センターに提出する手続き書類をもとに、教務課で事前に登録するので、各自、登録内容を確認してください。)
レポート提出
- 9月 成績確認

② 夏季集中授業スケジュール

- 4月 グローバル教育センターによる募集ガイダンス
- 5月～7月 参加・履修手続き書類をグローバル教育センターのルールに則り提出、各種ガイダンス、事前学習
- 8～9月 現地実習
レポート提出
- 9月 履修登録確認
(履修登録はグローバル教育センターに提出する手続き書類をもとに、教務課で事前に登録するので、各自、登録内容を確認してください。)
- 翌3月上旬 成績確認

6. 社会学科 専門科目

1. 専門科目の卒業単位

(1) 専門科目の卒業単位

専門科目は卒業時までには、96単位以上修得しなければなりません。ただし、この96単位の内訳は以下のものとなります。

ゼミ科目	(必修) 20 単位
理論科目	(必修) 4 単位
方法科目	(必修) 6 単位
	(選択) 6 単位
展開科目*	(選択) 28 単位
その他**	(選択) 32 単位

* 社会学科の展開科目に限る。展開科目の28単位には、所属コースから4単位以上を含まなければならない。

** 「その他」には以下の科目を含む。卒業要件として認められる単位数に上限が設けられている科目があるため注意すること。

必修以外の理論科目

必修以外の方法科目

展開科目

学部共通科目（「社会学原論A」を除くメディア社会学科の理論科目、メディア社会学科の展開科目、社会学部特講、「学部横断型課題解決プロジェクト」）

全学対象専門科目（上限8単位）

教職の教科に関する概説科目（上限4単位）

(2) 同一科目の重複履修

一度単位修得した科目を、再び履修（重複履修）する場合、卒業に必要な単位数に算入することはできません。二度目以降に修得した単位は、すべて自由科目として扱われます。

2. ゼミ科目

(1) ゼミ科目の授業

1年次の「社会学初年次基礎ゼミ」「社会学初年次応用ゼミ」は、ゼミ形式への習熟と社会学関連分野の基礎的理解のための科目です。

2年次の「社会学方法論ゼミ [春学期]・[秋学期]」で、社会学の研究方法を身につけ、3年次の「社会学専門ゼミ1」「社会学専門ゼミ2」でゼミ担当教員のもとで各自の研究を進め、4年次の「社会学卒業研究ゼミ」でさらに研究を深め、「卒業論文」で卒業研究の成果をまとめます。

(2) 必修科目

次の8科目20単位を必修科目として修得しなければなりません。

社会学初年次基礎ゼミ	(1年次春学期) 2 単位
社会学初年次応用ゼミ	(1年次秋学期) 2 単位
社会学方法論ゼミ [春学期]	(2年次春学期) 2 単位
社会学方法論ゼミ [秋学期]	(2年次秋学期) 2 単位
社会学専門ゼミ1	(3年次春学期) 2 単位
社会学専門ゼミ2	(3年次秋学期) 2 単位
社会学卒業研究ゼミ	(4年次春学期) 4 単位
卒業論文	(4年次秋学期) 4 単位

(3) 「社会学方法論ゼミ」の履修

1年次に行う「社会学方法論ゼミガイダンス」に出席の上、履修希望届を提出して下さい。

(4) 「社会学専門ゼミ1・2」の履修

「社会学専門ゼミ1」「社会学専門ゼミ2」を履修するためには、以下の条件を満たしていなければなりません。

- ① 外国語科目の「必修外国語（英語）」6単位のうち、4単位以上を修得していること。
- ② 次の7科目14単位を修得していること。

社会学原論 A

社会学原論 B

社会調査方法論基礎 1

社会調査方法論基礎 2

コンピューティング基礎

社会学初年次基礎ゼミ

社会学初年次応用ゼミ

- ③ 2年次に行う「社会学専門ゼミガイダンス」に出席の上、課題を提出し、ゼミ配属の許可を得ていること。

(5) 「社会学卒業研究ゼミ」の履修

「社会学卒業研究ゼミ」を履修するためには、次の3科目6単位を修得していなければなりません。

社会学方法論ゼミ [春学期]・[秋学期] (2科目4単位)

社会学専門ゼミ1 もしくは 社会学専門ゼミ2*

* 協定留学生・認定留学生については「9.協定留学生および認定留学生向けの各種案内」を参照してください。

(6) 「卒業論文」の履修条件

「卒業論文」を履修するためには、次の1科目4単位を修得していなければなりません。

社会学卒業研究ゼミ

「社会学専門ゼミ」「社会学卒業研究ゼミ」「卒業論文」のクラス(ゼミ)の変更について

3年次及び4年次のクラス(ゼミ)は、課題の提出等によって配属が決定したあとは、卒業まで、原則として変更できません。ただし、何らかの特別な事情がある場合には、クラス(ゼミ)の変更が認められることがあります。

クラス(ゼミ)の変更の詳細については、教務委員、教務委員長または教務課に相談してください。

3. 理論科目

(1) 必修科目

理論科目では、次の2科目4単位を必修科目として修得しなければなりません。

社会学原論 A (1年次春学期) 2単位

社会学原論 B (1年次秋学期) 2単位

(2) 選択科目

必修科目以外の理論科目から、選択科目を修得します。修得単位の上限は特に設けません。また理論科目から選択科目を修得しなくてもさしつかえありません。

4. 方法科目

(1) 方法科目の授業

方法科目は、社会学やメディア社会学の研究法の修得のために、社会学科、メディア社会学科に共通に開講されている科目です。

(2) 必修科目

方法科目では、次の3科目6単位を必修科目として修得しなければなりません。

コンピューティング基礎	(1年次 Spring 1 または Spring 2) 2 単位
社会調査方法論基礎 1	(1年次春学期) 2 単位
社会調査方法論基礎 2	(1年次秋学期) 2 単位

(3) 選択科目

必修科目以外の方法科目から、選択科目として6単位以上を修得しなければなりません。

5. 展開科目

(1) 展開科目の修得単位

展開科目はすべて選択科目です。

展開科目は1年次の必修科目学修を前提として、社会学の様々な分野・テーマについて深く掘り下げた学修を行うためのものです。社会学科の学生が展開科目として履修できるのは、社会学科の展開科目のみです。

社会学科の展開科目から、28単位以上を修得しなければなりません。また、この28単位には、各自の所属コースから修得した2科目(4単位)以上を含まなければなりません。

(2) 展開科目の1年次履修

展開科目の履修年次は原則として2～4年次ですが、1年次にも4科目8単位まで履修することができます。

6. 学部共通科目

学部共通科目は、「社会学原論 A」を除くメディア社会学科の理論科目、メディア社会学科の展開科目、社会学部特講、「学部横断型課題解決プロジェクト」から構成されます。学部共通科目はすべて選択科目です。

学部共通科目には、修得単位の上限は特に設けません。また学部共通科目から選択科目を修得しなくてもさしつかえありません。

7. 教職の教科に関する概説科目

教職の教科に関する概説科目はすべて選択科目です。教職の教科に関する概説科目は、4単位を上限として卒業単位に算入することができます。なお、教職の教科に関する概説科目から選択科目を修得しなくてもさしつかえありません。

8. 全学対象専門科目

全学対象専門科目はすべて選択科目です。

全学対象専門科目は、8単位を上限として卒業単位に算入することができます。なお、全学対象専門科目から選択科目を修得しなくてもさしつかえありません。

9. 卒業論文に向けての準備

卒業論文作成の準備のために、卒業論文構想と卒業論文題目届の提出を行います。

卒業論文構想は、以下の日時に受け付けます。
当該年度学事日程を確認してください

卒業論文題目届は、以下の期間に受け付けます。
当該年度学事日程を確認してください

10. 卒業論文の予備提出について

- * 科目名の表記：「卒業論文」と記載しています。
- * 提出物の表記：卒業論文の予備提出、卒業論文と記載しています。

(1) 卒業論文の予備提出

卒業論文の作成を計画的に行うために、卒業論文の予備提出を行います。「卒業論文」を再履修する度に、卒業論文の予備提出を提出する必要があります。

(2) 卒業論文の予備提出の提出資格

卒業論文の予備提出の提出資格は、「卒業論文」を履修していることです。

(3) 提出上の注意

卒業論文の予備提出は、以下の日時に受け付けます。
当該年度学事日程を確認してください

書式・提出形式に不備がないよう、十分に確認の上、極力提出日1日目に提出してください。提出日2日目に提出する場合は、修正等を考慮して、締め切り間際の提出は避け、正午を目途に提出してください。

(4) 手続きの問い合わせ

卒業論文の予備提出に関する事務上の手続きについての問い合わせは、教務課窓口で受け付けます。

11. 卒業論文について

(1) 卒業論文の提出資格

卒業論文の提出資格は、「卒業論文」を履修しており、卒業論文の予備提出を行っていることです。

(2) 提出上の注意

卒業論文の提出は、以下の日時に受け付けます。
当該年度学事日程を確認してください

書式・提出形式に不備がないよう、十分に確認の上、極力提出日1日目に提出してください。提出日2日目に提出する場合は、修正等を考慮して、締め切り間際の提出は避け、正午を目途に提出してください。

提出日2日目15時以降は受理しません。

なお、文献やウェブサイトなどからの剽窃等の不正行為があった場合には、卒業論文が提出されていても不合格となり、単位修得はできません。

(3) 評価方法

卒業論文は、主査・副査の教員による厳正な査読の後、口述審査を経て、評価が決定されます。

ゼミ科目「卒業論文」の評価は、以下4点を総合して評価されます。

- ① 授業への参加
- ② 卒業論文の予備提出
- ③ 卒業論文
- ④ 卒業論文に関する口述審査

(4) 手続きの問い合わせ

卒業論文の提出に関する事務上の手続きについての問い合わせは、教務課窓口で受け付けます。

今後の新型コロナウイルス感染症等の影響次第で、履修要項に記載の提出要領から変更になる可能性があります。
提出方法の詳細は3S 掲示で案内するので、よく確認してください。

卒業論文の予備提出 提出要領

体裁	<ul style="list-style-type: none"> 判型：白色無地の A4 判を縦長に使い、横書きすること。 内容：①表紙、②目次、③本文（注を含む）、④参考文献、⑤巻末付録（必要な場合のみ）の順で書くこと。 レイアウト：読みやすい字間・行間の設定をこころがけること。
書式	<ul style="list-style-type: none"> ページ番号：上記③本文と④参考文献には各ページ下に通しのページ番号を入れること。 表紙：学籍番号、氏名、タイトル、指導教授氏名、ゼミ担当教員氏名を記すこと。 目次：章・節（必要に応じ「項」も）のレベルで詳細に記すこと。複数ページにわたってもかまわない。 書式の詳細：表紙・目次・本文の書式（引用参照表記・図表・注などを含む）・参考文献・巻末付録などの詳細については担当教員の指示に従うこと。 総字数の記載：参考文献の末尾に、必ず総字数を記すこと。なお、総字数には、巻末付録は含まない。
分量	<ul style="list-style-type: none"> 6,000 字以上。 本文と参考文献をカウントすること。巻末付録はこれに含まない。図表の文字数の扱いについては、担当教員の指示に従うこと。
提出方法	3S「課題提出」（10MB 未満）から提出すること。それ以外の提出方法を選択する場合は、後日 3S に掲示する指示に従うこと。
締切	当該年度学事日程を確認してください

※ 9 月卒業の場合は、締切が 3 月卒業と異なります。当該年度学事日程を確認してください。

卒業論文 提出要領

体裁	<ul style="list-style-type: none"> 判型：白色無地の A4 判を縦長に使い、横書きすること。 内容：①表紙、②論文要約、③目次、④本文（注を含む）、⑤参考文献、⑥巻末付録（必要な場合のみ）の順で書くこと。 レイアウト：読みやすい行間・字間の設定をこころがけること。
書式	<ul style="list-style-type: none"> ページ番号：上記④本文と⑤参考文献には各ページ下に通しのページ番号を入れること。 表紙：学籍番号、氏名、タイトル、指導教授氏名、ゼミ担当教員氏名を記すこと。 論文要約の分量：800～1,200 字程度とする。 目次：章・節（必要に応じ「項」も）のレベルで詳細に記すこと。複数ページにわたってもかまわない。 書式の詳細：表紙・目次・本文の書式（引用参照表記・図表・注などを含む）・参考文献・巻末付録などの詳細については担当教員の指示に従うこと。 総字数の記載：参考文献の末尾に、必ず総字数を記すこと。なお、総字数には、論文要約・巻末付録は含まない。
分量	<ul style="list-style-type: none"> 20,000 字以上。 本文と参考文献のみカウントすること。論文要約、巻末付録はこれに含まない。図表の文字数の扱いについては、担当教員の指示に従うこと。
提出方法	3S「課題提出」（10MB 未満）から提出すること。それ以外の提出方法を選択する場合は、後日 3S に掲示する指示に従うこと。
締切	当該年度学事日程を確認してください

※ 9 月卒業の場合は、締切が 3 月卒業と異なります。当該年度学事日程を確認してください。

12. その他

(1) 専門科目の重複履修（自由科目）

同一科目を各自の関心や必要に応じて重複履修した場合は、二度目以降は自由科目となり、卒業に必要な単位に算入することはできません。

なお、重複履修により単位修得した場合、二度目以降の評価も成績表に併記され、GPA にも反映されます。卒業に必要な修得単位に誤って数えないよう十分に注意してください。

また、重複履修科目も、年間履修登録単位制限（年間 48 単位まで）のカウントに含まれます。

社会科学卒業までの4年間

各項目の詳細(様式・配布日・提出日・提出方法など)は3Sで掲示します。また年度初めのガイダンスにて指示します。

1年次	<p>4月 英語クラス分け試験</p> <p>4月 ガイダンス</p> <p>6月 2年次必修外国語(英語)・選択外国語履修希望届提出</p> <p>11月 EF SET (オンライン)</p> <p>12月 CASEC テスト (オンライン)</p> <p>12月 「社会学方法論ゼミ」ガイダンス出席</p> <p>12～1月 「社会学方法論ゼミ」履修希望届提出</p> <p>12月 専攻コース届提出</p> <p>1月 シャカリキフェスティバル</p>
2年次	<p>4月 ガイダンス</p> <p>4月 「社会学方法論ゼミ」配属発表</p> <p>10月 「社会学専門ゼミ」ガイダンス出席</p> <p>11月 「社会学専門ゼミ」課題提出</p> <p>11月 「社会学専門ゼミ」1次採否発表</p> <p>11月 EF SET (オンライン)</p> <p>12月 CASEC テスト (オンライン)</p> <p>11～1月 「社会学専門ゼミ」配属決定</p> <p>1月 シャカリキフェスティバル</p>
3年次	<p>4月 ガイダンス</p> <p>1月 卒業論文構想提出</p> <p>1月 シャカリキフェスティバル</p>
4年次	<p>4月 ガイダンス</p> <p>4月 卒業論文題目届提出</p> <p>9月 卒業論文の予備提出</p> <p>12月 卒業論文の提出</p> <p>1月 卒業論文の口述審査</p> <p>1月 シャカリキフェスティバル</p> <p>3月 卒業要件充足者の発表</p> <p>3月 卒業式(22日)</p>

※9月卒業の場合は、4年次の日程は上記とは異なるので、3Sや下記日程を確認してください。

【注意】9月卒業の場合の卒業論文の予備提出・卒業論文の提出日程

・卒業論文の予備提出の日時(9月卒業)

9月卒業の場合の卒業論文の予備提出は、以下の日時に受け付けます。
当該年度学事日程を確認してください

書式・提出形式に不備がないよう、十分に確認の上、極力提出日1日目に提出してください。提出日2日目に提出する場合は、修正等を考慮して、締め切り間際の提出は避け、正午を目途に提出してください。

・卒業論文の提出日時(9月卒業)

9月卒業の場合の卒業論文の提出は、以下の日時に受け付けます。
当該年度学事日程を確認してください

・卒業論文の予備提出・卒業論文の提出上の注意、評価方法等(9月卒業)

書式・提出形式に不備がないよう、十分に確認の上、極力提出日1日目に提出してください。提出日2日目に提出する場合は、修正等を考慮して、締め切り間際の提出は避け、正午を目途に提出してください。

提出日2日目15時以降は受理しません。

卒業論文の予備提出、卒業論文とも、提出資格、提出上の注意、評価方法等については、3月卒業の場合(28頁)に準じます。

7. 社会科学 全科目一覧

1. 総合科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考	
(A) 情報とコミュニケーション	講義	GEO2010	他者理解とコミュニケーション	2	1～4	講義	
		GEO2020	情報技術と人間社会	2	1～4	講義	
		GEO2030	知識社会の情報学	2	1～4	講義	
		GEO2040	データ分析の基礎	2	1～4	講義	
		GEO2050	データ分析の応用	2	1～4	講義	
		GEO2060	Information Technology and Global Communication	2	1～4	講義	* ※ (1)
	実践	GEO1010	表現技法とインタラクション	2	1～4	演習	
		GEO1020	問題解決とコンピューティング	2	1～4	演習	
		GEO1030	デジタル協働学	2	1～4	演習	
		GEO1040	データマイニング入門	2	1～4	演習	
		GEO1050	インターネット・イングリッシュ	2	1～4	演習	
		GEO1060	クリエイティブ・ライティング	2	1～4	演習	
		GEO1070	アカデミック・ディベート	2	1～4	演習	
		GEO1080	クリティカル・シンキング	2	1～2	演習	※ (2)
(B) 歴史と文化	講義	GEB02100	Introduction to Critical Thinking	2	1～4	演習	◆ ※ (2) ◆ ※ (3)
		GEB02010	グローバル時代の歴史認識	2	1～4	講義	
		GEB02020	20世紀の世界	2	1～4	講義	
		GEB02030	20世紀の日本	2	1～4	講義	
		GEB02040	社会思想の歴史	2	1～4	講義	*
		GEB02050	人文学入門	2	1～4	講義	◆ 遡及適用科目 2022年度より新設
		GEB02050	世界の言語と文化	2	1～4	講義	◆
		GEB02060	日本と世界の宗教	2	1～4	講義	
		GEB02070	日本の伝統と文化	2	1～4	講義	
		GEB02080	現代世界の人と生活	2	1～4	講義	
	GEB02090	多文化共生の現在	2	1～4	講義		
	GEB02100	Japan in the Modern World	2	1～4	講義	* ※ (1) 遡及適用科目 2022年度より新設	
	GEB02110	Introduction to Race, Ethnicity and Nation	2	1～4	講義	* ※ (1) 遡及適用科目 2022年度より新設	
	GEB02100	Introduction to Global History	2	1～4	講義	◆ ※ (1)	
実践	GEB01010	世界の名著	2	1～4	演習		
	GEB01020	日本の名著	2	1～4	演習		
	GEB01030	文化財リサーチプロジェクト	2	1～4	演習		
	GEB01040	学園史 100年プロジェクト	2	1～4	演習	◆	
	GEB01060	International Relations (a)	4	1～2	演習	* ※ (4) 「International Relations」の単位を修得した者は重複履修となります	
	GEC02010	日本国憲法	2	1～4	講義		
(C) 現代社会	講義	GEC02020	現代社会と政治	2	1～4	講義	
		GEC02030	現代社会と法	2	1～4	講義	
		GEC02040	現代社会と経済	2	1～4	講義	*
		GEC02050	現代社会と人権	2	1～4	講義	
		GEC02060	現代社会と環境	2	1～4	講義	◆
		GEC02070	現代社会とジェンダー	2	1～4	講義	*
		GEC02080	現代社会とアート	2	1～4	講義	*
		GEC02090	国際社会における紛争と協調	2	1～4	講義	*
		GEC02100	グローバルイズムと21世紀	2	1～4	講義	*
		GEC02110	現代日本の課題	2	1～4	講義	
		GEC02120	Introduction to Global Studies	2	1～4	講義	◆ ※ (1)
		GEC02130	Understanding the Contemporary Global Economy	2	1～4	講義	◆ ※ (1)
		GEC02140	Introduction to Human Rights	2	1～4	講義	* ※ (1)
	GEC02150	Introduction to Gender and Sexuality Studies	2	1～4	講義	◆ ※ (1) 遡及適用科目 2022年度より新設	
実践	GEC01010	経済ニュース・リーディング	2	1～4	演習	◆	
	GEC01020	人権ワークショップ	2	1～4	演習	◆	
	GEC01030	現代アート・ワークショップ	2	1～4	演習		
	GEC01060	Politics (a)	4	1～2	演習	* ※ (4)「Politics」の単位を修得した者は重複履修となります	
	GEC01050	Sociology	4	1～4	演習	◆ ※ (2)	

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
講義	GED02010	地球の自然史	2	1～4	講義	
	GED02020	地球環境	2	1～4	講義	
	GED02030	人間と環境	2	1～4	講義	
	GED02040	数学の世界	2	1～4	講義	
	GED02050	自然と生活のなかの物理	2	1～4	講義	
	GED02060	化学と現代社会	2	1～4	講義	
	GED02070	生命の進化	2	1～4	講義	
	GED02080	人の進化	2	1～4	講義	
	GED02090	人間と科学技術の歩み	2	1～4	講義	
	GED02100	先進の科学技術	2	1～4	講義	
	GED02110	Global Environmental Issues	2	1～4	講義	* ※ (1)
	GED02120	Introduction to Human Geography	2	1～4	講義	* ※ (1)
実践	GED01010	武蔵・環境フィールドワーク	2	1～4	演習	
	GED01020	サイエンスラボ集中講座 A	2	1～4	演習	「自然科学集中プロジェクト A」の単位を修得した者は重複履修となります 遡及適用科目 2022 年度より新設
	GED01030	サイエンスラボ集中講座 B	2	1～4	演習	「自然科学集中プロジェクト B」の単位を修得した者は重複履修となります 遡及適用科目 2022 年度より新設
	GED01050	サイエンスラボ講座 (物理学) A	2	1～4	演習	「物理学ラボワーク A」の単位を修得した者は重複履修となります 遡及適用科目 2022 年度より新設
	GED01060	サイエンスラボ講座 (物理学) B	2	1～4	演習	「物理学ラボワーク B」の単位を修得した者は重複履修となります 遡及適用科目 2022 年度より新設
	GED01070	サイエンスラボ講座 (化学) A	2	1～4	演習	「化学ラボワーク A」の単位を修得した者は重複履修となります 遡及適用科目 2022 年度より新設
	GED01080	サイエンスラボ講座 (化学) B	2	1～4	演習	「化学ラボワーク B」の単位を修得した者は重複履修となります 遡及適用科目 2022 年度より新設
	GED01090	サイエンスラボ講座 (生物学) A	2	1～4	演習	「生物学ラボワーク A」の単位を修得した者は重複履修となります 遡及適用科目 2022 年度より新設
	GED01100	サイエンスラボ講座 (生物学) B	2	1～4	演習	「生物学ラボワーク B」の単位を修得した者は重複履修となります 遡及適用科目 2022 年度より新設
	GED06010	自然科学集中プロジェクト A	1	1～4	実習	◆
	GED06020	自然科学集中プロジェクト B	1	1～4	実習	◆
	GED06030	物理学ラボワーク A	1	1～4	実験・講義	◆
	GED06040	物理学ラボワーク B	1	1～4	実験・講義	◆
	GED06050	化学ラボワーク A	1	1～4	実験・講義	◆
	GED06060	化学ラボワーク B	1	1～4	実験・講義	◆
	GED06070	生物学ラボワーク A	1	1～4	実験・講義	◆
	GED06080	生物学ラボワーク B	1	1～4	実験・講義	◆
	GED01040	Mathematics and Statistics (a)	4	1～2	演習	※ (4) 「Mathematics and Statistics」の単位を修得した者は重複履修となります
GED01050	Pure Mathematics (a)	4	1～2	演習	※ (4) ◆ 「Pure Mathematics」の単位を修得した者は重複履修となります	

(D)自然と環境

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考	
(E)心と体	講義	GEE02010	2	1～4	講義		
		GEE02020	2	1～4	講義		
		GEE02030	2	1～4	講義		
		GEE02040	2	1～4	講義		
		GEE02050	2	1～4	講義		
		GEE02060	2	1～4	講義		
		GEE02070	2	1～4	講義		
		GEE02080	2	1～4	講義	※ (1)	
	実践	GEE01010	2	1～4	演習		
		GEE01020	2	1～4	演習		
		GEE06010	1	1～4	実技		
		GEE06020	1	1～4	実技	*	
		GEE06030	1	1～4	実技		
		GEE06040	1	1～4	実技		
		GEE06050	1	1～4	実技		
		GEE06060	1	1～4	実技		
		GEE06070	1	1～4	実技	*	
		GEE06080	1	1～4	実技		
		GEE06090	1	1～4	実技		
		GEE06100	1	1～4	実技		
		GEE06110	1	1～4	実技		
		GEE06120	1	1～4	実技		
		GEE06130	1	1～4	実技	*	
		GEE06140	1	1～4	実技	*	
	(F)キャリアデザインと ライフマネジメントと	講義	GEF02010	2	1～4	講義	
			GEF02020	2	1～4	講義	
			GEF02030	2	1～4	講義	
			GEF22010	2	2～4	講義	
GEF02040			2	1～4	講義		
GEF02050			2	1～4	講義		
GEF02060			2	1～4	講義	※ (1)	
実践		GEF21010	2	2～4	演習		
		GEF31010	1	3・4	演習		
		GEF36010	1	3・4	実習		
		GEF01010	2	1～4	演習	◆	
		GEF06010	1	1～4	実習	*	
		GEF01040	4	1～2	演習	※ (4) 「Economics」の単位を修得した者は、重複履修となります	
		GEF01050	4	1～2	演習	※ (4)	

注意事項

- ※ (1) 授業で用いられる主要言語は英語です。授業内容をシラバスで良く確認したうえで、履修を決定して下さい。
- ※ (2) 原則として社会学部のグローバル・データサイエンスコース所属者の履修を優先します。
- ※ (3) 原則として人文学部のグローバル・スタディーズコース (英語プログラム) 所属者の履修を優先します。
- ※ (4) PDP 科目およびその関連科目となります。履修にあたり、IELTS overall 5.5 以上 (各項目 5.0 以上) の取得および、ロンドン大学への登録が必要となります。
これらの科目は週 2 回、英語で行われます。詳しくは教務課で確認して下さい。

2. 外国語科目

[必修外国語]

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
LEN16010	英語Ⅰ(総合)[春学期]	1	1	実習(外国語)	
"	英語Ⅰ(総合)[秋学期]	1	1	実習(外国語)	
"	英語Ⅰ(会話)[春学期]	1	1	実習(外国語)	
"	英語Ⅰ(会話)[秋学期]	1	1	実習(外国語)	
LEN26010	英語Ⅱ[春学期]	1	2	実習(外国語)	
"	英語Ⅱ[秋学期]	1	2	実習(外国語)	

[選択外国語]

◇社会学部専用クラス

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
LGE16021	選択ドイツ語基礎1	1	1	実習(外国語)	
LGE16022	選択ドイツ語基礎2	1	1	実習(外国語)	
LFR16021	選択フランス語基礎1	1	1	実習(外国語)	
LFR16022	選択フランス語基礎2	1	1	実習(外国語)	
LIA16021	選択イタリア語基礎1	1	1	実習(外国語)	
LIA16022	選択イタリア語基礎2	1	1	実習(外国語)	
LSP16021	選択スペイン語基礎1	1	1	実習(外国語)	
LSP16022	選択スペイン語基礎2	1	1	実習(外国語)	
LCH16021	選択中国語基礎1	1	1	実習(外国語)	
LCH16022	選択中国語基礎2	1	1	実習(外国語)	
LKO16021	選択韓国・朝鮮語基礎1	1	1	実習(外国語)	
LKO16022	選択韓国・朝鮮語基礎2	1	1	実習(外国語)	

◇全学共通クラス

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
LEN26011	ブラクティカル・イングリッシュ1	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26012	ブラクティカル・イングリッシュ2	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26021	イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング1	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26022	イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング2	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26031	イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ1	1	1~4	実習(外国語)	*
LEN26032	イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ2	1	1~4	実習(外国語)	*
LEN26041	ディスカッション・ディベート英語1	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26042	ディスカッション・ディベート英語2	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26051	クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ1	1	1~4	実習(外国語)	*
LEN26052	クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ2	1	1~4	実習(外国語)	*
LEN26061	ビジネス・コミュニケーション英語1	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26062	ビジネス・コミュニケーション英語2	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26071	イングリッシュ・ライティング・ワークショップ1	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26072	イングリッシュ・ライティング・ワークショップ2	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26081	TOEIC 対策英語1	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26082	TOEIC 対策英語2	1	1~4	実習(外国語)	
LGE16031	ドイツ語入門1	1	1~4	実習(外国語)	
LGE16032	ドイツ語入門2	1	1~4	実習(外国語)	
LGE26021	ドイツ語中級1	1	2~4	実習(外国語)	*
LGE26022	ドイツ語中級2	1	2~4	実習(外国語)	*
LGE26031	ドイツ語コミュニケーション1	1	2~4	実習(外国語)	*
LGE26032	ドイツ語コミュニケーション2	1	2~4	実習(外国語)	*
LFR16031	フランス語入門1	1	1~4	実習(外国語)	
LFR16032	フランス語入門2	1	1~4	実習(外国語)	
LFR26021	フランス語中級1	1	2~4	実習(外国語)	*
LFR26022	フランス語中級2	1	2~4	実習(外国語)	*
LFR26031	フランス語コミュニケーション1	1	2~4	実習(外国語)	*
LFR26032	フランス語コミュニケーション2	1	2~4	実習(外国語)	*
LIA16031	イタリア語入門1	1	1~4	実習(外国語)	
LIA16032	イタリア語入門2	1	1~4	実習(外国語)	
LIA26011	イタリア語中級1	1	2~4	実習(外国語)	*
LIA26012	イタリア語中級2	1	2~4	実習(外国語)	*
LIA26021	イタリア語コミュニケーション1	1	2~4	実習(外国語)	*
LIA26022	イタリア語コミュニケーション2	1	2~4	実習(外国語)	*
LRU16011	ロシア語入門1	1	1~4	実習(外国語)	
LRU16012	ロシア語入門2	1	1~4	実習(外国語)	
LRU26011	ロシア語中級1	1	2~4	実習(外国語)	*
LRU26012	ロシア語中級2	1	2~4	実習(外国語)	*

第1章 授業科目の履修

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
LRU26021	ロシア語コミュニケーション1	1	2～4	実習(外国語)	*
LRU26022	ロシア語コミュニケーション2	1	2～4	実習(外国語)	*
LSP16031	スペイン語入門1	1	1～4	実習(外国語)	
LSP16032	スペイン語入門2	1	1～4	実習(外国語)	
LSP26021	スペイン語中級1	1	2～4	実習(外国語)	*
LSP26022	スペイン語中級2	1	2～4	実習(外国語)	*
LSP26031	スペイン語コミュニケーション1	1	2～4	実習(外国語)	*
LSP26032	スペイン語コミュニケーション2	1	2～4	実習(外国語)	*
LCH16031	中国語入門1	1	1～4	実習(外国語)	
LCH16032	中国語入門2	1	1～4	実習(外国語)	
LCH26021	中国語中級1	1	2～4	実習(外国語)	*
LCH26022	中国語中級2	1	2～4	実習(外国語)	*
LCH26031	中国語コミュニケーション1	1	2～4	実習(外国語)	*
LCH26032	中国語コミュニケーション2	1	2～4	実習(外国語)	*
LKO16031	韓国・朝鮮語入門1	1	1～4	実習(外国語)	
LKO16032	韓国・朝鮮語入門2	1	1～4	実習(外国語)	
LKO26021	韓国・朝鮮語中級1	1	2～4	実習(外国語)	*
LKO26022	韓国・朝鮮語中級2	1	2～4	実習(外国語)	*
LKO26031	韓国・朝鮮語コミュニケーション1	1	2～4	実習(外国語)	*
LKO26032	韓国・朝鮮語コミュニケーション2	1	2～4	実習(外国語)	*
LEN06010	外国語現地実習(英語)1	2	1～4	実習	
LEN06020	外国語現地実習(英語)2	2	1～4	実習	
LGE06010	外国語現地実習(ドイツ語)1	2	1～4	実習	
LGE06020	外国語現地実習(ドイツ語)2	2	1～4	実習	
LFRO6010	外国語現地実習(フランス語)1	2	1～4	実習	
LFRO6020	外国語現地実習(フランス語)2	2	1～4	実習	
LCH06010	外国語現地実習(中国語)1	2	1～4	実習	
LCH06020	外国語現地実習(中国語)2	2	1～4	実習	
LKO06010	外国語現地実習(韓国・朝鮮語)1	2	1～4	実習	
LKO06020	外国語現地実習(韓国・朝鮮語)2	2	1～4	実習	
LJA16020	日本語(コンプリートビギナー)1	1	1～4	実習(外国語)	*
LJA16030	日本語(コンプリートビギナー)2	1	1～4	実習(外国語)	*
LJA16040	日本語(入門)1	1	1～4	実習(外国語)	*
LJA16050	日本語(入門)2	1	1～4	実習(外国語)	*
LJA26010	日本語(初級)1	1	1～4	実習(外国語)	
LJA26020	日本語(初級)2	1	1～4	実習(外国語)	
LJA26030	日本語(初中級)1	1	1～4	実習(外国語)	
LJA26040	日本語(初中級)2	1	1～4	実習(外国語)	
LJA36010	日本語(中級)1	1	1～4	実習(外国語)	
LJA36020	日本語(中級)2	1	1～4	実習(外国語)	
LJA46010	日本語(上級)1	1	1～4	実習(外国語)	
LJA46020	日本語(上級)2	1	1～4	実習(外国語)	

3. 専門科目

[ゼミ科目]

◇必修科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
SEM11010	社会学初年次基礎ゼミ	2	1	演習	
SEM11020	社会学初年次応用ゼミ	2	1	演習	
SEM21010	社会学方法論ゼミ [春学期]	2	2	演習	
SEM21020	社会学方法論ゼミ [秋学期]	2	2	演習	
SEM31010	社会学専門ゼミ 1	2	3	演習	
SEM31020	社会学専門ゼミ 2	2	3	演習	
SEM41010	社会学卒業研究ゼミ	4	4	演習	
THE41010	卒業論文	4	4	演習	

[理論科目]

◇必修科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
SOC12010	社会学原論 A	2	1	講義	
SOC12020	社会学原論 B	2	1	講義	

◇選択科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
SOC22010	社会学史	2	1～4	講義	*
SOC22020	社会学理論	2	1～4	講義	*
SOC32010	社会学文献講読 A	2	1～4	講義	◆
SOC32020	社会学文献講読 B	2	1～4	講義	◆
SOC42010	社会学外書講読	2	1～4	講義	◆
SOC01010	学年縦断自由ゼミ	2	1～4	演習	* ※ 遡及適用科目 2022 年度より新設

※ 科目名の後にアルファベットが付きます。アルファベットが異なれば別科目として扱いますので、重複履修とはなりません（それぞれを卒業に必要な単位として数えることができます）。

[方法科目]

◇必修科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
ISC14010	コンピューティング基礎	2	1	講義	
SOC14010	社会調査方法論基礎 1	2	1	講義	
SOC14020	社会調査方法論基礎 2	2	1	講義	

◇選択科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
ISC24010	コンピューティング応用 A	2	1～4	講義	
ISC24020	コンピューティング応用 B	2	1～4	講義	
ISC24030	コンピューティング応用 C	2	1～4	講義	*
ISC24040	コンピューティング応用 D	2	1～4	講義	*
ISC24050	コンピューティング応用 E	2	1～4	講義	*
ISC24060	コンピューティング応用 F	2	1～4	講義	*
ISC24070	コンピューティング応用 G	2	1～4	講義	*
ISC24080	コンピューティング応用 H	2	1～4	講義	*
SOC24010	量的社会調査方法論	2	1～4	講義	
SOC24020	質的社会調査方法論	2	1～4	講義	
SOC24030	参与観察調査方法論	2	1～4	講義	◆
SOC24040	資料調査方法論	2	1～4	講義	*
SOC34010	エスノメソドロジー	2	1～4	講義	◆
MCC24010	メディア分析法 A	2	1～4	講義	*
MCC24020	メディア分析法 B	2	1～4	講義	◆
MCC24030	メディア分析法 C	2	1～4	講義	◆
MCC24040	ルポライティング方法論	2	1～4	講義	*
ISC14020	データサイエンス基礎	2	1～4	講義	
ISC24090	データサイエンス応用	2	2～4	講義	
ISC34010	定性データ分析法	2	1～4	講義	*
ISC34020	定量データ分析法	2	1～4	講義	◆ 「定量データ分析法 A・B・C」に統合
ISC34030	定量データ分析法 A	2	1～4	講義	*
ISC34040	定量データ分析法 B	2	1～4	講義	◆
ISC34050	定量データ分析法 C	2	1～4	講義	◆

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
STA24020	社会統計学 1	2	1～4	講義	
STA24030	社会統計学 2	2	1～4	講義	
SOC04010	Academic Writing (論文の書き方)	2	1～4	演習	* ※ 総合科目「論文の書き方」の単位を修得した者は、重複履修となりません ※ 遡及適用科目 2022年度より新設

※ 原則として GDS コース所属者の履修を優先します。通常コース所属の学生が履修する場合には、IELTS5.5 以上のスコアを持つことが望ましいです。

[展開科目]

◇選択科目

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
社会問題とエンパワーメント	ANT33010	開発人類学	2	2～4	講義	*
	ANT33020	多文化共生の人類学	2	2～4	講義	*
	SOC33010	家族社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33020	教育社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33030	ケアの社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33040	ジェンダーの社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33050	仕事の社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33060	社会問題の社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33070	人口問題の社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33080	福祉社会学	2	2～4	講義	*
SOC33090	不平等の社会学	2	2～4	講義	*	
文化とアイデンティティ	ANT33030	家族と結婚の人類学	2	2～4	講義	*
	ANT33040	宗教人類学	2	2～4	講義	*
	ANT33050	文化人類学	2	2～4	講義	*
	SOC33100	アイデンティティの社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33110	カルチュラルスタディーズ	2	2～4	講義	*
	SOC33120	コミュニケーションの社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33130	消費社会論	2	2～4	講義	*
	SOC33140	身体社会学	2	2～4	講義	◆
	SOC33320	恋愛の社会学	2	2～4	講義	* 遡及適用科目 2022年度より新設
	SOC33150	セクシュアリティの社会学	2	2～4	講義	*
SOC33160	文化の社会学	2	2～4	講義	*	
SOC33170	若者文化の社会学	2	2～4	講義	*	
国際社会とネットワーク	ANT33060	観光人類学	2	2～4	講義	*
	SOC33180	エスニシティの社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33190	環境社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33200	グローバル化の社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33210	社会運動論	2	2～4	講義	*
	SOC33220	政治社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33230	地域とコミュニティの社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33240	都市社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33250	ナショナリズムの社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33260	ネットワークの社会学	2	2～4	講義	◆
SOC33330	国際比較社会学	2	2～4	講義	* 遡及適用科目 2022年度より新設	
SOC33270	歴史社会学	2	2～4	講義	*	

※ 展開科目は、1年次にも4科目8単位まで履修することができます。

[学部共通科目]

◇社会学部特講

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
SOC35010	社会理論のフロンティア	2	2～4	講義	◆
SOC35020	現代社会の諸相	2	2～4	講義	*
SOC35030	グローバル社会の諸相	2	2～4	講義	*
SOC35040	ホットトピック特別講義	2	2～4	講義	*
MCC35010	メディア研究のフロンティア	2	2～4	講義	◆
MCC35020	メディア社会の諸相	2	2～4	講義	*
MCC35030	文化研究のフロンティア	2	2～4	講義	◆
ISC35010	データサイエンス特別講義	2	2～4	講義	*

◇他学科専門科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
MCC12010	メディア社会学	2	1～4	講義	
MCC22010	メディア学説史	2	1～4	講義	*
MCC22020	コミュニケーション理論	2	1～4	講義	*
MCC32010	メディア社会学文献講読 A	2	1～4	講義	◆
MCC32020	メディア社会学文献講読 B	2	1～4	講義	◆
MCC42010	メディア社会学外書講読	2	1～4	講義	◆
MCC33010	映画研究	2	2～4	講義	*
MCC33020	エレクトリックメディア論	2	2～4	講義	*
MCC33030	グローバル化とメディア	2	2～4	講義	*
MCC33040	デジタル社会論	2	2～4	講義	*
MCC33050	ポピュラー音楽論	2	2～4	講義	*
MCC33060	マスコミュニケーション論	2	2～4	講義	*
PSY33010	情報の社会心理学	2	2～4	講義	*
SOC33280	音楽文化の社会学	2	2～4	講義	*
SOC33290	活字メディアの社会学	2	2～4	講義	*
SOC33300	サブカルチャーの社会学	2	2～4	講義	*
SOC33310	放送メディアの社会学	2	2～4	講義	*
MCC33070	Web システム論	2	2～4	講義	*
MCC33080	エスニックメディア論	2	2～4	講義	*
MCC33090	NPO・NGO とメディア	2	2～4	講義	*
MCC33100	コーポレート・コミュニケーション論	2	2～4	講義	◆
MCC33270	ゲーミフィケーション論	2	2～4	講義	* 遡及適用科目 2022 年度より新設
MCC33110	広告論	2	2～4	講義	*
MCC33120	広報論	2	2～4	講義	*
MCC33130	スポーツとメディア	2	2～4	講義	*
MCC33140	電子コミュニケーション論	2	2～4	講義	*
MCC33150	メディアリテラシー論	2	2～4	講義	*
PSY33020	ファッションと流行の社会心理	2	2～4	講義	*
PSY33030	ライフスタイルの心理学	2	2～4	講義	*
MCC33160	映像アーカイブ論	2	2～4	講義	*
MCC33170	映像メディア制作論	2	2～4	講義	*
MCC33180	国際ニュース研究	2	2～4	講義	*
MCC33190	CM 企画・制作論	2	2～4	講義	*
MCC33200	市民メディア論	2	2～4	講義	*
MCC33210	ジャーナリズム論	2	2～4	講義	*
MCC33220	出版メディア制作論	2	2～4	講義	◆
MCC33280	知とデータ	2	2～4	講義	* 遡及適用科目 2022 年度より新設
MCC33230	地域メディア論	2	2～4	講義	*
MCC33240	知的財産・著作権論	2	2～4	講義	*
MCC33250	ドキュメンタリー研究	2	2～4	講義	*
MCC33260	メディア法制と倫理	2	2～4	講義	*
CRO21010	学部横断型課題解決プロジェクト	4	1～4	演習	1 年次は秋学期からとする

[全学対象専門科目]

◇経済学部提供科目

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考	
国際経済・経営	ECO22040	アジア経済1	2	3・4	講義		
	ECO22050	アジア経済2	2	3・4	講義	◆	
	ECO22060	アメリカ経済1	2	3・4	講義	◆	
	ECO22070	アメリカ経済2	2	3・4	講義	◆	
	ECO22610	ヨーロッパ経済1	2	3・4	講義	◆	
	ECO22620	ヨーロッパ経済2	2	3・4	講義	◆	
	ECO32010	開発経済学1	2	3・4	講義	*	
	ECO32020	開発経済学2	2	3・4	講義	*	
	ECO22850	国際法1	2	3・4	講義	*	
	ECO22860	国際法2	2	3・4	講義	*	
	ECO22460	世界経済1	2	3・4	講義	*	
	ECO22470	世界経済2	2	3・4	講義	◆	
	経済学と現代経済	ECO22260	ゲーム理論入門	2	3・4	講義	
		ECO22200	経済政策1	2	3・4	講義	*
ECO22210		経済政策2	2	3・4	講義	*	
ECO22290		憲法1	2	3・4	講義		
ECO22300		憲法2	2	3・4	講義		
ECO22270		現代政治経済学1	2	3・4	講義	◆	
ECO22280		現代政治経済学2	2	3・4	講義	◆	
ECO22100		行政法1	2	3・4	講義	*	
ECO22110		行政法2	2	3・4	講義	*	
ECO22370		産業組織論1	2	3・4	講義		
ECO22380		産業組織論2	2	3・4	講義		
ECO22390		社会福祉1	2	3・4	講義	◆	
ECO22400		社会福祉2	2	3・4	講義	◆	
ECO22410		情報経済論1	2	3・4	講義	◆	
ECO22420		情報経済論2	2	3・4	講義	◆	
ECO22440		西洋経済史1	2	3・4	講義		
ECO22450		西洋経済史2	2	3・4	講義		
ECO32030		日本経済史1	2	3・4	講義		
ECO32040	日本経済史2	2	3・4	講義			
ビジネス	MAN22080	イノベーション論	2	3・4	講義		
	MAN12020	経営管理論1	2	3・4	講義		
	MAN22090	経営管理論2	2	3・4	講義		
	MAN22130	国際経営論	2	3・4	講義		
	MAN22150	人事管理論1	2	3・4	講義		
	MAN22160	人事管理論2	2	3・4	講義	*	
	MAN22170	組織論1	2	3・4	講義		
	MAN22180	組織論2	2	3・4	講義		
	MAN22140	多国籍企業論	2	3・4	講義	*	
ビジネスデザイン	MIS22040	ITマネジメント	2	3・4	講義	◆	
	MIS22030	情報ネットワーク基礎	2	3・4	講義		
	MIS22090	コンピュータシステム基礎	2	3・4	講義		
	MIS22010	サービスマネジメント	2	3・4	講義		
	MAN22240	ベンチャー企業論1	2	3・4	講義		
	MAN22250	ベンチャー企業論2	2	3・4	講義	*	
	MIS12010	経営情報基礎	2	2～4	講義		
	MIS12020	情報と職業	2	2～4	講義	*	
企業会計	ACC22070	企業法	2	3・4	講義		
	ACC12050	企業法基礎	2	2～4	講義		
	ACC12020	簿記演習1	2	2～4	講義		
	ECO22590	民法1	2	3・4	講義	*	
	ECO22600	民法2	2	3・4	講義	*	
	ACC12040	会計学基礎	2	2～4	講義		
金融	FIN22010	ファイナンス1	2	3・4	講義		
	FIN22020	ファイナンス2	2	3・4	講義		
	FIN22030	財務報告論1	2	3・4	講義		
	FIN22040	財務報告論2	2	3・4	講義		
	FIN22050	証券市場論1	2	3・4	講義		
	FIN22060	証券市場論2	2	3・4	講義		
	FIN32150	信託論	2	3・4	講義	*	
	FIN32400	保険・年金論	2	3・4	講義		

◇人文学部提供科目

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
比較文化と異文化交流	LIT02390	比較文学論 (日欧)	2	3・4	講義	*
	HST02340	ヨーロッパ対外交流史	2	3・4	講義	*
	ART02380	比較芸術論 1	2	3・4	講義	*
	ART02390	比較芸術論 2	2	3・4	講義	*
	ART02400	イメージ文化論	2	3・4	講義	*
	PHI02370	比較思想 (日欧)	2	3・4	講義	*
	EUS02350	テクノロジー文化論	2	3・4	講義	*
	EUS02360	観光文化論 (ヨーロッパ)	2	3・4	講義	*
	GLS02310	越境文化論	2	3・4	講義	*
	ANT02610	文化人類学概論 1	2	3・4	講義	◆
	ANT02620	文化人類学概論 2	2	3・4	講義	◆
	HST02710	東アジアの美術工芸史 1	2	3・4	講義	*
	HST02720	東アジアの美術工芸史 2	2	3・4	講義	*
	ARE02610	環日本海文化論 1	2	3・4	講義	*
	ARE02620	環日本海文化論 2	2	3・4	講義	*
欧米の文化 (言語・文学)	LNG12030	英語学概論 1	2	3・4	講義	
	LNG12040	英語学概論 2	2	3・4	講義	
	LED12010	英語教育学 1	2	3・4	講義	
	LED12020	英語教育学 2	2	3・4	講義	
	LNG12010	異文化コミュニケーション論 1	2	3・4	講義	*
	LNG12020	異文化コミュニケーション論 2	2	3・4	講義	*
	LIT12030	イギリスの文学 1	2	3・4	講義	*
	LIT12040	イギリスの文学 2	2	3・4	講義	*
	LIT12010	アメリカの文学 1	2	3・4	講義	
	LIT12020	アメリカの文学 2	2	3・4	講義	
	LIT12050	英語圏文学入門 1	2	3・4	講義	*
	LIT12060	英語圏文学入門 2	2	3・4	講義	*
	LIT02350	ヨーロッパ古典文学	2	3・4	講義	*
	LIT02360	ヨーロッパの文学 1	2	3・4	講義	*
	LIT02370	ヨーロッパの文学 2	2	3・4	講義	*
	LNG02370	ギリシア語学 1	2	3・4	講義	*
	LNG02380	ギリシア語学 2	2	3・4	講義	*
	LNG02350	ラテン語学 1	2	3・4	講義	*
	LNG02360	ラテン語学 2	2	3・4	講義	*
	LNG02310	ドイツ語学 1	2	3・4	講義	*
	LNG02320	ドイツ語学 2	2	3・4	講義	*
	LNG02330	フランス語学 1	2	3・4	講義	*
	LNG02340	フランス語学 2	2	3・4	講義	*
	LIT02310	ドイツ文学史 1	2	3・4	講義	*
LIT02320	ドイツ文学史 2	2	3・4	講義	*	
LIT02330	フランス文学史 1	2	3・4	講義	*	
LIT02340	フランス文学史 2	2	3・4	講義	*	
LNG12050	Introduction to Applied Linguistics	2	3・4	講義	◆	
欧米の文化 (芸術・思想・宗教)	ART12010	英米の芸術 1	2	3・4	講義	*
	ART12020	英米の芸術 2	2	3・4	講義	*
	PHI12010	英米の思想 1	2	3・4	講義	*
	PHI12020	英米の思想 2	2	3・4	講義	*
	REL12010	英語圏の宗教と文化 1	2	3・4	講義	*
	REL12020	英語圏の宗教と文化 2	2	3・4	講義	*
	ART02310	ドイツ語圏の芸術	2	3・4	講義	*
	ART02320	フランスの芸術 1	2	3・4	講義	*
	ART02330	フランスの芸術 2	2	3・4	講義	*
	EUS02370	ヨーロッパの神話と伝説 1	2	3・4	講義	*
	EUS02380	ヨーロッパの神話と伝説 2	2	3・4	講義	*
	ART02340	ヨーロッパの芸術	2	3・4	講義	*
	PHI02360	ヨーロッパ思想史	2	3・4	講義	*
	PHI02310	ドイツ語圏の思想と文化 1	2	3・4	講義	*
	PHI02320	ドイツ語圏の思想と文化 2	2	3・4	講義	◆
	FRS22310	フランス語圏の文化と社会	2	3・4	講義	*
	PHI02330	フランス思想史 1	2	3・4	講義	*
	PHI02340	フランス思想史 2	2	3・4	講義	*
	PHI02350	ヨーロッパの哲学	2	3・4	講義	*

第1章 授業科目の履修

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
欧米の歴史と現在	HST12030	イギリス史 1	2	3・4	講義	*
	HST12040	イギリス史 2	2	3・4	講義	*
	HST12010	アメリカ史 1	2	3・4	講義	*
	HST12020	アメリカ史 2	2	3・4	講義	*
	BRS12010	イギリス文化論 1	2	3・4	講義	*
	BRS12020	イギリス文化論 2	2	3・4	講義	*
	AMS12010	アメリカ文化論 1	2	3・4	講義	*
	AMS12020	アメリカ文化論 2	2	3・4	講義	*
	HST02350	ギリシア・ローマ史	2	3・4	講義	*
	HST02310	ドイツ中世史	2	3・4	講義	*
	HST02320	ドイツ近現代史	2	3・4	講義	*
	HST02330	フランス史	2	3・4	講義	*
	GLS02320	地中海文明論	2	3・4	講義	*
	ARE02310	北欧文化論	2	3・4	講義	*
	ARE02320	オーストリア・東欧文化論	2	3・4	講義	*
	EUS02390	ヨーロッパ統合論	2	3・4	講義	*
	EUS02400	ヨーロッパ都市論	2	3・4	講義	*
	EUS02410	現代ヨーロッパ論	2	3・4	講義	*
	EUS02430	ユダヤ文化論	2	3・4	講義	◆
	HST02360	ヨーロッパ形成史	2	3・4	講義	*
HST02370	ヨーロッパ交流史	2	3・4	講義	*	
EUS02420	ルネサンス文化論	2	3・4	講義	*	
東アジアの文化と社会	LIT02710	中国文学史 1	2	3・4	講義	*
	LIT02720	中国文学史 2	2	3・4	講義	*
	CHS02630	中国の民族と社会 1	2	3・4	講義	◆
	CHS02640	中国の民族と社会 2	2	3・4	講義	◆
	PHI02650	中国思想史 1	2	3・4	講義	*
	PHI02660	中国思想史 2	2	3・4	講義	*
	CHS02610	現代中国論 1	2	3・4	講義	
	CHS02620	現代中国論 2	2	3・4	講義	
	KOS02710	現代韓国論 1	2	3・4	講義	
	KOS02720	現代韓国論 2	2	3・4	講義	
	KOS02730	朝鮮文化論 1	2	3・4	講義	*
	KOS02740	朝鮮文化論 2	2	3・4	講義	*
	LIT02730	朝鮮文学史 1	2	3・4	講義	*
	LIT02740	朝鮮文学史 2	2	3・4	講義	*
日本の歴史と文化	LNG02610	日本の言語文化 1	2	3・4	講義	
	LNG02620	日本の言語文化 2	2	3・4	講義	
	LIT02610	日本古典文学史 1	2	3・4	講義	
	LIT02620	日本古典文学史 2	2	3・4	講義	
	LIT02630	日本近現代文学史 1	2	3・4	講義	
	LIT02640	日本近現代文学史 2	2	3・4	講義	
	HST02690	日本芸能史 1	2	3・4	講義	*
	HST02700	日本芸能史 2	2	3・4	講義	*
	JPS02610	日本文化論 1	2	3・4	講義	
	JPS02620	日本文化論 2	2	3・4	講義	
	HST02670	日本美術工芸史 1	2	3・4	講義	
	HST02680	日本美術工芸史 2	2	3・4	講義	
	HST02630	日本建築史 1	2	3・4	講義	
	HST02640	日本建築史 2	2	3・4	講義	
	FOL02630	民俗宗教論 1	2	3・4	講義	*
	FOL02640	民俗宗教論 2	2	3・4	講義	*
	FOL02610	日本民俗史 1	2	3・4	講義	
	FOL02620	日本民俗史 2	2	3・4	講義	
	HST02610	日本服飾文化史 1	2	3・4	講義	
	HST02620	日本服飾文化史 2	2	3・4	講義	
	JPS02630	日本の身体文化 1	2	3・4	講義	*
	JPS02640	日本の身体文化 2	2	3・4	講義	*
	AST02610	琉球文化論 1	2	3・4	講義	
	AST02620	琉球文化論 2	2	3・4	講義	
	LIT02690	日本幻想文学論 1	2	3・4	講義	*
	LIT02700	日本幻想文学論 2	2	3・4	講義	*
	PHI02610	日本思想史 1	2	3・4	講義	
	PHI02620	日本思想史 2	2	3・4	講義	
	REL02610	日本の仏教 1	2	3・4	講義	*
	REL02620	日本の仏教 2	2	3・4	講義	*

第1章 授業科目の履修

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
人間科学と環境	OTH12020	現代スポーツ論	2	1～4	講義	
	OTH12070	スポーツ身体論	2	1～4	講義	*
	OTH12030	スポーツイメーজ文化論	2	1～4	講義	*
	OTH12050	保全生物学	2	1～4	講義	
	OTH12060	動物社会学	2	1～4	講義	
	ENV12310	地球環境シミュレーション	2	1～4	講義	
	OTH12010	宇宙観の歴史	2	1～4	講義	
	ENV12320	都市環境論	2	1～4	講義	
	ENV02310	ヨーロッパ環境論	2	3・4	講義	*
Global Studies	GLS22010	Introduction to Global Civics 1	2	3・4	講義	*
	GLS22020	Introduction to Global Civics 2	2	3・4	講義	*
	GLS22030	Introduction to Global Futures Studies 1	2	3・4	講義	
	GLS22040	Introduction to Global Futures Studies 2	2	3・4	講義	
	GLS22050	Transnational Issues 1	2	3・4	講義	
	GLS22060	Transnational Issues 2	2	3・4	講義	
	GLS22070	Political Communication 1	2	3・4	講義	◆
	GLS22080	Political Communication 2	2	3・4	講義	◆
	GLS22090	Global Literatures in English 1	2	3・4	講義	
	GLS22100	Global Literatures in English 2	2	3・4	講義	
	GLS22110	Introduction to Cultural Studies 1	2	3・4	講義	
	GLS22120	Introduction to Cultural Studies 2	2	3・4	講義	
	GLS22130	Migration and Literature 1	2	3・4	講義	*
	GLS22140	Migration and Literature 2	2	3・4	講義	*
	GLS22150	World Englishes 1	2	3・4	講義	*
	GLS22160	World Englishes 2	2	3・4	講義	*
	GLS22170	Japanese Cultural History in Global Perspective 1	2	3・4	講義	*
	GLS22180	Japanese Cultural History in Global Perspective 2	2	3・4	講義	*
	GLS22190	Contemporary Japanese Culture 1	2	3・4	講義	◆
	GLS22200	Contemporary Japanese Culture 2	2	3・4	講義	◆
GLS22210	Topics in Japanese Culture A1	2	3・4	講義	*	
GLS22220	Topics in Japanese Culture A2	2	3・4	講義	*	
GLS22230	Topics in Japanese Culture B1	2	3・4	講義		
GLS22240	Topics in Japanese Culture B2	2	3・4	講義		

◇留学・国際交流関連科目

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
EAS科目	AST32030	Business in East Asia	4	1～4	講義	
	AST32060	Globalization and East Asian Economies	4	1～4	講義	
	JPS32010	Japanese History	4	1～4	講義	*
	JPS32020	Japanese Culture and Society	4	1～4	講義	*
	JPS32030	Japanese Literature	4	1～4	講義	*
	AST32040	East Asian Societies	4	1～4	講義	*
	AST32050	East Asian Cultures and Histories	4	1～4	講義	*
	JPS32040	Japan and International Society	4	1～4	講義	
	AST32170	Traditional Arts of Japan	2	1～4	講義	*
	AST32180	Modern Arts of Japan	2	1～4	講義	*
	AST32070	East Asian Philosophies	4	1～4	講義	*
	AST02090	East Asian Literatures	4	1～4	講義	◆
	AST32190	Film Studies in East Asia	2	1～4	講義	◆
	AST02110	Media in East Asia	4	1～4	講義	◆
	AST32100	Gender and Sexuality in East Asia	4	1～4	講義	
	AST32110	Ethnicity in East Asia	4	1～4	講義	
	AST32200	Seminar in East Asian Studies	2	1～4	講義	◆
	AST32120	East Asian Community in the 21st Century	4	1～4	講義	
	AST32130	Global Issues in Southeast Asia	2	1～4	講義	
	AST32140	Environmental Issues in East Asia	4	1～4	講義	
	AST32010	Global Issues in East Asia	2	1～4	講義	*
	AST32150	Japanese Politics	2	1～4	講義	
	AST32160	Japanese Economy	2	1～4	講義	
	AST32020	Technology and Society in East Asia	2	1～4	講義	
	JPS32050	Entrepreneurship in Japan	2	1～4	講義	◆

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
留学準備講座	AMS02011	アメリカの社会と文化 1	2	1～4	講義	
	AMS02012	アメリカの社会と文化 2	2	1～4	講義	
	BRS02011	イギリスの社会と文化 1	2	1～4	講義	
	BRS02012	イギリスの社会と文化 2	2	1～4	講義	
	JPS02071	日本の社会と文化 1	2	1～4	講義	*
	JPS02072	日本の社会と文化 2	2	1～4	講義	*
	AST02071	東アジアの社会と文化 1	2	1～4	講義	◆
	AST02072	東アジアの社会と文化 2	2	1～4	講義	◆
	IRL02011	現代世界の諸問題 1	2	1～4	講義	
	IRL02012	現代世界の諸問題 2	2	1～4	講義	
	GES22310	ドイツ語圏の社会と文化 1	2	2～4	講義	ドイツ語による授業
	GES22320	ドイツ語圏の社会と文化 2	2	2～4	講義	ドイツ語による授業
	FRS22320	フランスの歴史と社会 1	2	2～4	講義	フランス語による授業
	FRS22330	フランスの歴史と社会 2	2	2～4	講義	フランス語による授業
	AST02171	中国の社会と文化 1	2	1～4	講義	* 中国語による授業
	AST02172	中国の社会と文化 2	2	1～4	講義	* 中国語による授業
	AST02181	韓国・朝鮮の社会と文化 1	2	1～4	講義	* 韓国・朝鮮語による授業
	AST02182	韓国・朝鮮の社会と文化 2	2	1～4	講義	* 韓国・朝鮮語による授業
	LED02011	インターカルチュラルスキル養成講座 1	2	1～4	講義	
	LED02012	インターカルチュラルスキル養成講座 2	2	1～4	講義	
	IRL02021	グローバル・リーダーシップ養成講座 1	2	1～4	講義	
	IRL02022	グローバル・リーダーシップ養成講座 2	2	1～4	講義	
	IRL01010	留学入門セミナー	2	1～4	演習	
	IRL02030	多文化社会	2	1～4	講義	◆
	LED06011	グローバル・コミュニケーション 1	1	1～4	実習	*
	LED06012	グローバル・コミュニケーション 2	1	1～4	実習	*
	LED06041	留学のための英語講座 A1 (TOEFL)	1	1～4	実習	
	LED06042	留学のための英語講座 A2 (TOEFL)	1	1～4	実習	
	LED06051	留学のための英語講座 B1 (IELTS)	1	1～4	実習	
	LED06052	留学のための英語講座 B2 (IELTS)	1	1～4	実習	
	GES26410	ドイツ語論述実習 1	1	2～4	実習	ドイツ語による授業
	GES26420	ドイツ語論述実習 2	1	2～4	実習	ドイツ語による授業
	FRS26410	フランス語論述実習 1	1	2～4	実習	フランス語による授業
	FRS26420	フランス語論述実習 2	1	2～4	実習	フランス語による授業
LED06061	中国語論述実習 1	1	1～4	実習	* 中国語による授業	
LED06062	中国語論述実習 2	1	1～4	実習	* 中国語による授業	
LED06071	韓国・朝鮮語論述実習 1	1	1～4	実習	* 韓国・朝鮮語による授業	
LED06072	韓国・朝鮮語論述実習 2	1	1～4	実習	* 韓国・朝鮮語による授業	

※ 留学準備講座で備考欄に記載がない科目は英語による授業となります。

◇学芸員課程関連科目

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
学芸員課程 関連科目	CTP02010	生涯学習概論	2	1～4	講義	
	CTP02020	博物館概論	2	1～4	講義	
	CTP02060	博物館展示論	2	1～4	講義	
	CTP02070	博物館情報・メディア論	2	1～4	講義	

[教職の教科に関する概説科目]

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
TCP12010	日本史概説	2	1～4	講義	
TCP12020	外国史概説	2	1～4	講義	
TCP12030	法律学概説 (国際法を含む)	2	1～4	講義	
TCP12040	政治学概説 (国際政治を含む)	2	1～4	講義	
TCP12050	経済学概説 (国際経済を含む)	2	1～4	講義	
TCP12070	地誌概説	2	1～4	講義	
TCP12080	人文地理学概説	2	1～4	講義	
TCP12090	自然地理学概説	2	1～4	講義	
TCP12100	倫理学概説	2	1～4	講義	
TCP12110	宗教学概説	2	1～4	講義	
TCP12120	哲学概説	2	1～4	講義	
TCP12130	心理学概説	2	1～4	講義	

諸案内

8. 留学・国際交流関連科目

1.EAS (East Asian Studies、東アジア研究)

(1) EASの開講目的

EAS (East Asian Studies) は、受入れ交換留学生を主な対象とした東アジアの国際関係、経済、文化、社会などを総合的に学修する、少人数制の英語による授業です。英語で専門科目を学習する能力のある武蔵大学生の履修を大いに歓迎します。

◇ EAS 科目一覧

科目名	単位	授業と単位
Business in East Asia	4	週2回の授業で4単位
Globalization and East Asian Economies	4	週2回の授業で4単位
Japanese History	4	週2回の授業で4単位
Japanese Culture and Society	4	週2回の授業で4単位
Japanese Literature	4	週2回の授業で4単位
East Asian Societies	4	週2回の授業で4単位
East Asian Cultures and Histories	4	週2回の授業で4単位
Japan and International Society	4	週2回の授業で4単位
Traditional Arts of Japan	2	週1回の授業で2単位
Modern Arts of Japan	2	週1回の授業で2単位
East Asian Philosophies	4	週2回の授業で4単位
East Asian Literatures	4	週2回の授業で4単位
Film Studies in East Asia	2	週1回の授業で2単位
Media in East Asia	4	週2回の授業で4単位
Gender and Sexuality in East Asia	4	週2回の授業で4単位
Ethnicity in East Asia	4	週2回の授業で4単位
Seminar in East Asian Studies	2	週1回の授業で2単位
East Asian Community in the 21st Century	4	週2回の授業で4単位
Global Issues in Southeast Asia	2	週1回の授業で2単位
Environmental Issues in East Asia	4	週2回の授業で4単位
Global Issues in East Asia	2	週1回の授業で2単位
Japanese Politics	2	週1回の授業で2単位
Japanese Economy	2	週1回の授業で2単位
Technology and Society in East Asia	2	週1回の授業で2単位
Entrepreneurship in Japan	2	週1回の授業で2単位
日本語 (コンプリートビギナー)	1	週1回の授業で1単位
日本語 (入門)	1	週1回の授業で1単位
日本語 (初級)	1	週1回の授業で1単位
日本語 (初中級)	1	週1回の授業で1単位
日本語 (中級)	1	週1回の授業で1単位
日本語 (上級)	1	週1回の授業で1単位

注1) 週2回の授業は、セットで履修して成績評価が行われ、週1回だけの授業出席では成績評価は与えられません。

注2) 「日本語」は、外国語科目の扱いとなります。履修できる学生は、以下に該当する者のみとなります。

ただし、(2)～(5)に関しては当該授業の履修者数が20人を超える場合は選考があります。

また、EAS科目として「日本語」を履修した場合は自由科目となり、卒業要件には含まれません。

(1) 協定留学生、Independent Student

(2) 「外国高等学校卒業生および帰国生徒対象入学試験」によって入学した学生

(3) 「外国人学生特別入学試験」によって入学した学生

(4) 外国の大学から編入学・転入学・学士入学試験によって入学した学生

(5) 日本以外の学校教育制度による12年以上の課程を修了した者（ただし、12年以上の課程のうち、日本にある外国人学校における在籍期間が3年を超えるか、当該学校における日本の中学校・高等学校に相当する在籍期間が2年を超える者を除く）。または、これに準ずる者で次の①～②のいずれかに該当する者。

① 外国において、学校教育における12年以上の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む）に合格した者。（国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア（フランス共和国）については日本国内で取得した場合を含む。）

② 通常の中高等教育の課程の修了までに12年を要しない国において、中高等教育の課程を修了した者で、文部科学省の指定する日本の大学に入学するための準備教育課程を修了した者。

(2) 授業科目の分類

EAS 科目の科目分類は履修要項で確認してください。

(3) 武蔵大学在学生在が EAS 科目を履修する場合の注意

- ① 履修登録前に履修の可否を決める選考は行いませんが、評価基準が高いため、以下の②、③を熟読の上、各人の判断と責任で履修登録をしてください。
- ② 授業について行くためには英語圏の大学3年生と同等の英語力と専門知識を必要とします。
- ③ 留学生のペースで授業が行われます。本学在学生在が受講する場合に、本学在學生に合わせてペースやレベルを調整することはありません。
- ④ 科目等履修生（武蔵高校からの科目等履修生を除く）、練馬区特別履修生は、EAS 科目を履修することができません。
- ⑤ 履修登録の際は、履修要項とシラバスを必ず確認してください。

2. 留学準備講座

(1) 留学準備講座の開講目的

留学準備講座は、留学希望の学生を支援するために設置された科目で、開講科目は以下の2種類に分かれます。

- ① 留学に必要な語学力を養成するための授業
- ② 入門的な講義

(2) 開講時期と単位

科目名の末尾に、春学期開講科目の場合は1、秋学期開講科目の場合は2が付されています。春学期開講科目と秋学期開講科目は、名称が同一の場合であっても互いに独立した科目であり、1・2のいずれかのみを履修しても、1・2を連続して履修してもかまいません。1単位科目（上記①）と2単位科目（上記②）があります。

◇留学準備講座 科目一覧

科目名	単位	※使用言語	授業と単位（履修者上限人数）
アメリカの社会と文化1	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
アメリカの社会と文化2	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
イギリスの社会と文化1	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
イギリスの社会と文化2	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
日本の社会と文化1	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
日本の社会と文化2	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
東アジアの社会と文化1	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
東アジアの社会と文化2	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
現代世界の諸問題1	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
現代世界の諸問題2	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
ドイツ語圏の社会と文化1	2	G	週1回の授業で2単位（15人）
ドイツ語圏の社会と文化2	2	G	週1回の授業で2単位（15人）
フランスの歴史と社会1	2	F	週1回の授業で2単位（15人）
フランスの歴史と社会2	2	F	週1回の授業で2単位（15人）
中国の社会と文化1	2	C	週1回の授業で2単位（15人）
中国の社会と文化2	2	C	週1回の授業で2単位（15人）
韓国・朝鮮の社会と文化1	2	K	週1回の授業で2単位（15人）
韓国・朝鮮の社会と文化2	2	K	週1回の授業で2単位（15人）
インターカルチュラルスキル養成講座1	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
インターカルチュラルスキル養成講座2	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
グローバル・リーダーシップ養成講座1	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
グローバル・リーダーシップ養成講座2	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
留学入門ゼミナール	2	E	週1回の授業で2単位（25人）
多文化社会	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
グローバル・コミュニケーション1	1	E	週1回の授業で1単位（15人）
グローバル・コミュニケーション2	1	E	週1回の授業で1単位（15人）
留学のための英語講座 A1 (TOEFL)	1	E	週1回の授業で1単位（20人）
留学のための英語講座 A2 (TOEFL)	1	E	週1回の授業で1単位（20人）
留学のための英語講座 B1 (IELTS)	1	E	週1回の授業で1単位（20人）
留学のための英語講座 B2 (IELTS)	1	E	週1回の授業で1単位（20人）
ドイツ語論述実習1	1	G	週1回の授業で1単位（15人）
ドイツ語論述実習2	1	G	週1回の授業で1単位（15人）
フランス語論述実習1	1	F	週1回の授業で1単位（15人）
フランス語論述実習2	1	F	週1回の授業で1単位（15人）
中国語論述実習1	1	C	週1回の授業で1単位（15人）
中国語論述実習2	1	C	週1回の授業で1単位（15人）
韓国・朝鮮語論述実習1	1	K	週1回の授業で1単位（15人）
韓国・朝鮮語論述実習2	1	K	週1回の授業で1単位（15人）

※E：英語 G：ドイツ語 F：フランス語 C：中国語 K：韓国・朝鮮語

(3) 授業科目の分類

留学準備講座の科目分類は履修要項で確認してください。

(4) 留学準備講座を履修する場合の注意

- ① 留学準備講座は、学生の積極的な授業参加を前提とし、明確な効果を上げるために少人数クラスで授業を行います。従って参加者が多数の場合は、初回の授業で授業担当者の判断で選抜テストなどを実施し人数制限が行われる場合があります。
- ② 科目等履修生（武蔵高校からの科目等履修生を除く）、練馬区特別履修生は、留学準備講座を履修できません。
- ③ 履修登録の際は、履修要項とシラバスを必ず確認してください。

9. 協定留学生および認定留学生向けの各種案内

1. 協定留学生および認定留学生に対する「卒業研究ゼミ」履修の特例

武蔵大学学生国外留学規程第2条に基づく協定留学生および認定留学生に対し、留学終了後、「専門ゼミ1」もしくは「専門ゼミ2」と「卒業研究ゼミ」を同一学期内で同時に履修することを認める。

ただし、この特例を受けることのできる者は、協定留学あるいは認定留学により該当学期に「専門ゼミ1」および「専門ゼミ2」の両科目を履修できず、留学前に当年度指導教授および「専門ゼミ」担当教員の下承を得て特例履修の申請がおこなわれているものに限る。

注意事項

- 「専門ゼミ1」「専門ゼミ2」「卒業研究ゼミ」の履修登録は留学終了後、教務課にて手続きをおこなうこと。
- この特例の対象者は、あくまでも協定留学・認定留学のため「専門ゼミ1」と「専門ゼミ2」の両方を履修できない者である。例えば、3年次春学期のみ留学する場合、留学が終了して3年次秋学期に履修する「専門ゼミ2」を修得できなければ、4年次春学期に「専門ゼミ1」と「卒業研究ゼミ」との同時履修はできない。
- この特例によって「卒業研究ゼミ」と同時に履修する「専門ゼミ」を修得できなかった場合は、「卒業研究ゼミ」の修得未修得にかかわらず、その次の学期に「卒業論文」あるいは「卒業論文・卒業制作」を履修することはできない。

(例)

■ 1：協定・派遣留学（特例適用の場合）

3年次		4年次		5年次	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
留学	留学	専門ゼミ1 卒研ゼミ	専門ゼミ2 卒論卒制		

■ 2：協定・派遣留学（特例適用だが、「専門ゼミ1」の修得に失敗した場合）

3年次		4年次		5年次	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
留学	留学	専門ゼミ1 卒研ゼミ	専門ゼミ2	専門ゼミ1 卒論卒制	

■ 3：協定・派遣留学（特例なしの場合）

3年次		4年次		5年次	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
留学	留学	専門ゼミ1	専門ゼミ2 卒研ゼミ	卒論卒制	

補足

この特例は、2017年度社会学部入学生から適用される。

※「社会学専門ゼミ1」「メディア社会学専門ゼミ1」をあわせて「専門ゼミ1」と記載

※「社会学専門ゼミ2」「メディア社会学専門ゼミ2」をあわせて「専門ゼミ2」と記載

※「社会学卒業研究ゼミ」「メディア社会学卒業研究ゼミ」をあわせて「卒業研究ゼミ」と記載

2. 協定留学生および認定留学生の単位認定の目安（一部ゼミ科目）

武蔵大学学生国外留学規程第2条に基づく協定留学生および認定留学生に対し、留学先で修得した科目を一部のゼミ科目に読み替える場合の目安は次のとおりとする。

◇読み替え可能な科目

「社会学初年次基礎ゼミ」「メディア社会学初年次基礎ゼミ」「社会学初年次応用ゼミ」「メディア社会学初年次応用ゼミ」「社会学方法論ゼミ」「メディア社会学方法論ゼミ」「社会学専門ゼミ1」「メディア社会学専門ゼミ1」「社会学専門ゼミ2」「メディア社会学専門ゼミ2」「社会学卒業研究ゼミ」「メディア社会学卒業研究ゼミ」

◇読み替える科目の内容の目安

- 授業時間数が読み替える科目にふさわしいこと
- 比較的少人数の授業であること
- 授業に、ディスカッション、文献講読、論文指導、調査指導、制作指導などのゼミに類する要素が含まれていること

注意事項

「社会学卒業研究ゼミ」「メディア社会学卒業研究ゼミ」は、学生の卒業論文・卒業制作・卒業活動報告書の準備が進んでおり、「卒業論文」「卒業論文・卒業制作」の履修のみで卒業論文・卒業制作・卒業活動報告書を提出できる見込みがあると指導教授が判断できる場合にのみ読み替えられる。

※「卒業論文」「卒業論文・卒業制作」は、授業の参加と、予備提出および本提出という成果物と、口述審査という試験とを重要な修得条件とするため、原則として留学先で修得した単位を読み替えることはしない。

10. 人権問題への理解を深める授業の履修について

グローバル化の下、ますます多様化、複雑化する現代社会は、年齢や性別、国籍や民族、思想・信条、性的志向や障がいの有無などの立場の違いから、人権にかかわる広範囲で多様な問題が生じており、私たちはこうした問題に積極的に目を向け、考えを深める必要があります。

大学は、異なる立場や考え方もつ人たちが集まって、研究や教育・学習、さらにそれを支える仕事を学生・教職員が協同して進めていく場です。学生や教職員にとってよりよい学習環境・生活環境を実現していくために、個人の尊厳やお互いの人格を尊重しあう「人権」という考えが多くの人に共有されることが重要になります。

武蔵大学では、全学部共通の総合科目におかれる「日本国憲法」「現代社会と人権」「人権ワークショップ」などの講義や各学部学科で開講される演習をはじめとするさまざまな科目を通じ、多種多様な視点から「人権」について、その構成員が考え、理解を深めていくために努力しています。

学生の皆さんには、これらの科目を積極的に履修し、また日頃から、学修の際に人権を意識し、知識の習得に励んでいただければと思います。

メディア社会学科

1. 履修に関する諸注意

1. 授業科目の履修に関する注意

(1) カリキュラム

学生はそれぞれ自分の入学した年度のカリキュラムにしたがって履修し卒業します。入学後にカリキュラムの変更があっても、原則として新カリキュラムは適用されません。

(2) 単位の分割不可

1科目の単位を分割して、複数の卒業要件に算入することはできません。

(3) 各自の学習プランをたてる

本学部では必修科目を除いて、学生が多数の科目の中から自主的に選択して履修しなければならない場合が多くあります。各自自分の学習方針と科目の内容を考えて、適切な選択をすることが必要です。3月下旬より3S上でシラバスの閲覧が可能です。学習方針、学習計画を立てる手がかりとなりますので、有効に活用してください。

(4) 科目履修の条件

必修科目の一部には、履修する際に必要な条件があります（たとえば、あらかじめ修得しておかなければならない科目があるなど）。この条件を満たさない場合は、卒業が遅れることがあるので注意してください。また、2年次に課す「社会学専門ゼミ」・「メディア社会学専門ゼミ」の選択課題が未提出、あるいは基準に達していない場合は、卒業が遅れることがあるので十分に注意してください。

(5) セメスター制度

1つの授業を学期（セメスター）ごとに完結させる制度です。本学では1学年を春学期・秋学期の2学期とし4年間8学期で運営しています。この制度は、1学期の中で授業を集中的に履修し学習効果を高める意義があります。また、学年開始時期が異なる大学間において円滑に留学を実施できるというメリットもあります。

(6) 学期分割型科目

本学では、一部の科目について、春学期・秋学期をそれぞれ2つの期間に分けて、1年をSpring1～Autumn2に分けて開講しています。学期分割型科目は原則として週2回授業が行われます。また、各期間の終わりに定期試験が実施されることがあります。

(7) 科目表の見方

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
A 情報とコミュニケーション	GEOA02010	他者理解とコミュニケーション	2	1～4	講義	
	GEOA02020	情報技術と人間社会	2	1～4	講義	
	GEOA02030	知識社会の情報学	2	1～4	講義	
	GEOA02040	データ分析の基礎	2	1～4	講義	
	GEOA02050	データ分析の応用	2	1～4	講義	
	GEOA02060	Information Technology and Global Communication	2	1～4	講義	* ※ (1)

- ① 分野 区分（総合科目、外国語科目、専門科目）ごとに分野やジャンルに分類されています。
- ② ナンバリング 科目ナンバリングは、武蔵大学で開講している科目に番号付けを行い、科目の分野、履修可能年次、履修順序などをあらわしたものです。詳しくは、履修要項（共通編）を確認してください。
- ③ 科目名 授業科目名
（※授業内容については、シラバスを参照してください。）
- ④ 単位 科目ごとに単位数が決められています。卒業要件をよく読み、必要な単位を修得してください。
- ⑤ 配当年次 科目ごとに履修可能年次が指定されています。一部、システム上履修登録できる年次が異なる科目もあります。
- ⑥ 授業形態 履修要項（共通編）8頁参照
- ⑦ 備考 その科目に対する条件・案内等が記載されています。
- 「*印について」
- ・備考欄に*印のない科目は、原則として毎年開講する予定の科目です。
 - ・備考欄に*印のある科目は、原則として2年に一度開講する予定の科目です。このため開講された翌年度は欠講となる可能性があります。ただし、履修の便宜のため、年度により、2年連続で開講される場合もあります。
 - ・2022年度のカリキュラム改訂により、2021年度以前と*印の有無が変更となった科目があります。
- 「◆印について」

2022年度以降の入学者を対象に新カリキュラムが導入されました。2021年度以前の入学者に適用されるカリキュラムは変わりませんが、2022年度以降、新カリキュラムの一部の科目についても履

修が可能となり、卒業に必要な単位数に含めることができます。対象科目については、2022年度以降の履修要項でご確認ください。

一方で、現在履修要項に掲載されている一部の科目の廃止が予定されていますので、以下の点に留意の上、履修計画を立てるようにしてください。

- ・備考欄に◆印のない科目（*印のある科目を含む）は、原則として、2022年度以降も開講する予定の科目です。
- ・備考欄に◆印のある科目は、2024年度末にて廃止されます。原則として、これらの科目は、2021年度～2024年度の間、2年に一度開講する予定です。ただし、履修状況等を踏まえ、2024年度よりも前に廃止される可能性があります。

「その他」

- ・上記以外に注意すべき条件・案内等が記載されています。備考欄に直接記載されているものと、※印がついて欄外に説明が記載されているものがあります。

【開欠講について】

2023年度より当年度の開欠講情報の記載を削除しました。

当年度に開講している科目は、3Sの授業>シラバス検索>カリキュラムツリー照会から確認できます。入学年度、学科組織（●●学部●●学科●●コースなど）を選択して「表示」を押すと、選択したカリキュラムに沿った形で当年度開講している科目のシラバスが表示されます。開講期は「すべて対象」「春学期」「秋学期」を選択できます。なお、自身のIDとパスワードでログインすると、あらかじめ入学年度と学科組織が入力された状態で表示されます。

科目名が表示されない場合は、当年度欠講となります。3Sトップ画面上のリンク一覧にある当年度「欠講科目一覧」もあわせて確認してください。

3年次生、4年次生は特に履修登録・修正・取消にあたり、履修要項で卒業研究ゼミ・卒業論文・卒業制作の履修条件、卒業要件を十分理解しておいてください。

履修登録によって生じた不利益はあくまでも学生自身の自己責任となるので、十分理解した上で履修確認を怠らないようにしてください。

2. 各年次における履修上の留意点

各学年の履修登録において、下記の科目は必ず登録しなければなりません。留学、休学などで、下記科目の履修登録ができない場合は、必ず事前に教務課に相談してください。

なお、留学先で修得した単位が本学で「認定単位」として認められれば、卒業要件に充当させることができます。

学年	区分	社会学科必修科目	メディア社会学科必修科目	単位数（科目数）
----	----	----------	--------------	----------

1年次	外国語科目	必修外国語 英語 I	必修外国語 英語 I	1	4 単位 (4 科目)
		必修外国語 英語 I	必修外国語 英語 I	1	
		必修外国語 英語 I	必修外国語 英語 I	1	
		必修外国語 英語 I	必修外国語 英語 I	1	
	専門科目	社会学原論 A	メディア社会学	2	14 単位 (7 科目)
		社会学原論 B	社会学原論 A	2	
		社会調査方法論基礎 1	社会調査方法論基礎 1	2	
		社会調査方法論基礎 2	社会調査方法論基礎 2	2	
		コンピューティング基礎	コンピューティング基礎	2	
		社会学初年次基礎ゼミ	メディア社会学初年次基礎ゼミ	2	
		社会学初年次応用ゼミ	メディア社会学初年次応用ゼミ	2	
				18 単位 (11 科目)	

2年次	外国語科目	必修外国語 英語Ⅱ	必修外国語 英語Ⅱ	1	2単位 (2科目)	6単位 (4科目)
		必修外国語 英語Ⅱ	必修外国語 英語Ⅱ	1		
	専門科目	社会学方法論ゼミ	メディア社会学方法論ゼミ	2	4単位 (2科目)	
		社会学方法論ゼミ	メディア社会学方法論ゼミ	2		

3年次	専門科目	社会学専門ゼミ1	メディア社会学専門ゼミ1	2	4単位 (2科目)
		社会学専門ゼミ2	メディア社会学専門ゼミ2	2	

4年次	専門科目	社会学卒業研究ゼミ	メディア社会学卒業研究ゼミ	4	8単位 (2科目)
		卒業論文	卒業論文・卒業制作	4	

※協定留学生・認定留学生については「9. 協定留学生および認定留学生向けの各種案内」を参照してください。

(1) 2年次の留意点

2年次終了時点で「メディア社会学専門ゼミ1」「メディア社会学専門ゼミ2」の履修条件を満たさない場合、4年間では卒業できません。また、2年次終了時点で卒業に必要な修得単位が28単位未満で、履修登録単位制限の緩和措置の対象とならない等の場合、4年間では卒業できません。

$$124 \text{ 単位 (卒業に必要な単位)} - 48 \text{ 単位 (1年間の履修登録単位数上限)} \times 2 \text{ 年} = 28 \text{ 単位}$$

(2) 3年次の留意点

3年次終了時点で「メディア社会学卒業研究ゼミ」の履修条件を満たさない場合、4年間では卒業できません。また、3年次終了時点で卒業に必要な修得単位が76単位未満で、履修登録単位制限の緩和措置の対象とならない等の場合、4年間では卒業できません。

$$124 \text{ 単位 (卒業に必要な単位)} - 48 \text{ 単位 (1年間の履修登録単位数上限)} = 76 \text{ 単位}$$

2. 卒業要件 [社会学科・メディア社会学科共通 (GDS コース除く)]

本学に4年以上在学し、各学科の履修方法に従って所定の単位を修得しなければなりません。概略を表にすると次のとおりとなります。

区 分	修得すべき 最低単位数	内 訳
総合科目	20 単位	6 分野 (A ~ F) からセクションを問わず最低 2 単位を修得し (計 12 単位)、かつ分野を問わずさらに 8 単位以上修得すること。
外国語科目	8 単位	必修外国語 (英語) 6 単位 選択外国語 2 単位 ※ (英語, ドイツ語, フランス語, イタリア語, ロシア語, スペイン語, 中国語, 韓国・朝鮮語) ※選択外国語は 2 単位を超えて修得した場合、総合科目として 8 単位まで算入される。
専門科目	96 単位	[必修科目] ゼミ科目 20 単位 理論科目 4 単位 方法科目 6 単位 [選択科目] 展開科目 ※ 28 単位 方法科目 6 単位 その他 ※※ 32 単位 ※所属学科の展開科目に限る。加えて、所属コースの展開科目から 2 科目 4 単位以上を修得しなければならない。この単位は展開科目の 28 単位に含める。 ※※必修以外の理論科目、方法科目、展開科目、学部共通科目、全学対象専門科目、教職の教科に関する概説科目。ただし、全学対象専門科目は 8 単位を、教職の教科に関する概説科目は 4 単位を上限とする。
合 計	124 単位	

【注意】

- ・1 科目の単位を分割して、複数の卒業要件に算入することはできません。
- ・上記の単位数はすべて「最低数」であり、実際には、各自の関心や研究の状況にあわせて、最低数以上の単位を履修することが望ましい。

3. 科目表と履修モデル

1. 科目表

◆総合科目 科目表【20単位】 *特記があるもの以外は1科目2単位

分野	セクション	1年次		2年次				3年次				4年次			
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
		Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2
A分野 情報と コミュニケーション 選択：2単位以上	講義セクション	他者理解とコミュニケーション 情報技術と人間社会 知識社会の情報学 データ分析の基礎 データ分析の応用 Information Technology and Global Communication													
	実践セクション	表現技法とインタラクション 問題解決とコンピューティング デジタル協働学 データマイニング入門 インターネット・イングリッシュ クリエイティブ・ライティング アカデミック・ディベート クリティカル・シンキング 論文の書き方●													
B分野 歴史と文化 選択：2単位以上	講義セクション	グローバル時代の歴史認識 20世紀の世界 20世紀の日本 社会思想の歴史 人文学入門 世界の言語と文化 日本と世界の宗教 日本の伝統と文化 現代世界の人と生活 多文化共生の現在 Japan in the Modern World Introduction to Race, Ethnicity and Nation Introduction to Global History													
	実践セクション	世界の名著 日本の名著 文化財リサーチプロジェクト 学園史100年プロジェクト													
C分野 現代社会 選択：2単位以上	講義セクション	日本国憲法 現代社会と政治 現代社会と法 現代社会と経済 現代社会と人権 現代社会と環境 現代社会とジェンダー 現代社会とアート 国際社会における紛争と協調 グローバリズムと21世紀 現代日本の課題 Introduction to Global Studies Understanding the Contemporary Global Economy Introduction to Human Rights Introduction to Gender and Sexuality Studies													
	実践セクション	経済ニュース・リーディング 人権ワークショップ 現代アート・ワークショップ Sociology (4単位) ●													
D分野 自然と環境 選択：2単位以上	講義セクション	地球の自然史 地球環境 人間と環境 数学の世界 自然と生活のなかの物理 化学と現代社会 生命の進化 人の進化 人間と科学技術の歩み 先進の科学技術 Global Environmental Issues Introduction to Human Geography													
	実践セクション	武蔵・環境フィールドワーク サイエンスラボ集中講座 A/B サイエンスラボ講座 (物理学) A/B サイエンスラボ講座 (化学) A/B サイエンスラボ講座 (生物学) A/B 自然科学集中プロジェクト A/B (1単位) 物理学ラボワーク A/B (1単位) 化学ラボワーク A/B (1単位) 生物学ラボワーク A/B (1単位)													
E分野 心と体 選択：2単位以上	講義セクション	こころの科学と健康 臨床心理学と人間理解 スポーツと健康の科学 スポーツの哲学 スポーツの歴史と文化 スポーツの社会環境 スポーツの心理学 Introduction to Personal Health and Wellness													
	実践セクション	心理学ワークショップ アダプテッドスポーツ・ワークショップ スポーツ実践1～14 (バレーボール/バスケットボール/ファンランニング/フットサル/バドミントン/卓球/ アドバンストゴルフ/ベーシックゴルフ/水泳/エアロビクス&フィットネス/ リラクゼーション&ウォーキング/護身術と柔道/スキー/スノーボード) (1単位)													
F分野 ライフマネジメント とキャリアデザイン 選択：2単位以上	講義セクション	自己理解の哲学 キャリアデザイン論 A/B キャリア対策科目 ライフサイクルと生涯学習 心理学と社会 Career Design in a Global Age													
	実践セクション	キャリアデザイン演習 インターンシップ特講 (1単位) インターンシップ (1単位) 海外調査方法論 海外フィールド実習 (1単位)													

■総合科目は20単位以上を修得してください。

・ 選択科目:20単位以上 = A分野 (2単位以上) + B分野 (2単位以上) + C分野 (2単位以上) + D分野 (2単位以上)
+ E分野 (2単位以上) + F分野 (2単位以上)

* 総合科目はすべて選択科目です。各分野から、セクションに関わりなく、2単位以上を修得し、合計で20単位以上としてください。

* 「クリティカル・シンキング」「論文の書き方」「Sociology」の履修は、原則としてGDSコース所属者に限ります。

* 「Sociology」の履修にはIELTS5.5以上のスコアを持つことが望ましいです。詳細は、シラバスを参照してください。

● 「Sociology」「論文の書き方」に代わる科目として「Introductory Sociology」「Academic Writing (論文の書き方)」が専門科目に新設されました。「Sociology」「論文の書き方」の履修を希望していた者は、専門科目として「Introductory Sociology」「Academic Writing (論文の書き方)」を履修してください。

* 卒業に必要な総合科目20単位は、最低限の単位数であり、上記条件を満たした上で、20単位以上の履修が可能です。

* 選択外国語から8単位を上限として、総合科目の単位に含めることができます。

◆外国語科目 科目表【8単位】 *特記があるもの以外は1科目1単位 *斜体:必修科目

科目種別	1年次				2年次				3年次				4年次			
	春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期	
	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2
必修外国語(英語) 必修:6単位	英語I総合 英語I会話		英語I総合 英語I会話		英語II		英語II									
選択 外国語 選択: 2単位	社会学部 専用クラス				選択ドイツ語基礎 1/2 選択フランス語基礎 1/2 選択中国語基礎 1/2 選択韓国・朝鮮語基礎 1/2 選択イタリア語基礎 1/2 選択スペイン語基礎 1/2											
	全学共通 クラス				イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング 1/2 イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ 1/2 ディスカッション・ディベート英語 1/2 クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ 1/2 ビジネス・コミュニケーション英語 1/2 イングリッシュ・ライティング・ワークショップ 1/2 プラクティカル・イングリッシュ 1/2 TOEIC 対策英語 1/2 中国語入門 1/2 韓国・朝鮮語入門 1/2 ドイツ語入門 1/2 フランス語入門 1/2 イタリア語入門 1/2 スペイン語入門 1/2 ロシア語入門 1/2 外国語現地実習(中国語) 1/2 (2単位) 外国語現地実習(韓国・朝鮮語) 1/2 (2単位) 外国語現地実習(英語) 1/2 (2単位) 外国語現地実習(ドイツ語) 1/2 (2単位) 外国語現地実習(フランス語) 1/2 (2単位) 日本語(コンプリートビギナー) 1/2 日本語(入門) 1/2 日本語(初級) 1/2 日本語(初中級) 1/2 日本語(中級) 1/2 日本語(上級) 1/2 *「日本語」科目は外国人留学生を主な対象とする科目です。履修にあたっては制限があるので、教務課に問い合わせてください。											
				中国語中級 1/2 中国語コミュニケーション 1/2 韓国・朝鮮語中級 1/2 韓国・朝鮮語コミュニケーション 1/2 ドイツ語中級 1/2 ドイツ語コミュニケーション 1/2 フランス語中級 1/2 フランス語コミュニケーション 1/2 イタリア語中級 1/2 イタリア語コミュニケーション 1/2 スペイン語中級 1/2 スペイン語コミュニケーション 1/2 ロシア語中級 1/2 ロシア語コミュニケーション 1/2												

■外国語科目は8単位以上を修得してください。

- ・必修科目:6単位
- ・選択科目:2単位

*選択外国語2単位を越えて修得した科目については、8単位を上限として、総合科目の修得単位に算入することができます。

*選択外国語は、社会学部専用クラスの「選択○○語基礎 1/2」と、全学共通クラスの「○○語入門 1/2」とで同じ言語を履修した場合、いずれか一つだけを卒業に必要な単位に算入することができます。

例) 選択ドイツ語基礎 1 とドイツ語入門 1

例) 選択スペイン語基礎 2 とスペイン語入門 2

*選択外国語は、社会学部専用クラスと全学共通クラスのどちらから履修してもかまいません。

◆メディア社会学科 専門科目 科目表【96単位】 *特記があるもの以外は1科目2単位 *斜体:必修科目

科目種別	1年次				2年次				3年次				4年次							
	春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期					
	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2				
ゼミ科目 必修:20単位	メディア社会学 初年次基礎ゼミ		メディア社会学 初年次応用ゼミ		メディア社会学 方法論ゼミ		メディア社会学 方法論ゼミ		メディア社会学 専門ゼミ1		メディア社会学 専門ゼミ2		メディア社会学 卒業研究ゼミ (4単位/ 週2回)		卒業論文・ 卒業制作 (4単位/ 週2回)					
理論科目 必修:4単位 選択:0単位以上	メディア社会学 原論A (2単位/ 週2回)		メディア学説史 コミュニケーション理論 メディア社会学文献講読A/B メディア社会学外書講読 学年縦断自由ゼミ																	
方法科目 必修:6単位 選択:6単位以上	コンピューティング 基礎 (2単位/週2回)* Spr1かSpr2で 履修		社会調査 方法論 基礎1 (2単位/ 週2回)		社会調査 方法論 基礎2 (2単位/ 週2回)		データサイエンス応用 コンピューティング応用 A/B/C/D/E/F/G/H 量的社会調査方法論 質的社会調査方法論 参与観察調査方法論 資料調査方法論 エスノメソドロロジー メディア分析法 A/B/C ルポライティング方法論 データサイエンス基礎 定性データ分析法 定量データ分析法 A/B/C 社会統計学 1/2 Academic Writing (論文の書き方)													
展開科目 選択28単位以上	メディア コミュニケー ション	*4科目(8単位)まで 展開科目を履修可能		映画研究 エレクトリックメディア論 グローバリゼーションとメディア デジタル社会論 ポピュラー音楽論 マスコミュニケーション論 情報の社会心理学 音楽文化の社会学 活字メディアの社会学 サブカルチャーの社会学 放送メディアの社会学 *各自の選択した専攻コースの科目を4単位以上修得すること																
	パブリック コミュニケー ション			エスニックメディア論 広報論 コーポレート・コミュニケーション論 電子コミュニケーション論 NPO・NGOとメディア メディアリテラシー論 ライフスタイルの心理学 Webシステム論 広告論 スポーツとメディア ファッションと流行の社会心理 ゲームフィケーション論 *各自の選択した専攻コースの科目を4単位以上修得すること																
	メディア プロデュース			国際ニュース研究 ジャーナリズム論 メディア法制と倫理 映像アーカイブ論 ドキュメンタリー研究 市民メディア論 地域メディア論 映像メディア制作論 CM企画・制作論 出版メディア制作論 知的財産・著作権論 知とデータ *各自の選択した専攻コースの科目を4単位以上修得すること																
学部共通科目 選択:0単位以上	社会学原論B 社会学史 社会学理論 社会学文献講読A/B 社会学外書講読		社会理論のフロンティア 現代社会の諸相 グローバル社会の諸相 ホットトピック特別講義 メディア研究のフロンティア 文化研究のフロンティア メディア社会の諸相 データサイエンス特別講義 学部横断型課題解決プロジェクト 社会学科開講の展開科目 *詳細な科目名は81頁の一覧を参照のこと																	
全学対象専門科目選択: 0単位以上、上限8単位	経済学部・人文学部開講の専門科目の一部 *詳細な科目名と履修年次は82頁以降の一覧を参照のこと																			
教職の教科に関する 概説科目選択: 0単位以上、上限4単位	日本史概説 外国史概説 法律学概説 政治学概説 経済学概説 地誌概説 人文地理学概説 自然地理学概説 倫理学概説 宗教学概説 哲学概説 心理学概説																			

■専門科目は96単位以上を修得してください。

- ・必修科目:30単位 =ゼミ科目(20単位)+理論科目(4単位)+方法科目(6単位)
- ・選択科目:66単位以上 =理論科目(0単位以上^(注))+方法科目(6単位以上)+展開科目(28単位以上)
+学部共通科目(0単位以上^(注))+全学対象専門科目(0単位以上、上限8単位)
+教職の教科に関する概説科目(0単位以上、上限4単位)

*卒業に必要な専門科目96単位は、あくまで最低限の単位数です。上記条件を満たした上で、96単位以上の履修を目指してください。

*選択科目は自分の興味関心や将来希望する進路を考えた上で選びましょう。とくに展開科目は、2年次に選択したコースのものを中心に、体系的に選ぶようにしてください。選び方の例は履修モデルを参考にしてください。

(注)最低限修得しなくてはならない単位数も修得できる上限の単位数もありません。興味関心や進路にあわせて必要に応じて修得してください。

2. 履修モデル

4年間、ただ漫然と、時間割の都合で選んだ授業に出ているだけでは、大学での学修の効果は半減してしまいます。授業の効果を最大限にするためには、それぞれの授業をなぜ履修するのか、その授業を履修してどんな成果を上げたいのか、を自覚しながら授業での学修に取り組むことが必要です。そして、そうした自覚を持つためには、4年間の大学での学修を、何のために行うのかを、自分で設定できているとよいでしょう。

それは、卒業論文や卒業制作についての計画でもかまいません。卒業後の進路や就業に関わる目的でもかまいません。あるいは、もっと漠然とした4年間で学修したいテーマでもかまいません。こうした目的やテーマに基づいて、4年間の履修計画を立てることができれば、自ずと各々の授業にも積極的に取り組むことができ、学修の成果も上がることでしょう。

以下には、メディア社会学科の各コースの中で、様々な目的やテーマに基づいて履修を組み立てる場合の事例を、履修モデルとして載せてあります。もちろん目的やテーマは人それぞれです。ここに挙げた履修モデルを、目的やテーマに基づいて履修計画を立てるときに参考としてください。そして、自分自身の興味関心や将来の進路の希望に合わせて、自分なりの目的やテーマを設定して、自分にふさわしい履修計画をつくってください。

ちなみに、各モデルの中では、いっけん設定されたテーマや目的には直接関係しないように見える授業の履修も選択されているかもしれません。これは、視野を広くもち、様々な可能性に開かれているために、むしろ必要なことでもありますので、この点も参考にしてください。

なお、実際に開講される科目や開講される曜日時限は年度ごとに変化します。このため、履修計画通りの履修を実現することができない場合もありますので注意してください。

◆メディア社会学科履修モデル1：「メディアコミュニケーション」コース専攻で社会的に有用なメディアのあり方を探究する！

区分	卒業要件	本モデルでの 修得単位数	1年次				2年次				3年次				4年次			
			春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期	
			Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2
総合科目	選択 20単位	選択 20単位	キャリア デザイン論A		キャリア デザイン論B		キャリア デザイン演習		他者理解とコミュニケーション 知識社会の情報学 グローバル時代の歴史認識 現代世界の人と生活 現代社会とジェンダー 人間と科学技術の歩み スポーツの哲学									
外国語科目 ※選択外国語から8単 位を上限として総合科 目の単位に含めること ができる	必修8単位: 必修外国語 (英語)6、 選択外国語 2	必修 6単位 選択 2単位	英語I*1単位 英語I*1単位	英語I*1単位 英語I*1単位	英語II*1単位	英語II*1単位												
ゼミ科目	必修 20単位	必修 20単位	メディア社会学 初年次基礎ゼミ	メディア社会学 初年次応用ゼミ	メディア社会学 方法論ゼミ	メディア社会学 方法論ゼミ	メディア社会学 専門ゼミ1	メディア社会学 専門ゼミ2	メディア社会学 卒業研究ゼミ* 4単位	卒業論文・卒業 制作* 4単位								
理論科目	必修4単位、 選択0単位 以上	必修4単位、 選択6単位	メディア社会学 原論A (2/週2):(2/週2)	メディア学説史 コミュニケーション理論 メディア社会学文献講読A														
方法科目	必修 6単位 選択 6単位以上	必修 6単位 選択 12単位	コンピューティング 基礎(2/週2)* Spr1またはSpr2 で履修	社会調査・社会調査 方法論 方法論 基礎1 基礎2 (2/週2):(2/週2)					コンピューティング応用C メディア分析法A メディア分析法B ルポライティング方法論 量的社会調査方法論 資料調査方法論									
専門科目 展開科目	メディア コミュニ ケーション	選択 28単位以上 選択 38単位	グローバルゼーションとメディア デジタル社会論 エレクトリックメディア論 音楽文化の社会学 ポピュラー音楽論 情報の社会心理学 マスコミュニケーション論 サブカルチャーの社会学 映画研究 活字メディアの社会学 放送メディアの社会学 *4単位以上、所属コースの科目を修得すること															
	パブリック コミュニ ケーション		電子コミュニケーション論 メディアリテラシー論 スポーツとメディア ファッションと流行の社会心理															
	メディア プロデュース		映像アーカイブ論 CM企画・制作論 出版メディア制作論 知的財産・著作権論															
学部共通科目	選択0単位 以上	選択 14単位	文化の社会学 アイデンティティの社会学 若者文化の社会学 消費社会学 コミュニケーションの社会学 セクシュアリティの社会学 メディア社会の諸相															
全学対象 専門科目	選択上限 8単位	選択 4単位	経済学部・人文学部開講の専門科目の一部															
合計	124単位 以上	132単位	23単位	25単位	24単位	22単位	16単位	14単位	4単位	4単位								

■卒業要件に含まれる単位を、124単位以上を修得すること。 ■専門科目は96単位以上を修得すること。

*特記があるもの以外は1科目2単位 *斜体:必修科目

◆メディア社会学科履修モデル2:「パブリックコミュニケーション」コース専攻で新時代の市民と社会の姿を探究する!

区分	卒業要件	本モデルでの 修得単位数	1年次				2年次				3年次				4年次			
			春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期	
			Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2
総合科目	選択 20単位	選択 20単位	キャリア デザイン論 A		キャリア デザイン論 B		キャリア デザイン演習		インターンシップ 特講*1単位 インターンシップ *1単位									
			アカデミック・ディベート グローバル時代の歴史認識 多文化共生の現在 国際社会における紛争と協調 武蔵・環境フィールドワーク スポーツ実践1(バレーボール)*1単位 スポーツ実践4(フットサル)*1単位															
外国語科目 ※選択外国語から8単 位を上限として総合科 目の単位に含めること ができる	必修8単位: 必修外国語 (英語)6、 選択外国語 2	必修 6単位 選択 2単位	英語I*1単位 英語I*1単位	英語I*1単位 英語I*1単位	英語II*1単位	英語II*1単位												
専門科目	ゼミ科目	必修 20単位	メディア社会学 初年次基礎ゼミ	メディア社会学 初年次応用ゼミ	メディア社会学 方法論ゼミ	メディア社会学 方法論ゼミ	メディア社会学 専門ゼミ1	メディア社会学 専門ゼミ2	メディア社会学 卒業研究ゼミ* 4単位				卒業論文・卒業 制作*4単位					
	理論科目	必修4単位、 選択0単位 以上	必修4単位、 選択6単位	メディア社会学 原論A (2/週2):(2/週2)		メディア学説史 コミュニケーション理論 メディア社会学文献講読B												
	方法科目	必修 6単位	必修6単位	コンピューティング:社会調査:社会調査 基礎(2/週2)* Spr1またはSpr2 で履修		社会調査:社会調査 方法論:方法論 基礎1:基礎2 (2/週2):(2/週2)												
		選択6単位 以上	選択12単位	コンピューティング応用D メディア分析法A メディア分析法B ルポライティング方法論 参与観察調査方法論 定性データ分析法														
	展開科目	メディア コミュニ ケーション	選択 28単位以上	選択 38単位					グローバル化とメディア デジタル社会論 エレクトリックメディア論 情報の社会心理学									
		パブリック コミュニ ケーション							エスニックメディア論 広報論 コーポレート・コミュニケーション論 電子コミュニケーション論 NPO・NGOとメディア メディアリテラシー論 ライフスタイルの心理学 Webシステム論 広告論 スポーツとメディア ファッションと流行の社会心理 *4単位以上、所属コースの科目を修得すること									
		メディア プロデュース							ジャーナリズム論 メディア法制と倫理 市民メディア論 地域メディア論									
学部共通科目	選択0単位 以上	選択 14単位	ネットワークの社会学 地域とコミュニティの社会学 政治社会学 都市社会学 社会運動論 福祉社会学 ホットトピック特別講義															
全学対象 専門科目	選択上限 8単位	選択 4単位	経済学部・人文学部開講の専門科目の一部															
合計	124単位 以上	132単位	23単位	25単位	24単位	22単位	16単位	14単位	4単位	4単位								

■卒業要件に含まれる単位を、124単位以上を修得すること。 ■専門科目は96単位以上を修得すること。

*特記があるもの以外は1科目2単位 *斜体:必修科目

◆メディア社会学科履修モデル3:「メディアプロデュース」コース専攻で情報を「発信」する「表現」の方法を探究する!

区分	卒業要件	本モデルでの 修得単位数	1年次				2年次				3年次				4年次			
			春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期	
			Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2
総合科目	選択 20単位	選択 18単位	キャリア デザイン論 A		キャリア デザイン論 B		キャリア 対策科目											
			インターネット・イングリッシュ 世界の言語と文化 現代社会と人権 現代日本の課題 先進の科学技術 アダプテッドスポーツ・ワークショップ															
外国語科目 ※選択外国語から8単 位を上限として総合科 目の単位に含めること ができる	必修8単位: 必修外国語 (英語)6、 選択外国語 2	必修 6単位 選択 6単位	英語I*1単位 英語I*1単位	英語I*1単位 英語I*1単位	英語II*1単位	英語II*1単位												
専門科目	ゼミ科目	必修 20単位	メディア社会学 初年次基礎ゼミ	メディア社会学 初年次応用ゼミ	メディア社会学 方法論ゼミ	メディア社会学 方法論ゼミ	メディア社会学 専門ゼミ1	メディア社会学 専門ゼミ2	メディア社会学 卒業研究ゼミ* 4単位				卒業論文・卒業 制作*4単位					
	理論科目	必修4単位、 選択0単位 以上	必修4単位、 選択6単位	メディア社会学 原論A (2/週2):(2/週2)		メディア学説史 コミュニケーション理論 メディア社会学外書講読												
	方法科目	必修 6単位	必修6単位	コンピューティング:社会調査:社会調査 基礎(2/週2)* Spr1またはSpr2 で履修		社会調査:社会調査 方法論:方法論 基礎1:基礎2 (2/週2):(2/週2)												
		選択6単位 以上	選択12単位	コンピューティング応用B メディア分析法A メディア分析法B ルポライティング方法論 データサイエンス基礎 定量データ分析法														
	展開科目	メディア コミュニ ケーション	選択 28単位以上	選択 38単位					ポピュラー音楽論 映画研究 活字メディアの社会学 放送メディアの社会学									
		パブリック コミュニ ケーション							広告論 広報論 コーポレート・コミュニケーション論 ライフスタイルの心理学									
		メディア プロデュース							国際ニュース研究 ジャーナリズム論 メディア法制と倫理 映像アーカイブ論 ドキュメンタリー研究 市民メディア論 地域メディア論 映像メディア制作論 CM企画・制作論 出版メディア制作論 知的財産・著作権論 *4単位以上、所属コースの科目を修得すること									
学部共通科目	選択0単位 以上	選択 12単位	グローバル化の社会学 仕事の社会学 教育社会学 家族社会学 文化人類学 観光人類学															
全学対象 専門科目	選択上限 8単位	選択 4単位	経済学部・人文学部開講の専門科目の一部															
合計	124単位 以上	132単位	23単位	25単位	24単位	22単位	16単位	14単位	4単位	4単位								

■卒業要件に含まれる単位を、124単位以上を修得すること。 ■専門科目は96単位以上を修得すること。

*特記があるもの以外は1科目2単位 *斜体:必修科目

4. メディア社会学科 総合科目

1. 目的と特徴

総合科目は幅広い教養と知識、豊かな人間性と良識、柔軟な思考力、判断力、そして創造的な実践力を養うことを目的としています。総合科目の特徴は、全学部および関係するセンターが協力して企画、運営している共通科目（スタンダード科目）であること、全学部の学生が同じ教室で受講することです。総合科目は、価値の多様化、異文化およびダイバーシティ理解、男女共同参画をはじめとする21世紀を生きる私たちが直面している状況や取り組むべき課題を具体的に意識して精選されたものです。

なお、それぞれの授業群における独自の目標を、以下のように定めています。

- (A) 情報とコミュニケーション : 情報化社会で学び、生活し、仕事をするための知識と力を養う
- (B) 歴史と文化 : 日本と世界各地の伝統文化や思想、宗教などへの理解を深める
- (C) 現代社会 : 政治、法、経済、社会構造など、多様な視点から現代をとらえる
- (D) 自然と環境 : 地球環境や生物環境の基礎知識を身につけ、自然と人間の共生を考える
- (E) 心と体 : 人間の心と体をトータルにとらえ、健康づくりのスキルと姿勢を身につける
- (F) ライフマネジメントとキャリアデザイン : 大学卒業後の進路に夢を描き、具体化するための力を養う

2. 学年配当

ほとんどの科目は1年次から4年次までいつでも履修できますが、学年が限定されている科目も一部にありますので、一覧表をよく確認してください。

3. 授業科目の編成、分類、単位数など

総合科目は6分野（A～F）からなり、それぞれの授業科目は講義セクションと実践セクションに分かれています。講義セクションには総合的内容の講義（講義科目）が置かれ、実践セクションには演習・実習・実技・実験その他の体験授業（実践科目）が置かれています。講義セクションで得た知識を実践的レベルでも追究したい場合に実践セクションの科目を履修すると効果的です。

それぞれの分野は、知と実践（知ることと行うこと）の循環・統合を実感できるように構成されています。ただし、総合科目の授業内容は、一部のセット科目を除いてそれぞれ独立していますので、各人の興味と必要に応じて、セクションを気にせずに個々に履修することもできます。総合科目の授業はすべて1セメスターで完結します。なお、週に複数回の授業が行われる科目もあります。また、単位数については授業の密度や学修時間に応じて1単位・2単位の区別があります。一覧表でよく確認してください。

4. 修得すべき単位数

6分野（A～F）からセクションを問わず最低2単位を修得し（計12単位）、かつ分野を問わずさらに8単位以上修得しなければなりません（総合科目全体として合計20単位以上が卒業に必要な条件です）。なお、選択外国語を8単位まで「分野を問わない8単位」に含めることができます。

なお、総合科目を最低条件以上に履修した場合は自由科目の扱いになります。また、同一科目（同一名称の科目）を履修した場合、二度目以降は自由科目の扱いになります。ただし、同一名称でありながら記号や番号で区別がなされている科目は別科目（重複履修とはならない科目）であるケースがあるので、その扱いについては教務課に問い合わせてください。

区分	修得すべき単位数	詳細		注意
総合科目	20単位	(A) 情報とコミュニケーション	2単位以上	・各分野最低2単位（合計12単位）と分野を問わず8単位、合わせて20単位を修得すること。
		(B) 歴史と文化	2単位以上	
		(C) 現代社会	2単位以上	
		(D) 自然と環境	2単位以上	
		(E) 心と体	2単位以上	・「分野を問わない8単位」の中に、選択外国語を8単位まで算入できる。
		(F) ライフマネジメントとキャリアデザイン	2単位以上	

5. 「(E) 心と体」分野のスポーツ実践

総合科目のうち、**スポーツ実践**を履修する際には以下の事項に注意してください。

- ① 成績評価にあたっては、授業への出席数および履修態度（平常点）を主要なものとし、欠席数が多い場合や履修態度が著しく悪い場合は不合格となり、単位の認定が行われません。ただし、特別な事情がある場合は別に考慮することがあるので、その旨を申し出てください。
- ② 健康診断を受けていない場合は、速やかに大学保健室および身体運動科学研究室に申し出て、指示を受けてください。健康診断では、健康状態をはじめ、疾病・異常の有無を確認しています。スポーツ活動、身体活動を通して、健康の維持増進を図るためにも、自身の健康状態を把握しておくことは非常に重要です。
- ③ スポーツ実践は実技です。必ず運動に適した服装で授業を受けてください。
- ④ 実技科目であるため、履修者数を制限します。なお、第1回目の集合場所および履修登録に関する事項が掲示されますので、見落としのないように注意してください。

6. 実践セクションの特殊な履修手続きについて

実践セクションの授業のうちF群の「海外フィールド実習」は、通常の履修登録の手続きとは異なり、ガイダンスを実施するなどしたのちに、授業担当者に直接履修登録の申請を行います。通常の履修登録期間・履修取消期間外に行われるため、履修取消の対象外ですので、注意してください。

5. メディア社会学科 外国語科目

外国語科目は、グローバル時代における多言語多文化社会の要請にかなった外国語運用能力を養うことを目的としています。必修外国語（英語）と選択外国語に分かれ、英語をはじめとする各種の外国語の力を磨くことができます。外国語科目は学部が定めたカリキュラムにしたがって、履修していきます。また、外国語科目は特に出席が重視され、授業回数の3分の1以上を欠席した場合、単位が与えられません。

1. 必修外国語（英語）

必修外国語（英語）は6科目6単位を修得しなければなりません。

1年次に4科目4単位、2年次に2科目2単位が配当されており、必ず、自分の配属されているクラスで履修しなければなりません。

(1) 1年次配当の必修外国語（英語）

1年次の必修外国語（英語）は、総合と会話に大別され、到達度別クラスに分かれます。4授業について、それぞれ指定された、社会学部・経済学部・人文学部合同のクラスで履修しなければなりません。総合は30名以下、会話は20名以下で編成されます。

クラス配属は開講前に3Sで指示します。

科目名	クラス名	備考
英語Ⅰ [1]	総合…春学期	[1] [3] は春学期、[2] [4] は秋学期を示す。
英語Ⅰ [2]	総合…秋学期	
英語Ⅰ [3]	会話…春学期	
英語Ⅰ [4]	会話…秋学期	

(2) 2年次配当の必修外国語（英語）

英語Ⅱでは複数の授業内容（復習・講読・英会話・TOEIC®・映画等）のクラスが開講されますので、これらの中からひとつを選択します。ただし、希望者がクラス定員を上回った場合は、学内試験の成績を考慮して、クラスの所属を決定する場合があります。また希望者が極端に少ない場合は、社会学部のクラスに編入する場合があります。1年次の6月に3Sで履修希望届を提出する必要がありますので、注意してください（詳細は3Sで別途指示します）。

(3) 必修外国語（英語）の再履修

必修外国語（英語）の単位を修得できなかった場合は、翌年度に再度同一の科目を履修しなければなりません。クラスの配属は学年はじめに3Sで指示します。

英語学内試験（CASEC、EF SET）について

1年次生全員および2年次生の希望者を対象に実施します。自宅等から受験できるオンライン方式のテストです。1年次生は2年次英語クラスのクラス分けに使用することがありますので、必ず受験してください。また、2年次生も自らの英語力の把握に役立てるため、大学での英語学習の重要な軸として、このテストをぜひ受験してください（ただし、GDSの2年次生は受験必須とします）。詳細は3Sで別途指示します。

2. 選択外国語

選択外国語は、下記の表のなかから最低2単位を修得しなければなりません。2単位を超えて修得した選択外国語の単位は、8単位まで総合科目の修得単位に算入できます。

科目種別		1年次		2年次		3年次		4年次	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
選択外国語…2単位	社会学部 専用クラス	選択ドイツ語基礎 1/2 選択フランス語基礎 1/2 選択中国語基礎 1/2 選択韓国・朝鮮語基礎 1/2 選択イタリア語基礎 1/2 選択スペイン語基礎 1/2							
	全学共通 クラス	イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング 1/2 イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ 1/2 ディスカッション・ディベート英語 1/2 クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ 1/2 ビジネス・コミュニケーション英語 1/2 イングリッシュ・ライティング・ワークショップ 1/2 プラクティカル・イングリッシュ 1/2 TOEIC 対策英語 1/2 中国語入門 1/2 韓国・朝鮮語入門 1/2 ドイツ語入門 1/2 フランス語入門 1/2 イタリア語入門 1/2 スペイン語入門 1/2 ロシア語入門 1/2 外国語現地実習（英語）1/2（2単位） 外国語現地実習（ドイツ語）1/2（2単位） 外国語現地実習（フランス語）1/2（2単位） 外国語現地実習（韓国・朝鮮語）1/2（2単位） 外国語現地実習（中国語）1/2（2単位） 日本語（コンプリートビギナー）1/2 日本語（入門）1/2 日本語（初級）1/2 日本語（初中級）1/2 日本語（中級）1/2 日本語（上級）1/2							
								中国語中級 1/2 中国語コミュニケーション 1/2 韓国・朝鮮語中級 1/2 韓国・朝鮮語コミュニケーション 1/2 ドイツ語中級 1/2 ドイツ語コミュニケーション 1/2 フランス語中級 1/2 フランス語コミュニケーション 1/2 イタリア語中級 1/2 イタリア語コミュニケーション 1/2 スペイン語中級 1/2 スペイン語コミュニケーション 1/2 ロシア語中級 1/2 ロシア語コミュニケーション 1/2	

選択外国語の履修は社会学部専用クラスと全学共通クラスに大別され、社会学部専用クラスの場合は事前に指定されたクラスで学び、全学共通クラスの場合は各自の時間割にあったクラスで学ぶことになります。

選択外国語は「中国語」「韓国・朝鮮語」「ドイツ語」「フランス語」「イタリア語」「スペイン語」「ロシア語」「プラクティカル・イングリッシュ」「イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング」「イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ」「ディスカッション・ディベート英語」「クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ」「ビジネス・コミュニケーション英語」「イングリッシュ・ライティング・ワークショップ」「TOEIC 対策英語」、そして各外国語の「現地実習」等から構成されています。

各外国語の「中級」や「コミュニケーション」の履修に際しては、原則として当該外国語の「基礎」（社会学部専用クラス）か、「入門」（全学共通クラス）の単位を修得していなければなりません。ただし、高等学校等で入学前に受けた授業が初級文法を含むと判断できた場合、入学1年目の学生でも申請によって履修登録を行うことができます。

(1) 履修上の重要な注意点

各言語における社会学部専用クラスの「基礎」と、全学共通クラスの「入門」は内容が重複するため、同じ外国語の「基礎」（社会学部専用クラス）と「入門」（全学共通クラス）を履修すると重複履修となり、片方が自由科目となりその単位が卒業単位として認められません。

(2) ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語、イタリア語、スペイン語の6外国語

社会学部専用クラスの「選択ドイツ語基礎 1/2」、「選択フランス語基礎 1/2」、「選択中国語基礎 1/2」、「選択韓国・朝鮮語基礎 1/2」、「選択イタリア語基礎 1/2」、「選択スペイン語基礎 1/2」の授業内容は主に文法読本です（詳細はシラバスを参照してください）。各言語末尾の1、2という数字は、1が春学期、2が秋学期を示しており、それぞれ1と2をセットで履修しなければなりません。

これらの外国語を履修した上で、さらに当該言語を習得したい場合、全学共通クラスに配置されている「中級」や「コミュニケーション」、「現地実習」等の履修を推奨します。また、「基礎」で単位修得した外国語以外の外国語を全学共通クラスの「入門」から学ぶことは可能です。

(3) 選択外国語の再履修

選択外国語の単位を修得できなかった場合は、同一科目を再度履修してもかまいませんし、他の外国語科目に切り替えて履修してもかまいません。

3. 外国語現地実習

「現地実習」は海外で行う語学の集中授業です。イギリス、オーストラリア、フィリピン、ドイツ、フランス、中国、台湾、韓国において、集中授業として実施します。実施時期が春季と夏季の2種類あり、春季集中授業は次年度の春学期科目、夏季集中授業は実施年度の秋学期科目となります。授業内容についてはシラバスを参照してください。

外国語現地実習の授業科目には、「外国語現地実習（英語）」、「外国語現地実習（ドイツ語）」、「外国語現地実習（フランス語）」、「外国語現地実習（中国語）」、「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）」があります。国際情勢によっては一部変更や中止となる可能性があります。

(1) 外国語現地実習の履修条件

これらの科目を履修するには、グローバル教育センターの定めた規則に従い、参加の手続をグローバル教育センターでとるとともに、履修の詳細、スケジュールに注意して履修登録をしなければなりません。規則を守れない場合、履修登録は完了せず、すでに登録していたとしても無効となりますので、十分注意してください。

(2) 外国語現地実習の履修の詳細

(5) 外国語現地実習のスケジュール（予定）を参照してください。各科目は履修取消し制度および履修登録科目制限の対象外とします。なお、履修期に休学、退学をすると、単位認定は行われません。

(3) 外国語現地実習の成績評価

成績評価は「P」を合格とし、単位は2単位です。帰国後に提出するレポートと現地での学習成果に基づいて評価します。

(4) 外国語現地実習のガイダンス

履修を希望する場合はグローバル教育センターのガイダンスに出席してください。

(5) 外国語現地実習のスケジュール (予定)

① 春季集中授業スケジュール

単位認定を希望する4年次生の春季現地実習への参加は認められませんので、注意してください。

- 10月 グローバル教育センターによる募集ガイダンス
- 11～1月 参加・履修手続き書類をグローバル教育センターのルールに則り提出、各種ガイダンス、事前学習
- 2～3月 現地実習
- 4月 履修登録確認
(履修登録はグローバル教育センターに提出する手続き書類をもとに、教務課で事前に登録するので、各自、登録内容を確認してください。)
- レポート提出
- 9月 成績確認

② 夏季集中授業スケジュール

- 4月 グローバル教育センターによる募集ガイダンス
- 5月～7月 参加・履修手続き書類をグローバル教育センターのルールに則り提出、各種ガイダンス、事前学習
- 8～9月 現地実習
 レポート提出
- 9月 履修登録確認
(履修登録はグローバル教育センターに提出する手続き書類をもとに、教務課で事前に登録するので、各自、登録内容を確認してください。)
- 翌3月上旬 成績確認

6. メディア社会学科 専門科目

1. 専門科目の卒業単位

(1) 専門科目の卒業単位

専門科目は卒業時まで、96単位以上修得しなければなりません。ただし、この96単位の内訳は以下のものとします。

ゼミ科目	(必修) 20 単位
理論科目	(必修) 4 単位
方法科目	(必修) 6 単位
	(選択) 6 単位
展開科目*	(選択) 28 単位
その他**	(選択) 32 単位

* メディア社会学科の展開科目に限る。展開科目の28単位には、所属コースから4単位以上を含まなければならない。

** 「その他」には以下の科目を含む。卒業要件として認められる単位数に上限が設けられている科目があるため注意すること。

必修以外の理論科目

必修以外の方法科目

展開科目

学部共通科目（「社会学原論A」を除く社会学科の理論科目、社会学科の展開科目、社会学部特講、「学部横断型課題解決プロジェクト」）

全学対象専門科目（上限8単位）

教職の教科に関する概説科目（上限4単位）

(2) 同一科目の重複履修

一度単位修得した科目を、再び履修（重複履修）する場合、卒業に必要な単位に算入することはできません。二度目以降に修得した単位は、すべて自由科目として扱われます。

2. ゼミ科目

(1) ゼミ科目の授業

1年次の「メディア社会学初年次基礎ゼミ」「メディア社会学初年次応用ゼミ」は、ゼミ形式への習熟と社会学関連分野の基礎的理解のための科目です。

2年次の「メディア社会学方法論ゼミ」で、メディア社会学の研究方法を身につけ、3年次の「メディア社会学専門ゼミ1」「メディア社会学専門ゼミ2」でゼミ担当教員のもとで各自の研究を進め、4年次の「メディア社会学卒業研究ゼミ」でさらに研究を深め、「卒業論文・卒業制作」で卒業研究の成果をまとめます。

(2) 必修科目

次の8科目20単位を必修科目として修得しなければなりません。

メディア社会学初年次基礎ゼミ	(1年次春学期) 2 単位
メディア社会学初年次応用ゼミ	(1年次秋学期) 2 単位
メディア社会学方法論ゼミ [春学期]	(2年次春学期) 2 単位
メディア社会学方法論ゼミ [秋学期]	(2年次秋学期) 2 単位
メディア社会学専門ゼミ 1	(3年次春学期) 2 単位
メディア社会学専門ゼミ 2	(3年次秋学期) 2 単位
メディア社会学卒業研究ゼミ	(4年次春学期) 4 単位
卒業論文・卒業制作	(4年次秋学期) 4 単位

(3) 「メディア社会学方法論ゼミ」の履修

1年次に行う「メディア社会学方法論ゼミガイダンス」に出席の上、履修希望届を提出して下さい。

(4) 「メディア社会学専門ゼミ1・2」の履修

「メディア社会学専門ゼミ1」「メディア社会学専門ゼミ2」を履修するためには、以下の条件を満たしていなければなりません。

① 外国語科目の「必修外国語（英語）」6単位のうち、4単位以上を修得していること。

② 次の7科目14単位を修得していること。

社会学原論 A

メディア社会学

社会調査方法論基礎 1

社会調査方法論基礎 2

コンピューティング基礎

メディア社会学初年次基礎ゼミ

メディア社会学初年次応用ゼミ

③ 2年次に行う「メディア社会学専門ゼミガイダンス」に出席の上、課題を提出し、ゼミ配属の許可を得ていること。

(5) 「メディア社会学卒業研究ゼミ」の履修

「メディア社会学卒業研究ゼミ」を履修するためには、次の3科目6単位を修得していなければなりません。

メディア社会学方法論ゼミ [春学期]・[秋学期] (2科目4単位)

メディア社会学専門ゼミ1 もしくは メディア社会学専門ゼミ2 *

* 協定留学生・認定留学生については「9. 協定留学生および認定留学生向けの各種案内」を参照してください。

(6) 「卒業論文・卒業制作」の履修条件

「卒業論文・卒業制作」を履修するためには、次の1科目4単位を修得していなければなりません。

メディア社会学卒業研究ゼミ

「メディア社会学専門ゼミ」「メディア社会学卒業研究ゼミ」「卒業論文・卒業制作」のクラス(ゼミ)の変更について

3年次及び4年次のクラス(ゼミ)は、課題の提出等によって配属が決定したあとは、卒業まで、原則として変更できません。ただし、何らかの特別な事情がある場合には、クラス(ゼミ)の変更が認められることがあります。クラス(ゼミ)の変更の詳細については、教務委員、教務委員長または教務課に相談してください。

3. 理論科目

(1) 必修科目

理論科目では、次の2科目4単位を必修科目として修得しなければなりません。

メディア社会学 (1年次秋学期) 2単位

社会学原論 A (1年次春学期) 2単位

(2) 選択科目

必修科目以外の理論科目から、選択科目を修得します。修得単位の上限は特に設けません。また理論科目から選択科目を修得しなくてもさしつかえありません。

4. 方法科目

(1) 方法科目の授業

方法科目は、社会学やメディア社会学の研究方法の修得のために、社会学科、メディア社会学科に共通に開講されている科目です。

(2) 必修科目

方法科目では、次の3科目6単位を必修科目として修得しなければなりません。

コンピューティング基礎	(1年次 Spring 1 または Spring 2) 2 単位
社会調査方法論基礎 1	(1年次春学期) 2 単位
社会調査方法論基礎 2	(1年次秋学期) 2 単位

(3) 選択科目

必修科目以外の方法科目から、選択科目として6単位以上を修得しなければなりません。

5. 展開科目

(1) 展開科目の修得単位

展開科目はすべて選択科目です。

展開科目は1年次の必修科目学修を前提として、メディア社会学の様々な分野・テーマについて深く掘り下げた学修を行うためのものです。メディア社会学科の学生が展開科目として履修できるのは、メディア社会学科の展開科目のみです。

メディア社会学科の展開科目から、28単位以上を修得しなければなりません。また、この28単位には、各自の所属コースから修得した2科目(4単位)以上を含まなければなりません。

(2) 展開科目の1年次履修

展開科目の履修年次は原則として2～4年次ですが、1年次にも4科目8単位まで履修することができます。

6. 学部共通科目

学部共通科目は、「社会学原論 A」を除く社会学科の理論科目、社会学科の展開科目、社会学部特講、「学部横断型課題解決プロジェクト」から構成されます。学部共通科目はすべて選択科目です。

学部共通科目には、修得単位の上限は特に設けません。また学部共通科目から選択科目を修得しなくてもさしつかえありません。

7. 教職の教科に関する概説科目

教職の教科に関する概説科目はすべて選択科目です。教職の教科に関する概説科目は、4単位を上限として卒業単位に算入することができます。なお、教職の教科に関する概説科目から選択科目を修得しなくてもさしつかえありません。

8. 全学対象専門科目

全学対象専門科目はすべて選択科目です。

全学対象専門科目は、8単位を上限として卒業単位に算入することができます。なお、全学対象専門科目から選択科目を修得しなくてもさしつかえありません。

9. 卒業論文・卒業制作に向けての準備

卒業論文・卒業制作作成の準備のために、卒業論文・卒業制作構想と卒業論文・卒業制作題目届の提出を行います。

卒業論文・卒業制作構想は、以下の日時に受け付けます。
当該年度の学事日程を確認してください

卒業論文・卒業制作題目届は、以下の期間に受け付けます。
当該年度の学事日程を確認してください

10. 卒業論文・卒業制作の予備提出について

- * 科目名の表記：「卒業論文・卒業制作」と記載しています。
- * 提出物の表記：卒業論文の予備提出、卒業制作の予備提出、卒業論文、卒業制作と記載しています。

(1) 卒業論文・卒業制作の予備提出

卒業論文・卒業制作の作成を計画的に行うために、卒業論文・卒業制作の予備提出を行います。「卒業論文・卒業制作」を再履修する度に、卒業論文・卒業制作の予備提出を提出する必要があります。

(2) 卒業論文・卒業制作の予備提出の提出資格

卒業論文・卒業制作の予備提出の提出資格は、「卒業論文・卒業制作」を履修していることです。

(3) 提出上の注意

卒業論文・卒業制作の予備提出は、以下の日時に受け付けます。
当該年度の学事日程を確認してください

書式・提出形式に不備がないよう、十分に確認の上、極力提出日1日目に提出してください。提出日2日目に提出する場合は、修正等を考慮して、締め切り間際の提出は避け、正午を目途に提出してください。

(4) 手続きの問い合わせ

卒業論文・卒業制作の予備提出に関する事務上の手続きについての問い合わせは、教務課窓口で受け付けます。

11. 卒業論文・卒業制作について

(1) 卒業論文・卒業制作の提出資格

卒業論文・卒業制作の提出資格は、「卒業論文・卒業制作」を履修しており、卒業論文・卒業制作の予備提出を行っていることです。

(2) 提出上の注意

卒業論文・卒業制作の提出は、以下の日時に受け付けます。
当該年度の学事日程を確認してください

書式・提出形式に不備がないよう、十分に確認の上、極力提出日1日目に提出してください。提出日2日目に提出する場合は、修正等を考慮して、締め切り間際の提出は避け、正午を目途に提出してください。

提出日2日目15時以降は受理しません。

なお、文献やウェブサイトなどからの剽窃等の不正行為があった場合には、卒業論文・卒業制作が提出されていても不合格となり、単位修得はできません。

(3) 評価方法

卒業論文・卒業制作は、主査・副査の教員による厳正な査読の後、口述審査を経て、評価が決定されます。

ゼミ科目「卒業論文・卒業制作」の評価は、以下4点を総合して評価されます。

- ① 授業への参加
- ② 卒業論文の予備提出もしくは卒業制作の予備提出
- ③ 卒業論文もしくは卒業制作
- ④ 卒業論文もしくは卒業制作に関する口述審査

(4) 手続の問い合わせ

卒業論文・卒業制作の提出に関する事務上の手続きについての問い合わせは、教務課窓口で受け付けます。

今後の新型コロナウイルス感染症等の影響次第で、履修要項に記載の提出要領から変更になる可能性があります。
提出方法の詳細は3S 掲示で案内するので、よく確認してください。

卒業論文の予備提出 提出要領

体裁	<ul style="list-style-type: none"> ・判型：白色無地の A4 判を縦長に使い、横書きすること。 ・内容：①表紙、②目次、③本文（注を含む）、④参考文献、⑤巻末付録（必要な場合のみ）の順で書くこと。 ・レイアウト：読みやすい字間・行間の設定をこころがけること。
書式	<ul style="list-style-type: none"> ・ページ番号：上記③本文と④参考文献には各ページ下に通しのページ番号を入れること。 ・表紙：学籍番号、氏名、タイトル、指導教授氏名、ゼミ担当教員氏名を記すこと。 ・目次：章・節（必要に応じ「項」も）のレベルで詳細に記すこと。複数ページにわたってもかまわない。 ・書式の詳細：表紙・目次・本文の書式（引用参照表記・図表・注などを含む）・参考文献・巻末付録などの詳細については担当教員の指示に従うこと。 ・総字数の記載：参考文献の末尾に、必ず総字数を記すこと。なお、総字数には、巻末付録は含まない。
分量	<ul style="list-style-type: none"> ・6,000 字以上。 ・本文と参考文献をカウントすること。巻末付録はこれに含まない。図表の文字数の扱いについては、担当教員の指示に従うこと。
提出方法	3S「課題提出」（10MB 未満）から提出すること。それ以外の提出方法を選択する場合は、後日 3S に掲示する指示に従うこと。
締切	当該年度の学事日程を確認してください

※ 9 月卒業の場合は、締切が 3 月卒業と異なります。当該年度学事日程を確認してください。それ以外は上記に準じます。

卒業論文 提出要領

体裁	<ul style="list-style-type: none"> ・判型：白色無地の A4 判を縦長に使い、横書きすること。 ・内容：①表紙、②論文要約、③目次、④本文（注を含む）、⑤参考文献、⑥巻末付録（必要な場合のみ）の順で書くこと。 ・レイアウト：読みやすい行間・字間の設定をこころがけること。
書式	<ul style="list-style-type: none"> ・ページ番号：上記④本文と⑤参考文献には各ページ下に通しのページ番号を入れること。 ・表紙：学籍番号、氏名、タイトル、指導教授氏名、ゼミ担当教員氏名を記すこと。 ・論文要約の分量：800～1,200 字程度とする。 ・目次：章・節（必要に応じ「項」も）のレベルで詳細に記すこと。複数ページにわたってもかまわない。 ・書式の詳細：表紙・目次・本文の書式（引用参照表記・図表・注などを含む）・参考文献・巻末付録などの詳細については担当教員の指示に従うこと。 ・総字数の記載：参考文献の末尾に、必ず総字数を記すこと。なお、総字数には、論文要約・巻末付録は含まない。
分量	<ul style="list-style-type: none"> ・20,000 字以上。 ・本文と参考文献のみカウントすること。論文要約、巻末付録はこれに含まない。図表の文字数の扱いについては、担当教員の指示に従うこと。
提出方法	3S「課題提出」（10MB 未満）から提出すること。それ以外の提出方法を選択する場合は、後日 3S に掲示する指示に従うこと。
締切	当該年度の学事日程を確認してください

※ 9 月卒業の場合は、締切が 3 月卒業と異なります。当該年度学事日程を確認してください。それ以外は上記に準じます。

卒業制作の予備提出 提出要領

提出内容	<ul style="list-style-type: none"> 企画書（仮タイトル、概要、企画意図など） <p>【映像制作の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵コンテまたは制作物構成図（収録済み、制作済み部分についてはキャプチャー画面などあれば尚可） 制作に必要な素材リスト（収録済、制作済、および未収録、未制作素材の別を明示） <p>【印刷された出版物の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 制作に必要な素材リスト（取材が中心ならインタビュー協力者や取材先・調査地のリストを、異なる手法での雑誌・冊子なら文章の内容を、ビジュアル素材が中心の場合は使用予定の写真、イラストなどのサンプルもしくは文章による説明を掲載）。 出版物の体裁（印刷するサイズ、カラー、ページ数など）。 <p>・制作物の内容によっては上記の提出内容を満たすことが難しい場合がある。その場合は担当教員の指示に従うこと。</p>
体裁	<ul style="list-style-type: none"> 判型：白色無地の A4 判を用いること。 表紙：学籍番号、氏名、タイトル、指導教授氏名、ゼミ担当教員氏名を記すこと。 レイアウト：読みやすい字間・行間の設定をこころがけること。
書式	<ul style="list-style-type: none"> 書式および提出形式は自由とする。必ず担当教員の指示に従うこと。
分量	<ul style="list-style-type: none"> 提出内容を A4 判 5 枚以上に記載。
提出方法	3S「課題提出」（10MB 未満）から提出すること。それ以外の提出方法を選択する場合は、後日 3S に掲示する指示に従うこと。
締切	当該年度の学事日程を確認してください

※ 9 月卒業の場合は、締切が 3 月卒業と異なります。当該年度学事日程を確認してください。それ以外は上記に準じます。

卒業制作 提出要領

提出内容	<ul style="list-style-type: none"> 以下の要件を満たす制作物 <ul style="list-style-type: none"> 制作者個人の制作であること、または共同制作の場合はその主導的役割を担っていること。 十分なオリジナリティがあると担当教員が認めたもの。 何らかの社会的な意味があるもの。 制作研究ノート
体裁・書式	<ul style="list-style-type: none"> 制作物の体裁は自由とする。 制作研究ノートに関わる体裁と書式は、卒業論文の体裁と書式に準じること。ただし論文要約は不要であり、代わりに制作物の概要について記すこと。 不明な点については担当教員の指示に従うこと。
分量	<ul style="list-style-type: none"> 制作物の分量に指定はない。 制作研究ノートについては、10,000 字以上。本文と参考文献のみカウントすること。制作物の概要、巻末付録はこれに含まない。図表の文字数の扱いについては、担当教員の指示に従うこと。制作物の概要は 400 ～ 600 字程度とする。
提出方法	3S「課題提出」（10MB 未満）から提出すること。それ以外の提出方法を選択する場合は、後日 3S に掲示する指示に従うこと。
締切	当該年度の学事日程を確認してください

※ 9 月卒業の場合は、締切が 3 月卒業と異なります。当該年度学事日程を確認してください。それ以外は上記に準じます。

12. その他

(1) 専門科目の重複履修（自由科目）

同一科目を各自の関心や必要に応じて重複履修した場合は、二度目以降は自由科目となり、卒業に必要な単位に算入することはできません。

なお、重複履修により単位修得した場合、二度目以降の評価も成績表に併記され、GPA にも反映されます。卒業に必要な修得単位に誤って数えないよう十分に注意してください。

また、重複履修科目も、年間履修登録単位制限（年間 48 単位まで）のカウントに含まれます。

メディア社会学科卒業までの4年間

各項目の詳細(様式・配布日・提出日・提出方法など)は3Sで掲示します。また年度初めのガイダンスにて指示します。

1年次	4月	英語クラス分け試験
	4月	ガイダンス
	6月	2年次必修外国語(英語)・選択外国語履修希望届提出
	11月	EF SET (オンライン)
	12月	CASEC テスト (オンライン)
	12月	「メディア社会学方法論ゼミ」ガイダンス実施
	12～1月	「メディア社会学方法論ゼミ」履修希望届提出
	12月	専攻コース届提出
	1月	シャカリキフェスティバル
2年次	4月	ガイダンス
	4月	「メディア社会学方法論ゼミ」配属発表
	10月	「メディア社会学専門ゼミ」ガイダンス実施
	11月	「メディア社会学専門ゼミ」課題提出
	11月	「メディア社会学専門ゼミ」1次採否発表
	11～1月	「メディア社会学専門ゼミ」配属決定
	11月	EF SET (オンライン)
	12月	CASEC テスト (オンライン)
3年次	4月	ガイダンス
	1月	卒業論文・卒業制作構想提出
	1月	シャカリキフェスティバル
4年次	4月	ガイダンス
	4月	卒業論文・卒業制作題目届提出、卒業論文・卒業制作選択決定
	9月	卒業論文・卒業制作の予備提出
	12月	卒業論文・卒業制作の提出
	1月	卒業論文・卒業制作の口述審査
	1月	シャカリキフェスティバル
	3月	卒業要件充足者の発表
	3月	卒業式(22日)

※9月卒業の場合は、4年次の日程は上記とは異なるので、3Sや下記日程を確認してください。

【注意】9月卒業の場合の卒業論文・卒業制作の予備提出・卒業論文・卒業制作の提出日程

・卒業論文・卒業制作の予備提出の日時(9月卒業)

9月卒業の場合の卒業論文・卒業制作の予備提出は、以下の日時に受け付けます。
当該年度の学事日程を確認してください。

書式・提出形式に不備がないよう、十分に確認の上、極力提出日1日目に提出してください。提出日2日目に提出する場合は、修正等を考慮して、締め切り間際の提出は避け、正午を目途に提出してください。

・卒業論文・卒業制作の提出日時(9月卒業)

9月卒業の場合の卒業論文・卒業制作の提出は、以下の日時に受け付けます。
当該年度の学事日程を確認してください。

・卒業論文・卒業制作の提出上の注意、評価方法等(9月卒業)

書式・提出形式に不備がないよう、十分に確認の上、極力提出日1日目に提出してください。提出日2日目に提出する場合は、修正等を考慮して、締め切り間際の提出は避け、正午を目途に提出してください。

提出日2日目15時以降は受理しません。

卒業論文・卒業制作の予備提出、卒業論文・卒業制作とも、提出資格、提出上の注意、評価方法等については、3月卒業の場合(70頁)に準じます。

7. メディア社会学科 全科目一覧

1. 総合科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考	
(A) 情報とコミュニケーション	講義	GEO02010	他者理解とコミュニケーション	2	1～4	講義	
		GEO02020	情報技術と人間社会	2	1～4	講義	
		GEO02030	知識社会の情報学	2	1～4	講義	
		GEO02040	データ分析の基礎	2	1～4	講義	
		GEO02050	データ分析の応用	2	1～4	講義	
		GEO02060	Information Technology and Global Communication	2	1～4	講義	* ※ (1)
	実践	GEO01010	表現技法とインタラクション	2	1～4	演習	
		GEO01020	問題解決とコンピューティング	2	1～4	演習	
		GEO01030	デジタル協働学	2	1～4	演習	
		GEO01040	データマイニング入門	2	1～4	演習	
		GEO01050	インターネット・イングリッシュ	2	1～4	演習	
		GEO01060	クリエイティブ・ライティング	2	1～4	演習	
		GEO01070	アカデミック・ディベート	2	1～4	演習	
		GEO01080	クリティカル・シンキング	2	1～2	演習	※ (2)
(B) 歴史と文化	講義	GEB02010	グローバル時代の歴史認識	2	1～4	講義	
		GEB02020	20世紀の世界	2	1～4	講義	
		GEB02030	20世紀の日本	2	1～4	講義	
		GEB02040	社会思想の歴史	2	1～4	講義	*
		GEB02050	人文学入門	2	1～4	講義	※ (1) 遡及適用科目 2022年度より新設
		GEB02050	世界の言語と文化	2	1～4	講義	◆
		GEB02060	日本と世界の宗教	2	1～4	講義	
		GEB02070	日本の伝統と文化	2	1～4	講義	
		GEB02080	現代世界の人と生活	2	1～4	講義	
		GEB02090	多文化共生の現在	2	1～4	講義	
	GEB02100	Japan in the Modern World	2	1～4	講義	* ※ (1) 遡及適用科目 2022年度より新設	
	GEB02110	Introduction to Race, Ethnicity and Nation	2	1～4	講義	* ※ (1) 遡及適用科目 2022年度より新設	
	GEB02100	Introduction to Global History	2	1～4	講義	◆ ※ (1)	
	実践	GEB01010	世界の名著	2	1～4	演習	
GEB01020		日本の名著	2	1～4	演習		
GEB01030		文化財リサーチプロジェクト	2	1～4	演習		
GEB01040		学園史 100年プロジェクト	2	1～4	演習	◆	
GEB01060		International Relations (a)	4	1～2	演習	* ※ (4) 「International Relations」の単位を修得した者は重複履修となります	
(C) 現代社会		講義	GEC02010	日本国憲法	2	1～4	講義
	GEC02020		現代社会と政治	2	1～4	講義	
	GEC02030		現代社会と法	2	1～4	講義	
	GEC02040		現代社会と経済	2	1～4	講義	*
	GEC02050		現代社会と人権	2	1～4	講義	
	GEC02060		現代社会と環境	2	1～4	講義	◆
	GEC02070		現代社会とジェンダー	2	1～4	講義	*
	GEC02080		現代社会とアート	2	1～4	講義	*
	GEC02090		国際社会における紛争と協調	2	1～4	講義	*
	GEC02100		グローバルイズムと21世紀	2	1～4	講義	*
	GEC02110		現代日本の課題	2	1～4	講義	
	GEC02120		Introduction to Global Studies	2	1～4	講義	◆ ※ (1)
	GEC02130		Understanding the Contemporary Global Economy	2	1～4	講義	◆ ※ (1)
	GEC02140		Introduction to Human Rights	2	1～4	講義	* ※ (1)
	GEC02150	Introduction to Gender and Sexuality Studies	2	1～4	講義	※ (1) 遡及適用科目 2022年度より新設	
	実践	GEC01010	経済ニュース・リーディング	2	1～4	演習	◆
		GEC01020	人権ワークショップ	2	1～4	演習	◆
		GEC01030	現代アート・ワークショップ	2	1～4	演習	
GEC01060		Politics (a)	4	1～2	演習	* ※ (4) 「Politics」の単位を修得した者は重複履修となります	
GEC01050		Sociology	4	1～4	演習	◆ ※ (2)	

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
講義	GED02010	地球の自然史	2	1～4	講義	
	GED02020	地球環境	2	1～4	講義	
	GED02030	人間と環境	2	1～4	講義	
	GED02040	数学の世界	2	1～4	講義	
	GED02050	自然と生活のなかの物理	2	1～4	講義	
	GED02060	化学と現代社会	2	1～4	講義	
	GED02070	生命の進化	2	1～4	講義	
	GED02080	人の進化	2	1～4	講義	
	GED02090	人間と科学技術の歩み	2	1～4	講義	
	GED02100	先進の科学技術	2	1～4	講義	
	GED02110	Global Environmental Issues	2	1～4	講義	* ※ (1)
GED02120	Introduction to Human Geography	2	1～4	講義	* ※ (1)	
(D)自然と環境 実践	GED01010	武蔵・環境フィールドワーク	2	1～4	演習	
	GED01020	サイエンスラボ集中講座 A	2	1～4	演習	「自然科学集中プロジェクト A」の単位を修得した者は重複履修となります 遡及適用科目 2022 年度より新設
	GED01030	サイエンスラボ集中講座 B	2	1～4	演習	「自然科学集中プロジェクト B」の単位を修得した者は重複履修となります 遡及適用科目 2022 年度より新設
	GED01050	サイエンスラボ講座 (物理学) A	2	1～4	演習	「物理学ラボワーク A」の単位を修得した者は重複履修となります 遡及適用科目 2022 年度より新設
	GED01060	サイエンスラボ講座 (物理学) B	2	1～4	演習	「物理学ラボワーク B」の単位を修得した者は重複履修となります 遡及適用科目 2022 年度より新設
	GED01070	サイエンスラボ講座 (化学) A	2	1～4	演習	「化学ラボワーク A」の単位を修得した者は重複履修となります 遡及適用科目 2022 年度より新設
	GED01080	サイエンスラボ講座 (化学) B	2	1～4	演習	「化学ラボワーク B」の単位を修得した者は重複履修となります 遡及適用科目 2022 年度より新設
	GED01090	サイエンスラボ講座 (生物学) A	2	1～4	演習	「生物学ラボワーク A」の単位を修得した者は重複履修となります 遡及適用科目 2022 年度より新設
	GED01100	サイエンスラボ講座 (生物学) B	2	1～4	演習	「生物学ラボワーク B」の単位を修得した者は重複履修となります 遡及適用科目 2022 年度より新設
	GED06010	自然科学集中プロジェクト A	1	1～4	実習	◆
	GED06020	自然科学集中プロジェクト B	1	1～4	実習	◆
	GED06030	物理学ラボワーク A	1	1～4	実験・講義	◆
	GED06040	物理学ラボワーク B	1	1～4	実験・講義	◆
	GED06050	化学ラボワーク A	1	1～4	実験・講義	◆
	GED06060	化学ラボワーク B	1	1～4	実験・講義	◆
	GED06070	生物学ラボワーク A	1	1～4	実験・講義	◆
	GED06080	生物学ラボワーク B	1	1～4	実験・講義	◆
	GED01040	Mathematics and Statistics (a)	4	1～2	演習	※ (4) 「Mathematics and Statistics」の単位を修得した者は重複履修となります
	GED01050	Pure Mathematics (a)	4	1～2	演習	※ (4) ◆ 「Pure Mathematics」の単位を修得した者は重複履修となります

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考	
(E)心と体	講義	GEE02010	2	1～4	講義		
		GEE02020	2	1～4	講義		
		GEE02030	2	1～4	講義		
		GEE02040	2	1～4	講義		
		GEE02050	2	1～4	講義		
		GEE02060	2	1～4	講義		
		GEE02070	2	1～4	講義		
		GEE02080	2	1～4	講義	※ (1)	
	実践	GEE01010	2	1～4	演習		
		GEE01020	2	1～4	演習		
		GEE06010	1	1～4	実技		
		GEE06020	1	1～4	実技	*	
		GEE06030	1	1～4	実技		
		GEE06040	1	1～4	実技		
		GEE06050	1	1～4	実技		
		GEE06060	1	1～4	実技		
		GEE06070	1	1～4	実技	*	
		GEE06080	1	1～4	実技		
		GEE06090	1	1～4	実技		
		GEE06100	1	1～4	実技		
		GEE06110	1	1～4	実技		
		GEE06120	1	1～4	実技		
		GEE06130	1	1～4	実技	*	
		GEE06140	1	1～4	実技	*	
	(F)キャリアデザインと ライフマネジメントと	講義	GEF02010	2	1～4	講義	
			GEF02020	2	1～4	講義	
			GEF02030	2	1～4	講義	
			GEF22010	2	2～4	講義	
GEF02040			2	1～4	講義		
GEF02050			2	1～4	講義		
GEF02060			2	1～4	講義	※ (1)	
実践		GEF21010	2	2～4	演習		
		GEF31010	1	3・4	演習		
		GEF36010	1	3・4	実習		
		GEF01010	2	1～4	演習	◆	
		GEF06010	1	1～4	実習	*	
		GEF01040	4	1～2	演習	※ (4) 「Economics」の単位を修得した者は、重複履修となります	
		GEF01050	4	1～2	演習	※ (4)	

注意事項

- ※ (1) 授業で用いられる主要言語は英語です。授業内容をシラバスで良く確認したうえで、履修を決定して下さい。
- ※ (2) 原則として社会学部のグローバル・データサイエンスコース所属者の履修を優先します。
- ※ (3) 原則として人文学部のグローバル・スタディーズコース (英語プログラム) 所属者の履修を優先します。
- ※ (4) PDP 科目およびその関連科目となります。履修にあたり、IELTS overall 5.5 以上 (各項目 5.0 以上) の取得および、ロンドン大学への登録が必要となります。
これらの科目は週 2 回、英語で行われます。詳しくは教務課で確認して下さい。

2. 外国語科目

[必修外国語]

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
LEN16010	英語Ⅰ(総合)[春学期]	1	1	実習(外国語)	
"	英語Ⅰ(総合)[秋学期]	1	1	実習(外国語)	
"	英語Ⅰ(会話)[春学期]	1	1	実習(外国語)	
"	英語Ⅰ(会話)[秋学期]	1	1	実習(外国語)	
LEN26010	英語Ⅱ[春学期]	1	2	実習(外国語)	
"	英語Ⅱ[秋学期]	1	2	実習(外国語)	

[選択外国語]

◇社会学部専用クラス

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
LGE16021	選択ドイツ語基礎1	1	1	実習(外国語)	
LGE16022	選択ドイツ語基礎2	1	1	実習(外国語)	
LFR16021	選択フランス語基礎1	1	1	実習(外国語)	
LFR16022	選択フランス語基礎2	1	1	実習(外国語)	
LIA16021	選択イタリア語基礎1	1	1	実習(外国語)	
LIA16022	選択イタリア語基礎2	1	1	実習(外国語)	
LSP16021	選択スペイン語基礎1	1	1	実習(外国語)	
LSP16022	選択スペイン語基礎2	1	1	実習(外国語)	
LCH16021	選択中国語基礎1	1	1	実習(外国語)	
LCH16022	選択中国語基礎2	1	1	実習(外国語)	
LKO16021	選択韓国・朝鮮語基礎1	1	1	実習(外国語)	
LKO16022	選択韓国・朝鮮語基礎2	1	1	実習(外国語)	

◇全学共通クラス

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
LEN26011	ブラクティカル・イングリッシュ1	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26012	ブラクティカル・イングリッシュ2	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26021	イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング1	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26022	イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング2	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26031	イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ1	1	1~4	実習(外国語)	*
LEN26032	イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ2	1	1~4	実習(外国語)	*
LEN26041	ディスカッション・ディベート英語1	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26042	ディスカッション・ディベート英語2	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26051	クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ1	1	1~4	実習(外国語)	*
LEN26052	クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ2	1	1~4	実習(外国語)	*
LEN26061	ビジネス・コミュニケーション英語1	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26062	ビジネス・コミュニケーション英語2	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26071	イングリッシュ・ライティング・ワークショップ1	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26072	イングリッシュ・ライティング・ワークショップ2	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26081	TOEIC 対策英語1	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26082	TOEIC 対策英語2	1	1~4	実習(外国語)	
LGE16031	ドイツ語入門1	1	1~4	実習(外国語)	
LGE16032	ドイツ語入門2	1	1~4	実習(外国語)	
LGE26021	ドイツ語中級1	1	2~4	実習(外国語)	*
LGE26022	ドイツ語中級2	1	2~4	実習(外国語)	*
LGE26031	ドイツ語コミュニケーション1	1	2~4	実習(外国語)	*
LGE26032	ドイツ語コミュニケーション2	1	2~4	実習(外国語)	*
LFR16031	フランス語入門1	1	1~4	実習(外国語)	
LFR16032	フランス語入門2	1	1~4	実習(外国語)	
LFR26021	フランス語中級1	1	2~4	実習(外国語)	*
LFR26022	フランス語中級2	1	2~4	実習(外国語)	*
LFR26031	フランス語コミュニケーション1	1	2~4	実習(外国語)	*
LFR26032	フランス語コミュニケーション2	1	2~4	実習(外国語)	*
LIA16031	イタリア語入門1	1	1~4	実習(外国語)	
LIA16032	イタリア語入門2	1	1~4	実習(外国語)	
LIA26011	イタリア語中級1	1	2~4	実習(外国語)	*
LIA26012	イタリア語中級2	1	2~4	実習(外国語)	*
LIA26021	イタリア語コミュニケーション1	1	2~4	実習(外国語)	*
LIA26022	イタリア語コミュニケーション2	1	2~4	実習(外国語)	*
LRU16011	ロシア語入門1	1	1~4	実習(外国語)	
LRU16012	ロシア語入門2	1	1~4	実習(外国語)	
LRU26011	ロシア語中級1	1	2~4	実習(外国語)	*
LRU26012	ロシア語中級2	1	2~4	実習(外国語)	*

第1章 授業科目の履修

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
LRU26021	ロシア語コミュニケーション1	1	2～4	実習(外国語)	*
LRU26022	ロシア語コミュニケーション2	1	2～4	実習(外国語)	*
LSP16031	スペイン語入門1	1	1～4	実習(外国語)	
LSP16032	スペイン語入門2	1	1～4	実習(外国語)	
LSP26021	スペイン語中級1	1	2～4	実習(外国語)	*
LSP26022	スペイン語中級2	1	2～4	実習(外国語)	*
LSP26031	スペイン語コミュニケーション1	1	2～4	実習(外国語)	*
LSP26032	スペイン語コミュニケーション2	1	2～4	実習(外国語)	*
LCH16031	中国語入門1	1	1～4	実習(外国語)	
LCH16032	中国語入門2	1	1～4	実習(外国語)	
LCH26021	中国語中級1	1	2～4	実習(外国語)	*
LCH26022	中国語中級2	1	2～4	実習(外国語)	*
LCH26031	中国語コミュニケーション1	1	2～4	実習(外国語)	*
LCH26032	中国語コミュニケーション2	1	2～4	実習(外国語)	*
LKO16031	韓国・朝鮮語入門1	1	1～4	実習(外国語)	
LKO16032	韓国・朝鮮語入門2	1	1～4	実習(外国語)	
LKO26021	韓国・朝鮮語中級1	1	2～4	実習(外国語)	*
LKO26022	韓国・朝鮮語中級2	1	2～4	実習(外国語)	*
LKO26031	韓国・朝鮮語コミュニケーション1	1	2～4	実習(外国語)	*
LKO26032	韓国・朝鮮語コミュニケーション2	1	2～4	実習(外国語)	*
LEN06010	外国語現地実習(英語)1	2	1～4	実習	
LEN06020	外国語現地実習(英語)2	2	1～4	実習	
LGE06010	外国語現地実習(ドイツ語)1	2	1～4	実習	
LGE06020	外国語現地実習(ドイツ語)2	2	1～4	実習	
LFRO6010	外国語現地実習(フランス語)1	2	1～4	実習	
LFRO6020	外国語現地実習(フランス語)2	2	1～4	実習	
LCH06010	外国語現地実習(中国語)1	2	1～4	実習	
LCH06020	外国語現地実習(中国語)2	2	1～4	実習	
LKO06010	外国語現地実習(韓国・朝鮮語)1	2	1～4	実習	
LKO06020	外国語現地実習(韓国・朝鮮語)2	2	1～4	実習	
LJA16020	日本語(コンプリートビギナー)1	1	1～4	実習(外国語)	*
LJA16030	日本語(コンプリートビギナー)2	1	1～4	実習(外国語)	*
LJA16040	日本語(入門)1	1	1～4	実習(外国語)	*
LJA16050	日本語(入門)2	1	1～4	実習(外国語)	*
LJA26010	日本語(初級)1	1	1～4	実習(外国語)	
LJA26020	日本語(初級)2	1	1～4	実習(外国語)	
LJA26030	日本語(初中級)1	1	1～4	実習(外国語)	
LJA26040	日本語(初中級)2	1	1～4	実習(外国語)	
LJA36010	日本語(中級)1	1	1～4	実習(外国語)	
LJA36020	日本語(中級)2	1	1～4	実習(外国語)	
LJA46010	日本語(上級)1	1	1～4	実習(外国語)	
LJA46020	日本語(上級)2	1	1～4	実習(外国語)	

3. 専門科目

[ゼミ科目]

◇必修科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
SEM11010	メディア社会学初年次基礎ゼミ	2	1	演習	
SEM11020	メディア社会学初年次応用ゼミ	2	1	演習	
SEM21010	メディア社会学方法論ゼミ [春学期]	2	2	演習	
SEM21020	メディア社会学方法論ゼミ [秋学期]	2	2	演習	
SEM31010	メディア社会学専門ゼミ 1	2	3	演習	
SEM31020	メディア社会学専門ゼミ 2	2	3	演習	
SEM41010	メディア社会学卒業研究ゼミ	4	4	演習	
THE41020	卒業論文・卒業制作	4	4	演習	

[理論科目]

◇必修科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
SOC12010	社会学原論 A	2	1	講義	
MCC12010	メディア社会学	2	1	講義	

◇選択科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
MCC22010	メディア学説史	2	1~4	講義	*
MCC22020	コミュニケーション理論	2	1~4	講義	*
MCC32010	メディア社会学文献講読 A	2	1~4	講義	◆
MCC32020	メディア社会学文献講読 B	2	1~4	講義	◆
MCC42010	メディア社会学外書講読	2	1~4	講義	◆
SOC01010	学年縦断自由ゼミ	2	1~4	演習	* ※ 遡及適用科目 2022年度より新設

※ 科目名の後にアルファベットが付きます。アルファベットが異なれば別科目として扱いますので、重複履修とはなりません（それぞれを卒業に必要な単位として数えることができます）。

[方法科目]

◇必修科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
ISC14010	コンピューティング基礎	2	1	講義	
SOC14010	社会調査方法論基礎 1	2	1	講義	
SOC14020	社会調査方法論基礎 2	2	1	講義	

◇選択科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
ISC24010	コンピューティング応用 A	2	1~4	講義	
ISC24020	コンピューティング応用 B	2	1~4	講義	
ISC24030	コンピューティング応用 C	2	1~4	講義	*
ISC24040	コンピューティング応用 D	2	1~4	講義	*
ISC24050	コンピューティング応用 E	2	1~4	講義	*
ISC24060	コンピューティング応用 F	2	1~4	講義	*
ISC24070	コンピューティング応用 G	2	1~4	講義	*
ISC24080	コンピューティング応用 H	2	1~4	講義	*
SOC24010	量的社会調査方法論	2	1~4	講義	
SOC24020	質的社会調査方法論	2	1~4	講義	
SOC24030	参与観察調査方法論	2	1~4	講義	◆
SOC24040	資料調査方法論	2	1~4	講義	*
SOC34010	エスノメソドロジー	2	1~4	講義	◆
MCC24010	メディア分析法 A	2	1~4	講義	*
MCC24020	メディア分析法 B	2	1~4	講義	◆
MCC24030	メディア分析法 C	2	1~4	講義	◆
MCC24040	ルポライティング方法論	2	1~4	講義	*
ISC14020	データサイエンス基礎	2	1~4	講義	
ISC24090	データサイエンス応用	2	2~4	講義	
ISC34010	定性データ分析法	2	1~4	講義	*
ISC34020	定量データ分析法	2	1~4	講義	◆ 「定量データ分析法 A・B・C」に統合
ISC34030	定量データ分析法 A	2	1~4	講義	*
ISC34040	定量データ分析法 B	2	1~4	講義	◆
ISC34050	定量データ分析法 C	2	1~4	講義	◆

第1章 授業科目の履修

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
STA24020	社会統計学 1	2	1～4	講義	
STA24030	社会統計学 2	2	1～4	講義	
SOC04010	Academic Writing (論文の書き方)	2	1～4	演習	* ※ 総合科目「論文の書き方」の単位を修得した者は、重複履修となりません ※ 遡及適用科目 2022 年度より新設

※ 原則として GDS コース所属者の履修を優先します。通常コース所属の学生が履修する場合には、IELTS5.5 以上のスコアを持つことが望ましいです。

[展開科目]

◇ 選択科目

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
メディア コミュニ ケーシ ョン	MCC33010	映画研究	2	2～4	講義	*
	MCC33020	エレクトリックメディア論	2	2～4	講義	*
	MCC33030	グローバルゼーションとメディア	2	2～4	講義	*
	MCC33040	デジタル社会論	2	2～4	講義	*
	MCC33050	ポピュラー音楽論	2	2～4	講義	*
	MCC33060	マスコミュニケーション論	2	2～4	講義	*
	PSY33010	情報の社会心理学	2	2～4	講義	*
	SOC33280	音楽文化の社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33290	活字メディアの社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33300	サブカルチャーの社会学	2	2～4	講義	*
SOC33310	放送メディアの社会学	2	2～4	講義	*	
パブリ ックコ ミュニ ケーシ ョン	MCC33070	Web システム論	2	2～4	講義	*
	MCC33080	エスニックメディア論	2	2～4	講義	*
	MCC33090	NPO・NGO とメディア	2	2～4	講義	*
	MCC33100	コーポレート・コミュニケーション論	2	2～4	講義	◆
	MCC33270	ゲーミフィケーション論	2	2～4	講義	* 遡及適用科目 2022 年度より新設
	MCC33110	広告論	2	2～4	講義	*
	MCC33120	広報論	2	2～4	講義	*
	MCC33130	スポーツとメディア	2	2～4	講義	*
	MCC33140	電子コミュニケーション論	2	2～4	講義	*
	MCC33150	メディアリテラシー論	2	2～4	講義	*
PSY33020	ファッションと流行の社会心理	2	2～4	講義	*	
PSY33030	ライフスタイルの心理学	2	2～4	講義	*	
メ ディア プロ デュ ース	MCC33160	映像アーカイブ論	2	2～4	講義	*
	MCC33170	映像メディア制作論	2	2～4	講義	*
	MCC33180	国際ニュース研究	2	2～4	講義	*
	MCC33190	CM 企画・制作論	2	2～4	講義	*
	MCC33200	市民メディア論	2	2～4	講義	*
	MCC33210	ジャーナリズム論	2	2～4	講義	*
	MCC33220	出版メディア制作論	2	2～4	講義	◆
	MCC33280	知とデータ	2	2～4	講義	* 遡及適用科目 2022 年度より新設
	MCC33230	地域メディア論	2	2～4	講義	*
	MCC33240	知的財産・著作権論	2	2～4	講義	*
MCC33250	ドキュメンタリー研究	2	2～4	講義	*	
MCC33260	メディア法制と倫理	2	2～4	講義	*	

※ 展開科目は、1 年次にも 4 科目 8 単位まで履修することができます。

[学部共通科目]

◇社会学部特講

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
SOC35010	社会理論のフロンティア	2	2～4	講義	◆
SOC35020	現代社会の諸相	2	2～4	講義	*
SOC35030	グローバル社会の諸相	2	2～4	講義	*
SOC35040	ホットトピック特別講義	2	2～4	講義	*
MCC35010	メディア研究のフロンティア	2	2～4	講義	◆
MCC35020	メディア社会の諸相	2	2～4	講義	*
MCC35030	文化研究のフロンティア	2	2～4	講義	◆
ISC35010	データサイエンス特別講義	2	2～4	講義	*

◇他学科専門科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
SOC12020	社会学原論 B	2	1～4	講義	
SOC22010	社会学史	2	1～4	講義	*
SOC22020	社会学理論	2	1～4	講義	*
SOC32010	社会学文献講読 A	2	1～4	講義	◆
SOC32020	社会学文献講読 B	2	1～4	講義	◆
SOC42010	社会学外書講読	2	1～4	講義	◆
ANT33010	開発人類学	2	2～4	講義	*
ANT33020	多文化共生の人類学	2	2～4	講義	*
SOC33010	家族社会学	2	2～4	講義	*
SOC33020	教育社会学	2	2～4	講義	*
SOC33030	ケアの社会学	2	2～4	講義	*
SOC33040	ジェンダーの社会学	2	2～4	講義	*
SOC33050	仕事の社会学	2	2～4	講義	*
SOC33060	社会問題の社会学	2	2～4	講義	*
SOC33070	人口問題の社会学	2	2～4	講義	*
SOC33080	福祉社会学	2	2～4	講義	*
SOC33090	不平等の社会学	2	2～4	講義	*
ANT33030	家族と結婚の人類学	2	2～4	講義	*
ANT33040	宗教人類学	2	2～4	講義	*
ANT33050	文化人類学	2	2～4	講義	*
SOC33100	アイデンティティの社会学	2	2～4	講義	*
SOC33110	カルチュラルスタディーズ	2	2～4	講義	*
SOC33120	コミュニケーションの社会学	2	2～4	講義	*
SOC33130	消費社会論	2	2～4	講義	*
SOC33140	身体社会学	2	2～4	講義	◆
SOC33320	恋愛の社会学	2	2～4	講義	* 遡及適用科目 2022 年度より新設
SOC33150	セクシュアリティの社会学	2	2～4	講義	*
SOC33160	文化の社会学	2	2～4	講義	*
SOC33170	若者文化の社会学	2	2～4	講義	*
ANT33060	観光人類学	2	2～4	講義	*
SOC33180	エスニシティの社会学	2	2～4	講義	*
SOC33190	環境社会学	2	2～4	講義	*
SOC33200	グローバリゼーションの社会学	2	2～4	講義	*
SOC33210	社会運動論	2	2～4	講義	*
SOC33220	政治社会学	2	2～4	講義	*
SOC33230	地域とコミュニティの社会学	2	2～4	講義	*
SOC33240	都市社会学	2	2～4	講義	*
SOC33250	ナショナリズムの社会学	2	2～4	講義	*
SOC33260	ネットワークの社会学	2	2～4	講義	◆
SOC33330	国際比較社会学	2	2～4	講義	* 遡及適用科目 2022 年度より新設
SOC33270	歴史社会学	2	2～4	講義	*
CRO21010	学部横断型課題解決プロジェクト	4	1～4	演習	1 年次は秋学期からとする

[全学対象専門科目]

◇経済学部提供科目

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考	
国際経済・経営	ECO22040	アジア経済1	2	3・4	講義		
	ECO22050	アジア経済2	2	3・4	講義	◆	
	ECO22060	アメリカ経済1	2	3・4	講義	◆	
	ECO22070	アメリカ経済2	2	3・4	講義	◆	
	ECO22610	ヨーロッパ経済1	2	3・4	講義	◆	
	ECO22620	ヨーロッパ経済2	2	3・4	講義	◆	
	ECO32010	開発経済学1	2	3・4	講義	*	
	ECO32020	開発経済学2	2	3・4	講義	*	
	ECO22850	国際法1	2	3・4	講義	*	
	ECO22860	国際法2	2	3・4	講義	*	
	ECO22460	世界経済1	2	3・4	講義	*	
	ECO22470	世界経済2	2	3・4	講義	◆	
	経済学と現代経済	ECO22260	ゲーム理論入門	2	3・4	講義	
		ECO22200	経済政策1	2	3・4	講義	*
ECO22210		経済政策2	2	3・4	講義	*	
ECO22290		憲法1	2	3・4	講義		
ECO22300		憲法2	2	3・4	講義		
ECO22270		現代政治経済学1	2	3・4	講義	◆	
ECO22280		現代政治経済学2	2	3・4	講義	◆	
ECO22100		行政法1	2	3・4	講義	*	
ECO22110		行政法2	2	3・4	講義	*	
ECO22370		産業組織論1	2	3・4	講義		
ECO22380		産業組織論2	2	3・4	講義		
ECO22390		社会福祉1	2	3・4	講義	◆	
ECO22400		社会福祉2	2	3・4	講義	◆	
ECO22410		情報経済論1	2	3・4	講義	◆	
ECO22420		情報経済論2	2	3・4	講義	◆	
ECO22440		西洋経済史1	2	3・4	講義		
ECO22450		西洋経済史2	2	3・4	講義		
ECO32030		日本経済史1	2	3・4	講義		
ECO32040	日本経済史2	2	3・4	講義			
ビジネス	MAN22080	イノベーション論	2	3・4	講義		
	MAN12020	経営管理論1	2	3・4	講義		
	MAN22090	経営管理論2	2	3・4	講義		
	MAN22130	国際経営論	2	3・4	講義		
	MAN22150	人事管理論1	2	3・4	講義		
	MAN22160	人事管理論2	2	3・4	講義	*	
	MAN22170	組織論1	2	3・4	講義		
	MAN22180	組織論2	2	3・4	講義		
	MAN22140	多国籍企業論	2	3・4	講義	*	
ビジネスデザイン	MIS22040	ITマネジメント	2	3・4	講義	◆	
	MIS22030	情報ネットワーク基礎	2	3・4	講義		
	MIS22090	コンピュータシステム基礎	2	3・4	講義		
	MIS22010	サービスマネジメント	2	3・4	講義		
	MAN22240	ベンチャー企業論1	2	3・4	講義		
	MAN22250	ベンチャー企業論2	2	3・4	講義	*	
	MIS12010	経営情報基礎	2	2～4	講義		
	MIS12020	情報と職業	2	2～4	講義	*	
企業会計	ACC22070	企業法	2	3・4	講義		
	ACC12050	企業法基礎	2	2～4	講義		
	ACC12020	簿記演習1	2	2～4	講義		
	ECO22590	民法1	2	3・4	講義	*	
	ECO22600	民法2	2	3・4	講義	*	
	ACC12040	会計学基礎	2	2～4	講義		
金融	FIN22010	ファイナンス1	2	3・4	講義		
	FIN22020	ファイナンス2	2	3・4	講義		
	FIN22030	財務報告論1	2	3・4	講義		
	FIN22040	財務報告論2	2	3・4	講義		
	FIN22050	証券市場論1	2	3・4	講義		
	FIN22060	証券市場論2	2	3・4	講義		
	FIN32150	信託論	2	3・4	講義	*	
	FIN32400	保険・年金論	2	3・4	講義		

◇人文学部提供科目

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
比較文化と異文化交流	LIT02390	比較文学論 (日欧)	2	3・4	講義	*
	HST02340	ヨーロッパ対外交流史	2	3・4	講義	*
	ART02380	比較芸術論 1	2	3・4	講義	*
	ART02390	比較芸術論 2	2	3・4	講義	*
	ART02400	イメージ文化論	2	3・4	講義	*
	PHI02370	比較思想 (日欧)	2	3・4	講義	*
	EUS02350	テクノロジー文化論	2	3・4	講義	*
	EUS02360	観光文化論 (ヨーロッパ)	2	3・4	講義	*
	GLS02310	越境文化論	2	3・4	講義	*
	ANT02610	文化人類学概論 1	2	3・4	講義	◆
	ANT02620	文化人類学概論 2	2	3・4	講義	◆
	HST02710	東アジアの美術工芸史 1	2	3・4	講義	*
	HST02720	東アジアの美術工芸史 2	2	3・4	講義	*
	ARE02610	環日本海文化論 1	2	3・4	講義	*
	ARE02620	環日本海文化論 2	2	3・4	講義	*
欧米の文化 (言語・文学)	LNG12030	英語学概論 1	2	3・4	講義	
	LNG12040	英語学概論 2	2	3・4	講義	
	LED12010	英語教育学 1	2	3・4	講義	
	LED12020	英語教育学 2	2	3・4	講義	
	LNG12010	異文化コミュニケーション論 1	2	3・4	講義	*
	LNG12020	異文化コミュニケーション論 2	2	3・4	講義	*
	LIT12030	イギリスの文学 1	2	3・4	講義	*
	LIT12040	イギリスの文学 2	2	3・4	講義	*
	LIT12010	アメリカの文学 1	2	3・4	講義	
	LIT12020	アメリカの文学 2	2	3・4	講義	
	LIT12050	英語圏文学入門 1	2	3・4	講義	*
	LIT12060	英語圏文学入門 2	2	3・4	講義	*
	LIT02350	ヨーロッパ古典文学	2	3・4	講義	*
	LIT02360	ヨーロッパの文学 1	2	3・4	講義	*
	LIT02370	ヨーロッパの文学 2	2	3・4	講義	*
	LNG02370	ギリシア語学 1	2	3・4	講義	*
	LNG02380	ギリシア語学 2	2	3・4	講義	*
	LNG02350	ラテン語学 1	2	3・4	講義	*
	LNG02360	ラテン語学 2	2	3・4	講義	*
	LNG02310	ドイツ語学 1	2	3・4	講義	*
	LNG02320	ドイツ語学 2	2	3・4	講義	*
	LNG02330	フランス語学 1	2	3・4	講義	*
	LNG02340	フランス語学 2	2	3・4	講義	*
	LIT02310	ドイツ文学史 1	2	3・4	講義	*
	LIT02320	ドイツ文学史 2	2	3・4	講義	*
	LIT02330	フランス文学史 1	2	3・4	講義	*
	LIT02340	フランス文学史 2	2	3・4	講義	*
LNG12050	Introduction to Applied Linguistics	2	3・4	講義	◆	
欧米の文化 (芸術・思想・宗教)	ART12010	英米の芸術 1	2	3・4	講義	*
	ART12020	英米の芸術 2	2	3・4	講義	*
	PHI12010	英米の思想 1	2	3・4	講義	*
	PHI12020	英米の思想 2	2	3・4	講義	*
	REL12010	英語圏の宗教と文化 1	2	3・4	講義	*
	REL12020	英語圏の宗教と文化 2	2	3・4	講義	*
	ART02310	ドイツ語圏の芸術	2	3・4	講義	*
	ART02320	フランスの芸術 1	2	3・4	講義	*
	ART02330	フランスの芸術 2	2	3・4	講義	*
	EUS02370	ヨーロッパの神話と伝説 1	2	3・4	講義	*
	EUS02380	ヨーロッパの神話と伝説 2	2	3・4	講義	*
	ART02340	ヨーロッパの芸術	2	3・4	講義	*
	PHI02360	ヨーロッパ思想史	2	3・4	講義	*
	PHI02310	ドイツ語圏の思想と文化 1	2	3・4	講義	*
	PHI02320	ドイツ語圏の思想と文化 2	2	3・4	講義	◆
	FRS22310	フランス語圏の文化と社会	2	3・4	講義	*
	PHI02330	フランス思想史 1	2	3・4	講義	*
	PHI02340	フランス思想史 2	2	3・4	講義	*
PHI02350	ヨーロッパの哲学	2	3・4	講義	*	

第1章 授業科目の履修

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
欧米の歴史と現在	HST12030	イギリス史 1	2	3・4	講義	*
	HST12040	イギリス史 2	2	3・4	講義	*
	HST12010	アメリカ史 1	2	3・4	講義	*
	HST12020	アメリカ史 2	2	3・4	講義	*
	BRS12010	イギリス文化論 1	2	3・4	講義	*
	BRS12020	イギリス文化論 2	2	3・4	講義	*
	AMS12010	アメリカ文化論 1	2	3・4	講義	*
	AMS12020	アメリカ文化論 2	2	3・4	講義	*
	HST02350	ギリシア・ローマ史	2	3・4	講義	*
	HST02310	ドイツ中世史	2	3・4	講義	*
	HST02320	ドイツ近現代史	2	3・4	講義	*
	HST02330	フランス史	2	3・4	講義	*
	GLS02320	地中海文明論	2	3・4	講義	*
	ARE02310	北欧文化論	2	3・4	講義	*
	ARE02320	オーストリア・東欧文化論	2	3・4	講義	*
	EUS02390	ヨーロッパ統合論	2	3・4	講義	*
	EUS02400	ヨーロッパ都市論	2	3・4	講義	*
	EUS02410	現代ヨーロッパ論	2	3・4	講義	*
	EUS02430	ユダヤ文化論	2	3・4	講義	◆
	HST02360	ヨーロッパ形成史	2	3・4	講義	*
HST02370	ヨーロッパ交流史	2	3・4	講義	*	
EUS02420	ルネサンス文化論	2	3・4	講義	*	
東アジアの文化と社会	LIT02710	中国文学史 1	2	3・4	講義	*
	LIT02720	中国文学史 2	2	3・4	講義	*
	CHS02630	中国の民族と社会 1	2	3・4	講義	◆
	CHS02640	中国の民族と社会 2	2	3・4	講義	◆
	PHI02650	中国思想史 1	2	3・4	講義	*
	PHI02660	中国思想史 2	2	3・4	講義	*
	CHS02610	現代中国論 1	2	3・4	講義	
	CHS02620	現代中国論 2	2	3・4	講義	
	KOS02710	現代韓国論 1	2	3・4	講義	
	KOS02720	現代韓国論 2	2	3・4	講義	
	KOS02730	朝鮮文化論 1	2	3・4	講義	*
	KOS02740	朝鮮文化論 2	2	3・4	講義	*
	LIT02730	朝鮮文学史 1	2	3・4	講義	*
LIT02740	朝鮮文学史 2	2	3・4	講義	*	
日本の歴史と文化	LNG02610	日本の言語文化 1	2	3・4	講義	
	LNG02620	日本の言語文化 2	2	3・4	講義	
	LIT02610	日本古典文学史 1	2	3・4	講義	
	LIT02620	日本古典文学史 2	2	3・4	講義	
	LIT02630	日本近現代文学史 1	2	3・4	講義	
	LIT02640	日本近現代文学史 2	2	3・4	講義	
	HST02690	日本芸能史 1	2	3・4	講義	*
	HST02700	日本芸能史 2	2	3・4	講義	*
	JPS02610	日本文化論 1	2	3・4	講義	
	JPS02620	日本文化論 2	2	3・4	講義	
	HST02670	日本美術工芸史 1	2	3・4	講義	
	HST02680	日本美術工芸史 2	2	3・4	講義	
	HST02630	日本建築史 1	2	3・4	講義	
	HST02640	日本建築史 2	2	3・4	講義	
	FOL02630	民俗宗教論 1	2	3・4	講義	*
	FOL02640	民俗宗教論 2	2	3・4	講義	*
	FOL02610	日本民俗史 1	2	3・4	講義	
	FOL02620	日本民俗史 2	2	3・4	講義	
	HST02610	日本服飾文化史 1	2	3・4	講義	
	HST02620	日本服飾文化史 2	2	3・4	講義	
	JPS02630	日本の身体文化 1	2	3・4	講義	*
	JPS02640	日本の身体文化 2	2	3・4	講義	*
	AST02610	琉球文化論 1	2	3・4	講義	
	AST02620	琉球文化論 2	2	3・4	講義	
	LIT02690	日本幻想文学論 1	2	3・4	講義	*
	LIT02700	日本幻想文学論 2	2	3・4	講義	*
	PHI02610	日本思想史 1	2	3・4	講義	
	PHI02620	日本思想史 2	2	3・4	講義	
REL02610	日本の仏教 1	2	3・4	講義	*	
REL02620	日本の仏教 2	2	3・4	講義	*	

第1章 授業科目の履修

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
人間科学と環境	OTH12020	現代スポーツ論	2	1～4	講義	
	OTH12070	スポーツ身体論	2	1～4	講義	*
	OTH12030	スポーツイメーজ文化論	2	1～4	講義	*
	OTH12050	保全生物学	2	1～4	講義	
	OTH12060	動物社会学	2	1～4	講義	
	ENV12310	地球環境シミュレーション	2	1～4	講義	
	OTH12010	宇宙観の歴史	2	1～4	講義	
	ENV12320	都市環境論	2	1～4	講義	
	ENV02310	ヨーロッパ環境論	2	3・4	講義	*
Global Studies	GLS22010	Introduction to Global Civics 1	2	3・4	講義	*
	GLS22020	Introduction to Global Civics 2	2	3・4	講義	*
	GLS22030	Introduction to Global Futures Studies 1	2	3・4	講義	
	GLS22040	Introduction to Global Futures Studies 2	2	3・4	講義	
	GLS22050	Transnational Issues 1	2	3・4	講義	
	GLS22060	Transnational Issues 2	2	3・4	講義	
	GLS22070	Political Communication 1	2	3・4	講義	◆
	GLS22080	Political Communication 2	2	3・4	講義	◆
	GLS22090	Global Literatures in English 1	2	3・4	講義	
	GLS22100	Global Literatures in English 2	2	3・4	講義	
	GLS22110	Introduction to Cultural Studies 1	2	3・4	講義	
	GLS22120	Introduction to Cultural Studies 2	2	3・4	講義	
	GLS22130	Migration and Literature 1	2	3・4	講義	*
	GLS22140	Migration and Literature 2	2	3・4	講義	*
	GLS22150	World Englishes 1	2	3・4	講義	*
	GLS22160	World Englishes 2	2	3・4	講義	*
	GLS22170	Japanese Cultural History in Global Perspective 1	2	3・4	講義	*
	GLS22180	Japanese Cultural History in Global Perspective 2	2	3・4	講義	*
	GLS22190	Contemporary Japanese Culture 1	2	3・4	講義	◆
	GLS22200	Contemporary Japanese Culture 2	2	3・4	講義	◆
GLS22210	Topics in Japanese Culture A1	2	3・4	講義	*	
GLS22220	Topics in Japanese Culture A2	2	3・4	講義	*	
GLS22230	Topics in Japanese Culture B1	2	3・4	講義		
GLS22240	Topics in Japanese Culture B2	2	3・4	講義		

◇留学・国際交流関連科目

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
EAS科目	AST32030	Business in East Asia	4	1～4	講義	
	AST32060	Globalization and East Asian Economies	4	1～4	講義	
	JPS32010	Japanese History	4	1～4	講義	*
	JPS32020	Japanese Culture and Society	4	1～4	講義	*
	JPS32030	Japanese Literature	4	1～4	講義	*
	AST32040	East Asian Societies	4	1～4	講義	*
	AST32050	East Asian Cultures and Histories	4	1～4	講義	*
	JPS32040	Japan and International Society	4	1～4	講義	
	AST32170	Traditional Arts of Japan	2	1～4	講義	*
	AST32180	Modern Arts of Japan	2	1～4	講義	*
	AST32070	East Asian Philosophies	4	1～4	講義	*
	AST02090	East Asian Literatures	4	1～4	講義	◆
	AST32190	Film Studies in East Asia	2	1～4	講義	◆
	AST02110	Media in East Asia	4	1～4	講義	◆
	AST32100	Gender and Sexuality in East Asia	4	1～4	講義	
	AST32110	Ethnicity in East Asia	4	1～4	講義	
	AST32200	Seminar in East Asian Studies	2	1～4	講義	◆
	AST32120	East Asian Community in the 21st Century	4	1～4	講義	
	AST32130	Global Issues in Southeast Asia	2	1～4	講義	
	AST32140	Environmental Issues in East Asia	4	1～4	講義	
	AST32010	Global Issues in East Asia	2	1～4	講義	*
	AST32150	Japanese Politics	2	1～4	講義	
	AST32160	Japanese Economy	2	1～4	講義	
	AST32020	Technology and Society in East Asia	2	1～4	講義	
	JPS32050	Entrepreneurship in Japan	2	1～4	講義	◆

第1章 授業科目の履修

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
留学準備講座	AMS02011	アメリカの社会と文化 1	2	1～4	講義	
	AMS02012	アメリカの社会と文化 2	2	1～4	講義	
	BRS02011	イギリスの社会と文化 1	2	1～4	講義	
	BRS02012	イギリスの社会と文化 2	2	1～4	講義	
	JPS02071	日本の社会と文化 1	2	1～4	講義	*
	JPS02072	日本の社会と文化 2	2	1～4	講義	*
	AST02071	東アジアの社会と文化 1	2	1～4	講義	◆
	AST02072	東アジアの社会と文化 2	2	1～4	講義	◆
	IRL02011	現代世界の諸問題 1	2	1～4	講義	
	IRL02012	現代世界の諸問題 2	2	1～4	講義	
	GES22310	ドイツ語圏の社会と文化 1	2	2～4	講義	
	GES22320	ドイツ語圏の社会と文化 2	2	2～4	講義	
	FRS22320	フランスの歴史と社会 1	2	2～4	講義	
	FRS22330	フランスの歴史と社会 2	2	2～4	講義	
	AST02171	中国の社会と文化 1	2	1～4	講義	*
	AST02172	中国の社会と文化 2	2	1～4	講義	*
	AST02181	韓国・朝鮮の社会と文化 1	2	1～4	講義	*
	AST02182	韓国・朝鮮の社会と文化 2	2	1～4	講義	*
	LED02011	インターカルチュラルスキル養成講座 1	2	1～4	講義	
	LED02012	インターカルチュラルスキル養成講座 2	2	1～4	講義	
	IRL02021	グローバル・リーダーシップ養成講座 1	2	1～4	講義	
	IRL02022	グローバル・リーダーシップ養成講座 2	2	1～4	講義	
	IRL01010	留学入門セミナー	2	1～4	演習	
	IRL02030	多文化社会	2	1～4	講義	◆
	LED06011	グローバル・コミュニケーション 1	1	1～4	実習	*
	LED06012	グローバル・コミュニケーション 2	1	1～4	実習	*
	LED06041	留学のための英語講座 A1 (TOEFL)	1	1～4	実習	
	LED06042	留学のための英語講座 A2 (TOEFL)	1	1～4	実習	
	LED06051	留学のための英語講座 B1 (IELTS)	1	1～4	実習	
	LED06052	留学のための英語講座 B2 (IELTS)	1	1～4	実習	
	GES26410	ドイツ語論述実習 1	1	2～4	実習	
	GES26420	ドイツ語論述実習 2	1	2～4	実習	
	FRS26410	フランス語論述実習 1	1	2～4	実習	
	FRS26420	フランス語論述実習 2	1	2～4	実習	
LED06061	中国語論述実習 1	1	1～4	実習	*	
LED06062	中国語論述実習 2	1	1～4	実習	*	
LED06071	韓国・朝鮮語論述実習 1	1	1～4	実習	*	
LED06072	韓国・朝鮮語論述実習 2	1	1～4	実習	*	

※ 留学準備講座で備考欄に記載がない科目は英語による授業となります。

◇学芸員課程関連科目

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
学芸員課程 関連科目	CTP02010	生涯学習概論	2	1～4	講義	
	CTP02020	博物館概論	2	1～4	講義	
	CTP02060	博物館展示論	2	1～4	講義	
	CTP02070	博物館情報・メディア論	2	1～4	講義	

[教職の教科に関する概説科目]

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
	TCP12010	日本史概説	2	1～4	講義	
	TCP12020	外国史概説	2	1～4	講義	
	TCP12030	法律学概説 (国際法を含む)	2	1～4	講義	
	TCP12040	政治学概説 (国際政治を含む)	2	1～4	講義	
	TCP12050	経済学概説 (国際経済を含む)	2	1～4	講義	
	TCP12070	地誌概説	2	1～4	講義	
	TCP12080	人文地理学概説	2	1～4	講義	
	TCP12090	自然地理学概説	2	1～4	講義	
	TCP12100	倫理学概説	2	1～4	講義	
	TCP12110	宗教学概説	2	1～4	講義	
	TCP12120	哲学概説	2	1～4	講義	
	TCP12130	心理学概説	2	1～4	講義	

諸案内

8. 留学・国際交流関連科目

1.EAS (East Asian Studies、東アジア研究)

(1) EASの開講目的

EAS (East Asian Studies) は、受入れ交換留学生を主な対象とした東アジアの国際関係、経済、文化、社会などを総合的に学修する、少人数制の英語による授業です。英語で専門科目を学習する能力のある武蔵大学生の履修を大いに歓迎します。

◇ EAS 科目一覧

科目名	単位	授業と単位
Business in East Asia	4	週2回の授業で4単位
Globalization and East Asian Economies	4	週2回の授業で4単位
Japanese History	4	週2回の授業で4単位
Japanese Culture and Society	4	週2回の授業で4単位
Japanese Literature	4	週2回の授業で4単位
East Asian Societies	4	週2回の授業で4単位
East Asian Cultures and Histories	4	週2回の授業で4単位
Japan and International Society	4	週2回の授業で4単位
Traditional Arts of Japan	2	週1回の授業で2単位
Modern Arts of Japan	2	週1回の授業で2単位
East Asian Philosophies	4	週2回の授業で4単位
East Asian Literatures	4	週2回の授業で4単位
Film Studies in East Asia	2	週1回の授業で2単位
Media in East Asia	4	週2回の授業で4単位
Gender and Sexuality in East Asia	4	週2回の授業で4単位
Ethnicity in East Asia	4	週2回の授業で4単位
Seminar in East Asian Studies	2	週1回の授業で2単位
East Asian Community in the 21st Century	4	週2回の授業で4単位
Global Issues in Southeast Asia	2	週1回の授業で2単位
Environmental Issues in East Asia	4	週2回の授業で4単位
Global Issues in East Asia	2	週1回の授業で2単位
Japanese Politics	2	週1回の授業で2単位
Japanese Economy	2	週1回の授業で2単位
Technology and Society in East Asia	2	週1回の授業で2単位
Entrepreneurship in Japan	2	週1回の授業で2単位
日本語 (コンプリートビギナー)	1	週1回の授業で1単位
日本語 (入門)	1	週1回の授業で1単位
日本語 (初級)	1	週1回の授業で1単位
日本語 (初中級)	1	週1回の授業で1単位
日本語 (中級)	1	週1回の授業で1単位
日本語 (上級)	1	週1回の授業で1単位

注1) 週2回の授業は、セットで履修して成績評価が行われ、週1回だけの授業出席では成績評価は与えられません。

注2) 「日本語」は、外国語科目の扱いとなります。履修できる学生は、以下に該当する者のみとなります。

ただし、(2)～(5)に関しては当該授業の履修者数が20人を超える場合は選考があります。

また、EAS科目として「日本語」を履修した場合は自由科目となり、卒業要件には含まれません。

(1) 協定留学生、Independent Student

(2) 「外国高等学校卒業生および帰国生徒対象入学試験」によって入学した学生

(3) 「外国人学生特別入学試験」によって入学した学生

(4) 外国の大学から編入学・転入学・学士入学試験によって入学した学生

(5) 日本以外の学校教育制度による12年以上の課程を修了した者(ただし、12年以上の課程のうち、日本にある外国人学校における在籍期間が3年を超えるか、当該学校における日本の中学校・高等学校に相当する在籍期間が2年を超える者を除く)。または、これに準ずる者で次の①～②のいずれかに該当する者。

① 外国において、学校教育における12年以上の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む)に合格した者。(国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア(フランス共和国)については日本国内で取得した場合を含む。)

② 通常の中高等教育の課程の修了までに12年を要しない国において、中高等教育の課程を修了した者で、文部科学省の指定する日本の大学に入学するための準備教育課程を修了した者。

(2) 授業科目の分類

EAS 科目の科目分類は履修要項で確認してください。

(3) 武蔵大学在学生在が EAS 科目を履修する場合の注意

- ① 履修登録前に履修の可否を決める選考は行いませんが、評価基準が高いため、以下の②、③を熟読の上、各人の判断と責任で履修登録をしてください。
- ② 授業について行くためには英語圏の大学3年生と同等の英語力と専門知識を必要とします。
- ③ 留学生のペースで授業が行われます。本学在学生在が受講する場合に、本学在学生在に合わせてペースやレベルを調整することはありません。
- ④ 科目等履修生（武蔵高校からの科目等履修生を除く）、練馬区特別履修生は、EAS 科目を履修することができません。
- ⑤ 履修登録の際は、履修要項とシラバスを必ず確認してください。

2. 留学準備講座**(1) 留学準備講座の開講目的**

留学準備講座は、留学希望の学生を支援するために設置された科目で、開講科目は以下の2種類に分かれます。

- ① 留学に必要な語学力を養成するための授業
- ② 入門的な講義

(2) 開講時期と単位

科目名の末尾に、春学期開講科目の場合は1、秋学期開講科目の場合は2が付されています。春学期開講科目と秋学期開講科目は、名称が同一の場合であっても互いに独立した科目であり、1・2のいずれかのみを履修しても、1・2を連続して履修してもかまいません。1単位科目（上記①）と2単位科目（上記②）があります。

◇留学準備講座 科目一覧

科目名	単位	※使用言語	授業と単位（履修者上限人数）
アメリカの社会と文化1	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
アメリカの社会と文化2	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
イギリスの社会と文化1	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
イギリスの社会と文化2	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
日本の社会と文化1	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
日本の社会と文化2	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
東アジアの社会と文化1	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
東アジアの社会と文化2	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
現代世界の諸問題1	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
現代世界の諸問題2	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
ドイツ語圏の社会と文化1	2	G	週1回の授業で2単位（15人）
ドイツ語圏の社会と文化2	2	G	週1回の授業で2単位（15人）
フランスの歴史と社会1	2	F	週1回の授業で2単位（15人）
フランスの歴史と社会2	2	F	週1回の授業で2単位（15人）
中国の社会と文化1	2	C	週1回の授業で2単位（15人）
中国の社会と文化2	2	C	週1回の授業で2単位（15人）
韓国・朝鮮の社会と文化1	2	K	週1回の授業で2単位（15人）
韓国・朝鮮の社会と文化2	2	K	週1回の授業で2単位（15人）
インターカルチュラルスキル養成講座1	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
インターカルチュラルスキル養成講座2	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
グローバル・リーダーシップ養成講座1	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
グローバル・リーダーシップ養成講座2	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
留学入門セミナー	2	E	週1回の授業で2単位（25人）
多文化社会	2	E	週1回の授業で2単位（20人）
グローバル・コミュニケーション1	1	E	週1回の授業で1単位（15人）
グローバル・コミュニケーション2	1	E	週1回の授業で1単位（15人）
留学のための英語講座 A1 (TOEFL)	1	E	週1回の授業で1単位（20人）
留学のための英語講座 A2 (TOEFL)	1	E	週1回の授業で1単位（20人）
留学のための英語講座 B1 (IELTS)	1	E	週1回の授業で1単位（20人）
留学のための英語講座 B2 (IELTS)	1	E	週1回の授業で1単位（20人）
ドイツ語論述実習1	1	G	週1回の授業で1単位（15人）
ドイツ語論述実習2	1	G	週1回の授業で1単位（15人）
フランス語論述実習1	1	F	週1回の授業で1単位（15人）
フランス語論述実習2	1	F	週1回の授業で1単位（15人）
中国語論述実習1	1	C	週1回の授業で1単位（15人）
中国語論述実習2	1	C	週1回の授業で1単位（15人）
韓国・朝鮮語論述実習1	1	K	週1回の授業で1単位（15人）
韓国・朝鮮語論述実習2	1	K	週1回の授業で1単位（15人）

※ E: 英語 G: ドイツ語 F: フランス語 C: 中国語 K: 韓国・朝鮮語

(3) 授業科目の分類

留学準備講座の科目分類は履修要項で確認してください。

(4) 留学準備講座を履修する場合の注意

- ① 留学準備講座は、学生の積極的な授業参加を前提とし、明確な効果を上げるために少人数クラスで授業を行います。従って参加者が多数の場合は、初回の授業で授業担当者の判断で選抜テストなどを実施し人数制限が行われる場合があります。
- ② 科目等履修生（武蔵高校からの科目等履修生を除く）、練馬区特別履修生は、留学準備講座を履修できません。
- ③ 履修登録の際は、履修要項とシラバスを必ず確認してください。

9. 協定留学生および認定留学生向けの各種案内

1. 協定留学生および認定留学生に対する「卒業研究ゼミ」履修の特例

武蔵大学学生国外留学規程第2条に基づく協定留学生および認定留学生に対し、留学終了後、「専門ゼミ1」もしくは「専門ゼミ2」と「卒業研究ゼミ」を同一学期内で同時に履修することを認める。

ただし、この特例を受けることのできる者は、協定留学あるいは認定留学により該当学期に「専門ゼミ1」および「専門ゼミ2」の両科目を履修できず、留学前に当年度指導教授および「専門ゼミ」担当教員の下承を得て特例履修の申請がおこなわれているものに限る。

注意事項

- 「専門ゼミ1」「専門ゼミ2」「卒業研究ゼミ」の履修登録は留学終了後、教務課にて手続きをおこなうこと。
- この特例の対象者は、あくまでも協定留学・認定留学のため「専門ゼミ1」と「専門ゼミ2」の両方を履修できない者である。例えば、3年次春学期のみ留学する場合、留学が終了して3年次秋学期に履修する「専門ゼミ2」を修得できなければ、4年次春学期に「専門ゼミ1」と「卒業研究ゼミ」との同時履修はできない。
- この特例によって「卒業研究ゼミ」と同時に履修する「専門ゼミ」を修得できなかった場合は、「卒業研究ゼミ」の修得未修得にかかわらず、その次の学期に「卒業論文」あるいは「卒業論文・卒業制作」を履修することはできない。

(例)

■ 1：協定・派遣留学（特例適用の場合）

3年次		4年次		5年次	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
留学	留学	専門ゼミ1 卒研ゼミ	専門ゼミ2 卒論卒制		

■ 2：協定・派遣留学（特例適用だが、「専門ゼミ1」の修得に失敗した場合）

3年次		4年次		5年次	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
留学	留学	専門ゼミ1 卒研ゼミ	専門ゼミ2	専門ゼミ1 卒論卒制	

■ 3：協定・派遣留学（特例なしの場合）

3年次		4年次		5年次	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
留学	留学	専門ゼミ1	専門ゼミ2 卒研ゼミ	卒論卒制	

補足

この特例は、2017年度社会学部入学生から適用される。

※「社会学専門ゼミ1」「メディア社会学専門ゼミ1」をあわせて「専門ゼミ1」と記載

※「社会学専門ゼミ2」「メディア社会学専門ゼミ2」をあわせて「専門ゼミ2」と記載

※「社会学卒業研究ゼミ」「メディア社会学卒業研究ゼミ」をあわせて「卒業研究ゼミ」と記載

2. 協定留学生および認定留学生の単位認定の目安（一部ゼミ科目）

武蔵大学学生国外留学規程第2条に基づく協定留学生および認定留学生に対し、留学先で修得した科目を一部のゼミ科目に読み替える場合の目安は次のとおりとする。

◇読み替え可能な科目

「社会学初年次基礎ゼミ」「メディア社会学初年次基礎ゼミ」「社会学初年次応用ゼミ」「メディア社会学初年次応用ゼミ」「社会学方法論ゼミ」「メディア社会学方法論ゼミ」「社会学専門ゼミ1」「メディア社会学専門ゼミ1」「社会学専門ゼミ2」「メディア社会学専門ゼミ2」「社会学卒業研究ゼミ」「メディア社会学卒業研究ゼミ」

◇読み替える科目の内容の目安

- 授業時間数が読み替える科目にふさわしいこと
- 比較的少人数の授業であること
- 授業に、ディスカッション、文献講読、論文指導、調査指導、制作指導などのゼミに類する要素が含まれていること

注意事項

「社会学卒業研究ゼミ」「メディア社会学卒業研究ゼミ」は、学生の卒業論文・卒業制作・卒業活動報告書の準備が進んでおり、「卒業論文」「卒業論文・卒業制作」の履修のみで卒業論文・卒業制作・卒業活動報告書を提出できる見込みがあると指導教授が判断できる場合にのみ読み替えられる。

※「卒業論文」「卒業論文・卒業制作」は、授業の参加と、予備提出および本提出という成果物と、口述審査という試験とを重要な修得条件とするため、原則として留学先で修得した単位を読み替えることはしない。

10. 人権問題への理解を深める授業の履修について

グローバル化の下、ますます多様化、複雑化する現代社会は、年齢や性別、国籍や民族、思想・信条、性的志向や障がいの有無などの立場の違いから、人権にかかわる広範囲で多様な問題が生じており、私たちはこうした問題に積極的に目を向け、考えを深める必要があります。

大学は、異なる立場や考え方もつ人たちが集まって、研究や教育・学習、さらにそれを支える仕事を学生・教職員が協同して進めていく場です。学生や教職員にとってよりよい学習環境・生活環境を実現していくために、個人の尊厳やお互いの人格を尊重しあう「人権」という考えが多くの人に共有されることが重要になります。

武蔵大学では、全学部共通の総合科目におかれる「日本国憲法」「現代社会と人権」「人権ワークショップ」などの講義や各学部学科で開講される演習をはじめとするさまざまな科目を通じ、多種多様な視点から「人権」について、その構成員が考え、理解を深めていくために努力しています。

学生の皆さんには、これらの科目を積極的に履修し、また日頃から、学修の際に人権を意識し、知識の習得に励んでいただければと思います。

社会学科・メディア社会学科
グローバル・データサイエンス（GDS）コース

1. 履修に関する諸注意

1. 授業科目の履修に関する注意

(1) カリキュラム

学生はそれぞれ自分の入学した年度のカリキュラムにしたがって履修し卒業します。入学後にカリキュラムの変更があっても、原則として新カリキュラムは適用されません。

(2) 単位の分割不可

1科目の単位を分割して、複数の卒業要件に算入することはできません。

(3) 各自の学習プランをたてる

本学部では必修科目を除いて、学生が多数の科目の中から自主的に選択して履修しなければならない場合が多くあります。各自自分の学習方針と科目の内容を考えて、適切な選択をすることが必要です。3月下旬より3S上でシラバスの閲覧が可能です。学習方針、学習計画を立てる手がかりとなりますので、有効に活用してください。

(4) 科目履修の条件

必修科目の一部には、履修する際に必要な条件があります（たとえば、あらかじめ修得しておかなければならない科目があるなど）。この条件を満たさない場合は、卒業が遅れることがあるので注意してください。また、2年次に課す「社会学専門ゼミ」「メディア社会学専門ゼミ」の選択課題が未提出、あるいは基準に達していない場合は、卒業が遅れることがあるので十分に注意してください。

(5) セメスター制度

1つの授業を学期（セメスター）ごとに完結させる制度です。本学では1学年を春学期・秋学期の2学期とし4年間8学期で運営しています。この制度は、1学期の中で授業を集中的に履修し学習効果を高める意義があります。また、学年開始時期が異なる大学間において円滑に留学を実施できるというメリットもあります。

(6) 学期分割型科目

本学では、一部の科目について、春学期・秋学期をそれぞれ2つの期間に分けて、1年をSpring1～Autumn2に分けて開講しています。学期分割型科目は原則として週2回授業が行われます。また、各期間の終わりに定期試験が実施されることがあります。

(7) 科目表の見方

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
A 情報とコミュニケーション	GEO02010	他者理解とコミュニケーション	2	1～4	講義	
	GEO02020	情報技術と人間社会	2	1～4	講義	
	GEO02030	知識社会の情報学	2	1～4	講義	
	GEO02040	データ分析の基礎	2	1～4	講義	
	GEO02050	データ分析の応用	2	1～4	講義	
	GEO02060	Information Technology and Global Communication	2	1～4	講義	* ※ (1)

- ① 分野 区分（総合科目、外国語科目、専門科目）ごとに分野やジャンルに分類されています。
- ② ナンバリング 科目ナンバリングは、武蔵大学で開講している科目に番号付けを行い、科目の分野、履修可能年次、履修順序などをあらわしたものです。詳しくは、履修要項（共通編）を確認してください。
- ③ 科目名 授業科目名
（※授業内容については、シラバスを参照してください。）
- ④ 単位 科目ごとに単位数が決められています。卒業要件をよく読み、必要な単位を修得してください。
- ⑤ 配当年次 科目ごとに履修可能年次が指定されています。一部、システム上履修登録できる年次が異なる科目もあります。
- ⑥ 授業形態 履修要項（共通編）8頁参照
- ⑦ 備考 その科目に対する条件・案内等が記載されています。
「*印について」
- ・備考欄に*印のない科目は、原則として毎年開講する予定の科目です。
 - ・備考欄に*印のある科目は、原則として2年に一度開講する予定の科目です。このため開講された翌年度は欠講となる可能性があります。ただし、履修の便宜のため、年度により、2年連続で開講される場合もあります。
 - ・2022年度のカリキュラム改訂により、2021年度以前と*印の有無が変更となった科目があります。
- 「◆印について」

2022年度以降の入学者を対象に新カリキュラムが導入されました。2021年度以前の入学者に適用されるカリキュラムは変わりませんが、2022年度以降、新カリキュラムの一部の科目についても履修が可能となり、卒業に必要な単位数に含めることができます。対象科目については、2022年度以降の履修要項でご確認ください。

一方で、現在履修要項に掲載されている一部の科目の廃止が予定されていますので、以下の点に留意の上、履修計画を立てるようにしてください。

- ・備考欄に◆印のない科目(*印のある科目を含む)は、原則として、2022年度以降も開講する予定の科目です。
 - ・備考欄に◆印のある科目は、2024年度末にて廃止されます。原則として、これらの科目は、2021年度～2024年度の間、2年に一度開講する予定です。ただし、履修状況等を踏まえ、2024年度よりも前に廃止される可能性があります。
- 「その他」
- ・上記以外に注意すべき条件・案内等が記載されています。備考欄に直接記載されているものと、※印がついて欄外に説明が記載されているものがあります。

【開欠講について】

2023年度より当年度の開欠講情報の記載を削除しました。

当年度に開講している科目は、3Sの授業>シラバス検索>カリキュラムツリー照会から確認できます。入学年度、学科組織(●●学部●●学科●●コースなど)を選択して「表示」を押すと、選択したカリキュラムに沿った形で当年度開講している科目のシラバスが表示されます。開講期は「すべて対象」「春学期」「秋学期」を選択できます。なお、自身のIDとパスワードでログインすると、あらかじめ入学年度と学科組織が入力された状態で表示されます。

科目名が表示されない場合は、当年度欠講となります。3Sトップ画面上のリンク一覧にある当年度「欠講科目一覧」もあわせて確認してください。

3年次生、4年次生は特に履修登録・修正・取消にあたり、履修要項で卒業研究ゼミ・卒業論文・卒業制作の履修条件、卒業要件を十分理解しておいてください。

履修登録によって生じた不利益はあくまでも学生自身の自己責任となるので、十分理解した上で履修確認を怠らないようにしてください。

2. グローバル・データサイエンス(GDS)コースとは

(1) GDSコースの概要

GDSコースは、グローバルかつ学際的な指向をもち、社会学的視野とデータサイエンス・スキルを修得した学生を育成するために、所属学科にかかわらず、幅広くかつ奥深い学修を目指す、社会学科、メディア社会学科に共通のコースです。

学生は入学した学科(社会学科もしくはメディア社会学科)に所属したまま、GDSコースに所属します。GDSコースに所属した場合、所属する学科の卒業要件とは異なった、GDSコース固有の卒業要件が課されます。

GDSコースを選択して卒業した場合、所属学科(社会学科もしくはメディア社会学科)を卒業し、GDSコースを修了したことになります。

(2) GDSコースへの所属

① GDSコース所属の入学前手続き

GDSコース所属にあたっては、原則として入学前に「GDSコース所属希望届」を提出しておくことが必要となります。入学の前年度に実施されるGDSコースガイダンスにて配布される資料に基づいて、所定の手続きを行ってください。

なお、GDSコース所属希望届は、翌年度社会学科、メディア社会学科に1年生として所属する予定の学生すべてに提出の権利があります。ただし、GDSコース所属希望者が著しく多い場合は、入学時に行われる英語プレースメントテスト等の成績によってコース所属の可否を決定することがあります。なお、GDSコース所属を前提とした入学試験の合格者については、英語プレースメントテスト等の成績に関わらず、GDSコース所属が許可されます。

② GDSコース所属資格

①で示した所定の手続きを行い、毎年度所定のGDSコース登録料を納めることで卒業までGDSコースに所属することが可能となります。高度な英語力を始めとする各種外国語運用能力およびデータサイエンス・スキルを身につけられるよう、ぜひ十分な学修の継続・維持に努めてください。

③ GDSコース所属に必要な費用

1) コース登録料

GDSコース所属にあたっては、毎年度所定のGDSコース登録料が必要となります。所定の期限までに納付が完了しない場合はGDSコース所属が取り消され、一般コースに所属することになります。その場合は変更後のコースの卒業要件で科目を修得しなければなりません。

2) 「海外英語研修 A・B・C」、「GDS 実践」等の費用

GDS コース所属者が 1 年次 Spring 2 で履修する「海外英語研修 A・B・C」や、2 年次以降の「GDS 実践」修得に伴う、さまざまな留学、インターンシップ、ボランティア活動に伴う諸費用は、すべて学生の自己負担となります。

3) 奨学金

2) で示した諸費用の学生負担を軽減するため、GDS コース所属者に対して用意された様々な奨学金があります。奨学金の受給条件については各ガイダンスで案内します。

④ GDS コース所属の取りやめ

GDS コース所属者は、原則として卒業まで通常コースに変更することはできません。ただし、何らかのやむを得ない事情で GDS コースの所属を継続することが難しい場合は、毎年 12 月に行われるコース変更届受付期間に、所属学科の通常のコースのいずれかへの変更届を理由書とともに提出することができます。コース変更届および理由書の内容が妥当であると判断された場合、翌年度からのコース変更が認められます。

⑤ GDS コース所属への変更

入学後の GDS コース所属への変更は、願い出により選考の上、これを許可することがあります。希望する者は、1 年次 12 月に行われるコース変更届受付期間に手続きを受けてください。許可された学生は 2 年次に GDS コース所属者となります。3 年次以降の変更は認めません。なお、GDS コース所属への変更が可能かどうかは、年度によって異なります。

- ・申請資格： IELTS overall 5.5 以上の社会学部 1 年次生
- ・提出書類：
 - ① 所属コース変更届
 - ② 志望理由書（和文 800 字程度。英文 250words 程度の要約をあわせて提出すること）
 - ③ IELTS の Test Report 原本（申請日から遡って 2 年以内に取得したもの）
- ※ 教務課にてコピーを取り、原本は返却します。
- ・コース登録料： 2 年次以降、所定のコース登録料
- ・申請期間： 毎年度 12 月（詳細は 3S にて案内予定）
- ・申請先：教務課窓口
- ・所属コース変更： 届け出が受理された翌年度 4 月

(3) GDS コースにおける学修の流れ

GDS コースでは、下表のような流れで 4 年間の学修を進めていきます。

学年	学期	履修内容		
1	春学期	■ 外国語科目は「英語 I」を週 4 回履修し、「海外英語研修 A・B・C」の履修に備える。 ■ 専門科目は「初年次基礎ゼミ」「コンピューティング基礎」「メディア社会学」「社会学原論 A」を各週 2 回履修し、秋学期からの専門科目の履修に備える。		
	Spr2	■ 「海外英語研修 A・B・C」で集中的な英語のトレーニングを実施。		
	秋学期	■ 総合科目で「クリティカル・シンキング」「Sociology」の履修を推奨（「Sociology」は IELTS5.5 以上のスコアを持つことが望ましい）。 ■ 外国語科目は「英語 I」を週 2 回履修し、「海外英語研修 A・B・C」後の英語力をさらに向上させる。 ■ 専門科目は「初年次応用ゼミ」「社会調査方法論基礎 1・2」「データサイエンス基礎」「社会学原論 B」を履修。また、「社会統計学 1」の履修を推奨。社会学研究およびメディア社会学研究の基礎を修得する。		
2	春学期	■ 外国語科目では「英語 II」を履修し、より深く英語を身につける。 ■ 「論文の書き方」（アカデミックライティング）の履修を推奨。	■ 社会学科およびメディア社会学科で開講されている理論科目・展開科目を学科にとらわれず履修し、卒業研究に反映させる。 ■ 社会学部特講・全学対象専門科目などを履修し、幅広い視野を養う。	■ 総合科目・全学対象専門科目等の英語で開講される科目の履修を推奨し、1 年次の英語の集中的トレーニングの成果を実践的に用いる機会を設ける。
	秋学期	■ 「方法論ゼミ」を履修し、卒業研究の方法論の修得を目指す（3 年次に履修・修得しても可）。	■ 「データサイエンス応用」の履修を推奨。情報科学系（データサイエンス系）の諸科目を含む方法科目には多く触れ、卒業研究のための方法論を深く習熟する。	
3	春学期	■ 「専門ゼミ 1」を履修し、経験を活かした卒業研究をスタートさせる。		
	秋学期	■ 「専門ゼミ 2」を履修し、経験を活かした卒業研究を軌道にのせる。		

4	春学期	■「卒業研究ゼミ」を履修し、卒業研究の成果物の作成を開始する。	■社会科学およびメディア社会学科で開講されている理論科目・展開科目を学科にとらわれず履修し、卒業研究に反映させる。	■大学院進学奨励学生制度を利用して大学院科目の履修も可能であり、より深い学問の思考に触れることができる。
	秋学期	■「卒業論文」「卒業論文・卒業制作」を履修し、成果物を提出し口述審査を受ける。成果物は、卒業活動にもとづく報告書でもよい。	■社会学部特講・全学対象専門科目などを履修し、幅広い視野を養う。 ■「データサイエンス応用」の履修を推奨。情報科学系(データサイエンス系)の諸科目を含む方法科目には多く触れ、卒業研究のための方法論を深く習熟する。	

3. 各年次における履修上の留意点

各学年の履修登録において、下記の科目は必ず登録しなければなりません。留学、休学などで、下記科目の履修登録ができない場合は、必ず事前に教務課に相談してください。

なお、留学先で修得した単位が本学で「認定単位」として認められれば、卒業要件に充当させることができます。

学年	区分	必修科目	単位数(科目数)
----	----	------	----------

1 年次	外国語科目	必修外国語 英語 I	1	4 単位 (4 科目)	22 単位 (13 科目)
		必修外国語 英語 I	1		
		必修外国語 英語 I	1		
		必修外国語 英語 I	1		
	専門科目	社会学原論 A	2	18 単位 (9 科目)	
		社会学原論 B	2		
		メディア社会学	2		
		社会調査方法論基礎 1	2		
		社会調査方法論基礎 2	2		
		データサイエンス基礎	2		
		コンピューティング基礎	2		
		社会学初年次基礎ゼミ / メディア社会学初年次基礎ゼミ	2		
		社会学初年次応用ゼミ / メディア社会学初年次応用ゼミ	2		

※ GDS コース所属者は、選択外国語「海外英語研修 A・B・C」の3科目6単位を総合科目の単位として卒業要件として算入することを強く推奨します。

2 年次	外国語科目	必修外国語 英語 II	1	2 単位 (2 科目)	6 単位 (4 科目)
		必修外国語 英語 II	1		
	専門科目	社会学方法論ゼミ or メディア社会学方法論ゼミ * 3年次に履修・修得しても可。	2	4 単位 (2 科目)	
		GDS 実践* * 3年次に履修・修得しても可。	2		

3 年次	専門 科目	社会学専門ゼミ 1 or メディア社会学専門ゼミ 1	2	4 単位 (2 科目)
		社会学専門ゼミ 2 or メディア社会学専門ゼミ 2	2	

4 年次	専門 科目	社会学卒業研究ゼミ or メディア社会学卒業研究ゼミ	4	8 単位 (2 科目)
		卒業論文 or 卒業論文・卒業制作	4	

※協定留学生・認定留学生については「9. 協定留学生および認定留学生向けの各種案内」を参照してください。

(1) GDS コースの外国語科目

必修外国語である「英語」のほかに、1年次に必ず「海外英語研修 A・B・C」を履修してください。これは、Spring 2 に海外英語研修へ行くために履修が必要な科目です。なお、「海外英語研修 A・B・C」で修得した3科目6単位は総合科目の単位として卒業要件に算入することを強く推奨します。

(2) GDS コースのゼミ科目

1年次のゼミ科目（「基礎ゼミ」「応用ゼミ」）は社会学科およびメディア社会学科の合併授業として開講された授業を履修します。また、2～4年次のゼミ科目（「方法論ゼミ」「専門ゼミ」「卒業研究ゼミ」「卒業論文」「卒業論文・卒業制作」）は、どちらの学科で開講されている授業を履修してもかまいません。「GDS 実践」は、2～3年次に履修・修得してください。2～4年次のゼミ科目の履修や、「GDS 実践」の履修・修得の仕方については、「6 GDS コース専門科目」を参照してください。

(3) 2年次の留意点

2年次終了時点で「社会学専門ゼミ 1」「社会学専門ゼミ 2」の履修条件または「メディア社会学専門ゼミ 1」「メディア社会学専門ゼミ 2」の履修条件を満たさない場合、4年間では卒業できません。また、2年次終了時点で卒業に必要な修得単位が28単位未満で、履修登録単位制限の緩和措置の対象とならない等の場合、4年間では卒業できません。

$$124 \text{ 単位 (卒業に必要な単位)} - 48 \text{ 単位 (1年間の履修登録単位数上限)} \times 2 \text{ 年} = 28 \text{ 単位}$$

(4) 3年次の留意点

3年次終了時点で「社会学卒業研究ゼミ」の履修条件または「メディア社会学卒業研究ゼミ」の履修条件を満たさない場合、4年間では卒業できません。また、3年次終了時点で卒業に必要な修得単位が76単位未満で、履修登録単位制限の緩和措置の対象とならない等の場合、4年間では卒業できません。

$$124 \text{ 単位 (卒業に必要な単位)} - 48 \text{ 単位 (1年間の履修登録単位数上限)} = 76 \text{ 単位}$$

2. 卒業要件（GDS コース）

本学に4年以上在学（早期卒業制度適用者除く）し、GDSコースの履修方法に従って所定の単位を修得しなければなりません。概略を表にすると次のとおりとなります。

区分	修得すべき 最低単位数	内 訳
総合科目	20 単位	6 分野（A～F）からセクションを問わず最低 2 単位を修得し（計 12 単位）、かつ分野を問わずさらに 8 単位以上修得すること。
外国語科目	8 単位	必修外国語（英語） 6 単位 選択外国語 2 単位 ※ （英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、ロシア語、スペイン語、中国語、韓国・朝鮮語） ※選択外国語は 2 単位を超えて修得した場合、総合科目として 8 単位まで算入される。
専門科目	96 単位	[必修科目] ゼミ科目 20 単位 理論科目 6 単位 方法科目 8 単位 [選択科目] 展開科目 ※ 28 単位 方法科目 14 単位 その他 ※※ 20 単位 ※社会学科の展開科目、メディア社会学科の展開科目を問わない。 ※※必修以外の理論科目、方法科目、「社会学方法論ゼミ」、「メディア社会学方法論ゼミ」および展開科目、学部共通科目（社会学部特講、「学部横断型課題解決プロジェクト」）、全学対象専門科目、教職の教科に関する概説科目。ただし、「社会学方法論ゼミ」と「メディア社会学方法論ゼミ」はあわせて 2 単位を上限とする。教職の教科に関する概説科目は 4 単位を上限とする。
合計	124 単位	

【注意】

- ・ 1 科目の単位を分割して、複数の卒業要件に算入することはできません。
- ・ 上記の単位数はすべて「最低数」であり、実際には、各自の関心や研究の状況にあわせて、最低数以上の単位を履修することが望ましい。

3. 科目表と履修モデル

1. 科目表

◆総合科目 科目表【20単位】 ＊特記があるもの以外は1科目2単位

分野	セクション	1年次		2年次		3年次		4年次	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
		Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2
A分野 情報と コミュニケーション 選択：2単位以上	講義セクション	他者理解とコミュニケーション 情報技術と人間社会 知識社会の情報学 データ分析の基礎 データ分析の応用 Information Technology and Global Communication							
	実践セクション	表現技法とインタラクション 問題解決とコンピューティング デジタル協働学 データマイニング入門 インターネット・イングリッシュ クリエイティブ・ライティング アカデミック・ディベート クリティカル・シンキング 論文の書き方●							
B分野 歴史と文化 選択：2単位以上	講義セクション	グローバル時代の歴史認識 20世紀の世界 20世紀の日本 社会思想の歴史 人文学入門 世界の言語と文化 日本と世界の宗教 日本の伝統と文化 現代世界の人と生活 多文化共生の現在 Japan in the Modern World Introduction to Race, Ethnicity and Nation Introduction to Global History							
	実践セクション	世界の名著 日本の名著 文化財リサーチプロジェクト 学園史100年プロジェクト							
C分野 現代社会 選択：2単位以上	講義セクション	日本国憲法 現代社会と政治 現代社会と法 現代社会と経済 現代社会と人権 現代社会と環境 現代社会とジェンダー 現代社会とアート 国際社会における紛争と協調 グローバリズムと21世紀 現代日本の課題 Introduction to Global Studies Understanding the Contemporary Global Economy Introduction to Human Rights Introduction to Gender and Sexuality Studies							
	実践セクション	経済ニュース・リーディング 人権ワークショップ 現代アート・ワークショップ Sociology (4単位) ●							
D分野 自然と環境 選択：2単位以上	講義セクション	地球の自然史 地球環境 人間と環境 数学の世界 自然と生活のなかの物理 化学と現代社会 生命の進化 人の進化 人間と科学技術の歩み 先進の科学技術 Global Environmental Issues Introduction to Human Geography							
	実践セクション	武蔵・環境フィールドワーク サイエンスラボ集中講座A/B サイエンスラボ講座(物理学)A/B サイエンスラボ講座(化学)A/B サイエンスラボ講座(生物学)A/B 自然科学集中プロジェクトA/B(1単位) 物理学ラボワークA/B(1単位) 化学ラボワークA/B(1単位) 生物学ラボワークA/B(1単位)							
E分野 心と体 選択：2単位以上	講義セクション	こころの科学と健康 臨床心理学と人間理解 スポーツと健康の科学 スポーツの哲学 スポーツの歴史と文化 スポーツの社会環境 スポーツの心理学 Introduction to Personal Health and Wellness							
	実践セクション	心理学ワークショップ アダプテッドスポーツ・ワークショップ スポーツ実践1～14 (バレーボール/バスケットボール/ファンランニング/フットサル/バドミントン/卓球/ アドバンストゴルフ/ベーシックゴルフ/水泳/エアロビクス&フィットネス/ リラクゼーション&ウォーキング/護身術と柔道/スキー/スノーボード)(1単位)							
F分野 ライフマネジメント とキャリアデザイン 選択：2単位以上	講義セクション	自己理解の哲学 キャリアデザイン論A/B キャリア対策科目 ライフサイクルと生涯学習 心理学と社会 Career Design in a Global Age							
	実践セクション	キャリアデザイン演習 インターンシップ特講(1単位) インターンシップ(1単位) 海外調査方法論 海外フィールド実習(1単位)							

■総合科目は20単位以上を修得してください。

・選択科目:20単位以上 = A分野(2単位以上) + B分野(2単位以上) + C分野(2単位以上) + D分野(2単位以上)
+ E分野(2単位以上) + F分野(2単位以上)

*総合科目はすべて選択科目です。各分野から、セクションに関わりなく、2単位以上を修得し、合計で20単位以上としてください。

*GDSコース所属者には、1年次秋学期に「クリティカル・シンキング」「Sociology」、2～3年次に「論文の書き方」の履修を推奨します。

ただし、「Sociology」の履修にはIELTS5.5以上のスコアを持つことが望ましいです。詳細は、シラバスを参照してください。

●「Sociology」「論文の書き方」に代わる科目として「Introductory Sociology」「Academic Writing(論文の書き方)」が専門科目に新設されました。「Sociology」「論文の書き方」の履修を希望していた者は、専門科目として「Introductory Sociology」「Academic Writing(論文の書き方)」を履修してください。

*卒業に必要な総合科目20単位は、最低限の単位数であり、上記条件を満たした上で、20単位以上の履修が可能です。

*選択外国語から8単位を上限として、総合科目の単位に含めることができます。

◆外国語科目 科目表【8単位】 *特記があるもの以外は1科目1単位 *斜体:必修科目

科目種別	1年次				2年次				3年次				4年次			
	春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期	
	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2
必修外国語(英語) 必修:6単位	英語 I 英語 I		英語 I 英語 I		英語 II	英語 II										
選択 外国語 選択: 2単位	社会学部 専用クラス	海外英語研修 A/B/C (1年次 Spr2)														
	全学共通 クラス	イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング 1/2 イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ 1/2 ディスカッション・ディベート英語 1/2 クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ 1/2 ビジネス・コミュニケーション英語 1/2 イングリッシュ・ライティング・ワークショップ 1/2 プラクティカル・イングリッシュ 1/2 TOEIC 対策英語 1/2 中国語入門 1/2 韓国・朝鮮語入門 1/2 ドイツ語入門 1/2 フランス語入門 1/2 イタリア語入門 1/2 スペイン語入門 1/2 ロシア語入門 1/2 外国語現地実習(中国語) 1/2 (2単位) 外国語現地実習(韓国・朝鮮語) 1/2 (2単位) 外国語現地実習(英語) 1/2 (2単位) 外国語現地実習(ドイツ語) 1/2 (2単位) 外国語現地実習(フランス語) 1/2 (2単位) 日本語(コンプリートビギナー) 1/2 日本語(入門) 1/2 日本語(初級) 1/2 日本語(初中級) 1/2 日本語(中級) 1/2 日本語(上級) 1/2 *「日本語」科目は外国人留学生を主な対象とする科目です。履修にあたっては制限があるので、教務課に問い合わせてください。														
		中国語中級 1/2 中国語コミュニケーション 1/2 韓国・朝鮮語中級 1/2 韓国・朝鮮語コミュニケーション 1/2 ドイツ語中級 1/2 ドイツ語コミュニケーション 1/2 フランス語中級 1/2 フランス語コミュニケーション 1/2 イタリア語中級 1/2 イタリア語コミュニケーション 1/2 スペイン語中級 1/2 スペイン語コミュニケーション 1/2 ロシア語中級 1/2 ロシア語コミュニケーション 1/2														

■外国語科目は8単位以上を修得してください。

- ・必修科目:6単位
- ・選択科目:2単位

*選択外国語2単位を越えて修得した科目については、8単位を上限として、総合科目の修得単位に算入することができます。

* GDS コース所属者は、「海外英語研修 A/B/C」を除き、社会学部専用クラスを履修することはできません。

* GDS コース所属者は、選択外国語「海外英語研修 A/B/C」の3科目6単位を総合科目の単位として卒業要件として算入することを推奨します。

◆ GDS コース 専門科目 科目表【96単位】 *特記があるもの以外は1科目2単位 *斜体:必修科目

科目種別	1 年次				2 年次				3 年次				4 年次					
	春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期			
	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2		
ゼミ科目 必修:20単位	初年次基礎ゼミ※ (2単位/週2回)		初年次 応用ゼミ※1		GDS実践※2								卒業研究ゼミ※1 (4単位/週2回)		卒業論文・ 卒業制作 (4単位/週2回)			
理論科目 必修:6単位 選択:0単位以上	メディア 社会学 (2単位/ 週2回)		社会学原論B		社会学史 社会学理論 社会学文献講読A/B 社会学外書講読 メディア学説史 コミュニケーション理論 メディア社会学文献講読A/B メディア社会学外書講読 Introductory Sociology 学年縦断自由ゼミ													
方法科目 必修:8単位 選択:14単位以上	コンピュー ティング 基礎 (2単位/ 週2回)		データサイエンス基礎 社会学方 法論基礎1 (2単位/ 週2回)		社会学方 法論基礎2 (2単位/ 週2回)		データサイエンス応用 コンピューティング応用A/B/C/D/E/F/G/H 量的社会調査方法論 質的社会調査方法論 参与観察調査方法論 資料調査方法論 エスノメソドロジー メディア分析法A/B/C ルポライティング方法論 定性データ分析法 定量データ分析法A/B/C 社会統計学1/2 Academic Writing (論文の書き方)											
展開科目 選択28単位以上	社会問題と エンパワ ーメント		*4科目(8単位)まで 展開科目を履修可能		社会問題の社会学 ジェンダーの社会学 仕事の社会学 教育社会学 家族社会学 ケアの社会学 福祉社会学 人口問題の社会学 不平等の社会学 開発人類学 多文化共生の人類学													
	文化とアイデ ンティティ				家族と結婚の人類学 宗教人類学 文化人類学 アイデンティティの社会学 文化の社会学 若者文化の社会学 消費社会論 コミュニケーションの社会学 カルチュラルスタディーズ セクシュアリティの社会学 身体の社会学 恋愛の社会学													
	国際社会と ネットワーク				ネットワークの社会学 地域とコミュニティの社会学 政治社会学 都市社会学 社会運動論 環境社会学 歴史社会学 グローバリゼーションの社会学 エスニシティの社会学 ナショナリズムの社会学 観光人類学 国際比較社会学													
	メディア コミュニケー ション				映画研究 エレクトリックメディア論 グローバリゼーションとメディア デジタル社会論 ポピュラー音楽論 マスコミュニケーション論 情報の社会心理学 音楽文化の社会学 活字メディアの社会学 サブカルチャーの社会学 放送メディアの社会学 ゲームフィケーション論													
	パブリック コミュニケー ション				エスニックメディア論 広報論 コーポレート・コミュニケーション論 電子コミュニケーション論 NPO・NGOとメディア メディアリテラシー論 ライフスタイルの心理学 Webシステム論 広告論 スポーツとメディア ファッションと流行の社会心理 ゲームフィケーション論													
	メディア プロデュース				国際ニュース研究 ジャーナリズム論 メディア法制と倫理 映像アーカイブ論 ドキュメンタリー研究 市民メディア論 地域メディア論 映像メディア制作論 CM企画・制作論 出版メディア制作論 知的財産・著作権論 知とデータ													
学部共通科目 選択:0単位以上					社会理論のフロンティア 現代社会の諸相 グローバル社会の諸相 ホットトピック特別講義 メディア研究のフロンティア 文化研究のフロンティア メディア社会の諸相 データサイエンス特別講義 学部横断型課題解決プロジェクト													
全学対象専門科目 選択:0単位以上					経済学部・人文学部開講の専門科目の一部 *詳細な科目名と履修年次は134頁以降の一覧を参照のこと													
教職の教科に関する 概説科目選択: 0単位以上、上限4単位					日本史概説 外国史概説 法律学概説 政治学概説 経済学概説 地誌概説 人文地理学概説 自然地理学概説 倫理学概説 宗教学概説 哲学概説 心理学概説													

※1 ゼミの科目名称は「社会学」「メディア社会学」を省略

※2 2~3年次の適切な学期に履修すること

■専門科目は96単位以上を修得してください。

- ・必修科目:34単位 = ゼミ科目(20単位)+理論科目(6単位)+方法科目(8単位)
- ・選択科目:62単位以上 = 理論科目(0単位以上^(注))+方法科目(14単位以上)+展開科目(28単位以上)
+学部共通科目(0単位以上^(注))+「社会学方法論ゼミ」または「メディア社会学方法論ゼミ」(0単位以上、上限2単位)
+全学対象専門科目(0単位以上^(注))+教職の教科に関する概説科目(0単位以上、上限4単位)

*卒業に必要な専門科目96単位は、あくまで最低限の単位数です。上記条件を満たした上で、96単位以上の履修を目指してください。

*選択科目は自分の興味関心や将来希望する進路を考えた上で選びましょう。選び方の例は履修モデルを参考にしてください。
(注)最低限修得しなくてはならない単位数も修得できる上限の単位数もありません。興味関心や進路にあわせて必要に応じて修得してください。

2. 履修モデル

4年間、ただ漫然と、時間割の都合で選んだ授業に出ているだけでは、大学での学修の効果は半減してしまいます。授業の効果を最大限にするためには、それぞれの授業をなぜ履修するのか、その授業を履修してどんな成果を上げたのか、を自覚しながら授業での学修に取り組むことが必要です。そして、そうした自覚を持つためには、4年間の大学での学修を、何のために行うのかを、自分で設定できているとよいでしょう。

それは、卒業論文や卒業制作についての計画でもかまいません。卒業後の進路や就業に関わる目的でもかまいません。あるいは、もっと漠然とした4年間で学修したいテーマでもかまいません。こうした目的やテーマに基づいて、4年間の履修計画を立てることができれば、自ずと各々の授業にも積極的に取り組むことができ、学修の成果も上がることでしょう。

以下には、GDSコースの中で、様々な目的やテーマに基づいて履修を組み立てる場合の事例を、履修モデルとして載せてあります。もちろん目的やテーマは人それぞれです。ここに挙げた履修モデルを、目的やテーマに基づいて履修計画を立てるときに参考としてください。そして、自分自身の興味関心や将来の進路の希望に合わせて、自分なりの目的やテーマを設定して、自分にふさわしい履修計画をつくってください。

ちなみに、各モデルの中では、いっけん設定されたテーマや目的には直接関係しないように見える授業の履修も選択されているかもしれません。これは、視野を広くもち、様々な可能性に開かれているために、むしろ必要なことでもありますので、この点も参考にしてください。

なお、実際に開講される科目や開講される曜日時限は年度ごとに変化します。このため、履修計画通りの履修を実現することができない場合もありますので注意してください。

第1章 授業科目の履修

◆グローバル・データサイエンス (GDS) 履修モデル 1: 英語もデータサイエンスも両方欲張る、2 年次春学期 (夏期休暇) に海外インターンシップへ

区分	卒業要件	本モデルでの 修得単位数	1 年次				2 年次				3 年次				4 年次				
			春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		
			Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	
総合科目	選択 20 単位	選択 16 単位			クリティカル・ シンキング Sociology (4/ 選 2)								論文の書き方						
			Introduction to Global History Introduction to Human Rights Global Environmental Issues スポーツ実践 (ファンランニング) * 1 単位 スポーツ実践 (フットサル) * 1 単位 キャリアデザイン論 A																
外国語科目 ※選択外国語から 8 単 位を上限として総合科 目の単位に含めること ができる	必修 8 単位: 必修外国語 (英語) 6、 選択外国語 2	必修 6 単位	英語 I * (1/ 選 2)		英語 I * 1 単位		英語 II * 1 単位		英語 II * 1 単位										
			英語 I * (1/ 選 2)		英語 I * 1 単位		英語 II * 1 単位												
		選択 8 単位		海外英語 研修 A 海外英語 研修 B 海外英語 研修 C				プラクティカル・ イングリッシュ 1 * 1 単位					プラクティカル・ イングリッシュ 2 * 1 単位						
ゼミ科目	必修 20 単位	必修 20 単位	初年次基 礎ゼミ * (2/ 選 2)		初年次応用ゼミ *		方法論ゼミ GDS 実践					専門ゼミ 1 *	専門ゼミ 2 *	卒業研究ゼミ 1 * * 4 単位		卒業論文 * 4 単位			
理論科目	必修 6 単位、 選択 0 単位 以上	必修 6 単位、 選択 4 単位	メディア 社会学 (2/ 選 2) 社会学 原論 A (2/ 選 2)		社会学原論 B											社会学史 コミュニケーション理論			
方法科目	必修 8 単位	必修 8 単位	コンピュ ーテイング 基礎 (2/ 選 2)		社会調査・社会調査 方法論 基礎 1 (2/ 選 2) 基礎 2 (2/ 選 2) データサイエンス 基礎														
	選択 14 単位以上	選択 14 単位					コンピューティング応用 A	社会統計学 1	社会統計学 2	参与観察調査方法論	メディア分析法 C	データサイエンス応用	定性データ分析法						
専門科目 展開科目	社会問題と エンパワメント	選択 28 単位以上	選択 36 単位													社会問題の社会学 ジェンダーの社会学 多文化共生の人類学			
	文化とアイデ ンティティ																文化人類学 文化の社会学 消費社会学		
	国際社会と ネットワーク																	地域とコミュニティの社会学 環境社会学 グローバリゼーションの社会学	
	メディア コミュニケーション																	グローバリゼーションとメディア デジタル社会学 音楽文化の社会学	
	パブリック コミュニケーション																	エスニックメディア論 広報論 NPO・NGO とメディア	
	メディア プロデュース																	国際ニュース研究 メディア法制と倫理 ドキュメンタリー研究	
	学部共通科目			選択 0 単位 以上	選択 4 単位														データサイエンス特別講義 メディア研究のフロンティア
全学対象 専門科目	選択 0 単位 以上	選択 4 単位														経済学部・人文学部開講の専門科目の一部			
合計	124 単位 以上	126 単位			16 単位	28 単位	23 単位	20 単位	12 単位	11 単位	8 単位	8 単位							

■卒業要件に含まれる単位を、124 単位以上を修得すること。 ■専門科目は 96 単位以上を修得すること。
*特記があるもの以外は 1 科目 2 単位 *斜体: 必修科目 ※ゼミの科目名称は「社会学」「メディア社会学」を省略

◆グローバル・データサイエンス (GDS) 履修モデル2: とにかく英語を学んで協定留学

区分	卒業要件	本モデルでの 修得単位数	1年次				2年次				3年次				4年次				
			春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		
			Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	
総合科目	選択 20単位	選択 16単位			クリティカル・シンキング Sociology (4/週2)			論文の書き方											
			Introduction to Global History Introduction to Human Rights Global Environmental Issues Introduction to Personal Health and Wellness Career Design in Global Age																
外国語科目 ※選択外国語から8単位を上限として総合科目の単位に含めることができる	必修8単位: 必修外国語(英語)6、 選択外国語2	必修 6単位	英語Ⅰ* (1/週2)		英語Ⅰ* 1単位		英語Ⅱ* 1単位		英語Ⅱ* 1単位										
			英語Ⅰ* (1/週2)		英語Ⅰ* 1単位		英語Ⅱ* 1単位												
		選択 8単位		海外英語 研修A 海外英語 研修B 海外英語 研修C			プラクティカル・ イングリッシュ1* 1単位						プラクティカル・ イングリッシュ2* 1単位						
ゼミ科目	必修 20単位	必修 20単位	初年次基礎ゼミ* (2/週2)		初年次応用ゼミ*		方法論ゼミ		GDS実践				専門ゼミ2*		卒業研究ゼミ1* *4単位		卒業論文* 4単位		
理論科目	必修6単位、 選択0単位以上	必修6単位、 選択4単位	メディア 社会学 (2/週2)		社会学原論B				社会学理論				コミュニケーション理論						
方法科目	必修 8単位	必修 8単位	コンピューティング 基礎 (2/週2)		社会調査:社会調査 方法論 基礎1 (2/週2)		方法論 基礎2 (2/週2)												
	選択 14単位以上	選択 14単位			データサイエンス 基礎				社会統計学1		社会統計学2		コンピューティング応用C		量的社会調査方法論		質的社会調査方法論		
専門科目 展開科目	社会問題と エンパワーメント	選択 28単位以上	選択 36単位						福祉社会学		人口問題の社会学		不平等の社会学		開発人類学				
	文化とアイデンティティ								宗教人類学		アイデンティティの社会学		コミュニケーションの社会学		カルチュラルスタディーズ				
	国際社会と ネットワーク								政治社会学		都市社会学		エスニシティの社会学		観光人類学				
	メディア コミュニケーション										ポピュラー音楽論		サブカルチャーの社会学						
	パブリック コミュニケーション										コーポレート・コミュニケーション論		ファッションと流行の社会心理						
	メディア プロデュース												ジャーナリズム論		CM企画・制作論				
	学部共通科目			選択0単位 以上	選択 4単位							文化研究のフロンティア		グローバル社会の諸相					
全学対象 専門科目	選択0単位 以上	選択 4単位							経済学部・人文学部開講の専門科目の一部										
合計	124単位 以上	126単位	16単位	28単位	26単位	3単位	0単位	25単位	16単位	12単位									

■卒業要件に含まれる単位を、124単位以上を修得すること。 ■専門科目は96単位以上を修得すること。
*特記があるもの以外は1科目2単位 *斜体:必修科目 ※ゼミの科目名称は「社会学」「メディア社会学」を省略

第1章 授業科目の履修
グローバル・データサイエンス (GDS) コース

◆グローバル・データサイエンス (GDS) 履修モデル3: データサイエンスを極める、3年次にTUJへ国内留学

区分	卒業要件	本モデルでの 修得単位数	1年次				2年次				3年次				4年次			
			春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期	
			Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2	Spr1	Spr2	Aut1	Aut2
総合科目	選択 20単位	選択 18単位			クリティカル・ シンキング Sociology (4/選2)													
データマイニング入門 Introduction to Global History グローバリズムと21世紀 先進の科学技術 Introduction to Personal Health and Wellness 自己理解の哲学																		
外国語科目 ※選択外国語から8単 位を上限として総合科 目の単位に含めること ができる	必修8単位: 必修外国語 (英語) 6、 選択外国語 2	必修 6単位	英語I* (1/選2) 英語I* (1/選2)		英語I* 1単位 英語I* 1単位			英語II* 1単位	英語II* 1単位									
		選択 8単位		海外英語 研修A 海外英語 研修B 海外英語 研修C				プラクティカル・ イングリッシュ1* 1単位	プラクティカル・ イングリッシュ2* 1単位									
ゼミ科目	必修 20単位	必修 22単位	初年次基 礎ゼミ* (2/選2)		初年次応用ゼミ*	方法論ゼミ	方法論ゼミ	GDS実践 専門ゼミ1*	専門ゼミ2*	卒業研究ゼミ1* *4単位	卒業論文* 4単位							
理論科目	必修6単位、 選択0単位 以上	必修6単位、 選択2単位	メディア 社会学 (2/選2) 社会学 原論A (2/選2)		社会学原論B	メディア学説史												
方法科目	必修 8単位	必修 8単位	コンピュ ーティン グ基礎 (2/選2)		社会調査:社会調査 方法論 基礎1 (2/選2) データサイエンス 基礎													
	選択 14単位以上	選択 18単位	コンピューティング応用A コンピューティング応用B 社会統計学1 社会統計学2 量的社会調査方法論 メディア分析法C データサイエンス応用 定量データ分析法 定性データ分析法															
専門科目 展開科目	社会問題と エンパワーメ ント	選択 28単位以上	選択 36単位	仕事の社会学 教育社会学														
	文化とアイデ ンティティ			家族と結婚の人類学 身体の社会学														
	国際社会と ネットワーク			ネットワークの社会学 社会運動論														
	メディア コミュニケーション			エレクトリックメディア論 情報の社会心理学 マスコミュニケーション論 映画研究														
	パブリック コミュニケーション			電子コミュニケーション論 メディアリテラシー論 Webシステム論 広告論														
	メディア プロデュース			映像アーカイブ論 市民メディア論 出版メディア制作論 知的財産・著作権論														
学部共通科目	選択0単位 以上	選択 4単位	データサイエンス特別講義 ホットトピック特別講義															
全学対象 専門科目	選択0単位 以上	選択 2単位	経済学部・人文学部開講の専門科目の一部															
合計	124単位 以上	130単位	16単位	26単位	24単位	22単位	6単位	26単位	6単位	4単位								

■卒業要件に含まれる単位を、124単位以上を修得すること。 ■専門科目は96単位以上を修得すること。
*特記があるもの以外は1科目2単位 *斜体:必修科目 ※ゼミの科目名称は「社会学」「メディア社会学」を省略

4. GDS コース 総合科目

1. 目的と特徴

総合科目は幅広い教養と知識、豊かな人間性と良識、柔軟な思考力、判断力、そして創造的な実践力を養うことを目的としています。総合科目の特徴は、全学部および関係するセンターが協力して企画、運営している共通科目（スタンダード科目）であること、全学部の学生が同じ教室で受講することです。総合科目は、価値の多様化、異文化およびダイバーシティ理解、男女共同参画をはじめとする 21 世紀を生きる私たちが直面している状況や取り組むべき課題を具体的に意識して精選されたものです。

なお、それぞれの授業群における独自の目標を、以下のように定めています。

- (A) 情報とコミュニケーション : 情報化社会で学び、生活し、仕事をするための知識と力を養う
- (B) 歴史と文化 : 日本と世界各地の伝統文化や思想、宗教などへの理解を深める
- (C) 現代社会 : 政治、法、経済、社会構造など、多様な視点から現代をとらえる
- (D) 自然と環境 : 地球環境や生物環境の基礎知識を身につけ、自然と人間の共生を考える
- (E) 心と体 : 人間の心と体をトータルにとらえ、健康づくりのスキルと姿勢を身につける
- (F) ライフマネジメントとキャリアデザイン : 大学卒業後の進路に夢を描き、具体化するための力を養う

2. 学年配当

ほとんどの科目は 1 年次から 4 年次までいつでも履修できますが、学年が限定されている科目も一部にありますので、一覧表をよく確認してください。

3. 授業科目の編成、分類、単位数など

総合科目は 6 分野（A～F）からなり、それぞれの授業科目は講義セクションと実践セクションに分かれています。講義セクションには総合的内容の講義（講義科目）が置かれ、実践セクションには演習・実習・実技・実験その他の体験授業（実践科目）が置かれています。講義セクションで得た知識を実践的レベルでも追究したい場合に実践セクションの科目を履修すると効果的です。

それぞれの分野は、知と実践（知ることと行うこと）の循環・統合を実感できるように構成されています。ただし、総合科目の授業内容は、一部のセット科目を除いてそれぞれ独立していますので、各人の興味と必要に応じて、セクションを気にせずに個々に履修することもできます。総合科目の授業はすべて 1 セメスターで完結します。なお、週に複数回の授業が行われる科目もあります。また、単位数については授業の密度や学修時間に応じて 1 単位・2 単位の区別があります。一覧表でよく確認してください。

4. 修得すべき単位数

6 分野（A～F）からセクションを問わず最低 2 単位を修得し（計 12 単位）、かつ分野を問わずさらに 8 単位以上修得しなければなりません（総合科目全体として合計 20 単位以上が卒業に必要な条件です）。なお、選択外国語を 8 単位まで「分野を問わない 8 単位」に含めることができます。

なお、総合科目を最低条件以上に履修した場合は自由科目の扱いになります。また、同一科目（同一名称の科目）を履修した場合、二度目以降は自由科目の扱いになります。ただし、同一名称でありながら記号や番号で区別がなされている科目は別科目（重複履修とはならない科目）であるケースがあるので、その扱いについては教務課に問い合わせてください。

区分	修得すべき単位数	詳細		注意
総合科目	20 単位	(A) 情報とコミュニケーション	2 単位以上	・各分野最低 2 単位（合計 12 単位）と分野を問わず 8 単位、合わせて 20 単位を修得すること。 ・「分野を問わない 8 単位」の中に、選択外国語を 8 単位まで算入できる。
		(B) 歴史と文化	2 単位以上	
		(C) 現代社会	2 単位以上	
		(D) 自然と環境	2 単位以上	
		(E) 心と体	2 単位以上	
		(F) ライフマネジメントとキャリアデザイン	2 単位以上	

5. 「(E) 心と体」分野のスポーツ実践

総合科目のうち、**スポーツ実践**を履修する際には以下の事項に注意してください。

- ① 成績評価にあたっては、授業への出席数および履修態度（平常点）を主要なものとし、欠席数が多い場合や履修態度が著しく悪い場合は不合格となり、単位の認定が行われません。ただし、特別な事情がある場合は別に考慮することがあるので、その旨を申し出てください。
- ② 健康診断を受けていない場合は、速やかに大学保健室および身体運動科学研究室に申し出て、指示を受けてください。健康診断では、健康状態をはじめ、疾病・異常の有無を確認しています。スポーツ活動、身体活動を通して、健康の維持増進を図るためにも、自身の健康状態を把握しておくことは非常に重要です。
- ③ スポーツ実践は実技です。必ず運動に適した服装で授業を受けてください。
- ④ 実技科目であるため、履修者数を制限します。なお、第1回目の集合場所および履修登録に関する事項が3S掲示されますので、見落としのないように注意してください。

6. 実践セクションの特殊な履修手続きについて

実践セクションの授業のうちF群の「海外フィールド実習」は、通常の履修登録の手続きとは異なり、ガイダンスを実施するなどしたのちに、授業担当者に直接履修登録の申請を行います。通常の履修登録期間・履修取消期間外に行われるため、履修取消の対象外ですので、注意してください。

7. GDS コースにおける総合科目の履修の注意点

(1) 「海外英語研修 A」「海外英語研修 B」「海外英語研修 C」の総合科目への算入について

GDS コースで学修するためには、選択外国語の「海外英語研修 A」（2 単位）「海外英語研修 B」（2 単位）「海外英語研修 C」（2 単位）の 3 科目 6 単位を総合科目の単位として卒業要件として算入することを強く推奨します。

(2) 「Sociology」について

「Sociology」（C 分野）は、英語で開講される社会学の基礎的な考え方を学ぶための科目です。アカデミックな英語能力の向上のため、GDS コース所属者には、履修を推奨します。ただし、「Sociology」の履修には IELTS5.5 以上のスコアを持つことが望ましいです。詳細はシラバスを参照してください。

※ 「Sociology」に代わる科目として「Introductory Sociology」が専門科目に新設されました。「Sociology」の履修を希望していた者は、専門科目として「Introductory Sociology」を履修してください。

(3) 「論文の書き方」について

「論文の書き方」（A 分野）は、英語での論文の書き方について学ぶ GDS コース所属者専用の授業です。英語でのアカデミック・ライティング能力の向上のため、GDS コース所属者には、履修を推奨します。

※ 「論文の書き方」に代わる科目として「Academic Writing（論文の書き方）」が専門科目に新設されました。「論文の書き方」の履修を希望していた者は、専門科目として「Academic Writing（論文の書き方）」を履修してください。

(4) 英語で開講されている科目について

各分野には 1～2 科目ずつ、英語で開講されている科目が設置されています。アカデミックな英語能力の向上のため、GDS コース所属者には、履修を推奨します。詳細はシラバスを参照してください。

5. GDS コース 外国語科目

外国語科目は、グローバル時代における多言語多文化社会の要請にかなった外国語運用能力を養うことを目的としています。必修外国語(英語)と選択外国語に分かれ、英語をはじめとする各種の外国語の力を磨くことができます。外国語科目は学部が定めたGDSコースのカリキュラムにしたがって、履修していきます。また、外国語科目は特に出席が重視され、**授業回数の3分の1以上を欠席した場合、単位が与えられません。**

1. GDS コースにおける語学履修の考え方

GDSコースではさまざまな外国語の中でも、英語の修得に最も力を入れています。英語のみでの履修で卒業単位の中のすべての外国語の単位を充足することも可能です。自身の関心に応じて、どの言語を在学中に学ぶか、よく検討してください。

2. GDS コースにおける英語履修の考え方

- 以下の太字部分は、全てのGDSコース所属者が原則として学ばなければいけない科目の説明です。
- 以下の下線部分は、卒業単位として必修と設定されている科目の説明です。
- 以下の斜体部分は、全てのGDSコース所属者が、強く履修を推奨される科目の説明です。

GDSコースでの英語の学びでは二つのゴールが設定されています。

一つ目のゴール：海外留学への参加、英語で行われる授業の履修など、基礎的な英語力(各種英語試験スコア)の獲得

二つ目のゴール：社会学部の学びの中で、自分自身で社会を分析した結果を英語で情報発信できる能力の獲得

この中でも特に一つ目のゴールとして、IELTS5.5相当の英語力を獲得することを目標としてください。

この目標はSpring 2での海外英語研修で達成することが強く期待されます。達成できなかった場合、継続的にIELTSの受験が推奨されます。

この二つのゴールを達成するため、GDSコースでは以下のような英語のカリキュラムが組まれています。

一つ目のゴール達成にむけて開講されている授業

- **1年次 Spring 1** で、**週4回の英語の授業を受けます。**〔**英語 I**〕：2科目 2単位、**必修外国語**〕
- **1年次 Spring 2** で、**6週間の海外英語研修に行きます。**〔**海外英語研修 A・B・C**〕：3科目 6単位、**選択外国語**ですが、**すべて総合科目としての算入が推奨されています**〕

二つ目のゴール達成に向けて開講されている授業

- **1年次秋学期**で、**週2回の英語の授業を受けます。**〔**英語 I**〕：2科目 2単位、**必修外国語**〕
- **2年次**で、**週1回の英語の授業を1年間受けます。**〔**英語 II**〕：2科目 2単位、**必修外国語**〕
- **1年次秋学期**に、**週2回英語で社会学を学ぶ授業を受けます**〔**Sociology**〕：1科目 4単位、**総合科目**〕
※「Sociology」に代わる科目として「Introductory Sociology」が専門科目に新設されました。「Sociology」の履修を希望していた者は、専門科目として「Introductory Sociology」を履修してください。

さらに英語力を高めるためのオプション

- **1年次秋学期以降**に、英語で実施される様々な内容の総合科目の授業を受けます。
- **2年次に、週1回の英語の授業を追加します。**〔**プラクティカル・イングリッシュ**〕等：2科目 2単位、**選択外国語**〕
- **2～3年次に「論文の書き方」(英語アカデミックライティングの授業)**を受けます。
※「論文の書き方」に代わる科目として「Academic Writing (論文の書き方)」が専門科目に新設されました。「論文の書き方」の履修を希望していた者は、専門科目として「Academic Writing (論文の書き方)」を履修してください。

3. 必修外国語（英語）

必修外国語（英語）は6科目6単位を修得しなければなりません。

1年次に4科目4単位、2年次に2科目2単位が配当されており、必ず指定されたGDSコース用のクラスで履修しなければなりません。

（1）1年次配当の必修外国語（英語）

GDSコースの1年次の必修外国語（英語）は、Spring 1で週4回（2授業）、秋学期で週2回（2授業）の授業を履修します。4授業について、それぞれ指定された、GDSコース用のクラスで履修しなければなりません。詳細は開講前に3Sで指示します。

（2）2年次配当の必修外国語（英語）

2年次の必修外国語（英語）は習熟度別クラスとなっています。原則として、春学期、秋学期にそれぞれ1授業、それぞれ指定された、GDSコース用のクラスを履修して下さい。

英語学内試験（CASEC、EF SET）について

1年次生全員および2年次生の希望者を対象に実施します。自宅等から受験できるオンライン方式のテストです。1年次生は2年次英語クラスのクラス分けに使用することがありますので、必ず受験してください。また、2年次生も自らの英語力の把握に役立てるため、大学での英語学習の重要な軸として、このテストをぜひ受験してください（ただし、GDSの2年次生は受験必須とします）。詳細は3Sで別途指示します。

4. 海外英語研修

海外英語研修は、GDSコース所属者が英語の能力を高め、IELTS試験で高得点を上げることができるよう、6月～7月に実施されます。この研修参加の目標はIELTSのoverallカテゴリーで5.5以上のスコア（各項目で5.0以上のスコア）を取得することです。

5. 選択外国語

選択外国語は、最低2単位を修得しなければなりません。2単位を超えて修得した選択外国語の単位は、8単位まで、総合科目の修得単位として卒業要件に算入できます。

科目種別	1年次		2年次		3年次		4年次		
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
選択外国語…2単位	社会学部専用クラス	海外英語研修 A/B/C (1年次 Spr2)							
		イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング 1/2 イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ 1/2 ディスカッション・ディベート英語 1/2 クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ 1/2 ビジネス・コミュニケーション英語 1/2 イングリッシュ・ライティング・ワークショップ 1/2 プラクティカル・イングリッシュ 1/2 TOEIC 対策英語 中国語入門 1/2 韓国・朝鮮語入門 1/2 ドイツ語入門 1/2 フランス語入門 1/2 イタリア語入門 1/2 スペイン語入門 1/2 ロシア語入門 1/2 外国語現地実習（英語） 1/2 (2単位) 外国語現地実習（ドイツ語） 1/2 (2単位) 外国語現地実習（フランス語） 1/2 (2単位) 外国語現地実習（韓国・朝鮮語） 1/2 (2単位) 外国語現地実習（中国語） 1/2 (2単位) 日本語（コンプリートビギナー） 1/2 日本語（入門） 1/2 日本語（初級） 1/2 日本語（初中級） 1/2 日本語（中級） 1/2 日本語（上級） 1/2							
		中国語中級 1/2 中国語コミュニケーション 1/2 韓国・朝鮮語中級 1/2 韓国・朝鮮語コミュニケーション 1/2 ドイツ語中級 1/2 ドイツ語コミュニケーション 1/2 フランス語中級 1/2 フランス語コミュニケーション 1/2 イタリア語中級 1/2 イタリア語コミュニケーション 1/2 スペイン語中級 1/2 スペイン語コミュニケーション 1/2 ロシア語中級 1/2 ロシア語コミュニケーション 1/2							

選択外国語は「中国語」「韓国・朝鮮語」「ドイツ語」「フランス語」「イタリア語」「スペイン語」「ロシア語」「プラクティカル・イングリッシュ」「イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング」「イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ」「ディスカッション・ディベート英語」「クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ」「ビジネス・コミュニケーション英語」「イングリッシュ・ライティング・ワークショップ」「TOEIC 対策英語」、そして各外国語の「現地実習」等から構成されています。

各外国語の「中級」や「コミュニケーション」の履修に際しては、原則として当該外国語の「入門」（全学共通クラス）の単位を修得していなければなりません。ただし、高等学校等で入学前に受けた授業が初級文法を含むと判断できた場合、入学1年目の学生でも申請によって履修登録を行うことができます。

(1) 選択外国語の再履修

選択外国語の単位を修得できなかった場合は、同一科目を再度履修してもかまいませんし、他の外国語科目に切り替えて履修してもかまいません。

6. 外国語現地実習

「現地実習」は海外で行う語学の集中授業です。イギリス、オーストラリア、フィリピン、ドイツ、フランス、中国、台湾、韓国において、集中授業として実施します。実施時期が春季と夏季の2種類あり、春季集中授業は次年度の春学期科目、夏季集中授業は実施年度の秋学期科目となります。授業内容についてはシラバスを参照してください。

外国語現地実習の授業科目には、「外国語現地実習（英語）」、「外国語現地実習（ドイツ語）」、「外国語現地実習（フランス語）」、「外国語現地実習（中国語）」、「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）」があります。国際情勢によっては一部変更や中止となる可能性があります。

(1) 外国語現地実習の履修条件

外国語現地実習を履修するには、グローバル教育センターの定めた規則に従い、参加の手続をグローバル教育センターでとるとともに、履修の詳細、スケジュールに注意して履修登録をしなければなりません。規則を守れない場合、履修登録は完了せず、すでに登録していたとしても無効となりますので、十分注意してください。

(2) 外国語現地実習の履修の詳細

(5) 外国語現地実習のスケジュール(予定)を参照してください。各科目は履修取消し制度および履修登録科目制限の対象外とします。なお、履修期に休学、退学をすると、単位認定は行われません。

(3) 外国語現地実習の成績評価

成績評価は「P」を合格とし、単位は2単位です。帰国後に提出するレポートと現地での学習成果に基づいて評価します。

(4) 外国語現地実習のガイダンス

履修を希望する場合はグローバル教育センターのガイダンスに出席してください。

(5) 外国語現地実習のスケジュール(予定)

① 春季集中授業スケジュール

単位認定を希望する4年次生の春季現地実習への参加は認められませんので、注意してください。

10月	グローバル教育センターによる募集ガイダンス
11～1月	参加・履修手続き書類をグローバル教育センターのルールに則り提出、各種ガイダンス、事前学習
2～3月	現地実習
4月	履修登録確認 (履修登録はグローバル教育センターに提出する手続き書類をもとに、教務課で事前に登録するので、各自、登録内容を確認してください) レポート提出
9月	成績確認

② 夏季集中授業スケジュール

4月	グローバル教育センターによる募集ガイダンス
5～7月	参加・履修手続き書類をグローバル教育センターのルールに則り提出、各種ガイダンス、事前学習
8～9月	現地実習 レポート提出
9月	履修登録確認 (履修登録はグローバル教育センターに提出する手続き書類をもとに、教務課で事前に登録するので、各自、登録内容を確認してください)
翌3月上旬	成績確認

6. GDS コース 専門科目

1. 専門科目の卒業単位

(1) 専門科目の卒業単位

専門科目は卒業時まで、96単位以上修得しなければなりません。ただし、この96単位の内訳は以下のものとします。

ゼミ科目	(必修) 20 単位
理論科目	(必修) 6 単位
方法科目	(必修) 8 単位
	(選択) 14 単位
展開科目*	(選択) 28 単位
その他**	(選択) 20 単位

* 社会学科の展開科目、メディア社会学科の展開科目を問わない。

** 「その他」には以下の科目を含む。卒業要件として認められる単位数に上限が設けられている科目があるため注意すること。

必修以外の理論科目（社会学科の理論科目、メディア社会学科の理論科目を問わない）

必修以外の方法科目

社会学方法論ゼミ・メディア社会学方法論ゼミ（上限2単位）

展開科目

学部共通科目（社会学部特講、「学部横断型課題解決プロジェクト」）

全学対象専門科目

教職の教科に関する概説科目（上限4単位）

(2) 同一科目の重複履修

一度単位修得した科目を、再び履修（重複履修）する場合、卒業に必要な単位数に算入することはできません。二度目以降に修得した単位は、すべて自由科目として扱われます。

2. ゼミ科目

(1) ゼミ科目の授業

1年次の「社会学初年次基礎ゼミ／メディア社会学初年次基礎ゼミ」「社会学初年次応用ゼミ／メディア社会学初年次応用ゼミ」は、ゼミ形式への習熟と社会学関連分野の基礎的理解のための科目です。学科にかかわらず、合併授業として開講された授業を履修します。

2年次の「社会学方法論ゼミ」「メディア社会学方法論ゼミ」で、社会学やメディア社会学の研究方法を身につけ、3年次の「社会学専門ゼミ1」「メディア社会学専門ゼミ1」「社会学専門ゼミ2」「メディア社会学専門ゼミ2」でゼミ担当教員のもとで各自の研究を進め、4年次の「社会学卒業研究ゼミ」「メディア社会学卒業研究ゼミ」でさらに研究を深め、「卒業論文」「卒業論文・卒業制作」で卒業研究の成果をまとめます。GDSコース所属者は、所属学科にかかわらず、どちらの学科の授業も履修することができます。

「GDS実践」は、2～3年次に修得します。

(2) 必修科目

GDS コース所属者は、次の8科目20単位を必修科目として修得しなければなりません。

社会学初年次基礎ゼミ／メディア社会学初年次基礎ゼミ（合併授業）	(1年次Spring 1) 2単位
社会学初年次応用ゼミ／メディア社会学初年次応用ゼミ（合併授業）	(1年次秋学期) 2単位
社会学方法論ゼミ もしくは メディア社会学方法論ゼミ	(2年次春学期もしくは秋学期) 2単位
社会学専門ゼミ1 もしくは メディア社会学専門ゼミ1	(3年次春学期) 2単位
社会学専門ゼミ2 もしくは メディア社会学専門ゼミ2	(3年次秋学期) 2単位
社会学卒業研究ゼミ もしくは メディア社会学卒業研究ゼミ	(4年次春学期) 4単位
卒業論文 もしくは 卒業論文・卒業制作	(4年次秋学期) 4単位
GDS 実践	(2～3年次) 2単位

(3) 選択科目

GDS コース所属者は、次のゼミ科目をさらに選択科目として、2単位を上限として、卒業単位に算入することができます。

- 社会学方法論ゼミ
- メディア社会学方法論ゼミ

(4) 「社会学方法論ゼミ」「メディア社会学方法論ゼミ」の履修

GDS コース所属者は、2～3年次の適切な学期に「社会学方法論ゼミ」もしくは「メディア社会学方法論ゼミ」を履修しなくてはなりません。どの学年のどの学期に履修するかは、履修計画に従って慎重に判断してください。履修の仕方については1年次に行う「社会学方法論ゼミガイダンス」もしくは「メディア社会学方法論ゼミガイダンス」で確認してください。また、「社会学方法論ゼミ」もしくは「メディア社会学方法論ゼミ」の修得は4年次のゼミの進級条件になっていますので、3年次終了までに修得するようにしてください。

(5) 「社会学専門ゼミ1・2」「メディア社会学専門ゼミ1・2」の履修

GDS コース所属者は、社会学科の3年次ゼミ「社会学専門ゼミ1」「社会学専門ゼミ2」とメディア社会学科の3年次ゼミ「メディア社会学専門ゼミ1」「メディア社会学専門ゼミ2」のうち、どちらを履修してもかまいません。履修の仕方については2年次に行う「社会学専門ゼミガイダンス」もしくは「メディア社会学専門ゼミガイダンス」で確認してください。

「社会学専門ゼミ1」「メディア社会学専門ゼミ1」「社会学専門ゼミ2」「メディア社会学専門ゼミ2」を履修するためには、以下の条件を満たしていなければなりません。

- ① 外国語科目の「必修外国語（英語）」6単位のうち、4単位以上を修得していること。
- ② 次の9科目18単位を修得していること。

社会学原論 A

社会学原論 B

メディア社会学

社会調査方法論基礎 1

社会調査方法論基礎 2

データサイエンス基礎

コンピューティング基礎

社会学初年次基礎ゼミ／メディア社会学初年次基礎ゼミ（合併授業）

社会学初年次応用ゼミ／メディア社会学初年次応用ゼミ（合併授業）

- ③ 2年次に行う「社会学専門ゼミガイダンス」もしくは「メディア社会学専門ゼミガイダンス」に出席の上、課題を提出し、ゼミ配属の許可を得ていること。

(6) 「社会学卒業研究ゼミ」「メディア社会学卒業研究ゼミ」「卒業論文」「卒業論文・卒業制作」の履修

GDS コース所属者は、社会学科の4年次ゼミ「社会学卒業研究ゼミ」「卒業論文」とメディア社会学科の4年次ゼミ「メディア社会学卒業研究ゼミ」「卒業論文・卒業制作」のうち、どちらを履修してもかまいません。ただし、履修するゼミは、3年次に履修したゼミからのもちあがりとなります。

① 「社会学卒業研究ゼミ」の履修条件

「社会学卒業研究ゼミ」を履修するためには、次の2科目4単位を修得していなければなりません。

社会学方法論ゼミ もしくは メディア社会学方法論ゼミ

社会学専門ゼミ1 もしくは 社会学専門ゼミ2*

② 「メディア社会学卒業研究ゼミ」の履修条件

「メディア社会学卒業研究ゼミ」を履修するためには、次の2科目4単位を修得していなければなりません。

社会学方法論ゼミ もしくは メディア社会学方法論ゼミ

メディア社会学専門ゼミ1 もしくは メディア社会学専門ゼミ2*

③ 「卒業論文」の履修条件

「卒業論文」を履修するためには、次の1科目4単位を修得していなければなりません。

社会学卒業研究ゼミ

④ 「卒業論文・卒業制作」の履修条件

「卒業論文・卒業制作」を履修するためには、次の1科目4単位を修得していなければなりません。

メディア社会学卒業研究ゼミ

* 協定留学生・認定留学生については「9. 協定留学生および認定留学生向けの各種案内」を参照してください。

「社会学専門ゼミ」「メディア社会学専門ゼミ」「社会学卒業研究ゼミ」「メディア社会学卒業研究ゼミ」

「卒業論文」「卒業論文・卒業制作」のクラス(ゼミ)の変更について

3年次及び4年次のゼミのクラスは、課題の提出等によって配属が決定したあとは、卒業まで、原則として変更できません。ただし、何らかの特別な事情がある場合には、クラス(ゼミ)の変更が認められることがあります。クラス(ゼミ)の変更の詳細については、教務委員、教務委員長または教務課に相談してください。

(7) 「GDS 実践」の履修

GDS コース所属者は、2～3年次の適切な時期に「GDS 実践」を修得しなくてはなりません。どの学年のどの学期に修得するかは、自身の履修計画に従って慎重に判断してください。

「GDS 実践」の修得方法は以下の通りです。

① 春学期あるいは秋学期に開講される集中授業の「GDS 実践」を履修する。

この授業では、3回程度の事前指導があり、その中で自身がどのような活動を行うか計画する。

② 計画に基づいて実践活動を行う。実践活動の例は以下の通りである。

協定留学・認定留学・TUJ との単位互換プログラム

国際ボランティア・国際インターンシップ・私費留学(語学留学は除く)

国内での国際関連のボランティア活動、国内でのデータサイエンス関係のインターンシップ活動

その他、「GDS 実践」の授業内で特に認めた活動

③ 実践活動後に報告書を提出する。

3. 理論科目

(1) 必修科目

理論科目では、次の3科目6単位を必修科目として修得しなければなりません。

メディア社会学	(1年次秋学期) 2単位
社会学原論 A	(1年次 Spring 1) 2単位
社会学原論 B	(1年次秋学期) 2単位

(2) 選択科目

必修科目以外の理論科目から、選択科目を修得します。修得単位の上限は特に設けません。また理論科目から選択科目を修得しなくてもさしつかえありません。

4. 方法科目

(1) 方法科目の授業

方法科目は、社会学やメディア社会学の研究方法の修得のために、社会学科、メディア社会学科に共通で開講されている科目です。

(2) 必修科目

方法科目では、次の4科目8単位を必修科目として修得しなければなりません。

コンピューティング基礎	(1年次 Spring 1) 2単位
社会調査方法論基礎 1	(1年次 Autumn 1) 2単位
社会調査方法論基礎 2	(1年次秋学期) 2単位
データサイエンス基礎	(1年次秋学期) 2単位

(3) 選択科目

必修科目以外の方法科目から、選択科目として14単位以上を修得しなければなりません。

(4) 社会統計学 1・2

社会統計学 1・2 はデータサイエンスを学ぶにあたり基礎となる科目です。GDS コース所属者は必ず履修するようにしてください。

5. 展開科目

(1) 展開科目の修得単位

展開科目はすべて選択科目です。

展開科目は1年次の必修科目学修を前提として、社会学やメディア社会学の様々な分野・テーマについて深く掘り下げた学修を行うためのもので、学科ごとに開講されています。GDS コース所属者は、社会学科の展開科目もメディア社会学科の展開科目も、両方とも展開科目として履修することができます。

展開科目からは、28単位以上を修得しなければなりません。

(2) 展開科目の1年次履修

展開科目の履修年次は原則として2～4年次ですが、1年次にも4科目8単位まで履修することができます。

6. 学部共通科目

GDS コースの学部共通科目は、社会学部特講と「学部横断型課題解決プロジェクト」から構成されます。学部共通科目はすべて選択科目です。

学部共通科目には、修得単位の上限は特に設けません。また学部共通科目から選択科目を修得しなくてもさしつかえありません。

7. 全学対象専門科目

全学対象専門科目はすべて選択科目です。

GDS コースでは、全学対象専門科目には、修得単位の上限は特に設けません。また全学対象専門科目から選択科目を修得しなくてもさしつかえありません。

8. 教職の教科に関する概説科目

教職の教科に関する概説科目はすべて選択科目です。教職の教科に関する概説科目は、4 単位を上限として卒業単位の算入することができます。なお、教職の教科に関する概説科目から選択科目を修得しなくてもさしつかえありません。

9. 卒業論文・卒業制作・卒業活動報告書に向けての準備

卒業論文・卒業制作・卒業活動報告書作成の準備のために、卒業論文・卒業制作・卒業活動報告書構想と卒業論文・卒業制作・卒業活動報告書題目届の提出を行います。

卒業論文・卒業制作・卒業活動報告書構想は、以下の日時に受け付けます。
当該年度の学事日程を確認してください

卒業論文・卒業制作・卒業活動報告書題目届は、以下の期間に受け付けます。
当該年度の学事日程を確認してください

10. 卒業論文・卒業制作の予備提出について（卒業活動報告書を含む）

- * 科目名の表記：「卒業論文」、「卒業論文・卒業制作」と記載しています。
- * 提出物の表記：卒業論文の予備提出、卒業制作の予備提出、卒業活動報告書の予備提出、卒業論文、卒業制作、卒業活動報告書と記載しています。
- * 卒業活動報告書については「13. 卒業活動報告書について」も参照してください。

（1）GDS コースの卒業論文・卒業制作について

GDS コースに所属する者は、卒業研究の成果物として、卒業論文、卒業制作のいずれかを選択することができます。ただし、履修する科目によって、選択できる成果物が以下のように異なるので注意してください。

	卒業論文	卒業制作
「卒業論文」の履修者	○	×
「卒業論文・卒業制作」の履修者	○	○

○：選択可能 ×：選択不能

（2）卒業論文・卒業制作の予備提出

卒業論文・卒業制作の作成を計画的に行うために、卒業論文・卒業制作の予備提出を行います。「卒業論文・卒業制作」を再履修する度に、卒業論文・卒業制作の予備提出を提出する必要があります。

（3）卒業論文・卒業制作の予備提出の提出資格

卒業論文・卒業制作の予備提出の提出資格は、「卒業論文」もしくは「卒業論文・卒業制作」を履修していることです。

（4）提出上の注意

卒業論文・卒業制作の予備提出は、以下の日時に受け付けます。
当該年度の学事日程を確認してください

書式・提出形式に不備がないよう、十分に確認の上、極力提出日 1 日目に提出してください。提出日 2 日目に提出する場合は、修正等を考慮して、締め切り間際の提出は避け、正午を目途に提出してください。

(5) 手続きの問い合わせ

卒業論文・卒業制作の予備提出に関する事務上の手続きについての問い合わせは、教務課窓口で受け付けます。

11. 卒業論文・卒業制作について（卒業活動報告書を含む）**(1) GDS コースの卒業論文・卒業制作について**

GDS コースに所属する者は、卒業研究の成果物として、卒業論文、卒業制作のいずれかを選択することができます。ただし、履修する科目によって選択できる成果物が、以下のように異なるので注意してください。

	卒業論文	卒業制作
「卒業論文」の履修者	○	×
「卒業論文・卒業制作」の履修者	○	○

○：選択可能 ×：選択不能

(2) 卒業論文・卒業制作の提出資格

卒業論文・卒業制作の提出資格は、「卒業論文」もしくは「卒業論文・卒業制作」を履修しており、卒業論文・卒業制作の予備提出を行っていることです。

(3) 提出上の注意

卒業論文・卒業制作の提出は、以下の日時に受け付けます。
当該年度の学事日程を確認してください

書式・提出形式に不備がないよう、十分に確認の上、極力提出日1日目に提出してください。提出日2日目に提出する場合は、修正等を考慮して、締め切り間際の提出は避け、正午を目途に提出してください。

提出日2日目15時以降は受理しません。

なお、文献やウェブサイトなどからの剽窃等の不正行為があった場合には、卒業論文・卒業制作が提出されていても不合格となり、単位修得はできません。

(4) 評価方法

卒業論文・卒業制作は、主査・副査の教員による厳正な査読の後、口述審査を経て、評価が決定されます。

ゼミ科目「卒業論文」もしくは「卒業論文・卒業制作」の評価は、以下4点を総合して評価されます。

- ① 授業への参加
- ② 卒業論文の予備提出もしくは卒業制作の予備提出
- ③ 卒業論文もしくは卒業制作
- ④ 卒業論文もしくは卒業制作に関する口述審査

(5) 手続きの問い合わせ

卒業論文・卒業制作の提出に関する事務上の手続きについての問い合わせは、教務課窓口で受け付けます。

12. 英語卒業論文について

GDS コースに所属する者は、英語卒業論文を提出することができます（早期卒業希望者を除く）。英語卒業論文の対象者は、以下の二点を満たしている者に限ります。(1) 英語での卒業論文執筆を認めるゼミに所属していること。(2) 予備提出の段階でIELTS6.5以上、且つ武蔵大学入学以降に留学1年程度の経験、またはそれと同等の能力があると認められた者。英語卒業論文の予備提出、英語卒業論文とも、提出資格、提出上の注意、評価方法等については、「10. 卒業論文・卒業制作の予備提出について（卒業活動報告書を含む）」、「11. 卒業論文・卒業制作について（卒業活動報告書を含む）」に準じます。

13. 卒業活動報告書について

GDS コースに所属する者は卒業論文・卒業制作に代えて、卒業活動報告書を提出することができます（早期卒業希望者を除く）。希望者は、必ず「専門ゼミ」のエントリー前に各学科教務委員に連絡を取り、選択可能なゼミについて問い合わせてください。卒業活動報告書の予備提出、卒業活動報告書とも、提出資格、提出上の注意、評価方法等については、「10. 卒業論文・卒業制作の予備提出について」、「11. 卒業論文・卒業制作について」に準じます。

今後の新型コロナウイルス感染症等の影響次第で、履修要項に記載の提出要領から変更になる可能性があります。
提出方法の詳細は3S 掲示で案内するので、よく確認してください。

卒業論文の予備提出 提出要領

体裁	<ul style="list-style-type: none"> 判型：白色無地の A4 判を縦長に使い、横書きすること。 内容：①表紙、②目次、③本文（注を含む）、④参考文献、⑤巻末付録（必要な場合のみ）の順で書くこと。 レイアウト：読みやすい字間・行間の設定をこころがけること。
書式	<ul style="list-style-type: none"> ページ番号：上記③本文と④参考文献には各ページ下に通しのページ番号を入れること。 表紙：学籍番号、氏名、タイトル、ゼミ担当教員、指導教授の順にそれぞれの内容を記すこと。 目次：目次は章・節（必要に応じ「項」も）のレベルで詳細に記すこと。複数ページにわたってもかまわない。 書式の詳細：表紙・目次・本文の書式（引用参照表記・図表・注などを含む）・参考文献・巻末付録などの詳細については担当教員の指示に従うこと。 総字数の記載：参考文献の末尾に、必ず総字数を記すこと。なお、総字数には、巻末付録は含まない。
分量	<ul style="list-style-type: none"> 6,000 字以上。 本文と参考文献をカウントすること。巻末付録はこれに含まない。図表の文字数の扱いについては、担当教員の指示に従うこと。
提出方法	3S「課題提出」（10MB 未満）から提出すること。それ以外の提出方法を選択する場合は、後日 3S に掲示する指示に従うこと。
締切	当該年度の学事日程を確認してください

※ 9 月卒業の場合は、締切が 3 月卒業と異なります。当該年度の学事日程を確認してください。それ以外は上記に準じます。

※ 卒業論文に代えて卒業活動報告書を提出する場合は、「卒業活動報告書の予備提出 提出要領」を参照してください。

卒業論文 提出要領

体裁	<ul style="list-style-type: none"> 判型：白色無地の A4 判を縦長に使い、横書きすること。 内容：①表紙、②論文要約、③目次、④本文（注を含む）、⑤参考文献、⑥巻末付録（必要な場合のみ）の順で書くこと。 レイアウト：読みやすい行間・字間の設定をこころがけること。
書式	<ul style="list-style-type: none"> ページ番号：上記④本文と⑤参考文献には各ページ下に通しのページ番号を入れること 表紙：学籍番号、氏名、タイトル、指導教授氏名、ゼミ担当教員氏名を記すこと。 論文要約の分量：800～1,200 字程度とする。 目次：章・節（必要に応じ「項」も）のレベルで詳細に記すこと。複数ページにわたってもかまわない。 書式の詳細：表紙・目次・本文の書式（引用参照表記・図表・注などを含む）・参考文献・巻末付録などの詳細については担当教員の指示に従うこと。 総字数の記載：参考文献の末尾に、必ず総字数を記すこと。なお、総字数には、論文要約・巻末付録は含まない。
分量	<ul style="list-style-type: none"> 20,000 字以上。 本文と参考文献のみカウントすること。論文要約、巻末付録はこれに含まない。図表の文字数の扱いについては、担当教員の指示に従うこと。
提出方法	3S「課題提出」（10MB 未満）から提出すること。それ以外の提出方法を選択する場合は、後日 3S に掲示する指示に従うこと。
締切	当該年度の学事日程を確認してください

※ 9 月卒業の場合は、締切が 3 月卒業と異なります。当該年度の学事日程を確認してください。それ以外は上記に準じます。

※ 卒業論文に代えて卒業活動報告書を提出する場合は、「卒業活動報告書 提出要領」を参照してください。

卒業制作の予備提出 提出要領

提出内容	<ul style="list-style-type: none"> 企画書（仮タイトル、概要、企画意図など） 【映像制作の場合】 <ul style="list-style-type: none"> 絵コンテまたは制作物構成図（収録済み、制作済み部分についてはキャプチャー画面などあれば尚可） 制作に必要な素材リスト（収録済、制作済、および未収録、未制作素材の別を明示） 【印刷された出版物の場合】 <ul style="list-style-type: none"> 制作に必要な素材リスト（取材が中心ならインタビュー協力者や取材先・調査地のリストを、異なる手法での雑誌・冊子なら文章の内容を、ビジュアル素材が中心の場合は使用予定の写真、イラストなどのサンプルもしくは文章による説明を掲載）。 出版物の体裁（印刷するサイズ、カラー、ページ数など）。 制作物の内容によっては上記の提出内容を満たすことが難しい場合がある。その場合は担当教員の指示に従うこと。
体裁	<ul style="list-style-type: none"> 判型：白色無地の A4 判を用いること。 表紙：学籍番号、氏名、タイトル、指導教授氏名、ゼミ担当教員氏名を記すこと。 レイアウト：読みやすい字間・行間の設定をこころがけること。
書式	<ul style="list-style-type: none"> 書式および提出形式は自由とする。必ず担当教員の指示に従うこと。
分量	<ul style="list-style-type: none"> 提出内容を A4 判 5 枚以上に記載。
提出方法	3S「課題提出」（10MB 未満）から提出すること。それ以外の提出方法を選択する場合は、後日 3S に掲示する指示に従うこと。
締切	当該年度の学事日程を確認してください

※ 9 月卒業の場合は、締切が 3 月卒業と異なります。当該年度の学事日程を確認してください。それ以外は上記に準じます。

卒業制作 提出要領

提出内容	<ul style="list-style-type: none"> 以下の要件を満たす制作物 <ul style="list-style-type: none"> 制作者個人の制作であること、または共同制作の場合はその主導的役割を担っていること。 十分なオリジナリティがあると担当教員が認めたもの。 何らかの社会的な意味があるもの。 制作研究ノート
体裁・書式	<ul style="list-style-type: none"> 制作物の体裁は自由とする。 制作研究ノートに関わる体裁と書式は、卒業論文の体裁と書式に準じること。ただし論文要約は不要であり、代わりに制作物の概要について記すこと。 不明な点については担当教員の指示に従うこと。
分量	<ul style="list-style-type: none"> 制作物の分量に指定はない。 制作研究ノートについては、10,000 字以上。本文と参考文献のみカウントすること。制作物の概要、巻末付録はこれに含まない。図表の文字数の扱いについては、担当教員の指示に従うこと。制作物の概要は 400 ～ 600 字程度とする。
提出方法	3S「課題提出」（10MB 未満）から提出すること。それ以外の提出方法を選択する場合は、後日 3S に掲示する指示に従うこと。
締切	当該年度の学事日程を確認してください

※ 9 月卒業の場合は、締切が 3 月卒業と異なります。当該年度の学事日程を確認してください。それ以外は上記に準じます。

英語卒業論文の予備提出 提出要領

体裁	<ul style="list-style-type: none"> 判型：白色無地の A4 判を縦長に使い、横書きすること。 内容：①表紙、②目次、③本文（注を含む）、④参考文献、⑤巻末付録（必要な場合のみ）の順で書くこと。 レイアウト：字体 Times New Roman、フォント 12、行間 1.5、左揃え 余白設定：上下左右 2.5cm
書式	<ul style="list-style-type: none"> ページ番号：上記③本文と④参考文献には各ページ下に通しのページ番号を入れること。 表紙：学籍番号、氏名、タイトル、ゼミ担当教員氏名、指導教授氏名を記すこと。 論文要約の分量：300～500 語程度とする。 目次：章・節（必要に応じ「項」も）のレベルで詳細に記すこと。複数ページにわたってもかまわない。 書式の詳細：目次・本文の書式（引用参照表記・図表・注などを含む）・参考文献・巻末付録などの詳細については担当教員の指示に従うこと。 総字数の記載：参考文献の末尾に、必ず総字数を記すこと。なお、総字数には、参考文献・巻末付録・目次・図表は含まない。
分量	<ul style="list-style-type: none"> 2,000 語以上。 本文のみカウントすること。参考文献・巻末付録・目次・図表の文字数はこれに含まない。
提出方法	3S「課題提出」（10MB 未満）から提出すること。それ以外の提出方法を選択する場合は、後日 3S に掲示する指示に従うこと。
締切	当該年度の学事日程を確認してください

※ 9 月卒業の場合は、締切が 3 月卒業と異なります。当該年度の学事日程を確認してください。それ以外は上記に準じます。

英語卒業論文 提出要領

体裁	<ul style="list-style-type: none"> 判型：白色無地の A4 判を縦長に使い、横書きすること。 内容：①表紙、②論文要約、③目次、④本文（注を含む）、⑤参考文献、⑥巻末付録（必要な場合のみ）の順で書く順で書くこと。 レイアウト：字体 Times New Roman、フォント 12、行間 1.5、左揃え 余白設定：上下左右 2.5cm
書式	<ul style="list-style-type: none"> ページ番号：上記④本文と⑤参考文献には各ページ下に通しのページ番号を入れること。 表紙：学籍番号、氏名、タイトル、指導教授氏名、ゼミ担当教員氏名を記すこと。 論文要約の分量：300～500 語程度とする。 目次：章・節（必要に応じ「項」も）のレベルで詳細に記すこと。複数ページにわたってもかまわない。 書式の詳細：目次・本文の書式（引用参照表記・図表・注などを含む）・参考文献・巻末付録などの詳細については担当教員の指示に従うこと。 総字数の記載：参考文献の末尾に、必ず総字数を記すこと。なお、総字数には、論文要約・参考文献・巻末付録・目次・図表は含まない。
分量	<ul style="list-style-type: none"> 5,000 語以上。 本文のみカウントすること。論文要約・参考文献・巻末付録・目次・図表の文字数はこれに含まない。
提出方法	3S「課題提出」（10MB 未満）から提出すること。それ以外の提出方法を選択する場合は、後日 3S に掲示する指示に従うこと。
締切	当該年度の学事日程を確認してください

※ 9 月卒業の場合は、締切が 3 月卒業と異なります。当該年度の学事日程を確認してください。それ以外は上記に準じます。

卒業活動報告書の予備提出 提出要領

提出内容	・在学期間中に、おおむね半年間あるいはそれ以上の、社会的意義のある活動（国内外でのボランティア活動、あるいは国内でのデータサイエンスに関わる活動）に従事した上で、その活動について記述した中間報告書。なお、様式は、レポート形式、ルポルタージュ形式など、論文形式以外のものも認める。
体裁	・卒業活動報告書の予備提出の体裁は、卒業論文・卒業制作の予備提出の体裁に準じること。
書式	・卒業活動報告書の予備提出の書式は、卒業論文・卒業制作の予備提出の書式に準じること。
分量	・卒業活動報告書の予備提出の分量は、卒業論文・卒業制作の予備提出の分量に準じること。
提出方法	3S「課題提出」（10MB 未満）から提出すること。それ以外の提出方法を選択する場合は、後日 3S に掲示する指示に従うこと。
締切	当該年度の学事日程を確認してください

※ 9月卒業の場合は、締切が3月卒業と異なります。当該年度の学事日程を確認してください。それ以外は上記に準じます。

卒業活動報告書 提出要領

提出内容	・在学期間中に、おおむね半年間あるいはそれ以上の、社会的意義のある活動（国内外でのボランティア活動、あるいは国内でのデータサイエンスに関わる活動）に従事した上で、その活動について記述した報告書。なお、報告書の様式は、レポート形式、ルポルタージュ形式など、論文形式以外のものも認める。ただし、正課の授業、課外活動を除く（「GDS 実践」、大学でのサークル活動としておこなった活動は除く）。 ・活動に実際に従事したことを証明する第三者からの活動証明書（大学所定の様式による）。ただし、活動証明書を取得することが困難な活動に従事した旨を別途様式にて報告し、その内容が認められた場合は、活動証明書の提出を省略することができる。
体裁	・卒業活動報告書の体裁は、卒業論文・卒業制作の体裁に準じること。
書式	・卒業活動報告書の書式は、卒業論文・卒業制作の書式に準じること。 ・参考文献・巻末付録については、担当教員の指示に従い、必要に応じて記述すること。
分量	・卒業活動報告書の分量は、卒業論文・卒業制作の分量に準じること。
提出方法	3S「課題提出」（10MB 未満）から提出すること。それ以外の提出方法を選択する場合は、後日 3S に掲示する指示に従うこと。
締切	当該年度の学事日程を確認してください

※ 9月卒業の場合は、締切が3月卒業と異なります。当該年度の学事日程を確認してください。それ以外は上記に準じます。

14. その他

(1) 専門科目の重複履修（自由科目）

同一科目を各自の関心や必要に応じて重複履修した場合は、二度目以降は自由科目となり、卒業に必要な単位に算入することはできません。

なお、重複履修により単位修得した場合、二度目以降の評価も成績表に併記され、GPA にも反映されます。卒業に必要な修得単位に誤って数えないよう十分に注意してください。

また、重複履修科目も、年間履修登録単位制限（年間 48 単位まで）のカウントに含まれます。

(2) 早期卒業

GDS コースに所属する者は、早期卒業を選択することが可能です。詳細は『履修要項（共通編）』第3章 学籍「6 早期卒業制度」を参照してください。

GDS コース卒業までの4年間

各項目の詳細(様式・配布日・提出日・提出方法など)は3Sで掲示します。また年度初めのガイダンスにて指示します。

1 年次	4月	英語クラス分け試験
	4月	ガイダンス
	11月	EF SET (オンライン)
	12月	CASEC テスト (オンライン)
	12月	「社会学方法論ゼミ」「メディア社会学方法論ゼミ」ガイダンス実施
	12～1月	「社会学方法論ゼミ」「メディア社会学方法論ゼミ」履修希望届提出
	1月	シャカリキフェスティバル
2 年次	4月	ガイダンス
	4月	「社会学方法論ゼミ」「メディア社会学方法論ゼミ」配属発表
	10月	「社会学専門ゼミ」「メディア社会学専門ゼミ」ガイダンス実施
	11月	「社会学専門ゼミ」「メディア社会学専門ゼミ」課題提出
	11月	「社会学専門ゼミ」「メディア社会学専門ゼミ」1次採否発表
	11～1月	「社会学専門ゼミ」「メディア社会学専門ゼミ」配属決定
	11月	EF SET (オンライン)
	12月	CASEC テスト (オンライン)
3 年次	1月	卒業論文・卒業制作・卒業活動報告書構想提出
	1月	シャカリキフェスティバル
	4月	ガイダンス
4 年次	4月	卒業論文・卒業制作・卒業活動報告書題目届提出、卒業論文・卒業制作・卒業活動報告書選択決定
	9月	卒業論文・卒業制作・卒業活動報告書の予備提出
	12月	卒業論文・卒業制作・卒業活動報告書の提出
	1月	卒業論文・卒業制作・卒業活動報告書の口述審査
	1月	シャカリキフェスティバル
	3月	卒業要件充足者の発表
	3月	卒業式 (22日)
	4月	ガイダンス

※9月卒業の場合は、4年次の日程は上記とは異なるので、3Sや下記日程を確認してください。

【注意】9月卒業の場合の卒業論文・卒業制作の予備提出・卒業論文・卒業制作の提出日程

・卒業論文・卒業制作の予備提出の日時(9月卒業)

9月卒業の場合の卒業論文・卒業制作の予備提出は、以下の日時に受け付けます。

当該年度の学事日程を確認してください。

書式・提出形式に不備がないよう、十分に確認の上、極力提出日1日目に提出してください。提出日2日目に提出する場合は、修正等を考慮して、締め切り間際の提出は避け、正午を目途に提出してください。

・卒業論文・卒業制作の提出日時(9月卒業)

9月卒業の場合の卒業論文・卒業制作の提出は、以下の日時に受け付けます。

当該年度の学事日程を確認してください。

・卒業論文・卒業制作の提出上の注意、評価方法等(9月卒業)

書式・提出形式に不備がないよう、十分に確認の上、極力提出日1日目に提出してください。提出日2日目に提出する場合は、修正等を考慮して、締め切り間際の提出は避け、正午を目途に提出してください。

提出日2日目15時以降は受理しません。

卒業論文・卒業制作の予備提出、卒業論文・卒業制作とも、提出資格、提出上の注意、評価方法等については、3月卒業の場合(118～119頁)に準じます。

7. GDS コース 全科目一覧

1. 総合科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考	
(A) 情報とコミュニケーション	講義	GEO02010	他者理解とコミュニケーション	2	1～4	講義	
		GEO02020	情報技術と人間社会	2	1～4	講義	
		GEO02030	知識社会の情報学	2	1～4	講義	
		GEO02040	データ分析の基礎	2	1～4	講義	
		GEO02050	データ分析の応用	2	1～4	講義	
		GEO02060	Information Technology and Global Communication	2	1～4	講義	* ※ (1)
	実践	GEO01010	表現技法とインタラクション	2	1～4	演習	
		GEO01020	問題解決とコンピューティング	2	1～4	演習	
		GEO01030	デジタル協働学	2	1～4	演習	
		GEO01040	データマイニング入門	2	1～4	演習	
		GEO01050	インターネット・イングリッシュ	2	1～4	演習	
		GEO01060	クリエイティブ・ライティング	2	1～4	演習	
		GEO01070	アカデミック・ディベート	2	1～4	演習	
		GEO01080	クリティカル・シンキング	2	1～2	演習	※ (2)
(B) 歴史と文化	講義	GEB02100	グローバル時代の歴史認識	2	1～4	講義	
		GEB02020	20世紀の世界	2	1～4	講義	
		GEB02030	20世紀の日本	2	1～4	講義	
		GEB02040	社会思想の歴史	2	1～4	講義	*
		GEB02050	人文学入門	2	1～4	講義	※ (1) 遡及適用科目 2022年度より新設
		GEB02050	世界の言語と文化	2	1～4	講義	◆
		GEB02060	日本と世界の宗教	2	1～4	講義	
		GEB02070	日本の伝統と文化	2	1～4	講義	
		GEB02080	現代世界の人と生活	2	1～4	講義	
		GEB02090	多文化共生の現在	2	1～4	講義	
	GEB02100	Japan in the Modern World	2	1～4	講義	* ※ (1) 遡及適用科目 2022年度より新設	
	GEB02110	Introduction to Race, Ethnicity and Nation	2	1～4	講義	* ※ (1) 遡及適用科目 2022年度より新設	
	GEB02100	Introduction to Global History	2	1～4	講義	◆ ※ (1)	
	実践	GEB01010	世界の名著	2	1～4	演習	
GEB01020		日本の名著	2	1～4	演習		
GEB01030		文化財リサーチプロジェクト	2	1～4	演習		
GEB01040		学園史 100年プロジェクト	2	1～4	演習	◆	
GEB01060		International Relations (a)	4	1～2	演習	* ※ (4) 「International Relations」の単位を修得した者は重複履修となります	
(C) 現代社会		講義	GEC02010	日本国憲法	2	1～4	講義
	GEC02020		現代社会と政治	2	1～4	講義	
	GEC02030		現代社会と法	2	1～4	講義	
	GEC02040		現代社会と経済	2	1～4	講義	*
	GEC02050		現代社会と人権	2	1～4	講義	
	GEC02060		現代社会と環境	2	1～4	講義	◆
	GEC02070		現代社会とジェンダー	2	1～4	講義	*
	GEC02080		現代社会とアート	2	1～4	講義	*
	GEC02090		国際社会における紛争と協調	2	1～4	講義	*
	GEC02100		グローバルイズムと21世紀	2	1～4	講義	*
	GEC02110		現代日本の課題	2	1～4	講義	
	GEC02120		Introduction to Global Studies	2	1～4	講義	◆ ※ (1)
	GEC02130		Understanding the Contemporary Global Economy	2	1～4	講義	◆ ※ (1)
	GEC02140		Introduction to Human Rights	2	1～4	講義	* ※ (1)
	GEC02150	Introduction to Gender and Sexuality Studies	2	1～4	講義	※ (1) 遡及適用科目 2022年度より新設	
	実践	GEC01010	経済ニュース・リーディング	2	1～4	演習	◆
		GEC01020	人権ワークショップ	2	1～4	演習	◆
		GEC01030	現代アート・ワークショップ	2	1～4	演習	
GEC01060		Politics (a)	4	1～2	演習	* ※ (4) 「Politics」の単位を修得した者は重複履修となります	
GEC01050		Sociology	4	1～4	演習	◆ ※ (2)	

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
講義	GED02010	地球の自然史	2	1～4	講義	
	GED02020	地球環境	2	1～4	講義	
	GED02030	人間と環境	2	1～4	講義	
	GED02040	数学の世界	2	1～4	講義	
	GED02050	自然と生活のなかの物理	2	1～4	講義	
	GED02060	化学と現代社会	2	1～4	講義	
	GED02070	生命の進化	2	1～4	講義	
	GED02080	人の進化	2	1～4	講義	
	GED02090	人間と科学技術の歩み	2	1～4	講義	
	GED02100	先進の科学技術	2	1～4	講義	
	GED02110	Global Environmental Issues	2	1～4	講義	* ※ (1)
GED02120	Introduction to Human Geography	2	1～4	講義	* ※ (1)	
実践	GED01010	武蔵・環境フィールドワーク	2	1～4	演習	
	GED01020	サイエンスラボ集中講座 A	2	1～4	演習	「自然科学集中プロジェクト A」の単位を修得した者は重複履修となります 遡及適用科目 2022 年度より新設
	GED01030	サイエンスラボ集中講座 B	2	1～4	演習	「自然科学集中プロジェクト B」の単位を修得した者は重複履修となります 遡及適用科目 2022 年度より新設
	GED01050	サイエンスラボ講座 (物理学) A	2	1～4	演習	「物理学ラボワーク A」の単位を修得した者は重複履修となります 遡及適用科目 2022 年度より新設
	GED01060	サイエンスラボ講座 (物理学) B	2	1～4	演習	「物理学ラボワーク B」の単位を修得した者は重複履修となります 遡及適用科目 2022 年度より新設
	GED01070	サイエンスラボ講座 (化学) A	2	1～4	演習	「化学ラボワーク A」の単位を修得した者は重複履修となります 遡及適用科目 2022 年度より新設
	GED01080	サイエンスラボ講座 (化学) B	2	1～4	演習	「化学ラボワーク B」の単位を修得した者は重複履修となります 遡及適用科目 2022 年度より新設
	GED01090	サイエンスラボ講座 (生物学) A	2	1～4	演習	「生物学ラボワーク A」の単位を修得した者は重複履修となります 遡及適用科目 2022 年度より新設
	GED01100	サイエンスラボ講座 (生物学) B	2	1～4	演習	「生物学ラボワーク B」の単位を修得した者は重複履修となります 遡及適用科目 2022 年度より新設
	GED06010	自然科学集中プロジェクト A	1	1～4	実習	◆
	GED06020	自然科学集中プロジェクト B	1	1～4	実習	◆
	GED06030	物理学ラボワーク A	1	1～4	実験・講義	◆
	GED06040	物理学ラボワーク B	1	1～4	実験・講義	◆
	GED06050	化学ラボワーク A	1	1～4	実験・講義	◆
	GED06060	化学ラボワーク B	1	1～4	実験・講義	◆
	GED06070	生物学ラボワーク A	1	1～4	実験・講義	◆
	GED06080	生物学ラボワーク B	1	1～4	実験・講義	◆
	GED01040	Mathematics and Statistics (a)	4	1～2	演習	※ (4) 「Mathematics and Statistics」の単位を修得した者は重複履修となります
	GED01050	Pure Mathematics (a)	4	1～2	演習	※ (4) ◆ 「Pure Mathematics」の単位を修得した者は重複履修となります

(D)自然と環境

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考	
(E)心と体	講義	GEE02010	2	1～4	講義		
		GEE02020	2	1～4	講義		
		GEE02030	2	1～4	講義		
		GEE02040	2	1～4	講義		
		GEE02050	2	1～4	講義		
		GEE02060	2	1～4	講義		
		GEE02070	2	1～4	講義		
		GEE02080	2	1～4	講義	※ (1)	
	実践	GEE01010	2	1～4	演習		
		GEE01020	2	1～4	演習		
		GEE06010	1	1～4	実技		
		GEE06020	1	1～4	実技	*	
		GEE06030	1	1～4	実技		
		GEE06040	1	1～4	実技		
		GEE06050	1	1～4	実技		
		GEE06060	1	1～4	実技		
		GEE06070	1	1～4	実技	*	
		GEE06080	1	1～4	実技		
		GEE06090	1	1～4	実技		
		GEE06100	1	1～4	実技		
		GEE06110	1	1～4	実技		
		GEE06120	1	1～4	実技		
		GEE06130	1	1～4	実技	*	
		GEE06140	1	1～4	実技	*	
	(F)キャリアデザインと ライフマネジメントと	講義	GEF02010	2	1～4	講義	
			GEF02020	2	1～4	講義	
			GEF02030	2	1～4	講義	
			GEF22010	2	2～4	講義	
GEF02040			2	1～4	講義		
GEF02050			2	1～4	講義		
GEF02060			2	1～4	講義	※ (1)	
実践		GEF21010	2	2～4	演習		
		GEF31010	1	3・4	演習		
		GEF36010	1	3・4	実習		
		GEF01010	2	1～4	演習	◆	
		GEF06010	1	1～4	実習	*	
		GEF01040	4	1～2	演習	※ (4) 「Economics」の単位を修得した者は、重複履修となります	
		GEF01050	4	1～2	演習	※ (4)	

注意事項

- ※ (1) 授業で用いられる主要言語は英語です。授業内容をシラバスで良く確認したうえで、履修を決定して下さい。
- ※ (2) 原則として社会学部のグローバル・データサイエンスコース所属者の履修を優先します。
- ※ (3) 原則として人文学部のグローバル・スタディーズコース (英語プログラム) 所属者の履修を優先します。
- ※ (4) PDP 科目およびその関連科目となります。履修にあたり、IELTS overall 5.5 以上 (各項目 5.0 以上) の取得および、ロンドン大学への登録が必要となります。
これらの科目は週 2 回、英語で行われます。詳しくは教務課で確認して下さい。

2. 外国語科目

[必修外国語]

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
LEN16010	英語Ⅰ(総合)[春学期]	1	1	実習(外国語)	
"	英語Ⅰ(総合)[秋学期]	1	1	実習(外国語)	
"	英語Ⅰ(会話)[春学期]	1	1	実習(外国語)	
"	英語Ⅰ(会話)[秋学期]	1	1	実習(外国語)	
LEN26010	英語Ⅱ[春学期]	1	2	実習(外国語)	
"	英語Ⅱ[秋学期]	1	2	実習(外国語)	

[選択外国語]

◇社会学部専用クラス

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
LEN16020	海外英語研修A〔選択外国語〕	2	1	実習	
LEN16030	海外英語研修B〔選択外国語〕	2	1	実習	
LEN16040	海外英語研修C〔選択外国語〕	2	1	実習	

◇全学共通クラス

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
LEN26011	プラクティカル・イングリッシュ1	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26012	プラクティカル・イングリッシュ2	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26021	イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング1	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26022	イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング2	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26031	イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ1	1	1~4	実習(外国語)	*
LEN26032	イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ2	1	1~4	実習(外国語)	*
LEN26041	ディスカッション・ディベート英語1	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26042	ディスカッション・ディベート英語2	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26051	クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ1	1	1~4	実習(外国語)	*
LEN26052	クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ2	1	1~4	実習(外国語)	*
LEN26061	ビジネス・コミュニケーション英語1	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26062	ビジネス・コミュニケーション英語2	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26071	イングリッシュ・ライティング・ワークショップ1	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26072	イングリッシュ・ライティング・ワークショップ2	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26081	TOEIC対策英語1	1	1~4	実習(外国語)	
LEN26082	TOEIC対策英語2	1	1~4	実習(外国語)	
LGE16031	ドイツ語入門1	1	1~4	実習(外国語)	
LGE16032	ドイツ語入門2	1	1~4	実習(外国語)	
LGE26021	ドイツ語中級1	1	2~4	実習(外国語)	*
LGE26022	ドイツ語中級2	1	2~4	実習(外国語)	*
LGE26031	ドイツ語コミュニケーション1	1	2~4	実習(外国語)	*
LGE26032	ドイツ語コミュニケーション2	1	2~4	実習(外国語)	*
LFR16031	フランス語入門1	1	1~4	実習(外国語)	
LFR16032	フランス語入門2	1	1~4	実習(外国語)	
LFR26021	フランス語中級1	1	2~4	実習(外国語)	*
LFR26022	フランス語中級2	1	2~4	実習(外国語)	*
LFR26031	フランス語コミュニケーション1	1	2~4	実習(外国語)	*
LFR26032	フランス語コミュニケーション2	1	2~4	実習(外国語)	*
LIA16031	イタリア語入門1	1	1~4	実習(外国語)	
LIA16032	イタリア語入門2	1	1~4	実習(外国語)	
LIA26011	イタリア語中級1	1	2~4	実習(外国語)	*
LIA26012	イタリア語中級2	1	2~4	実習(外国語)	*
LIA26021	イタリア語コミュニケーション1	1	2~4	実習(外国語)	*
LIA26022	イタリア語コミュニケーション2	1	2~4	実習(外国語)	*
LRU16011	ロシア語入門1	1	1~4	実習(外国語)	
LRU16012	ロシア語入門2	1	1~4	実習(外国語)	
LRU26011	ロシア語中級1	1	2~4	実習(外国語)	*
LRU26012	ロシア語中級2	1	2~4	実習(外国語)	*
LRU26021	ロシア語コミュニケーション1	1	2~4	実習(外国語)	*
LRU26022	ロシア語コミュニケーション2	1	2~4	実習(外国語)	*
LSP16031	スペイン語入門1	1	1~4	実習(外国語)	
LSP16032	スペイン語入門2	1	1~4	実習(外国語)	
LSP26021	スペイン語中級1	1	2~4	実習(外国語)	*
LSP26022	スペイン語中級2	1	2~4	実習(外国語)	*
LSP26031	スペイン語コミュニケーション1	1	2~4	実習(外国語)	*
LSP26032	スペイン語コミュニケーション2	1	2~4	実習(外国語)	*

第1章 授業科目の履修

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
LCH16031	中国語入門 1	1	1～4	実習(外国語)	
LCH16032	中国語入門 2	1	1～4	実習(外国語)	
LCH26021	中国語中級 1	1	2～4	実習(外国語)	*
LCH26022	中国語中級 2	1	2～4	実習(外国語)	*
LCH26031	中国語コミュニケーション 1	1	2～4	実習(外国語)	*
LCH26032	中国語コミュニケーション 2	1	2～4	実習(外国語)	*
LKO16031	韓国・朝鮮語入門 1	1	1～4	実習(外国語)	
LKO16032	韓国・朝鮮語入門 2	1	1～4	実習(外国語)	
LKO26021	韓国・朝鮮語中級 1	1	2～4	実習(外国語)	*
LKO26022	韓国・朝鮮語中級 2	1	2～4	実習(外国語)	*
LKO26031	韓国・朝鮮語コミュニケーション 1	1	2～4	実習(外国語)	*
LKO26032	韓国・朝鮮語コミュニケーション 2	1	2～4	実習(外国語)	*
LEN06010	外国語現地実習(英語) 1	2	1～4	実習	
LEN06020	外国語現地実習(英語) 2	2	1～4	実習	
LGE06010	外国語現地実習(ドイツ語) 1	2	1～4	実習	
LGE06020	外国語現地実習(ドイツ語) 2	2	1～4	実習	
LFR06010	外国語現地実習(フランス語) 1	2	1～4	実習	
LFR06020	外国語現地実習(フランス語) 2	2	1～4	実習	
LCH06010	外国語現地実習(中国語) 1	2	1～4	実習	
LCH06020	外国語現地実習(中国語) 2	2	1～4	実習	
LKO06010	外国語現地実習(韓国・朝鮮語) 1	2	1～4	実習	
LKO06020	外国語現地実習(韓国・朝鮮語) 2	2	1～4	実習	
LJA16020	日本語(コンプリートビギナー) 1	1	1～4	実習(外国語)	*
LJA16030	日本語(コンプリートビギナー) 2	1	1～4	実習(外国語)	*
LJA16040	日本語(入門) 1	1	1～4	実習(外国語)	*
LJA16050	日本語(入門) 2	1	1～4	実習(外国語)	*
LJA26010	日本語(初級) 1	1	1～4	実習(外国語)	
LJA26020	日本語(初級) 2	1	1～4	実習(外国語)	
LJA26030	日本語(初中級) 1	1	1～4	実習(外国語)	
LJA26040	日本語(初中級) 2	1	1～4	実習(外国語)	
LJA36010	日本語(中級) 1	1	1～4	実習(外国語)	
LJA36020	日本語(中級) 2	1	1～4	実習(外国語)	
LJA46010	日本語(上級) 1	1	1～4	実習(外国語)	
LJA46020	日本語(上級) 2	1	1～4	実習(外国語)	

3. 専門科目

[ゼミ科目]

◇必修科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
SEM11010	社会学初年次基礎ゼミ	2	1	演習	所属学科のゼミを履修
SEM11020	社会学初年次応用ゼミ	2	1	演習	所属学科のゼミを履修
SEM21010	社会学方法論ゼミ [春学期]	2	2	演習	※1
SEM21020	社会学方法論ゼミ [秋学期]	2	2	演習	※1
SEM31010	社会学専門ゼミ 1	2	3	演習	※2
SEM31020	社会学専門ゼミ 2	2	3	演習	※3
SEM41010	社会学卒業研究ゼミ	4	4	演習	※3
THE41010	卒業論文	4	4	演習	※3
SEM11010	メディア社会学初年次基礎ゼミ	2	1	演習	所属学科のゼミを履修
SEM11020	メディア社会学初年次応用ゼミ	2	1	演習	所属学科のゼミを履修
SEM21010	メディア社会学方法論ゼミ [春学期]	2	2	演習	※1
SEM21020	メディア社会学方法論ゼミ [秋学期]	2	2	演習	※1
SEM31010	メディア社会学専門ゼミ 1	2	3	演習	※2
SEM31020	メディア社会学専門ゼミ 2	2	3	演習	※3
SEM41010	メディア社会学卒業研究ゼミ	4	4	演習	※3
THE41020	卒業論文・卒業制作	4	4	演習	※3
SOC21020	GDS 実践	2	2~4	演習	

※1 「社会学方法論ゼミ [春学期]」「社会学方法論ゼミ [秋学期]」「メディア社会学方法論ゼミ [春学期]」「メディア社会学方法論ゼミ [秋学期]」のうち、いずれかを履修すること(卒業要件上2単位以上が必要)。

※2 「社会学専門ゼミ」「メディア社会学専門ゼミ」のいずれかを履修すること。

※3 原則「専門ゼミ 1」と同一の授業担当者のゼミに所属する。

[理論科目]

◇必修科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
SOC12010	社会学原論 A	2	1	講義	
SOC12020	社会学原論 B	2	1	講義	
MCC12010	メディア社会学	2	1	講義	

◇選択科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
SOC22010	社会学史	2	1~4	講義	*
SOC22020	社会学理論	2	1~4	講義	*
SOC32010	社会学文献講読 A	2	1~4	講義	◆
SOC32020	社会学文献講読 B	2	1~4	講義	◆
SOC42010	社会学外書講読	2	1~4	講義	◆
MCC22010	メディア学説史	2	1~4	講義	*
MCC22020	コミュニケーション理論	2	1~4	講義	*
MCC32010	メディア社会学文献講読 A	2	1~4	講義	◆
MCC32020	メディア社会学文献講読 B	2	1~4	講義	◆
MCC42010	メディア社会学外書講読	2	1~4	講義	◆
SOC12030	Introductory Sociology	2	1~4	演習	総合科目「Sociology」の単位を修得した者は、重複履修となります 遡及適用科目 2022 年度より新設
SOC01010	学年縦断自由ゼミ	2	1~4	演習	* 遡及適用科目 2022 年度より新設

※ 科目名の後にアルファベットが付きます。アルファベットが異なれば別科目として扱いますので、重複履修とはなりません(それぞれを卒業に必要な単位として数えることができます)。

[方法科目]

◇必修科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
ISC14010	コンピューティング基礎	2	1	講義	
SOC14010	社会調査方法論基礎 1	2	1	講義	
SOC14020	社会調査方法論基礎 2	2	1	講義	
ISC14020	データサイエンス基礎	2	1	講義	

◇選択科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
ISC24010	コンピューティング応用 A	2	1～4	講義	
ISC24020	コンピューティング応用 B	2	1～4	講義	
ISC24030	コンピューティング応用 C	2	1～4	講義	*
ISC24040	コンピューティング応用 D	2	1～4	講義	*
ISC24050	コンピューティング応用 E	2	1～4	講義	*
ISC24060	コンピューティング応用 F	2	1～4	講義	*
ISC24070	コンピューティング応用 G	2	1～4	講義	*
ISC24080	コンピューティング応用 H	2	1～4	講義	*
SOC24010	量的社会調査方法論	2	1～4	講義	
SOC24020	質的社会調査方法論	2	1～4	講義	
SOC24030	参与観察調査方法論	2	1～4	講義	◆
SOC24040	資料調査方法論	2	1～4	講義	*
SOC34010	エスノメソドロジー	2	1～4	講義	◆
MCC24010	メディア分析法 A	2	1～4	講義	*
MCC24020	メディア分析法 B	2	1～4	講義	◆
MCC24030	メディア分析法 C	2	1～4	講義	◆
MCC24040	ルポライティング方法論	2	1～4	講義	*
ISC24090	データサイエンス応用	2	2～4	講義	
ISC34010	定性データ分析法	2	1～4	講義	*
ISC34020	定量データ分析法	2	1～4	講義	◆ 「定量データ分析法 A・B・C」に統合
ISC34030	定量データ分析法 A	2	1～4	講義	*
ISC34040	定量データ分析法 B	2	1～4	講義	◆
ISC34050	定量データ分析法 C	2	1～4	講義	◆
STA24020	社会統計学 1	2	1～4	講義	
STA24030	社会統計学 2	2	1～4	講義	
SOC04010	Academic Writing (論文の書き方)	2	1～4	演習	* ※ 総合科目「論文の書き方」の単位を修得した者は、重複履修となります ※ 遡及適用科目 2022 年度より新設

※ 原則として GDS コース所属者の履修を優先します。通常コース所属の学生が履修する場合には、IELTS5.5 以上のスコアを持つことが望ましいです。

[展開科目]

◇選択科目

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
社会問題とエンパワーメント	ANT33010	開発人類学	2	2～4	講義	*
	ANT33020	多文化共生の人類学	2	2～4	講義	*
	SOC33010	家族社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33020	教育社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33030	ケアの社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33040	ジェンダーの社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33050	仕事の社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33060	社会問題の社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33070	人口問題の社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33080	福祉社会学	2	2～4	講義	*
SOC33090	不平等の社会学	2	2～4	講義	*	
文化とアイデンティティ	ANT33030	家族と結婚の人類学	2	2～4	講義	*
	ANT33040	宗教人類学	2	2～4	講義	*
	ANT33050	文化人類学	2	2～4	講義	*
	SOC33100	アイデンティティの社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33110	カルチュラルスタディーズ	2	2～4	講義	*
	SOC33120	コミュニケーションの社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33130	消費社会論	2	2～4	講義	*
	SOC33140	身体の社会学	2	2～4	講義	◆
	SOC33320	恋愛の社会学	2	2～4	講義	* 遡及適用科目 2022 年度より新設
	SOC33150	セクシュアリティの社会学	2	2～4	講義	*
SOC33160	文化の社会学	2	2～4	講義	*	
SOC33170	若者文化の社会学	2	2～4	講義	*	

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
国際社会とネットワーク	ANT33060	観光人類学	2	2～4	講義	*
	SOC33180	エスニシティの社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33190	環境社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33200	グローバリゼーションの社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33210	社会運動論	2	2～4	講義	*
	SOC33220	政治社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33230	地域とコミュニティの社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33240	都市社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33250	ナショナリズムの社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33260	ネットワークの社会学	2	2～4	講義	◆
	SOC33330	国際比較社会学	2	2～4	講義	* 遡及適用科目 2022年度より新設
	SOC33270	歴史社会学	2	2～4	講義	*
メディアコミュニケーション	MCC33010	映画研究	2	2～4	講義	*
	MCC33020	エレクトリックメディア論	2	2～4	講義	*
	MCC33030	グローバリゼーションとメディア	2	2～4	講義	*
	MCC33040	デジタル社会論	2	2～4	講義	*
	MCC33050	ポピュラー音楽論	2	2～4	講義	*
	MCC33060	マスコミュニケーション論	2	2～4	講義	*
	PSY33010	情報の社会心理学	2	2～4	講義	*
	SOC33280	音楽文化の社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33290	活字メディアの社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33300	サブカルチャーの社会学	2	2～4	講義	*
	SOC33310	放送メディアの社会学	2	2～4	講義	*
パブリックコミュニケーション	MCC33070	Web システム論	2	2～4	講義	*
	MCC33080	エスニックメディア論	2	2～4	講義	*
	MCC33090	NPO・NGOとメディア	2	2～4	講義	*
	MCC33100	コーポレート・コミュニケーション論	2	2～4	講義	◆
	MCC33270	ゲーミフィケーション論	2	2～4	講義	* 遡及適用科目 2022年度より新設
	MCC33110	広告論	2	2～4	講義	*
	MCC33120	広報論	2	2～4	講義	*
	MCC33130	スポーツとメディア	2	2～4	講義	*
	MCC33140	電子コミュニケーション論	2	2～4	講義	*
	MCC33150	メディアリテラシー論	2	2～4	講義	*
	PSY33020	ファッションと流行の社会心理	2	2～4	講義	*
PSY33030	ライフスタイルの心理学	2	2～4	講義	*	
メディアプロデュース	MCC33160	映像アーカイブ論	2	2～4	講義	*
	MCC33170	映像メディア制作論	2	2～4	講義	*
	MCC33180	国際ニュース研究	2	2～4	講義	*
	MCC33190	CM企画・制作論	2	2～4	講義	*
	MCC33200	市民メディア論	2	2～4	講義	*
	MCC33210	ジャーナリズム論	2	2～4	講義	*
	MCC33220	出版メディア制作論	2	2～4	講義	◆
	MCC33280	知とデータ	2	2～4	講義	* 遡及適用科目 2022年度より新設
	MCC33230	地域メディア論	2	2～4	講義	*
	MCC33240	知的財産・著作権論	2	2～4	講義	*
	MCC33250	ドキュメンタリー研究	2	2～4	講義	*
MCC33260	メディア法制と倫理	2	2～4	講義	*	

※ 展開科目は、1年次にも4科目8単位まで履修することができます。

[学部共通科目]

◇社会学部特講

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
SOC35010	社会理論のフロンティア	2	2～4	講義	◆
SOC35020	現代社会の諸相	2	2～4	講義	*
SOC35030	グローバル社会の諸相	2	2～4	講義	*
SOC35040	ホットトピック特別講義	2	2～4	講義	*
MCC35010	メディア研究のフロンティア	2	2～4	講義	◆
MCC35020	メディア社会の諸相	2	2～4	講義	*
MCC35030	文化研究のフロンティア	2	2～4	講義	◆
ISC35010	データサイエンス特別講義	2	2～4	講義	*

◇他学科専門科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
CRO21010	学部横断型課題解決プロジェクト	4	1～4	演習	1年次は秋学期からとする

[全学対象専門科目]

◇経済学部提供科目

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
国際経済・経営	ECO22040	アジア経済1	2	3・4	講義	
	ECO22050	アジア経済2	2	3・4	講義	◆
	ECO22060	アメリカ経済1	2	3・4	講義	◆
	ECO22070	アメリカ経済2	2	3・4	講義	◆
	ECO22610	ヨーロッパ経済1	2	3・4	講義	◆
	ECO22620	ヨーロッパ経済2	2	3・4	講義	◆
	ECO32010	開発経済学1	2	3・4	講義	*
	ECO32020	開発経済学2	2	3・4	講義	*
	ECO22850	国際法1	2	3・4	講義	*
	ECO22860	国際法2	2	3・4	講義	*
	ECO22460	世界経済1	2	3・4	講義	*
	ECO22470	世界経済2	2	3・4	講義	◆
	経済学と現代経済	ECO22260	ゲーム理論入門	2	3・4	講義
ECO22200		経済政策1	2	3・4	講義	*
ECO22210		経済政策2	2	3・4	講義	*
ECO22290		憲法1	2	3・4	講義	
ECO22300		憲法2	2	3・4	講義	
ECO22270		現代政治経済学1	2	3・4	講義	◆
ECO22280		現代政治経済学2	2	3・4	講義	◆
ECO22100		行政法1	2	3・4	講義	*
ECO22110		行政法2	2	3・4	講義	*
ECO22370		産業組織論1	2	3・4	講義	
ECO22380		産業組織論2	2	3・4	講義	
ECO22390		社会福祉1	2	3・4	講義	◆
ECO22400		社会福祉2	2	3・4	講義	◆
ECO22410		情報経済論1	2	3・4	講義	◆
ECO22420		情報経済論2	2	3・4	講義	◆
ECO22440		西洋経済史1	2	3・4	講義	
ECO22450		西洋経済史2	2	3・4	講義	
ECO32030		日本経済史1	2	3・4	講義	
ECO32040		日本経済史2	2	3・4	講義	
ビジネス		MAN22080	イノベーション論	2	3・4	講義
	MAN12020	経営管理論1	2	3・4	講義	
	MAN22090	経営管理論2	2	3・4	講義	
	MAN22130	国際経営論	2	3・4	講義	
	MAN22150	人事管理論1	2	3・4	講義	
	MAN22160	人事管理論2	2	3・4	講義	*
	MAN22170	組織論1	2	3・4	講義	
	MAN22180	組織論2	2	3・4	講義	
	MAN22140	多国籍企業論	2	3・4	講義	*
ビジネスデザイン	MIS22040	ITマネジメント	2	3・4	講義	◆
	MIS22030	情報ネットワーク基礎	2	3・4	講義	
	MIS22090	コンピュータシステム基礎	2	3・4	講義	
	MIS22010	サービスマネジメント	2	3・4	講義	
	MAN22240	ベンチャー企業論1	2	3・4	講義	
	MAN22250	ベンチャー企業論2	2	3・4	講義	*
	MIS12010	経営情報基礎	2	2～4	講義	
	MIS12020	情報と職業	2	2～4	講義	*
企業会計	ACC22070	企業法	2	3・4	講義	
	ACC12050	企業法基礎	2	2～4	講義	
	ACC12020	簿記演習1	2	2～4	講義	
	ECO22590	民法1	2	3・4	講義	*
	ECO22600	民法2	2	3・4	講義	*
	ACC12040	会計学基礎	2	2～4	講義	

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
金融	FIN22010	ファイナンス1	2	3・4	講義	
	FIN22020	ファイナンス2	2	3・4	講義	
	FIN22030	財務報告論1	2	3・4	講義	
	FIN22040	財務報告論2	2	3・4	講義	
	FIN22050	証券市場論1	2	3・4	講義	
	FIN22060	証券市場論2	2	3・4	講義	
	FIN32150	信託論	2	3・4	講義	*
	FIN32400	保険・年金論	2	3・4	講義	

◇人文学部提供科目

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
比較文化と異文化交流	LIT02390	比較文学論(日欧)	2	3・4	講義	*
	HST02340	ヨーロッパ対外交流史	2	3・4	講義	*
	ART02380	比較芸術論1	2	3・4	講義	*
	ART02390	比較芸術論2	2	3・4	講義	*
	ART02400	イメージ文化論	2	3・4	講義	*
	PHI02370	比較思想(日欧)	2	3・4	講義	*
	EUS02350	テクノロジー文化論	2	3・4	講義	*
	EUS02360	観光文化論(ヨーロッパ)	2	3・4	講義	*
	GLS02310	越境文化論	2	3・4	講義	*
	ANT02610	文化人類学概論1	2	3・4	講義	◆
	ANT02620	文化人類学概論2	2	3・4	講義	◆
	HST02710	東アジアの美術工芸史1	2	3・4	講義	*
	HST02720	東アジアの美術工芸史2	2	3・4	講義	*
	ARE02610	環日本海文化論1	2	3・4	講義	*
ARE02620	環日本海文化論2	2	3・4	講義	*	
欧米の文化(言語・文学)	LNG12030	英語学概論1	2	3・4	講義	
	LNG12040	英語学概論2	2	3・4	講義	
	LED12010	英語教育学1	2	3・4	講義	
	LED12020	英語教育学2	2	3・4	講義	
	LNG12010	異文化コミュニケーション論1	2	3・4	講義	*
	LNG12020	異文化コミュニケーション論2	2	3・4	講義	*
	LIT12030	イギリスの文学1	2	3・4	講義	*
	LIT12040	イギリスの文学2	2	3・4	講義	*
	LIT12010	アメリカの文学1	2	3・4	講義	
	LIT12020	アメリカの文学2	2	3・4	講義	
	LIT12050	英語圏文学入門1	2	3・4	講義	*
	LIT12060	英語圏文学入門2	2	3・4	講義	*
	LIT02350	ヨーロッパ古典文学	2	3・4	講義	*
	LIT02360	ヨーロッパの文学1	2	3・4	講義	*
	LIT02370	ヨーロッパの文学2	2	3・4	講義	*
	LNG02370	ギリシア語学1	2	3・4	講義	*
	LNG02380	ギリシア語学2	2	3・4	講義	*
	LNG02350	ラテン語学1	2	3・4	講義	*
	LNG02360	ラテン語学2	2	3・4	講義	*
	LNG02310	ドイツ語学1	2	3・4	講義	*
	LNG02320	ドイツ語学2	2	3・4	講義	*
	LNG02330	フランス語学1	2	3・4	講義	*
	LNG02340	フランス語学2	2	3・4	講義	*
	LIT02310	ドイツ文学史1	2	3・4	講義	*
	LIT02320	ドイツ文学史2	2	3・4	講義	*
	LIT02330	フランス文学史1	2	3・4	講義	*
	LIT02340	フランス文学史2	2	3・4	講義	*
	LNG12050	Introduction to Applied Linguistics	2	3・4	講義	◆

第1章 授業科目の履修

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
欧米の文化 (芸術・思想・宗教)	ART12010	英米の芸術 1	2	3・4	講義	*
	ART12020	英米の芸術 2	2	3・4	講義	*
	PHI12010	英米の思想 1	2	3・4	講義	*
	PHI12020	英米の思想 2	2	3・4	講義	*
	REL12010	英語圏の宗教と文化 1	2	3・4	講義	*
	REL12020	英語圏の宗教と文化 2	2	3・4	講義	*
	ART02310	ドイツ語圏の芸術	2	3・4	講義	*
	ART02320	フランスの芸術 1	2	3・4	講義	*
	ART02330	フランスの芸術 2	2	3・4	講義	*
	EUS02370	ヨーロッパの神話と伝説 1	2	3・4	講義	*
	EUS02380	ヨーロッパの神話と伝説 2	2	3・4	講義	*
	ART02340	ヨーロッパの芸術	2	3・4	講義	*
	PHI02360	ヨーロッパ思想史	2	3・4	講義	*
	PHI02310	ドイツ語圏の思想と文化 1	2	3・4	講義	*
	PHI02320	ドイツ語圏の思想と文化 2	2	3・4	講義	◆
	FRS22310	フランス語圏の文化と社会	2	3・4	講義	*
	PHI02330	フランス思想史 1	2	3・4	講義	*
	PHI02340	フランス思想史 2	2	3・4	講義	*
	PHI02350	ヨーロッパの哲学	2	3・4	講義	*
	欧米の歴史と現在	HST12030	イギリス史 1	2	3・4	講義
HST12040		イギリス史 2	2	3・4	講義	*
HST12010		アメリカ史 1	2	3・4	講義	*
HST12020		アメリカ史 2	2	3・4	講義	*
BRS12010		イギリス文化論 1	2	3・4	講義	*
BRS12020		イギリス文化論 2	2	3・4	講義	*
AMS12010		アメリカ文化論 1	2	3・4	講義	*
AMS12020		アメリカ文化論 2	2	3・4	講義	*
HST02350		ギリシア・ローマ史	2	3・4	講義	*
HST02310		ドイツ中世史	2	3・4	講義	*
HST02320		ドイツ近現代史	2	3・4	講義	*
HST02330		フランス史	2	3・4	講義	*
GLS02320		地中海文明論	2	3・4	講義	*
ARE02310		北欧文化論	2	3・4	講義	*
ARE02320		オーストリア・東欧文化論	2	3・4	講義	*
EUS02390		ヨーロッパ統合論	2	3・4	講義	*
EUS02400		ヨーロッパ都市論	2	3・4	講義	*
EUS02410		現代ヨーロッパ論	2	3・4	講義	*
EUS02430		ユダヤ文化論	2	3・4	講義	◆
HST02360		ヨーロッパ形成史	2	3・4	講義	*
HST02370	ヨーロッパ交流史	2	3・4	講義	*	
EUS02420	ルネサンス文化論	2	3・4	講義	*	
東アジアの文化と社会	LIT02710	中国文学史 1	2	3・4	講義	*
	LIT02720	中国文学史 2	2	3・4	講義	*
	CHS02630	中国の民族と社会 1	2	3・4	講義	◆
	CHS02640	中国の民族と社会 2	2	3・4	講義	◆
	PHI02650	中国思想史 1	2	3・4	講義	*
	PHI02660	中国思想史 2	2	3・4	講義	*
	CHS02610	現代中国論 1	2	3・4	講義	
	CHS02620	現代中国論 2	2	3・4	講義	
	KOS02710	現代韓国論 1	2	3・4	講義	
	KOS02720	現代韓国論 2	2	3・4	講義	
	KOS02730	朝鮮文化論 1	2	3・4	講義	*
	KOS02740	朝鮮文化論 2	2	3・4	講義	*
	LIT02730	朝鮮文学史 1	2	3・4	講義	*
	LIT02740	朝鮮文学史 2	2	3・4	講義	*

第1章 授業科目の履修

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
日本の歴史と文化	LNG02610	日本の言語文化 1	2	3・4	講義	
	LNG02620	日本の言語文化 2	2	3・4	講義	
	LIT02610	日本古典文学史 1	2	3・4	講義	
	LIT02620	日本古典文学史 2	2	3・4	講義	
	LIT02630	日本近現代文学史 1	2	3・4	講義	
	LIT02640	日本近現代文学史 2	2	3・4	講義	
	HST02690	日本芸能史 1	2	3・4	講義	*
	HST02700	日本芸能史 2	2	3・4	講義	*
	JPS02610	日本文化論 1	2	3・4	講義	
	JPS02620	日本文化論 2	2	3・4	講義	
	HST02670	日本美術工芸史 1	2	3・4	講義	
	HST02680	日本美術工芸史 2	2	3・4	講義	
	HST02630	日本建築史 1	2	3・4	講義	
	HST02640	日本建築史 2	2	3・4	講義	
	FOL02630	民俗宗教論 1	2	3・4	講義	*
	FOL02640	民俗宗教論 2	2	3・4	講義	*
	FOL02610	日本民俗史 1	2	3・4	講義	
	FOL02620	日本民俗史 2	2	3・4	講義	
	HST02610	日本服飾文化史 1	2	3・4	講義	
	HST02620	日本服飾文化史 2	2	3・4	講義	
	JPS02630	日本の身体文化 1	2	3・4	講義	*
	JPS02640	日本の身体文化 2	2	3・4	講義	*
	AST02610	琉球文化論 1	2	3・4	講義	
	AST02620	琉球文化論 2	2	3・4	講義	
	LIT02690	日本幻想文学論 1	2	3・4	講義	*
	LIT02700	日本幻想文学論 2	2	3・4	講義	*
PHI02610	日本思想史 1	2	3・4	講義		
PHI02620	日本思想史 2	2	3・4	講義		
RELO2610	日本の仏教 1	2	3・4	講義	*	
RELO2620	日本の仏教 2	2	3・4	講義	*	
人間科学と環境	OTH12020	現代スポーツ論	2	1～4	講義	
	OTH12070	スポーツ身体論	2	1～4	講義	*
	OTH12030	スポーツイメージ文化論	2	1～4	講義	*
	OTH12050	保全生物学	2	1～4	講義	
	OTH12060	動物社会学	2	1～4	講義	
	ENV12310	地球環境シミュレーション	2	1～4	講義	
	OTH12010	宇宙観の歴史	2	1～4	講義	
	ENV12320	都市環境論	2	1～4	講義	
ENV02310	ヨーロッパ環境論	2	3・4	講義	*	
Global Studies	GLS22010	Introduction to Global Civics 1	2	3・4	講義	*
	GLS22020	Introduction to Global Civics 2	2	3・4	講義	*
	GLS22030	Introduction to Global Futures Studies 1	2	3・4	講義	
	GLS22040	Introduction to Global Futures Studies 2	2	3・4	講義	
	GLS22050	Transnational Issues 1	2	3・4	講義	
	GLS22060	Transnational Issues 2	2	3・4	講義	
	GLS22070	Political Communication 1	2	3・4	講義	◆
	GLS22080	Political Communication 2	2	3・4	講義	◆
	GLS22090	Global Literatures in English 1	2	3・4	講義	
	GLS22100	Global Literatures in English 2	2	3・4	講義	
	GLS22110	Introduction to Cultural Studies 1	2	3・4	講義	
	GLS22120	Introduction to Cultural Studies 2	2	3・4	講義	
	GLS22130	Migration and Literature 1	2	3・4	講義	*
	GLS22140	Migration and Literature 2	2	3・4	講義	*
	GLS22150	World Englishes 1	2	3・4	講義	*
	GLS22160	World Englishes 2	2	3・4	講義	*
	GLS22170	Japanese Cultural History in Global Perspective 1	2	3・4	講義	*
	GLS22180	Japanese Cultural History in Global Perspective 2	2	3・4	講義	*
	GLS22190	Contemporary Japanese Culture 1	2	3・4	講義	◆
	GLS22200	Contemporary Japanese Culture 2	2	3・4	講義	◆
GLS22210	Topics in Japanese Culture A1	2	3・4	講義	*	
GLS22220	Topics in Japanese Culture A2	2	3・4	講義	*	
GLS22230	Topics in Japanese Culture B1	2	3・4	講義		
GLS22240	Topics in Japanese Culture B2	2	3・4	講義		

◇留学・国際交流関連科目

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
EAS科目	AST32030	Business in East Asia	4	1～4	講義	
	AST32060	Globalization and East Asian Economies	4	1～4	講義	
	JPS32010	Japanese History	4	1～4	講義	*
	JPS32020	Japanese Culture and Society	4	1～4	講義	*
	JPS32030	Japanese Literature	4	1～4	講義	*
	AST32040	East Asian Societies	4	1～4	講義	*
	AST32050	East Asian Cultures and Histories	4	1～4	講義	*
	JPS32040	Japan and International Society	4	1～4	講義	
	AST32170	Traditional Arts of Japan	2	1～4	講義	*
	AST32180	Modern Arts of Japan	2	1～4	講義	*
	AST32070	East Asian Philosophies	4	1～4	講義	*
	AST02090	East Asian Literatures	4	1～4	講義	◆
	AST32190	Film Studies in East Asia	2	1～4	講義	◆
	AST02110	Media in East Asia	4	1～4	講義	◆
	AST32100	Gender and Sexuality in East Asia	4	1～4	講義	
	AST32110	Ethnicity in East Asia	4	1～4	講義	
	AST32200	Seminar in East Asian Studies	2	1～4	講義	◆
	AST32120	East Asian Community in the 21st Century	4	1～4	講義	
	AST32130	Global Issues in Southeast Asia	2	1～4	講義	
	AST32140	Environmental Issues in East Asia	4	1～4	講義	
	AST32010	Global Issues in East Asia	2	1～4	講義	*
	AST32150	Japanese Politics	2	1～4	講義	
	AST32160	Japanese Economy	2	1～4	講義	
	AST32020	Technology and Society in East Asia	2	1～4	講義	
	JPS32050	Entrepreneurship in Japan	2	1～4	講義	◆
留学準備講座	AMS02011	アメリカの社会と文化 1	2	1～4	講義	
	AMS02012	アメリカの社会と文化 2	2	1～4	講義	
	BRS02011	イギリスの社会と文化 1	2	1～4	講義	
	BRS02012	イギリスの社会と文化 2	2	1～4	講義	
	JPS02071	日本の社会と文化 1	2	1～4	講義	*
	JPS02072	日本の社会と文化 2	2	1～4	講義	*
	AST02071	東アジアの社会と文化 1	2	1～4	講義	◆
	AST02072	東アジアの社会と文化 2	2	1～4	講義	◆
	IRL02011	現代世界の諸問題 1	2	1～4	講義	
	IRL02012	現代世界の諸問題 2	2	1～4	講義	
	GES22310	ドイツ語圏の社会と文化 1	2	2～4	講義	ドイツ語による授業
	GES22320	ドイツ語圏の社会と文化 2	2	2～4	講義	ドイツ語による授業
	FRS22320	フランスの歴史と社会 1	2	2～4	講義	フランス語による授業
	FRS22330	フランスの歴史と社会 2	2	2～4	講義	フランス語による授業
	AST02171	中国の社会と文化 1	2	1～4	講義	* 中国語による授業
	AST02172	中国の社会と文化 2	2	1～4	講義	* 中国語による授業
	AST02181	韓国・朝鮮の社会と文化 1	2	1～4	講義	* 韓国・朝鮮語による授業
	AST02182	韓国・朝鮮の社会と文化 2	2	1～4	講義	* 韓国・朝鮮語による授業
	LED02011	インターカルチュラルスキル養成講座 1	2	1～4	講義	
	LED02012	インターカルチュラルスキル養成講座 2	2	1～4	講義	
	IRL02021	グローバル・リーダーシップ養成講座 1	2	1～4	講義	
	IRL02022	グローバル・リーダーシップ養成講座 2	2	1～4	講義	
	IRL01010	留学入門ゼミナール	2	1～4	演習	
	IRL02030	多文化社会	2	1～4	講義	◆
	LED06011	グローバル・コミュニケーション 1	1	1～4	実習	*
	LED06012	グローバル・コミュニケーション 2	1	1～4	実習	*
	LED06041	留学のための英語講座 A1 (TOEFL)	1	1～4	実習	
	LED06042	留学のための英語講座 A2 (TOEFL)	1	1～4	実習	
	LED06051	留学のための英語講座 B1 (IELTS)	1	1～4	実習	
	LED06052	留学のための英語講座 B2 (IELTS)	1	1～4	実習	
	GES26410	ドイツ語論述実習 1	1	2～4	実習	ドイツ語による授業
	GES26420	ドイツ語論述実習 2	1	2～4	実習	ドイツ語による授業
	FRS26410	フランス語論述実習 1	1	2～4	実習	フランス語による授業
	FRS26420	フランス語論述実習 2	1	2～4	実習	フランス語による授業
LED06061	中国語論述実習 1	1	1～4	実習	* 中国語による授業	
LED06062	中国語論述実習 2	1	1～4	実習	* 中国語による授業	
LED06071	韓国・朝鮮語論述実習 1	1	1～4	実習	* 韓国・朝鮮語による授業	
LED06072	韓国・朝鮮語論述実習 2	1	1～4	実習	* 韓国・朝鮮語による授業	

※ 留学準備講座で備考欄に記載がない科目は英語による授業となります。

◇学芸員課程関連科目

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
関連科目 学芸員課程	CTP02010	生涯学習概論	2	1～4	講義	
	CTP02020	博物館概論	2	1～4	講義	
	CTP02060	博物館展示論	2	1～4	講義	
	CTP02070	博物館情報・メディア論	2	1～4	講義	

[教職の教科に関する概説科目]

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	授業形態	備考
TCP12010	日本史概説	2	1～4	講義	
TCP12020	外国史概説	2	1～4	講義	
TCP12030	法律学概説 (国際法を含む)	2	1～4	講義	
TCP12040	政治学概説 (国際政治を含む)	2	1～4	講義	
TCP12050	経済学概説 (国際経済を含む)	2	1～4	講義	
TCP12070	地誌概説	2	1～4	講義	
TCP12080	人文地理学概説	2	1～4	講義	
TCP12090	自然地理学概説	2	1～4	講義	
TCP12100	倫理学概説	2	1～4	講義	
TCP12110	宗教学概説	2	1～4	講義	
TCP12120	哲学概説	2	1～4	講義	
TCP12130	心理学概説	2	1～4	講義	

諸案内

8. 留学・国際交流関連科目

1.EAS (East Asian Studies、東アジア研究)

(1) EASの開講目的

EAS (East Asian Studies) は、受入れ交換留学生を主な対象とした東アジアの国際関係、経済、文化、社会などを総合的に学修する、少人数制の英語による授業です。英語で専門科目を学習する能力のある武蔵大学生の履修を大いに歓迎します。

◇ EAS 科目一覧

科目名	単位	授業と単位
Business in East Asia	4	週2回の授業で4単位
Globalization and East Asian Economies	4	週2回の授業で4単位
Japanese History	4	週2回の授業で4単位
Japanese Culture and Society	4	週2回の授業で4単位
Japanese Literature	4	週2回の授業で4単位
East Asian Societies	4	週2回の授業で4単位
East Asian Cultures and Histories	4	週2回の授業で4単位
Japan and International Society	4	週2回の授業で4単位
Traditional Arts of Japan	2	週1回の授業で2単位
Modern Arts of Japan	2	週1回の授業で2単位
East Asian Philosophies	4	週2回の授業で4単位
East Asian Literatures	4	週2回の授業で4単位
Film Studies in East Asia	2	週1回の授業で2単位
Media in East Asia	4	週2回の授業で4単位
Gender and Sexuality in East Asia	4	週2回の授業で4単位
Ethnicity in East Asia	4	週2回の授業で4単位
Seminar in East Asian Studies	2	週1回の授業で2単位
East Asian Community in the 21st Century	4	週2回の授業で4単位
Global Issues in Southeast Asia	2	週1回の授業で2単位
Environmental Issues in East Asia	4	週2回の授業で4単位
Global Issues in East Asia	2	週1回の授業で2単位
Japanese Politics	2	週1回の授業で2単位
Japanese Economy	2	週1回の授業で2単位
Technology and Society in East Asia	2	週1回の授業で2単位
Entrepreneurship in Japan	2	週1回の授業で2単位
日本語 (コンプリートビギナー)	1	週1回の授業で1単位
日本語 (入門)	1	週1回の授業で1単位
日本語 (初級)	1	週1回の授業で1単位
日本語 (初中級)	1	週1回の授業で1単位
日本語 (中級)	1	週1回の授業で1単位
日本語 (上級)	1	週1回の授業で1単位

注1) 週2回の授業は、セットで履修して成績評価が行われ、週1回だけの授業出席では成績評価は与えられません。

注2) 「日本語」は、外国語科目の扱いとなります。履修できる学生は、以下に該当する者のみとなります。

ただし、(2)～(5)に関しては当該授業の履修者数が20人を超える場合は選考があります。

また、EAS科目として「日本語」を履修した場合は自由科目となり、卒業要件には含まれません。

(1) 協定留学生、Independent Student

(2) 「外国高等学校卒業生および帰国生徒対象入学試験」によって入学した学生

(3) 「外国人学生特別入学試験」によって入学した学生

(4) 外国の大学から編入学・転入学・学士入学試験によって入学した学生

(5) 日本以外の学校教育制度による12年以上の課程を修了した者（ただし、12年以上の課程のうち、日本にある外国人学校における在籍期間が3年を超えるか、当該学校における日本の中学校・高等学校に相当する在籍期間が2年を超える者を除く）。または、これに準ずる者で次の①～②のいずれかに該当する者。

① 外国において、学校教育における12年以上の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む）に合格した者。（国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア（フランス共和国）については日本国内で取得した場合を含む。）

② 通常の中高等教育の課程の修了までに12年を要しない国において、中高等教育の課程を修了した者で、文部科学省の指定する日本の大学に入学するための準備教育課程を修了した者。

(2) 授業科目の分類

EAS科目の科目分類は履修要項で確認してください。

(3) 武蔵大学在学生在がEAS科目を履修する場合の注意

- ① 履修登録前に履修の可否を決める選考は行いませんが、評価基準が高いため、以下の②、③を熟読の上、各人の判断と責任で履修登録をしてください。
- ② 授業について行くためには英語圏の大学3年生と同等の英語力と専門知識を必要とします。
- ③ 留学生のペースで授業が行われます。本学在学生在が受講する場合には、本学在學生に合わせてペースやレベルを調整することはありません。
- ④ 科目等履修生(武蔵高校からの科目等履修生を除く)、練馬区特別履修生は、EAS科目を履修することができません。
- ⑤ 履修登録の際は、履修要項とシラバスを必ず確認してください。

2. 留学準備講座

(1) 留学準備講座の開講目的

留学準備講座は、留学希望の学生を支援するために設置された科目で、開講科目は以下の2種類に分かれます。

- ① 留学に必要な語学力を養成するための授業
- ② 入門的な講義

(2) 開講時期と単位

科目名の末尾に、春学期開講科目の場合は1、秋学期開講科目の場合は2が付されています。春学期開講科目と秋学期開講科目は、名称が同一の場合であっても互いに独立した科目であり、1・2のいずれかのみを履修しても、1・2を連続して履修してもかまいません。1単位科目(上記①)と2単位科目(上記②)があります。

◇留学準備講座 科目一覧

科目名	単位	※使用言語	授業と単位(履修者上限人数)
アメリカの社会と文化1	2	E	週1回の授業で2単位(20人)
アメリカの社会と文化2	2	E	週1回の授業で2単位(20人)
イギリスの社会と文化1	2	E	週1回の授業で2単位(20人)
イギリスの社会と文化2	2	E	週1回の授業で2単位(20人)
日本の社会と文化1	2	E	週1回の授業で2単位(20人)
日本の社会と文化2	2	E	週1回の授業で2単位(20人)
東アジアの社会と文化1	2	E	週1回の授業で2単位(20人)
東アジアの社会と文化2	2	E	週1回の授業で2単位(20人)
現代世界の諸問題1	2	E	週1回の授業で2単位(20人)
現代世界の諸問題2	2	E	週1回の授業で2単位(20人)
ドイツ語圏の社会と文化1	2	G	週1回の授業で2単位(15人)
ドイツ語圏の社会と文化2	2	G	週1回の授業で2単位(15人)
フランスの歴史と社会1	2	F	週1回の授業で2単位(15人)
フランスの歴史と社会2	2	F	週1回の授業で2単位(15人)
中国の社会と文化1	2	C	週1回の授業で2単位(15人)
中国の社会と文化2	2	C	週1回の授業で2単位(15人)
韓国・朝鮮の社会と文化1	2	K	週1回の授業で2単位(15人)
韓国・朝鮮の社会と文化2	2	K	週1回の授業で2単位(15人)
インターカルチュラルスキル養成講座1	2	E	週1回の授業で2単位(20人)
インターカルチュラルスキル養成講座2	2	E	週1回の授業で2単位(20人)
グローバル・リーダーシップ養成講座1	2	E	週1回の授業で2単位(20人)
グローバル・リーダーシップ養成講座2	2	E	週1回の授業で2単位(20人)
留学入門セミナー	2	E	週1回の授業で2単位(25人)
多文化社会	2	E	週1回の授業で2単位(20人)
グローバル・コミュニケーション1	1	E	週1回の授業で1単位(15人)
グローバル・コミュニケーション2	1	E	週1回の授業で1単位(15人)
留学のための英語講座A1(TOEFL)	1	E	週1回の授業で1単位(20人)
留学のための英語講座A2(TOEFL)	1	E	週1回の授業で1単位(20人)
留学のための英語講座B1(IELTS)	1	E	週1回の授業で1単位(20人)
留学のための英語講座B2(IELTS)	1	E	週1回の授業で1単位(20人)
ドイツ語論述実習1	1	G	週1回の授業で1単位(15人)
ドイツ語論述実習2	1	G	週1回の授業で1単位(15人)
フランス語論述実習1	1	F	週1回の授業で1単位(15人)
フランス語論述実習2	1	F	週1回の授業で1単位(15人)
中国語論述実習1	1	C	週1回の授業で1単位(15人)
中国語論述実習2	1	C	週1回の授業で1単位(15人)
韓国・朝鮮語論述実習1	1	K	週1回の授業で1単位(15人)
韓国・朝鮮語論述実習2	1	K	週1回の授業で1単位(15人)

※E:英語 G:ドイツ語 F:フランス語 C:中国語 K:韓国・朝鮮語

(3) 授業科目の分類

留学準備講座の科目分類は履修要項で確認してください。

(4) 留学準備講座を履修する場合の注意

- ① 留学準備講座は、学生の積極的な授業参加を前提とし、明確な効果を上げるために少人数クラスで授業を行います。従って参加者が多数の場合は、初回の授業で授業担当者の判断で選抜テストなどを実施し人数制限が行われる場合があります。
- ② 科目等履修生（武蔵高校からの科目等履修生を除く）、練馬区特別履修生は、留学準備講座を履修できません。
- ③ 履修登録の際は、履修要項とシラバスを必ず確認してください。

9. 協定留学生および認定留学生向けの各種案内

1. 協定留学生および認定留学生に対する「卒業研究ゼミ」履修の特例

武蔵大学学生国外留学規程第2条に基づく協定留学生および認定留学生に対し、留学終了後、「専門ゼミ1」もしくは「専門ゼミ2」と「卒業研究ゼミ」を同一学期内で同時に履修することを認める。

ただし、この特例を受けることのできる者は、協定留学あるいは認定留学により該当学期に「専門ゼミ1」および「専門ゼミ2」の両科目を履修できず、留学前に当年度指導教授および「専門ゼミ」担当教員の上承を得て特例履修の申請がおこなわれているものに限る。

注意事項

- 「専門ゼミ1」「専門ゼミ2」「卒業研究ゼミ」の履修登録は留学終了後、教務課にて手続きをおこなうこと。
- この特例の対象者は、あくまでも協定留学・認定留学のため「専門ゼミ1」と「専門ゼミ2」の両方を履修できない者である。例えば、3年次春学期のみ留学する場合、留学が終了して3年次秋学期に履修する「専門ゼミ2」を修得できなければ、4年次春学期に「専門ゼミ1」と「卒業研究ゼミ」との同時履修はできない。
- この特例によって「卒業研究ゼミ」と同時に履修する「専門ゼミ」を修得できなかった場合は、「卒業研究ゼミ」の修得未修得にかかわらず、その次の学期に「卒業論文」あるいは「卒業論文・卒業制作」を履修することはできない。

(例)

■ 1：協定・派遣留学（特例適用の場合）

3年次		4年次		5年次	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
留学	留学	専門ゼミ1 卒研ゼミ	専門ゼミ2 卒論卒制		

■ 2：協定・派遣留学（特例適用だが、「専門ゼミ1」の修得に失敗した場合）

3年次		4年次		5年次	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
留学	留学	専門ゼミ1 卒研ゼミ	専門ゼミ2	専門ゼミ1 卒論卒制	

■ 3：協定・派遣留学（特例なしの場合）

3年次		4年次		5年次	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
留学	留学	専門ゼミ1	専門ゼミ2 卒研ゼミ	卒論卒制	

補足

この特例は、2017年度社会学部入学生から適用される。

※「社会学専門ゼミ1」「メディア社会学専門ゼミ1」をあわせて「専門ゼミ1」と記載

※「社会学専門ゼミ2」「メディア社会学専門ゼミ2」をあわせて「専門ゼミ2」と記載

※「社会学卒業研究ゼミ」「メディア社会学卒業研究ゼミ」をあわせて「卒業研究ゼミ」と記載

2. 協定留学生および認定留学生の単位認定の目安（一部ゼミ科目）

武蔵大学学生国外留学規程第2条に基づく協定留学生および認定留学生に対し、留学先で修得した科目を一部のゼミ科目に読み替える場合の目安は次のとおりとする。

◇読み替え可能な科目

「社会学初年次基礎ゼミ」「メディア社会学初年次基礎ゼミ」「社会学初年次応用ゼミ」「メディア社会学初年次応用ゼミ」「社会学方法論ゼミ」「メディア社会学方法論ゼミ」「社会学専門ゼミ1」「メディア社会学専門ゼミ1」「社会学専門ゼミ2」「メディア社会学専門ゼミ2」「社会学卒業研究ゼミ」「メディア社会学卒業研究ゼミ」

◇読み替える科目の内容の目安

- ・ 授業時間数が読み替える科目にふさわしいこと
- ・ 比較的少人数の授業であること
- ・ 授業に、ディスカッション、文献講読、論文指導、調査指導、制作指導などのゼミに類する要素が含まれていること

注意事項

「社会学卒業研究ゼミ」「メディア社会学卒業研究ゼミ」は、学生の卒業論文・卒業制作・卒業活動報告書の準備が進んでおり、「卒業論文」「卒業論文・卒業制作」の履修のみで卒業論文・卒業制作・卒業活動報告書を提出できる見込みがあると指導教授が判断できる場合にのみ読み替えられる。

※「卒業論文」「卒業論文・卒業制作」は、授業の参加と、予備提出および本提出という成果物と、口述審査という試験とを重要な修得条件とするため、原則として留学先で修得した単位を読み替えることはしない。

3. 学芸員課程を履修する際の注意点

3年次に長期留学をする人については、卒業を1年延長する場合にかぎり、帰国後の2年間の履修を認めます。2年次に学芸員課程の必修科目を少なくとも4科目以上履修しておくようにして下さい。

10. 人権問題への理解を深める授業の履修について

グローバル化の下、ますます多様化、複雑化する現代社会は、年齢や性別、国籍や民族、思想・信条、性的志向や障害の有無などの立場の違いから、人権にかかわる広範囲で多様な問題が生じており、私たちはこうした問題に積極的に目を向け、考えを深める必要があります。

大学は、異なる立場や考え方をもつ人たちが集まって、研究や教育・学習、さらにそれを支える仕事を学生・教職員が協同して進めていく場です。学生や教職員にとってよりよい学習環境・生活環境を実現していくために、個人の尊厳やお互いの人格を尊重しあう「人権」という考えが多くの人に共有されることが重要になります。

武蔵大学では、全学部共通の総合科目におかれる「日本国憲法」「現代社会と人権」「人権ワークショップ」などの講義や各学部学科で開講される演習をはじめとするさまざまな科目を通じ、多種多様な視点から「人権」について、その構成員が考え、理解を深めていくために努力しています。

学生の皆さんには、これらの科目を積極的に履修し、また日頃から、学修の際に人権を意識し、知識の習得に励んでいただければと思います。

第2章 社会調査士資格

社会調査士資格

現代社会においては、企業・官庁はもちろんのこと、学校、町内会・管理組合、NPO・NGOなどが多数の社会調査を行っています。これは絶えず変動し、多極化・複雑化の進む現代社会において、社会調査に対する需要が急速に増大していることの結果です。しかし、正しい方法に基づく、倫理的にも問題のない社会調査を行うためには、社会調査についての専門的な教育を受けること、そして経験を積むことが不可欠です。

社会調査士資格は、日本社会学会、日本教育社会学会、日本行動計量学会の三学会が協力して設立した、社会調査士資格認定機構を前身とする、一般社団法人・社会調査協会が認定する公的資格で、社会調査のための専門的な能力を備えていることを証明するものです。社会調査士資格を取得するためには、大学の学部を卒業するとともに、社会調査協会が定める次の科目の単位を修得している必要があります。

- A. 社会調査の基本的事項に関する科目
- B. 調査設計と実施方法に関する科目
- C. 基本的な資料とデータの分析に関する科目
- D. 社会調査に必要な統計学に関する科目
- E. 量的データ解析の方法に関する科目
- F. 質的な分析の方法に関する科目
- G. 社会調査の実習を中心とする科目

社会学部は社会調査協会から、資格取得のために必要なこれらの授業科目を備えていることが認定されていますので、定められた授業科目の単位を修得することによって、社会調査士資格を取得することができます。

資格取得の条件は、以下の2点です。

- ① A、B、C、D、Gの5科目と、EもしくはFのどちらか1科目、合計6科目以上の単位を修得していること。ただし、社会調査の技法を十分身につけるため、EとFの両方の科目の単位を修得することを強く推奨します。
- ② 大学を卒業していること。

正式な資格取得は卒業決定後となりますが、2年生以上であれば「社会調査士(キャンディデイト)」を申請することができます。これは社会調査士資格を取得できる見込みであることを証明するもので、申請するためには、以下の条件を満たしている必要があります。

- ① 在籍期間が1年以上であること。
- ② 資格取得に必要な6科目のうち3科目以上を修得していること。
- ③ ②の修得済科目と履修中の科目の合計が5科目以上であること(ただしE/F科目は選択制のため1科目と数える)。

「社会調査士(キャンディデイト)」の認定申請は9月下旬、正式な社会調査士資格の認定申請は3月に受け付けます。また、9月卒業者向けに、正式な社会調査士資格の認定申請を9月にも受け付けます。申請の方法については、追って3Sで掲示します。

社会学部で2022年度に開講される認定科目は次頁の通りです。社会調査士認定科目は年度ごとに審査と認定が行われるため、同じ授業科目名でも年度が違えば認定科目にならない場合があるので注意してください。自分が履修した科目が、履修した年度の認定科目となっているかどうか、次頁の表で確認してください。なお、2022年度の認定科目については年度初めに変更の可能性があるため、3Sの掲示に注意してください。

社会調査士認定科目一覧表

2017年度以降 入学生用

開講年度	社会学部の授業科目名	社会調査協会の定める科目の種類
2022年度(予定)	社会調査方法論基礎1	A
	社会調査方法論基礎2	B
	量的社会調査方法論	C
	社会統計学1	D
	社会統計学2	E
	質的社会調査方法論	F
	社会学方法論ゼミ(一部のクラスに限る)	G
	メディア社会学方法論ゼミ(一部のクラスに限る)	
2021年度	社会調査方法論基礎1	A
	社会調査方法論基礎2	B
	量的社会調査方法論	C
	社会統計学1	D
	社会統計学2	E
	質的社会調査方法論	F
	参与観察調査方法論	
	社会学方法論ゼミ(一部のクラスに限る)	G
	メディア社会学方法論ゼミ(一部のクラスに限る)	
2020年度	社会調査方法論基礎1	A
	社会調査方法論基礎2	B
	量的社会調査方法論	C
	社会統計学1	D
	社会統計学2	E
	質的社会調査方法論	F
	社会学方法論ゼミ(一部のクラスに限る)	G
	メディア社会学方法論ゼミ(一部のクラスに限る)	
2019年度	社会調査方法論基礎1	A
	社会調査方法論基礎2	B
	量的社会調査方法論	C
	社会統計学1	D
	社会統計学2	E
	質的社会調査方法論	F
	参与観察調査方法論	
	社会学方法論ゼミ(一部のクラスに限る)	G
2018年度	社会調査方法論基礎1	A
	社会調査方法論基礎2	B
	量的社会調査方法論	C
	社会統計学1	D
	社会統計学2	E
	質的社会調査方法論	F
	社会学方法論ゼミ(一部のクラスに限る)	G
	メディア社会学方法論ゼミ(春学期・秋学期セットのクラスのみ)	

第3章 教職課程、学芸員課程

1 教職課程履修方法	< 2019 ~ 2021 年度 入学生用 >	154 ~ 166 頁
	< 2018 年度 入学生用 >	168 ~ 178 頁
2 学芸員課程履修方法		180 頁

教職課程

< 2019 ~ 2021 年度 入学生用 > 154 ~ 166 頁

教職課程履修方法（2019～2021年度入学生用）

1. 教職課程とは

教職課程とは、大学卒業後、国公立・私立学校の教育職員（以下、教員）になろうとする者に必要な教育職員免許状（以下、教員免許状）の取得を希望する学生のために設けられている課程です。

教員免許状の取得には、卒業に必要な単位のほかに、教員免許取得に必要な単位や体験・実習などの修得が必要です。なお、本学では**中学校・高等学校の両方の教員免許状を取得することを原則**としています。

（1）単位の修得

①「基本的教職必修科目」

「教育職員免許法施行規則（以下、施行規則）」第66条の6に定める科目です。武蔵大学における授業科目及び単位数は、「7. 本学で履修する授業科目①」を参照してください。これらの授業科目は、「卒業要件」に沿って、「**卒業に必要な単位**」として算入することができます。

②「教科及び教職に関する科目」

「教育職員免許法（以下、免許法）」及び施行規則で定められている科目です。武蔵大学における授業科目及び単位数は、「7. 本学で履修する授業科目②」を参照してください。これらの授業科目は、「教科に関する専門的事項」を除き、「**卒業に必要な単位**」として算入することはできません。

（2）体験・実習などの実施

①介護等体験（3年次）

中学校免許状を取得する場合には**合計7日間の介護等体験**が必要です。

②フィールドワーク（3年次）

「教育実習1」（2単位）の授業の一環として、**中学校・高等学校で合計4時間のフィールドワーク**を行います。

③教育実習（4年次）

中学校・高等学校の教員免許状を取得する場合は3週間、高等学校のみの場合は2週間の教育実習を行います。

（3）ガイダンス等への出席・健康診断の受診

①必要なガイダンスへの出席

教職課程のガイダンスのほか、情報セキュリティテスト、図書館ガイダンスなども必ず受講してください。

②健康診断の受診（毎年度4月）

上記のことから、履修すべき単位数が多いうえ、ガイダンスや必要な手続きが多くあり、時間割上、1時限、5時限に開講されている授業科目も少なくないため、計画的に取り組んでいくことが大切です。諸連絡は**3S**で行いますので、定期的に確認する習慣をつけてください。

なお、教職課程履修に関する事務は、**教務課（教職課程担当）**で行います。また、教職課程には、**教職課程実習室、教職課程実習準備室（ともに3号館2階）**があり、履修学生は利用することができます。

教職課程履修方法（2019～2021年度入学生用）

2. 本学で取得できる教員免許状の種類と教科

本学で取得できる教員免許状の種類と教科は以下のとおりです。

学科名	取得できる教員免許状の種類	教員免許状の教科
経済学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	地理歴史、公民
経営学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	公民、情報、商業
金融学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	公民、商業
英語英米文化学科	中学校教諭一種免許状	英語
	高等学校教諭一種免許状	英語
ヨーロッパ文化学科	中学校教諭一種免許状	社会、英語、ドイツ語、フランス語
	高等学校教諭一種免許状	地理歴史、英語、ドイツ語、フランス語
日本・東アジア文化学科	中学校教諭一種免許状	国語、社会
	高等学校教諭一種免許状	国語、地理歴史、公民
社会学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	地理歴史、公民
メディア社会学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	地理歴史、公民

※複数教科の教員免許状取得希望者、他学科の教員免許状取得希望者及び「ドイツ語」もしくは「フランス語」教員免許状のみの取得希望者は、教職課程事務室へ申し出てください。

3. 教職課程履修にかかる諸費用

教職課程履修にかかる主な費用は、以下のとおりです。

内訳	金額	納入時期
教職課程登録費（介護等体験費を含む）	45,000円	2年次秋学期
教員免許状申請にかかる費用	1免許状につき、3,300円	4年次秋学期

※このほか体験や実習に要する交通費、各種検査費用及び証明書発行手数料等は、各自の負担となります。

教職課程履修方法（2019～2021年度入学生用）

4. 教職課程の登録

(1) 登録および登録費

教員免許状取得に必要な科目の履修は登録に先立って1年次から行われています。入学時の教職課程ガイダンスの指示に従ってください。

また、教職課程の授業を3年次以降も続けて履修し、介護等体験や教育実習を行うためには、**2年次秋学期に教職課程登録を行い**、教職課程履修生とならなければなりません。課程登録に際しては、授業料等の年間納付金とは別に、所定の**教職課程登録費**を納入する必要があります。いったん納入された教職課程登録費は、理由のいかんによらず返還しません。

(2) 登録手続き

- ①「教職課程ガイダンス」に出席する（2年次4月）。

手続きの日程、課題、課題締切日等について指示します。

- ②課題を提出し、教職課程担当教員等の面談を受ける（2年次5月）。

- ③所定の期日までに教職課程登録費を納入するとともに、教職課程登録願と必要書類を提出する（2年次10月）。【仮登録】

登録にあたっては、2019年度以降入学生は、原則として**2年次春学期末のGPAが1.8以上**であることが条件となります。（登録後もGPA1.8以上を維持するよう努力しなければなりません。）

- ④「教職課程ガイダンス」に出席する（2年次1月）。【本登録】

2年次で登録できなかった場合は、4年間での教員免許状取得は困難になります。

(3) 登録の取り消しと辞退

必要なガイダンスに出席していないなど、手続きをとらない場合は、登録が取り消されることがあります。また、登録後に進路変更等で教職課程の履修を辞退する場合は、速やかに教職課程事務室に申し出て、**辞退届**を提出してください。

教職課程履修方法 (2019～2021年度入学生用)

5. 教員免許状を取得するための所要資格一覧

中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状を取得するためには、免許法で定められた基礎資格（卒業要件を満たす）が必要であり、合わせて以下に示す定められた科目の単位を修得しなければなりません。

本学での所要資格一覧

教員免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数										介護等体験	修得すべき単位数の合計	
		教科及び教職に関する科目					基本的必修科目 (免許法施行規則第66条の6に定める科目)							
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	日本国憲法	情報機器の操作	外国語コミュニケーション	体育				
中学一種	学士の学位を有すること	国語	28	14	10	9	4	2	2	2	2	2	必修	73
		社会	28											
		英語	28											
		ドイツ語	28											
		フランス語	28											
高校一種	学士の学位を有すること	国語	24	14	8	7	12	2	2	2	2	2	73	
		地理歴史	24											
		公民	24											
		情報	24											
		商業	24											
		英語	24											
		ドイツ語	24											
		フランス語	24											

—参考—

次の表は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要資格を示したものです。

教員免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数										介護等体験	修得すべき単位数の合計	
		教科及び教職に関する科目					基本的必修科目 (免許法施行規則第66条の6に定める科目)							
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	日本国憲法	情報機器の操作	外国語コミュニケーション	体育				
中学一種	学士の学位を有すること	国語	28	10	10	7	4	2	2	2	2	2	必修	67
		社会	28											
		英語	28											
		ドイツ語	28											
		フランス語	28											
高校一種	学士の学位を有すること	国語	24	10	8	5	12	2	2	2	2	2	67	
		地理歴史	24											
		公民	24											
		情報	24											
		商業	24											
		英語	24											
		ドイツ語	24											
		フランス語	24											

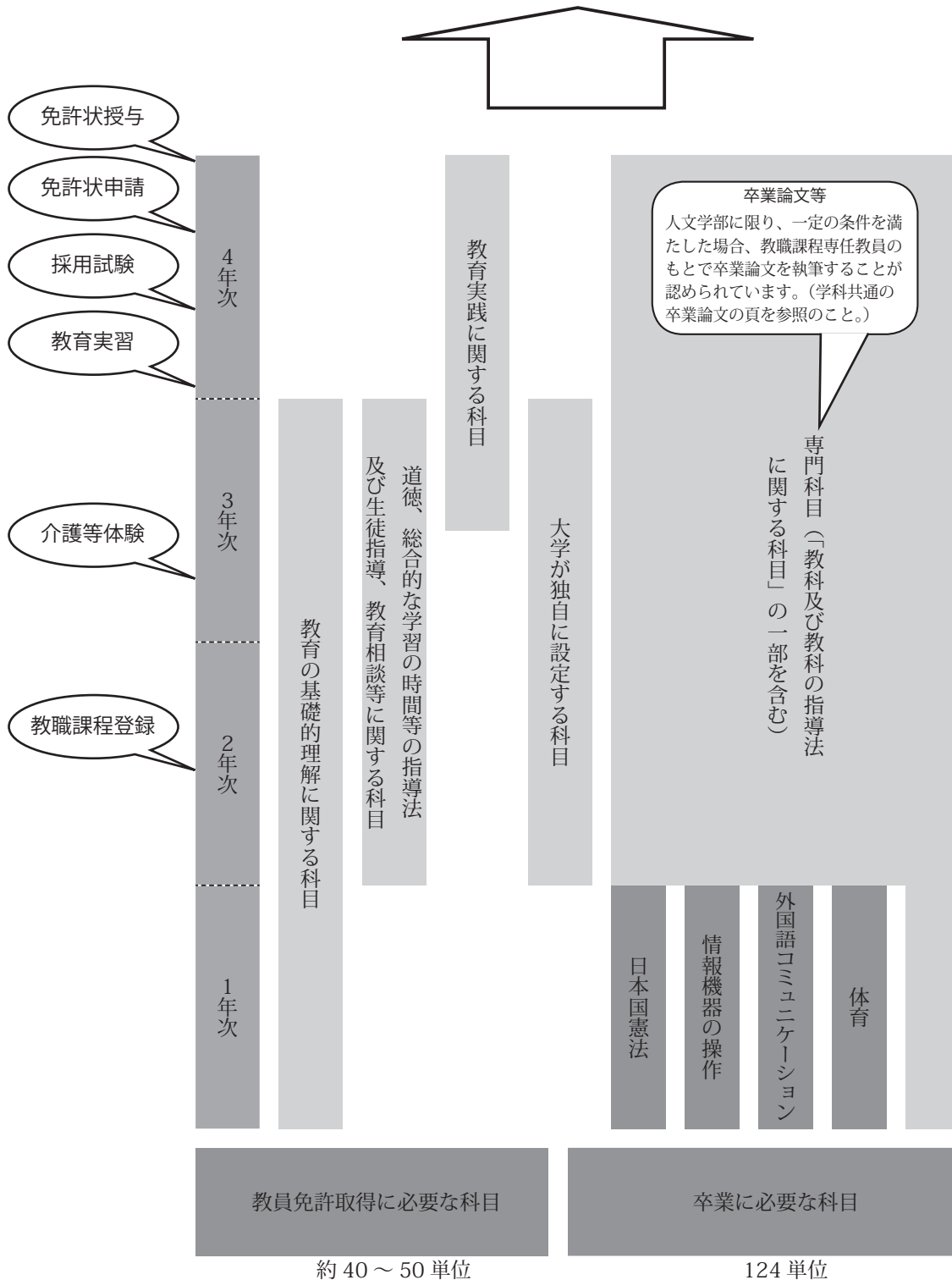
教職課程履修方法 (2019～2021年度入学生用)

6. 武蔵大学教職課程のカリキュラムイメージ

教員免許取得に必要な科目の履修を通して、「教育理念」、「人間理解」、「教育方法」の学びを深めていきます。

武蔵大学理念：知と実践の融合

- ①自ら調べ、自ら考える（自立）
- ②心を開いて対話する（対話）
- ③世界に思いをめぐらし、身近な場所で実践する（実践）



教職課程履修方法 (2019～2021年度入学生用)

7. 本学で履修する授業科目

① 基本的教職必修科目 (免許法施行規則第66条の6に定める科目)

次の表に沿って必要な授業科目を履修してください。1年次で履修可能な科目は、できるだけ1年次で履修してください。

法令科目 区分	最低修得 単位数	武蔵大学での授業科目及び単位数								
		経済学部			人文学部			社会学部		
		科目名	単位数	科目 区分	科目名	単位数	科目 区分	科目名	単位数	科目 区分
日本国憲法	2	日本国憲法	2	総合	日本国憲法	2	総合	日本国憲法	2	総合
		憲法1	2	専門	憲法1	2	全学対 象専門	憲法1	2	全学対 象専門
		憲法2	2		憲法2	2		憲法2	2	
情報機器の 操作	2	情報処理入門	2	専門	人文情報リテラシー	2	共通 専門	コンピューティング基礎	2	専門
								コンピューティング応用A	2	
								コンピューティング応用B	2	
								コンピューティング応用C	2	
								コンピューティング応用D	2	
外国語コミュ ニケーション	2	英語	1	外国語	英語	1	外国語	英語	1	外国語
		ドイツ語	1		ドイツ語	1				
		フランス語	1		フランス語	1				
		中国語	1		スペイン語	1				
		韓国・朝鮮語	1		イタリア語	1				
					中国語	1				
					韓国・朝鮮語	1				
体育	2	スポーツ実践1	1	総合	スポーツ実践1	1	総合	スポーツ実践1	1	総合
		スポーツ実践2	1		スポーツ実践2	1		スポーツ実践2	1	
		スポーツ実践3	1		スポーツ実践3	1		スポーツ実践3	1	
		スポーツ実践4	1		スポーツ実践4	1		スポーツ実践4	1	
		スポーツ実践5	1		スポーツ実践5	1		スポーツ実践5	1	
		スポーツ実践6	1		スポーツ実践6	1		スポーツ実践6	1	
		スポーツ実践7	1		スポーツ実践7	1		スポーツ実践7	1	
		スポーツ実践8	1		スポーツ実践8	1		スポーツ実践8	1	
		スポーツ実践9	1		スポーツ実践9	1		スポーツ実践9	1	
		スポーツ実践10	1		スポーツ実践10	1		スポーツ実践10	1	
		スポーツ実践11	1		スポーツ実践11	1		スポーツ実践11	1	
		スポーツ実践12	1		スポーツ実践12	1		スポーツ実践12	1	
		スポーツ実践13	1		スポーツ実践13	1		スポーツ実践13	1	
		スポーツ実践14	1		スポーツ実践14	1		スポーツ実践14	1	

※ 以上の授業科目は、「卒業要件」に沿って、「卒業に必要な単位」として算入することができます。

※ 外国語科目は、卒業要件を満たすように履修をすすめ単位を修得すれば、免許状取得要件の2単位も修得することになります。

教職課程履修方法 (2019～2021年度入学生用)

②「教科及び教職に関する科目」

次の表に沿って必要な授業科目を履修してください。1年次で履修可能な科目は、できるだけ1年次で履修してください。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目・最低修得単位数				武蔵大学での授業科目・最低修得単位数					
法令科目区分	左項の各科目に含めることが必要な事項	中学 一種	高校 一種	本学での授業科目	単位数	中学 一種	高校 一種	配当 年次	備考
教科及び教科の指導法に関する科目 (a)	教科に関する専門的事項	28	24	付表A～X参照	中28 高24	◎	◎	—	配当は2年次以上
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)							2	
教育の基礎的理解に関する科目 (b)	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育基礎論	2	◎	◎	1	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教育史	2	○	○	3	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教職入門	2	◎	◎	1	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育制度論	2	◎	◎	2	
				教育行政学	2	○	○	2	
				教育経営学	2	○	○	2	
				教育心理学1	2	◎	◎	2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	教育心理学2(特別支援教育を含む)	2	◎	◎	2				
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	2	◎	◎	2				
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程編成論	2	◎	◎	2				
②教科及び教職に関する科目 (c)	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育の理論と実践	2	◎	◎	2	中学のみ
	総合的な学習の時間の指導法等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目			特別活動及び総合的な学習の理論と実践	2	◎	◎	3	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)			教育方法論	2	◎	◎	3	
	生徒指導の理論及び方法			生徒指導の理論と方法	2	◎	◎	2	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			教育相談の基礎	2	◎	◎	3	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法								
教育実践に関する科目 (d)	教育実習	5	3	教育実習1	2	◎	◎	3	
	教職実践演習			教育実習2	5	◎	◎	4	中学もしくは中・高両方の場合
				教育実習3	3	◎	◎	4	高校のみの場合
大学が独自に設定する科目 (e)		4	12	教職実践演習(中・高)	2	◎	◎	4	
				「教育史」、「教育行政学」、「教育経営学」のうちから1科目	2	◎	◎	—	高校の場合、「道徳教育の理論と実践」も可
				教育学特論A	2	○	○	2	
				教育学特論B	2	○	○	2	
				中等社会科研究1	2	○	○	3	中学社会、高校地歴、高校公民のみ
				中等社会科研究2	2	○	○	3	中学社会、高校地歴、高校公民のみ
「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち、必要最低修得単位数(中学28単位、高校24単位)を超える授業科目	左記単位数	○	○	—					
合計		59	59	最低修得単位数		65	65		

※各科目区分の注意事項は次頁を参照してください。

教職課程履修方法（2019～2021年度入学生用）

「教科及び教職に関する科目」履修上の諸注意

「教科及び教職に関する科目」全般

- ①「教科及び教職に関する科目」の授業科目は、「教科に関する専門的事項」及び「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の一部を除き、履修登録単位制限の対象外です
- ②配当年次が指定されているものは、それ以前の年次では履修できません。
- ③各年度の時間割編成上、配当年次で履修できない場合もあります。必修科目がとれない場合は、ガイダンス・3Sでの指示に従うほか、教職課程事務局・所属学科教務委員に相談してください。選択科目の場合は、翌年度以降に履修することになります。
- ④同一授業を春学期・秋学期複数クラスで開講している場合、同じ年度で履修できるのはそのうち1授業のみです。

(a) 「教科及び教科の指導法に関する科目」

「教科及び教科の指導法に関する科目」は、取得する教員免許状の教科に関する専門的知識及び指導法を深く身につけるために設けられたものです。各学科で取得できる教員免許状の授業科目一覧は、「1.2. 「教科及び教科の指導法に関する科目」の授業科目一覧」の付表を参照してください。入学年度により参照する付表は異なりますので注意してください。

学科	免許教科	種別	参照付表	学科	免許教科	種別	参照付表	学科	免許教科	種別	参照付表
経済	社会	中学	付表A	英語英米文化	英語	中学・高校	付表H	社会	社会	中学	付表V
	地理歴史	高校	付表B		社会	中学	付表I		地理歴史	高校	付表W
	公民	高校	付表C		地理歴史	高校	付表J		公民	高校	付表X
経営	社会	中学	付表A	ヨーロッパ文化	英語	中学・高校	付表K	メディア社会	社会	中学	付表V
	公民	高校	付表C		ドイツ語	中学・高校	付表L		地理歴史	高校	付表W
	情報	高校	付表D		フランス語	中学・高校	付表M		公民	高校	付表X
	商業	高校	付表E		国語	中学・高校	付表N				
金融	社会	中学	付表A	日本・東アジア文化	社会	中学	付表O				
	公民	高校	付表C		地理歴史	高校	付表P				
	商業	高校	付表E		公民	高校	付表Q				

(b) 「教育の基礎的理解に関する科目」

- ①教員免許状取得に必要な科目の履修は1年次から始まります。希望者は、計画的に履修をすすめてください。
- ②「教職入門」は、1年次春学期必修科目です。1年次Spring 2で海外英語研修を履修する学生は、2年次春学期に必ず「教職入門」を履修してください。

(c) 「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」

「道徳教育の理論と実践」は、中学校免許状における必修科目です。高等学校免許状を取得する場合、「大学が独自に設定する科目」として数えることができます。

(d) 「教育実践に関する科目」

- ①「教育実習2」、「教育実習3」の単位計算については、学則第17条第3号を適用します。
- ②中学校免許状を取得する場合は、「教育実習2」(5単位)を履修します。本科目は高等学校免許状にも適用されます。従って、中学校免許状と高等学校免許状を合わせて取得する場合は「教育実習2」(5単位)を履修することになります。高等学校免許状のみを取得する場合は、「教育実習3」(3単位)を履修します。本科目は、中学校免許状には適用されません。

(e) 「大学が独自に設定する科目」

武蔵大学で独自に設定している科目です。指定された授業科目の中から、中学校4単位以上、高等学校12単位以上を修得してください。

- ①選択必修科目「教育史」、「教育行政学」、「教育経営学」のうちから1科目以上を修得してください。
- ②「中等社会科研究1」「中等社会科研究2」は中学校一種免許状（社会）、高等学校一種免許状（地理歴史）及び高等学校一種免許状（公民）にのみ適用される授業科目ですので注意してください。
- ③「大学が独自に設定する科目」に含まれない授業科目
他教科の教育方法論等、特定の教員免許状取得に必要な「授業科目」は、「大学が独自に設定する科目」として数えることはできません。

例1) 英語の教員免許状を取得する場合：他教科の教育方法論（「ドイツ語教育方法論1」など）

例2) 高校国語の教員免許状を取得する場合：「書道（書写を中心とする。）」の科目区分に配置されている授業科目（「書道演習1」、「書道演習2」）

- ④同一の免許課程において、同一の授業科目を複数回カウントすることはできません。
- ⑤中学校免許状と高等学校免許状でカウントする授業科目が異なる場合があるので、それぞれの視点で条件を満たすかどうか確認してください。

教職課程履修方法（2019～2021年度入学生用）

8. 介護等体験について

介護等体験特例法により、中学校免許状の取得を希望するものは、7日間の介護等体験を行うことが義務付けられています。介護等体験ガイダンスに出席し、登録をした上で、3年次に、特別支援学校へ2日間、社会福祉施設へ5日間の体験を行います。体験先や日程は大学を通して決定されます。

介護等体験にあたってはその手続きや条件があります。詳しい手続きについては、介護等体験ガイダンスで説明します。必ず関連する全てのガイダンスに出席してください。なお、中学校教員免許状の申請には体験終了後に体験先から発行される「介護等体験証明書」が必要です。

※「介護等体験特例法」とは、小中学校教員免許状取得希望者に義務付けられており、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」を言います。

介護等体験についての参加条件

- ① 教職課程登録者であること。
- ② 介護等体験の登録者であること。介護等体験の登録は3年次の4月におこなう教職課程ガイダンスにて配付する「介護等体験希望学生個人票」を提出することで完了します。
- ③ 介護等体験のための保険加入を行います（登録後、大学一括で加入します）。
- ④ 「教育心理学2（特別支援教育を含む）」、及び「特別支援教育概論」は原則として修得済みでなければなりません。

9. 教育実習について

教育実習を行うことは、教員免許状取得に必要な要件であり、それまでに学んできた知識や理論をもとに学校教育の現場で、教員としての基本的で実践的な知識・技能を修得することを目指しています。本学では、中学校免許状のみ、もしくは中学校・高等学校両方の教員免許状を取得する場合は3週間、高等学校のみの教員免許状を取得する場合は2週間、教育実習校において行います。

教育実習にあたってはその手続きや条件があります。詳しい手続きや書類の配付については、教職課程登録後のガイダンス、教育実習ガイダンスにて説明します。関連する全てのガイダンスに必ず出席してください。

教育実習を行うにあたっての条件

- ① 卒業見込みの条件と免許状取得見込みの条件を両方満たすこと。
- ② 「教育実習1」を修得済みであること。
- ③ 4年次生以上で、「教育実習2」もしくは「教育実習3」の履修者であること。
- ④ 「各教科の教育方法論1・2」を原則として修得済みであること。
- ⑤ 教育実習をおこなう実習予定校より、あらかじめ教育実習についての内諾を得ていること。
- ⑥ 3年次1月末及び4年次4月当初の教職課程ガイダンスに出席し、さらに「教育実習2」もしくは「教育実習3」への出席をすること。

教職課程履修方法（2019～2021年度入学生用）

10. 教員免許状の申請手続きについて

免許法で定める教員免許状取得のための所要資格を満たした者は、都道府県教育委員会に申請することにより教員免許状を取得することができます。申請の方法には「一括申請」と「個人申請」の2つがありますが、卒業時に教員免許状を取得する場合には大学における「一括申請」にて申請の手続きをします。「一括申請」の手続き方法は、4年次の一括申請ガイダンスで詳しく説明します。希望する学生は必ず出席してください。

11. 編入学生・他大学在籍後入学した者・留学予定者の教職課程の履修について

- ① 編入学生および本学入学前に他大学で教員免許状取得に関連する単位を修得した学生は、教職課程事務室に申し出て今後の手続きなどについての指示を受けてください。単位の読み替えにあたっては一部制限がある場合があります。
- ② 留学を予定している学生は、必ず教職課程事務室に申し出て、今後の手続きなどについての相談をしてください。4年間では必要な単位が修得できない可能性があります。

教職課程履修方法（2019～2021年度入学生用）

12. 「教科及び教科の指導法に関する科目」の授業科目一覧

付表V 社会学科・メディア社会学科における中学校教諭一種免許状（社会）

次の授業科目から、「教科及び教科の指導法に関する科目」として必修科目◎・選択必修科目○を含めた28単位以上を修得してください。「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の修得が必要となります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目					
日本史・外国史	4以上	◎日本史概説	2単位	ギリシア・ローマ史	2	人間と科学技術の歩み	2
		◎外国史概説	2	中国思想史1	2	グローバル時代の歴史認識	2
		日本民俗史1	2	中国思想史2	2		
		日本民俗史2	2	歴史社会学	2		
		日本美術工芸史1	2	ドキュメンタリー研究	2		
		日本美術工芸史2	2	映像アーカイブ論	2		
地理学 (地誌を含む。)	6以上	◎人文地理学概説	2	多文化共生の人類学	2	エスニシティの社会学	2
		◎自然地理学概説	2	文化人類学	2	エスニックメディア論	2
		◎地誌概説	2	家族と結婚の人類学	2	市民メディア論	2
「法学、政治学」	2以上	○法学概説(国際法を含む)	2	メディア法制と倫理	2	社会運動論	2
		○政治学概説(国際政治を含む)	2	不平等の社会学	2		
「社会学、経済学」	2以上	○社会学原論A	2	NPO・NGOとメディア	2	ジャーナリズム論	2
		○社会学原論B	2	アイデンティティの社会学	2	メディアリテラシー論	2
		○経済学概説(国際経済を含む)	2	音楽文化の社会学	2	電子コミュニケーション論	2
		福祉社会学	2	家族社会学	2		
		教育社会学	2	地域メディア論	2		
「哲学、倫理学、宗教学」	2以上	○倫理学概説	2				
		○哲学概説	2				
		○宗教学概説	2				
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	8以上	◎社会科・地歴科教育方法論1	2				
		◎社会科・地歴科教育方法論2	2				
		◎社会科・公民科教育方法論1	2				
		◎社会科・公民科教育方法論2	2				
合計		28以上					

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの「履修登録単位制限」に注意して履修してください。

※ ◎印や○印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

※ 各教科教育方法論の配当年次は、「1」と「2」とも2年次となります。

※ 各教科教育方法論の「1」と「2」の履修について：

原則として各教育方法論の「2」を履修するには「1」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「1」の単位を修得できなかった場合、原則として「2」を履修することはできません。

教職課程履修方法（2019～2021年度入学生用）

付表W 社会学科・メディア社会学科における高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

次の授業科目から、「教科及び教科の指導法に関する科目」として必修科目◎を含めた24単位以上を修得してください。「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の修得が必要となります。

◎は必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目					
日本史	2以上	◎日本史概説	2単位	日本美術工芸史1	2		
		日本民俗史1	2	日本美術工芸史2	2		
		日本民俗史2	2	歴史社会学	2		
外国史	2以上	◎外国史概説	2	ギリシア・ローマ史	2	人間と科学技術の歩み	2
		ドキュメンタリー研究	2	中国思想史1	2	グローバル時代の歴史認識	2
		映像アーカイブ論	2	中国思想史1	2		
人文地理学・自然地理学	4以上	◎人文地理学概説	2	文化人類学	2	エスニックメディア論	2
		◎自然地理学概説	2	家族と結婚の人類学	2	市民メディア論	2
		多文化共生の人類学	2	エスニシティの社会学	2		
地誌	2以上	◎地誌概説	2				
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4以上	◎社会科・地歴科教育方法論1	2				
		◎社会科・地歴科教育方法論2	2				
合計		24以上					

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの「履修登録単位制限」に注意して履修してください。

※ ◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

※ 社会科・地歴科教育方法論の配当年次は、「1」と「2」とも2年次となります。

※ 社会科・地歴科教育方法論の「1」と「2」の履修について：

原則として社会科・地歴科教育方法論の「2」を履修するには「1」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「1」の単位を修得できなかった場合、原則として「2」を履修することはできません。

教職課程履修方法 (2019～2021年度入学生用)

付表 X 社会学科・メディア社会学科における高等学校教諭一種免許状（公民）

次の授業科目から、「教科及び教科の指導法に関する科目」として必修科目◎を含めた24単位以上を修得してください。「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の修得が必要となります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目					
「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	2以上	○法学概説（国際法を含む）	2単位	メディア法制と倫理	2	社会運動論	2
		○政治学概説（国際政治を含む）	2	不平等の社会学	2		
「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	2以上	○社会学原論A	2	NPO・NGOとメディア	2	ジャーナリズム論	2
		○社会学原論B	2	アイデンティティの社会学	2	メディアリテラシー論	2
		○経済学概説（国際経済を含む）	2	音楽文化の社会学	2	電子コミュニケーション論	2
		福祉社会学	2	家族社会学	2		
		教育社会学	2	地域メディア論	2		
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	2以上	○哲学概説	2				
		○倫理学概説	2				
		○宗教学概説	2				
		○心理学概説	2				
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」	4以上	◎社会科・公民科教育方法論1	2				
		◎社会科・公民科教育方法論2	2				
合計		24以上					

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの「履修登録単位制限」に注意して履修してください。

※ ◎印や○印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

※ 社会科・公民科教育方法論の配当年次は、「1」と「2」とも2年次となります。

※ 社会科・公民科教育方法論の「1」と「2」の履修について：

原則として社会科・公民科教育方法論の「2」を履修するには「1」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「1」の単位を修得できなかった場合、原則として「2」を履修することはできません。

教職課程

< 2018 年度 入学生用 > 168 ~ 178 頁

教職課程履修方法（2018年度入学生用）

1. 教職課程

教職課程とは、大学卒業後、国公立・私立学校の教育職員（以下、教員）になろうとする者に必要な教育職員免許状（以下、免許状）の取得を希望する学生のために設けられている課程です。

免許状の取得には、卒業に必要な単位のほかに、教育職員免許法（以下、免許法）及び教育職員免許法施行規則で定められている次の科目の単位や体験・実習などの修得が必要です。

- ①「66条の6に定める科目」（以下、本学では「基本的教職必修科目」と呼ぶ）
- ②「教職に関する科目」
- ③「教科に関する科目」
- ④「教科又は教職に関する科目」

この他、中学校免許状を取得する場合には3年次に7日間の「介護等体験」が必要です。また、4年次には、中学校・高等学校の免許状を取得する場合は3週間、高等学校のみの場合は2週間の教育実習を行わなければなりません。

上記のことから、履修すべき単位数が多い上、**ガイダンスや必要な手続き**が多くあり、時間割上、1、5限に開講されている授業科目も多くあるので計画的に取り組んでいくことが大切です。**必要なガイダンスには必ず出席しなければなりません**。また、諸連絡は3Sで行いますので毎日一度は見る習慣をつけてください。健康診断や情報セキュリティテスト、図書館ガイダンスなども必ず受講してください。

なお、本学では中学校・高等学校の両方の免許状を取得することを原則としています。

2. 免許状取得の基礎資格

免許法において「学士（社会学）の学位を有すること」が一種免許状取得の基礎資格とされています。

3. 取得できる免許状の種類

本学、社会学部にて取得できる免許状は、以下のとおりです。

学 科 名	取 得 可 能 な 免 許 状 の 種 類	免 許 状 の 教 科
社会学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	地理歴史・公民
メディア社会学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	地理歴史・公民

※複数教科の取得はカリキュラム上困難な場合があります。

4. 教職課程の登録

（1）教職課程の登録および教職課程登録費

免許状取得に必要な科目の履修は登録に先立って1年次から行われています。**入学時の教職課程ガイダンスの指示に従ってください**。

また、教職課程の授業を3年次以降にも続けて履修したり教育実習と介護等体験を行ったりするには、2年次秋学期に登録し**教職課程履修生**とならなければなりません。教職課程登録に際しては、授業料等の年間納付金とは別に、所定の**教職課程登録費**を納入しなければなりません。いったん納入された教職課程登録費は、理由のいかんによらず返還しません。また、教職課程登録費以外に教育実習および介護等体験に要する交通費等も各自の負担となります。

（2）教職課程の登録手続き

教職課程の登録にあたっては、2年次の4月に行われる「**教職課程ガイダンス**」に出席してください。手続きの日程、課題、課題締切日等について指示します。課題を提出し、教職課程担当教員等の面談を経た上で仮登録となり、所定の期日までに**教職課程登録費**の納入・**教職課程登録願**の提出をし、**1月のガイダンス**に出席すると、教職課程登録が認められたこととなります。なお、2014～2018年度入学生は、原則として1年次末のGPAが1.8以上であることが2年次の教職課程登録の上で必要となります。また、登録後もGPA1.8以上を維持するよう努力しなければなりません。2年次で登録しなかった場合、4年間での免許状取得は困難になります。

教職課程履修方法（2018年度入学生用）

(3) 教職課程登録の辞退と取り消し

登録後に進路変更等で教職課程の履修を辞退する場合は、速やかに教職課程事務室に申し出て、辞退届を提出してください。また、必要なガイダンスに出席していないなど、手続きをとらない場合は、登録が取り消されることがあります。

5. 免許状を取得するための所要資格一覧

中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状を取得するためには、2にあるように免許法で定められた基礎資格が必要であり、あわせて以下に示す定められた科目の単位を修得しなければなりません。

本学部での所要資格一覧

免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数								介護等体験
		教科に関する科目		教職に関する科目	教科又は教職に関する科目	基本的必修科目 (免許法施行規則第66条の6に定める科目)				
						日本国憲法	情報機器の操作	外国語コミュニケーション	体育	
中学一種	有する学士の学位を	社会	20	39	8	2	2	2	2	必修
高校一種		地理歴史	20	31	16	2	2	2	2	
		公民	20							

—参考—

次の表は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要資格を示したものです。

免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数								介護等体験
		教科に関する科目		教職に関する科目	教科又は教職に関する科目	基本的教職必修科目 (免許法施行規則第66条の6に定める科目)				
						日本国憲法	情報機器の操作	外国語コミュニケーション	体育	
中学一種	有する学士の学位を	社会	20	31	8	2	2	2	2	必修
高校一種		地理歴史	20	23	16	2	2	2	2	
		公民	20							

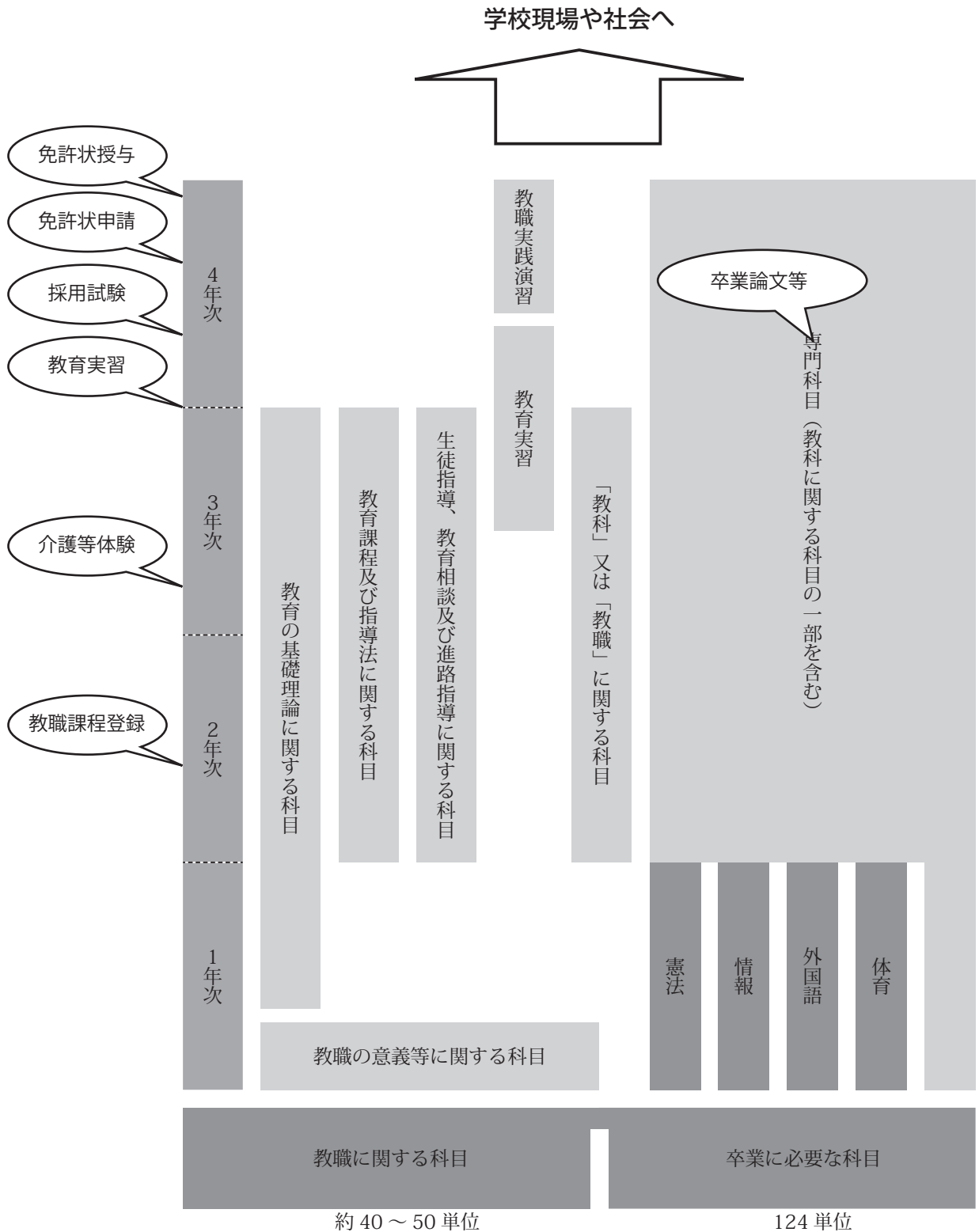
教職課程履修方法（2018年度入学生用）

武蔵大学教職課程のカリキュラムイメージ

教職課程において「教職に関する科目」の履修を通して「教育理念」、「人間理解」、「教育方法」の学びを深めていきます。

武蔵大学理念：知と実践の融合

- ①自ら調べ、自ら考える（自立）
- ②心を開いて対話する（対話）
- ③世界に思いをめぐらし、身近な場所で実践する（実践）



教職課程履修方法（2018年度入学生用）

6. 本学部で履修する授業科目

(1) 基本的教職必修科目（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目）

本学部では、次の表に沿って必要な授業科目を履修しなければなりません。1年次で履修可能な科目はできるだけ1年次で履修するようにしてください。

基本的教職必修科目 (免許法施行規則第66条の6に定める科目)	最低修得 単位数	本学の授業科目		
		科目名		単位数
日 本 国 憲 法	2	総 合 科 目	日本国憲法	2
		全学対象専門科目	憲法1	2
			憲法2	2
情 報 機 器 の 操 作	2	専 門 科 目	コンピューティング基礎	2
			コンピューティング応用A	2
			コンピューティング応用B	2
			コンピューティング応用C	2
			コンピューティング応用D	2
外国語コミュニケーション	2	外 国 語 科 目	英語	1
体 育	2	総 合 科 目	スポーツ実践1	1
			スポーツ実践2	1
			スポーツ実践3	1
			スポーツ実践4	1
			スポーツ実践5	1
			スポーツ実践6	1
			スポーツ実践7	1
			スポーツ実践8	1
			スポーツ実践9	1
			スポーツ実践10	1
			スポーツ実践11	1
			スポーツ実践12	1
			スポーツ実践13	1
			スポーツ実践14	1

※ 以上の授業科目は、「卒業要件」に沿って、「卒業に必要な単位」として算入することができます。

※ 外国語科目は、卒業要件を満たすように履修をすすめ単位を修得すれば、免許状取得要件の2単位も修得することになります。

教職課程履修方法（2018年度入学生用）

(2) 「教職に関する科目」

本学部では「教職に関する科目」について、中学校一種免許状を取得する場合は **39 単位以上**、高等学校一種免許状を取得する場合は **31 単位以上** 修得しなければなりません。

A「教職に関する科目」における本学部での授業科目

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目・最低修得単位数				本学での授業科目・最低修得単位数					
教職に関する科目	左項の各科目に含めることが必要な事項	中学一種	高校一種	本学での授業科目	単位数	中学一種	高校一種	配当年次	備考
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種機会の提供等	2	2	教職入門	2	◎	◎	1	
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	6	教育基礎論	2	◎	◎	1	※教育史（日本）、教育史（世界）との組合せは重複履修となります。
				教育史	2	○	○	3	
	教育史（日本）			2	○	○	3		
	教育史（世界）			2	○	○	3		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）			教育心理学1	2	◎	◎	2	
				特別支援教育概論	2	○	○	2	
				教育心理学2	2	◎	◎	2	
				(特別支援教育を含む)	2	◎	◎	2	
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育制度論	2	◎	◎	2				
	教育行政学	2	○	○	2				
	教育経営学	2	○	○	2				
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	12	6	教育課程編成論	2	◎	◎	2	
	各教科の指導法			※	◎	◎	2・3	※中学8単位 高校4単位 対応授業名については、 次頁を参照	
	道徳の指導法			2	◎	△	2	中学のみ	
	特別活動の指導法			2	◎	◎	3		
	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)			2	◎	◎	3		
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法 進路指導の理論及び方法	4	4	生徒指導の理論と方法	2	◎	◎	2	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的知識を含む。）の理論及び方法			2	◎	◎	3		
教育実習	教育実習	5	3	教育実習1	2	◎	◎	3	
				教育実習2	5	◎	△	4	中学もしくは 中・高両方の場合 ※⑧
				教育実習3	3	△	◎	4	高校のみ ※⑧
教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2	2	◎	◎	4			
合計		31	23	最低修得単位数		39	31		

※注意事項は次頁を参照してください。

教職課程履修方法（2018年度入学生用）

注意事項

- ① 1年次 Spring 2 で海外英語研修を履修する学生は、2年次春学期に必ず「教職入門」を履修すること。
- ② 「教職に関する科目」は「卒業に必要な単位」にはなりません。
- ③ 「教職に関する科目」の授業科目は、履修登録単位制限の対象外です。
- ④ 配当年次が指定されているものは、それ以前の年次では履修できません。
- ⑤ 各年度の時間割編成上、配当年次で履修できない場合もあります。必修科目がとれない場合は、ガイダンス・3Sでの指示に従うほか、教職課程事務室・所属学科教務委員に相談してください。選択科目の場合は、翌年度以降に履修することになります。
- ⑥ 「教職に関する科目」のうち同一授業を春学期・秋学期複数クラスで開講している場合、同じ年度で履修することのできるはそのうち1授業だけです。
- ⑦ 「教育実習2」、「教育実習3」の単位計算については、学則第17条第3号を適用します。
- ⑧ 中学校免許状を取得する場合は、「教育実習2」（5単位）を履修します。本科目は高等学校免許状にも適用されます。従って、中学校免許状と高等学校免許状をあわせて取得する場合は「教育実習2」（5単位）を履修することになります。高等学校免許状のみを取得する場合は、「教育実習3」（3単位）を履修します。本科目は、中学校免許状には適用されません。

B「各教科の教育方法論」について

「各教科の教育方法論」については、取得しようとする免許状の種類及び教科ごとに以下の授業科目を履修しなければなりません。

◎は必修科目

本学での授業科目			免許状の種類及び教科			備考
科目名	単位数	配当年次	中学校の免許状		高等学校の免許状	
			社 会	地 歴	理 史	
社会科・地歴科教育方法論1	2	2	◎	◎	/	
社会科・地歴科教育方法論2	2	2	◎	◎	/	
社会科・公民科教育方法論1	2	2	◎	/	◎	
社会科・公民科教育方法論2	2	2	◎	/	◎	
			8単位	各教科4単位		

注意事項

各教科教育方法論の「1」と「2」の履修について：

原則として各教育方法論の「2」を履修するには「1」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「1」の単位を修得できなかった場合原則として「2」を履修することはできません。

教職課程履修方法（2018年度入学生用）

(3) 「教科に関する科目」

「教科に関する科目」は、取得する免許状の教科に関する専門的知識を深く身につけるために設けられたものです。

各学科で取得できる免許状の授業科目一覧は（11.「教科に関する科目」の授業一覧）の付表を参照してください。
入学年度により参照する別表は異なります。

社会学科	社会	中学	付表A
	地理歴史	高校	付表B
	公民	高校	付表C
メディア社会学科	社会	中学	付表A
	地理歴史	高校	付表B
	公民	高校	付表C

(4) 「教科又は教職に関する科目」

免許法では「教科又は教職に関する科目」について、中学校一種免許状を取得する場合は**8単位以上**、高等学校一種免許状を取得する場合は**16単位以上**修得しなければならないと定めています。

「教科又は教職に関する科目」とは、「教科に関する科目」および「教職に関する科目」のうち、(2)Aと(3)で指定された最低修得単位を修得した上で、さらに修得を求められる単位のことをいいます。

「教育学特論A」「教育学特論B」「中等社会科研究1」「中等社会科研究2」は「教科又は教職に関する科目」独自で開講されている科目です。

本学では、「教科又は教職に関する科目」として、「教職に関する科目」の選択必修科目から**1科目以上**修得することとしています。

なお、「道德教育の理論と実践」は、高等学校免許状を取得する場合「教科又は教職に関する科目」として数えることができます。中学校免許状では「教職に関する科目」の必修科目です。

教科又は教職に関する科目	単位数	配当年次	最低修得単位数		
			中学校免許状	高等学校免許状	
教育学特論A	2	2	「 <u>教科又は教職に関する科目</u> 」から 中学校免許状を取得するためにはこの中から8単位以上を修得（ただし最低1科目は「 <u>教職に関する科目</u> 」から） 高等学校免許状を取得するためにはこの中から16単位以上を修得（ただし最低1科目は「 <u>教職に関する科目</u> 」から）		
教育学特論B	2	2			
中等社会科研究1	2	3			
中等社会科研究2	2	3			
「教科に関する科目」のうち必要最低修得単位（20単位）を超える授業科目	左記単位数	—			
「 <u>教職に関する科目</u> 」	教育史	2			3
	教育史（日本）	2			3
	教育史（世界）	2			3
	教育行政学	2			2
	教育経営学	2			2
	特別支援教育概論	2	2		
	道德教育の理論と実践	2	2		

※教育史と教育史（日本）、教育史と教育史（世界）は同一科目とみなし、重複履修として扱います。重複履修となったものは、免許要件に算入できません。
※「中等社会科研究1」「中等社会科研究2」は中学校一種免許状（社会）、高等学校一種免許状（地理歴史）及び高等学校一種免許状（公民）にのみ適用される授業科目です。

注意事項

「教科又は教職に関する科目」に含まない授業科目

他教科の教育方法論等、特定の免許状取得に必要な「授業科目」は、「教科又は教職に関する科目」として数えることはできません。

例) 地理歴史の免許状を取得する場合：他教科の教育方法論（「社会科・公民科教育方法論」など）

※地理歴史の免許状取得にあたり、公民の教育方法論は必要のない授業科目。

※「教職に関する科目」としてカウントした授業科目は、「教科又は教職に関する科目」としてはカウントできません。

※ 中学校免許状と高等学校免許状でカウントする授業科目が異なる場合があるので、それぞれの視点で条件を満たすかどうか確認してください。

教職課程履修方法（2018年度入学生用）

7. 介護等体験について

介護等体験特例法により、中学校免許状の取得を希望するものは、7日間の介護等体験を行うことが義務付けられています。本学では、**介護等体験ガイダンス**に出席し、登録をした上で、3年次に、特別支援学校へ2日間、社会福祉施設へ5日間の体験を行う予定です。体験先や日程は大学を通して決定されます。

介護等体験にあたってはその手続きや条件があります。詳しい手続きについては、**介護等体験ガイダンス**で説明します。必ず関連する全てのガイダンスに出席してください。免許状の申請には体験終了後に体験先から発行される「介護等体験証明書」が必要です。

※「介護等体験特例法」とは、小中学校教員免許状取得希望者に義務付けられており、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」を言います。

介護等体験についての参加条件

- ① 教職課程登録者であること。
- ② 介護等体験の登録者であること。介護等体験は3年次の4月に行う**教職課程ガイダンス**にて配付する「介護等体験希望学生個人票」の提出をもって登録とします。
- ③ 介護等体験のための保険加入を行います（登録後大学一括で加入します）。
- ④ 「教育心理学2（特別支援教育を含む）」は原則として修得済みでなければなりません。

8. 教育実習について

教育実習は、免許状取得に必要な要件であり、それまでに学んできた知識や理論をもとに学校教育の現場で校長および指導教諭のもと、教員としての基本的で実践的な知識・技能を修得することを目指しています。

本学では、中学校免許状のみ、もしくは中学校・高等学校両方の免許状を取得する場合は3週間、高等学校のみの免許状を取得する場合は2週間、教育実習校において行います。

教育実習にあたってはその手続きや条件があります。詳しい手続きや書類の配付については、**教職課程登録後のガイダンス、教育実習ガイダンス**にて説明します。関連する全てのガイダンスに必ず出席してください。

教育実習を行うにあたっての条件

- ① 卒業見込みの条件と免許状取得見込みの条件を両方満たすこと。
- ② 「教育実習1」を修得済みであること。
- ③ 4年次生以上で、「教育実習2」もしくは「教育実習3」の履修者であること。
- ④ 「各教科の教育方法論」を原則として修得済みであること。
- ⑤ 教育実習を行う実習予定校より、あらかじめ教育実習についての内諾を得ていること。
- ⑥ 3年次1月末及び4年次4月当初の**教職課程ガイダンス**に参加し、さらに「教育実習2」もしくは「教育実習3」への出席が必要です。

9. 教員免許状の申請手続きについて

免許法で定める教員免許状取得のための所要資格を満たした者は、都道府県教育委員会に申請することにより教員免許状を取得することができます。申請の方法には「一括申請」と「個人申請」の2つがありますが、卒業時に教員免許状を取得する場合には「一括申請」にて申請の手続きをします。「一括申請」の手続き方法は、4年次に行う**一括申請ガイダンス**で詳しく説明します。希望する者は必ず出席してください。

10. 編入学生・他大学在籍後入学した者・留学予定者の教職課程の履修について

- ① 編入学生および本学入学前に他大学で免許状取得に関連する単位を修得した学生は、教職課程事務室に申し出て今後の手続きなどについての指示を受けてください。単位の読み替えにあたっては一部制限がある場合があります。
- ② 留学を予定している学生は、必ず教職課程事務室に申し出て、今後の手続きなどについての相談をしてください。4年間では必要な単位が取れなくなる可能性があります。

教職課程履修方法（2018年度入学生用）

11. 「教科に関する科目」の授業科目一覧

付表 A 社会学科・メディア社会学科における中学校教諭一種免許状（社会）

次の授業科目から「教科に関する科目」としては必修科目◎、選択必修科目○を含めた20単位以上を修得してください。「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の履修が必要になります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目(単位)		
日本史及び外国史	4以上	◎日本史概説 (2)	日本美術工芸史2 (2)	ドキュメンタリー研究 (2)
		◎外国史概説 (2)	ギリシア・ローマ史 (2)	映像アーカイブ論 (2)
		日本民俗史1 (2)	中国思想史1 (2)	人間と科学技術の歩み (2)
		日本民俗史2 (2)	中国思想史2 (2)	グローバル時代の歴史認識 (2)
		日本美術工芸史1 (2)	歴史社会学 (2)	
地理学(地誌を含む。)	6以上	◎人文地理学概説 (2)	多文化共生の人類学 (2)	エスニシティの社会学 (2)
		◎自然地理学概説 (2)	文化人類学 (2)	エスニックメディア論 (2)
		◎地誌概説 (2)	家族と結婚の人類学 (2)	市民メディア論 (2)
「法学、政治学」	2以上	※○印から1科目を選択必修	メディア法制と倫理 (2)	
		○法学概説(国際法を含む) (2)	不平等の社会学 (2)	
		○政治学概説(国際政治を含む) (2)	社会運動論 (2)	
「社会学、経済学」	2以上	※○印から1科目を選択必修	教育社会学 (2)	地域メディア論 (2)
		○社会学原論A (2)	NPO・NGOとメディア (2)	ジャーナリズム論 (2)
		○社会学原論B (2)	アイデンティティの社会学 (2)	メディアリテラシー論 (2)
		○経済学概説(国際経済を含む) (2)	音楽文化の社会学 (2)	電子コミュニケーション論 (2)
		福祉社会学 (2)	家族社会学 (2)	
「哲学、倫理学、宗教学」	2以上	※○印から1科目を選択必修		
		○哲学概説 (2)		
		○倫理学概説 (2)		
		○宗教学概説 (2)		
「教科に関する科目」としては合計20単位以上				

注意事項

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの履修登録制限単位数に注意して履修してください。

※ ◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

教職課程履修方法（2018年度入学生用）

付表B 社会学科・メディア社会学科における高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

次の授業科目から「教科に関する科目」としては必修科目◎を含めた20単位以上を修得してください。「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の履修が必要になります。

◎は必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目（単位）			
日本史	2以上	◎日本史概説 (2)	日本美術工芸史1 (2)	◎日本史概説 (2)	日本美術工芸史2 (2)
		日本民俗史1 (2)	日本美術工芸史2 (2)	◎日本史概説 (2)	歴史社会学 (2)
		日本民俗史2 (2)	◎日本史概説 (2)	◎日本史概説 (2)	◎日本史概説 (2)
外国史	2以上	◎外国史概説 (2)	ギリシア・ローマ史 (2)	◎外国史概説 (2)	人間と科学技術の歩み (2)
		ドキュメンタリー研究 (2)	中国思想史1 (2)	◎外国史概説 (2)	グローバル時代の歴史認識 (2)
		映像アーカイブ論 (2)	中国思想史2 (2)	◎外国史概説 (2)	◎外国史概説 (2)
人文地理学及び自然地理学	4以上	◎人文地理学概説 (2)	文化人類学 (2)	◎人文地理学概説 (2)	エスニックメディア論 (2)
		◎自然地理学概説 (2)	家族と結婚の人類学 (2)	◎自然地理学概説 (2)	市民メディア論 (2)
		多文化共生の人類学 (2)	エスニシティの社会学 (2)	◎自然地理学概説 (2)	◎自然地理学概説 (2)
地誌	2以上	◎地誌概説 (2)		◎地誌概説 (2)	

「教科に関する科目」としては合計20単位以上

注意事項

- ※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。
- ※ 学期ごとの履修登録制限単位に注意して履修してください。
- ※ ◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

教職課程履修方法（2018年度入学生用）

付表C 社会学科・メディア社会学科における高等学校教諭一種免許状（公民）

次の授業科目から「教科に関する科目」としては選択必修科目○を含めた**20単位以上**を修得してください。「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の履修が必要になります。

○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目（単位）			
「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	2以上	※○印から1科目を選択必修 ○法学概説（国際法を含む） (2) ○政治学概説（国際政治を含む） (2)	メディア法制と倫理 (2) 不平等の社会学 (2) 社会運動論 (2)		
「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	2以上	※○印から1科目を選択必修 ○社会学原論A (2) ○社会学原論B (2) ○経済学概説（国際経済を含む） (2) 福祉社会学 (2)	教育社会学 (2) NPO・NGOとメディア (2) アイデンティティの社会学 (2) 音楽文化の社会学 (2) 家族社会学 (2)	地域メディア論 (2) ジャーナリズム論 (2) メディアリテラシー論 (2) 電子コミュニケーション論 (2)	
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	2以上	※○印から1科目を選択必修 ○哲学概説 (2) ○倫理学概説 (2) ○宗教学概説 (2) ○心理学概説 (2)			
「教科に関する科目」としては合計20単位以上					

注意事項

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの履修登録制限単位数に注意して履修してください。

※ ○印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

学芸員課程

学芸員課程履修方法

1. 博物館と学芸員

博物館とは、博物館法第2条によって、「歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管（育成を含む）し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関」と定義されています。具体的には、博物館と名乗る施設だけでなく、美術館、資料館、動物園、植物園等をも含めて博物館といい、地方公共団体の設置する公立博物館と法人の設置する私立博物館に大別されます。なお、独立行政法人国立博物館や独立行政法人国立美術館は、厳密には上記の博物館には含まれず、独立行政法人の法令や規程に則って運営されています。

学芸員の職務について「公立博物館の設置及び運営上望ましい基準」文部科学省告示第113号によれば、多様化、高度化する学習ニーズに対応できるよう、「博物館の設置」「博物館資料の収集」「保管、展示及び調査研究」「学習活動」「資料のデジタルアーカイブ化やインターネットその他高度情報通信ネットワークによる情報の提供」「学校、家庭及び地域社会との連携」「ユニバーサル社会への推進を図るため必要な施設及び設備」「事業の自己点検・自己評価」など時代の変化に対応した新たな役割を含め、当該博物館に求められる役割を十分に果たすことのできるよう努めるものとあります。本学の課程は、この主旨に対応したものです。

2. 学芸員の資格と学芸員課程

本学の学芸員課程は、博物館法第5条の「学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得した者」という学芸員資格規定に基づき、学芸員資格を得るために必要な科目を開講するとともに、種々の専門的知識や技能の修得を指導することを目的として設置されたものです。

3. 定員

学芸員課程では教育効果を高めるため定員を設けています。

定員は、原則として学部生（23名）、大学院生（2名）で合計25名とします。

4. 課程登録選考について

（1）応募条件

学部学生を対象とする選考審査は、本学に在学している2年次生（経済・人文・社会学部）のみを対象とします。

選考審査応募時（2年次）に、学芸員課程必修科目を原則として少なくとも4科目以上単位修得済み、もしくは履修中でなければなりません。

1年次・2年次での科目履修にあたっては、所属する学部・学科の学修要件と学芸員課程科目をうまく組み合わせ履修してください。

なお、大学院生を対象とする選考応募条件については、別途定めます。

（2）選考方法

2年次生で学芸員課程の履修登録を希望する学生は、2年次の6月（予定）に行われる履修登録希望学生を対象とするガイダンスに必ず出席してください。博物館実習科目の授業カリキュラムの詳細な内容、選考と登録手続きのスケジュール、選考課題レポート、履修願書などについての説明を行います。10月（予定）に学芸員課程委員会が諸資料に基づき選考します。選考に関する事項は、3Sに掲示します。

（3）課程登録手続き（学芸員課程登録費）

課程登録を認められた者は、所定の期日までに学芸員課程登録費を納入しなければなりません。

詳細は、3Sに掲示します。

（4）本学の学芸員課程で選択できる分野

本学の学芸員課程では、各学部開講科目を考慮して、選択できる分野を、歴史・民俗・美術・考古としています。

選考応募登録時に分野を1つ選択しなければなりません。分野の選択は、履修学生の自由選択であり自己責任とします。

学芸員資格取得には、学芸員課程必修科目の他に、分野に関する科目として、指定する各学部開講科目を修得しなければなりません。博物館の就職採用条件として専門知識が要求されるため、本学学芸員課程では、学芸員資格証明書とともに分野に関する科目の履修状況書を発行しています。4年次に履修する学芸員実習では、受入条件として分野に関する科目の履修状況が採否の要件となる場合や分野を指定されていることがあります。1年次から計画的に、分野に関する講義科目やゼミ・演習科目を履修してください。自らが所属する学部の科目だけでなく、必要に応じて、他学部が開講されている科目も履修するように努めてください。ただし、履修にあたっては、各学部の履修要項上の注意事項に留意してください。

学芸員課程委員会が作成する上記4分野に対応する『学芸員課程 分野科目表』を、履修登録期間までに学芸員課程事務室で受け取り、参考にして履修してください。

5. 学芸員課程登録期間

学部学生は学部3年次と4年次の2年間、大学院生は原則として登録後2年間とします。ただし、3年次に長期留学をする人については、卒業を1年延長する場合にかぎり、帰国後の2年間の履修を認めます。2年次に学芸員課程の必修科目を少なくとも4科目以上履修しておくようにしてください。

6. 学芸員課程必修科目と履修方法

(1) 必修科目

以下の表には、博物館法施行規則に規定する科目と本学で開講している学芸員課程必修科目との対照表が示されています。

必修科目

博物館法施行規則に規定する科目		本学授業科目	
科目名	単位	科目名	(単位)
生涯学習概論	2	生涯学習概論	(2)
博物館概論	2	博物館概論	(2)
博物館経営論	2	博物館経営論	(2)
博物館資料論	2	博物館資料論	(2)
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	(2)
博物館展示論	2	博物館展示論	(2)
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	(2)
博物館教育論	2	博物館教育論	(2)
博物館実習	3	博物館実習 1	(1)
		博物館実習 2	(1)
		博物館実習 3	(1)
		博物館実習 4	(1)

(2) 必修科目の履修方法

- ① 1年次から2年次の2年間では、2年次での選考応募条件（原則として4科目以上の単位修得あるいは履修中）を満たすよう、計画的に必修科目を履修してください。

課程登録後に必修科目を多数履修する必要がある場合には、3年次での学部・学科の必修科目と時間割が重複し、学芸員課程必修科目が履修できなくなり、資格取得要件を満たせない場合が生じる恐れがあります。

したがって2年間に可能な限り多数の学芸員課程必修科目を履修することが望ましいです。

- ② 課程登録3年次生：博物館実習1と博物館実習2は、必ず春学期・秋学期2科目セットで履修してください。
- ③ 課程登録4年次生：前年度までに博物館実習3と博物館実習4を除くすべての学芸員課程必修科目の単位を修得した者だけが、原則として博物館実習3と博物館実習4を履修できます。これらの2科目は、必ず春学期・秋学期セットで履修してください。

なお、学芸員実習館の選択について、学芸員課程は指導・助言を行います。採否については自己責任となります。そのため、登録時に選択した分野の十分な学修をすすめ、博物館活動について深く研究・体験に努めてください。

7. 選択分野の履修について

自ら選んだ分野の講義科目 8 単位とゼミ・演習科目 4 単位以上を修得するように努めなければなりません。

4 年次に履修する学芸員実習の受入条件として、講義科目やゼミ・演習科目の履修状況が採否の要件となる場合や分野を指定されることがあります。可能な限り、自ら選んだ分野の講義科目やゼミ・演習科目を、上記に示した単位以上に数多く履修するように努めなければなりません。

8. 学芸員資格取得証明書

本学の基準に基づいて所定の科目の単位を修得し、卒業が確定した者に対し卒業式当日に学芸員資格証明書を授与します。

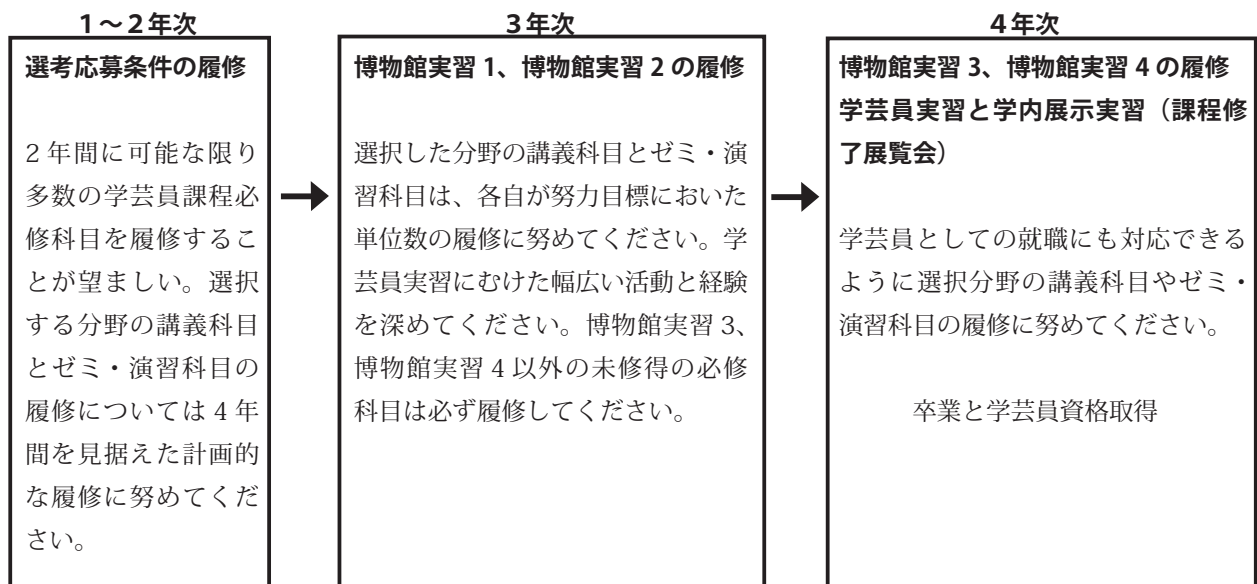
9. 運営組織

学芸員課程の運営は、学芸員課程委員会が行います。

10. そのほか

学芸員課程履修については、原則として入学した年度の学芸員課程履修方法が適用されます。

<学芸員課程の4年間の学修概要>



**この履修要項は、
学生1名に1冊のみ配布する。
紛失しないよう注意すること。**

2022年度 更新版

2023年3月31日発行

編集・発行 武蔵大学 社会学部
(教務課)

〒176-8534 東京都練馬区豊玉上1-26-1



MUSASHI
UNIVERSITY